

長野自動車道 五常橋床版取替工事

契 約 参 考 図 書 (率計上項目及び概算数量、図面)

令和 6 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社 長野工事事務所

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を提示する資料であり、設計書第1条にいう設計図書ではない。（請負契約上拘束しない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

令和6年度 長野自動車道 五常橋床版取替工事 契約参考図書 図面目録（1／2）

図 番	図 面 名 称
1 ～ 2	数量総括表（その1） ～ （その2）
	五常橋(床版取替)
3 ～ 13	五常橋(上り線) 排水装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その11）
14	五常橋(上り線) 融雪水排水口詳細図(参考図)
15	五常橋(上り線) 撤去設置工 検査路詳細図(参考図)
16	五常橋(上り線) 橋名板・橋歴板(参考図)
17 ～ 22	五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その6）
23	五常橋(上り線) 撤去工 防護柵詳細図(参考図)
24	五常橋(上り線) 撤去工 つらら防止板詳細図(参考図)
25	五常橋(上り線) 床版水抜きパイプ詳細図(参考図)
	滝ノ沢橋(床版取替)
26 ～ 42	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その17）
43	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)
44	滝ノ沢橋(上り線) 橋名板・橋歴板(参考図)
45	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 中央分離帯転落防止網詳細図(参考図)
46 ～ 51	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その6）
52	滝ノ沢橋(上り線) 床版水抜きパイプ詳細図(参考図)
	床版取替工 共通項目
53 ～ 54	渡り線シフト部平面図(参考図)（その1） ～ （その2）
55	渡り線シフト部標準横断図(参考図)
56 ～ 58	車線運用ステップ図(参考図)（その1） ～ （その3）
59 ～ 88	撤去工・設置工 平面図(参考図)（その1） ～ （その30）
89 ～ 94	撤去工・設置工 標準断面図(参考図)（その1） ～ （その6）
95	対面通行用中央分離帯改良工A・対面通行用仮設非常駐車帯工A詳細図(参考図)
96	対面通行用中央分離帯改良工A・対面通行用仮設非常駐車帯工A 集水ます補強工詳細図(参考図)
97	対面通行用中央分離帯改良工A・対面通行用仮設非常駐車帯工A VPΦ150(A)詳細図(参考図)
98	対面通行用仮設非常駐車帯工A詳細図(参考図)
99 ～ 103	対面通行用仮設非常駐車帯工A配置図(参考図)（その1） ～ （その5）
104	渋滞対策工(参考図)

図 番	図 面 名 称
105	交通管理施設工詳細図(参考図)
106	五常橋(上り線) 路面標示工 詳細図(参考図)
107	滝ノ沢橋(上り線) 路面標示工 詳細図(参考図)
108	五常橋(上り線) 交通安全施設・交通管理施設 詳細図(参考図)
109	滝ノ沢橋(上り線) 交通安全施設・交通管理施設 詳細図(参考図)
	五常橋(耐震補強)
110 ～ 111	五常橋(上下線) A1橋台 排水装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その2）
112	五常橋(上下線) P1橋脚 排水装置詳細図(参考図)
113	五常橋(上り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)
114	五常橋(下り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)
115	五常橋(上り線) A2橋台 検査路B詳細図(参考図)
116	五常橋(下り線) A2橋台 検査路B詳細図(参考図)
117	五常橋(上下線) 防護柵撤去設置工・立入防止柵撤去設置工 平面図(参考図)
118 ～ 119	五常橋(上下線) 撤去設置工 排水管A詳細図(参考図)（その1） ～ （その2）
120	五常橋(上下線) 撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)
121	五常橋(上下線) 撤去設置工 排水構造物A 平面図(参考図)
122 ～ 124	五常橋(上下線) 撤去工 排水管A詳細図(参考図)（その1） ～ （その3）
125	五常橋(上り線) 撤去工 検査路B詳細図(参考図)
126	五常橋(下り線) 撤去工 検査路B詳細図(参考図)
127	五常橋(上下線) 撤去工 耐震連結装置A詳細図(参考図)
128	五常橋(上り線) A2橋台 遊間確保工詳細図(参考図)
	滝ノ沢橋(耐震補強)
129 ～ 130	滝ノ沢(上り線) A1橋台 排水装置詳細図(参考図)（その1） ～ （その2）
131	滝ノ沢(上り線) P1橋脚 排水装置詳細図(参考図)
132	滝ノ沢(上り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)
133	滝ノ沢(上り線) A2橋台 検査路B詳細図(参考図)
134	滝ノ沢橋(上り線) 防護柵撤去設置工・立入防止柵撤去設置工 平面図(参考図)
135 ～ 138	滝ノ沢(上り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(参考図)（その1） ～ （その4）
139	滝ノ沢(上り線) 撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)

令和6年度 長野自動車道 五常橋床版取替工事 契約参考図書 図面目録 (2/2)

[illegible][illegible]

数量総括表(その1)

項目番号		特-（18）																				
項目名称		排水装置		検査路	橋面板	防護欄撤去設置工		立入防止柵撤去設置工		立入防止柵の出入口撤去設置工	視線誘導柵	路面標示工				決渾対策工				対面通行用 中央分離帯改良工	対面通行用 仮設非常駐車帯工	
区 分		排水管 A 1	排水管 A 2	歩		ガードレール Gr-C-4 E	ガードレール Gr-C-2 B	一般型非積雪地用	急傾斜型	一般型非積雪地用	A 3-2（Ⅱ）	路面標示標準型 A 1	路面標示標準型 B 1	路面標示標準型 C 1	路面標示 JIS規格型 C 1	設置・撤去 L A	資料 A	設置・撤去 L B	資料 B	A	A	
単 位		m	m	kg	箇所	m	m	m	m	箇所	基	m	m	m 2	m 2	台	台・日	台	台・日	m	m	
床版取替	五常橋(上り線)	25.3			1.0						4.0	96.0	460.0	74.4	968.5	5.0	500.0	4.0	400.0	421.8	180.0	
	滝ノ沢橋(上り線)	40.6			1.0							80.0	399.4									
	小計	65.9			2.0						4.0	176.0	859.4	74.4	968.5	5.0	500.0	4.0	400.0	421.8	180.0	
耐震補強	上り線	上部工																				
		下部工																				
		A1	7.3	99.0																		
		P1	25.3		31.4			28.0	17.2	1.0												
		A2		96.0																		
		計	32.6	195.0	31.4			28.0	17.2	1.0												
		下部上																				
		A1	13.4	85.0																		
	下り線	P1																				
		A2		105.0																		
		計	13.4	190.0																		
		上部工																				
		下部工																				
		A1	13.9	278.0		6.0																
		P1	8.0		8.0																	
		A2		83.0	1.5			1.5														
		計	21.9	361.0	1.5			1.5														
		小計	67.9	746.0	31.4	14.0		29.5	17.2	1.0												
		段差防止構造	落水橋(上り線) A1橋台																			
			落水橋(上り線) A2橋台																			
			御蔵橋(下り線) A2橋台																			
			羽尾橋(下り線) A2橋台																			
			千曲川橋(下り線) P9橋脚																			
清野橋(下り線) P4橋脚																						
清野橋(下り線) A2橋台																						
小計																						
詳細設計	五常橋(下り線)																					
	滝ノ沢橋(下り線)																					
	西宮橋(下り線)																					
	大平橋(上り線)																					
	西沢橋(下り線)																					
	落水橋(下り線)																					
	小計																					
合計		検測数量	65.9	67.9	746.0	2.0	31.4	14.0	29.5	17.2	1.0	4.0	176.0	859.4	74.4	968.5	5.0	500.0	4.0	400.0	421.8	180.0
		数量	66	68	746	2	31	14	30	17	1	4	176	859	74	969	5	500	4	400	422	180

項目番号		特-（18）																			
項目名称		撤去設置工																設置撤去工	撤去工		
区 分	路面標示 J I S規格型 C 1	排水管 A	検査路 B	検査路 （スロープ手摺） （ハンドルレール）	排水構造物 A	橋名板	橋面板	コンクリート ブロック積み（橋） 控え 3 5 c m	アスファルト舗装板	セメント コンクリート舗装板	距離標 C 2	落下物防止柵工	視線誘導標 A 3－2（Ⅱ）	視線誘導標 A 3－3	標識等安全施設	標識サポート	融雪水排水口	中央分離帯 転落防止柵	車線分離標 A	排水管 A	
単 位	m	m	k g	箇所	m	箇所	箇所	m 2	m 2	m 2	枚	m	基	基	箇所	基	箇所	m 2	基	m	
床版取替	五常橋（上り線）	25.0		1.0		1.0	1.0				2.0	16.0	5.0		1.0	1.0	1.0		118.0		
	滝ノ沢橋（上り線）			282.0		1.0	1.0					18.0	3.0	1.0	1.0	4.0		157.2			
	小計	25.0		282.0	1.0	2.0	2.0				2.0	34.0	8.0	1.0	2.0	5.0	1.0	157.2	118.0		
耐震補強	上り線	上部工																			
		下部工																			
		A1																			7.6
		P1	53.4	363.0	14.8																22.1
		A2																			
		計	53.4	363.0	14.8																29.7
		下部工																			
		A1																			14.1
	下り線	P1																			
		A2																			
		計																			14.1
		上部工																			
		下部工																			
		A1	3.0																		12.3
		P1	18.6	214.0	15.3				2.2	5.1	16.2										7.5
		A2							2.2	5.1	16.2										19.0
計	21.6	214.0	15.3				2.2	5.1	16.2										63.6		
小計	75.0	577.0	30.1				2.2	5.1	16.2												
段差防止構造	落水橋（上り線） A1橋台																				
	落水橋（上り線） A2橋台																				
	御蔵橋（下り線） A2橋台																				
	羽尾橋（下り線） A2橋台																				
	千曲川橋（下り線） P9線形																				
	清野橋（下り線） P4橋脚																				
	清野橋（下り線） A2橋台																				
小計																					
詳細設計	五常橋（下り線）																				
	滝ノ沢橋（下り線）																				
	西宮橋（下り線）																				
	大平橋（上り線）																				
	西沢橋（下り線）																				
	落水橋（下り線）																				
	小計																				
合計	検測数量	25.0	75.0	859.0	1.0	30.1	2.0	2.2	5.1	16.2	2.0	34.0	8.0	1.0	2.0	5.0	1.0	157.2	118.0	63.6	
	数量	25	75	859	1	30	2	2	2	16	2	34	8	1	2	5	1	157	118	64	

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	数量総括表(その1)		
縮 尺	-	図面番号	1/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

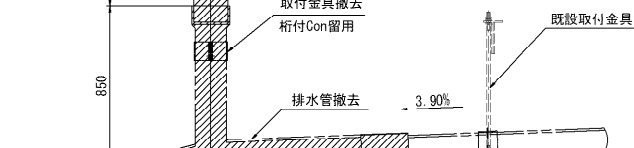
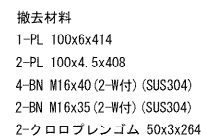
項目番号		特(18)										
項目名称		撤去工						床版水抜きパイ 新設工	試料採取	造開確保工	試験工	
区 分		税金路B	伸縮装置	防塩槽 Gr-A-2B	視察溝線 A2-2	つらら防止板	耐震連結装置A	A	A	A		
単 位		kg	kg	m	基	m	t	箇所	箇所	箇所	箇所	
床版取替	五常橋(上り線)		10,159.0	213.8	4.0	78.0	t	1.0			300.0	
	滝ノ沢橋(上り線)		9,150.0					1.0				
	小計		19,309.0	213.8	4.0	78.0		2.0			300.0	
耐震補強	五常橋	上部工										
		下部工	931.0				1.222					
		A1										
		P1										
		A2								1.0		
		計	931.0				1.222			1.0		
	下り橋	上部工										
		下部工	897.0				1.222					
		A1										
		P1										
		A2										
		計	897.0				1.222					
	滝ノ沢橋	上部工										
		下部工	61.0				0.963					
		A1										
		P1								1.0		
		A2	61.0								1.0	
		計	122.0				0.963			1.0	1.0	
小計		1,950.0				3.407			1.0	2.0		
段差防止構造	落水橋(上り線) A1橋台											
	落水橋(上り線) A2橋台											
	御嵩橋(下り線) A2橋台											
	羽尾橋(下り線) A2橋台											
	千曲川橋(下り線) P9護脚											
	清野橋(下り線) P4橋脚											
	清野橋(下り線) A2橋台											
小計												
詳細設計	五常橋(下り線)											
	滝ノ沢橋(下り線)											
	西宮橋(下り線)											
	大平橋(上り線)											
	西沢橋(下り線)											
	落水橋(下り線)											
小計												
合計	検測数量 数量	1,950.0 1,950	19,309.0 19,309	213.8 214	4.0 4	78.0 78	3.407 3.41	2.0 2	1.0 1	2.0 2	300.0 300	

五 常 橋

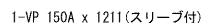
(床版取替)

新設 図

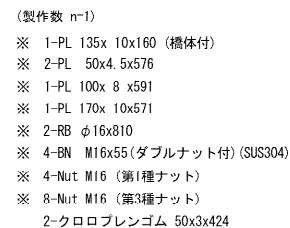
側面図



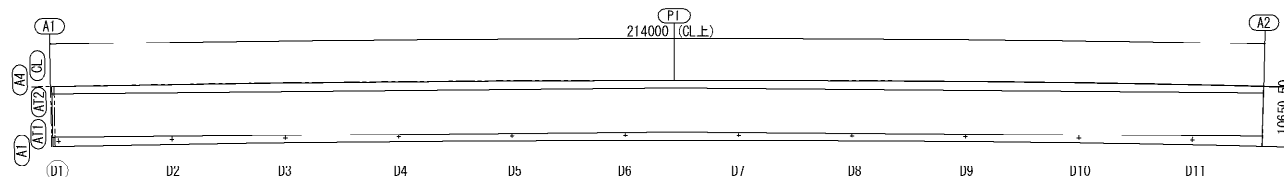
A - A



S=1 : 20



PI

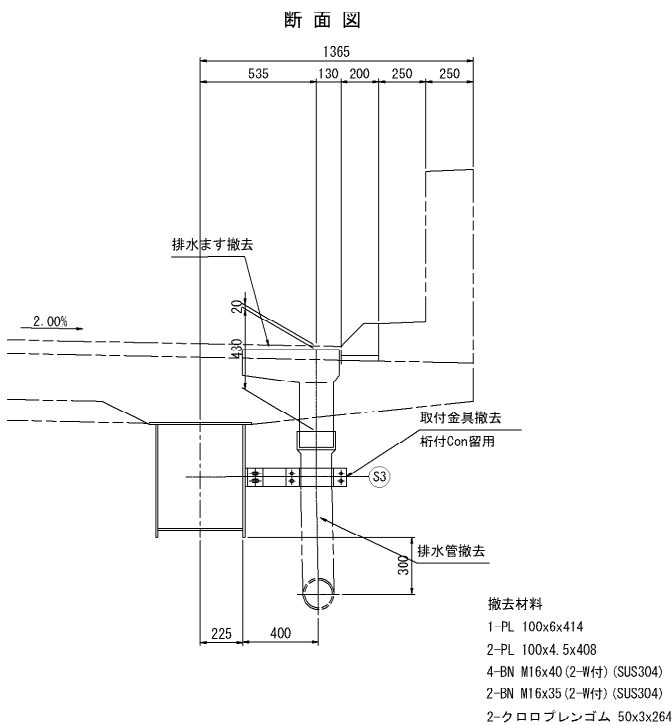


名 称	種 別	單位	D1	D2	D3	D4	D5	D6	備 考
流水延長		m	3.782	2.302	2.304	2.205	2.208	1.809	
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	1	1	加工管
排水樹	380×520	個	1	1	1	1	1	1	
取付金具	(S1)	個	1	1	1	1	1	1	
	(B1)	個	—	—	—	—	—	1	
	(B2)	個	—	—	—	1	1	—	
	(B3)	個	1	1	1	—	—	—	
名 称	種 別	單位	D7	D8	D9	D10	D11	合 計	備 考
流水延長		m	2.212	2.213	2.216	2.218	1.822	25.291	
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	1	11	加工管
排水樹	380×520	個	1	1	1	1	1	1	
取付金具	(S1)	個	1	1	1	1	1	11	
	(B1)	個	—	—	—	—	1	2	
	(B2)	個	1	1	1	1	—	6	
	(B3)	個	—	—	—	—	—	3	

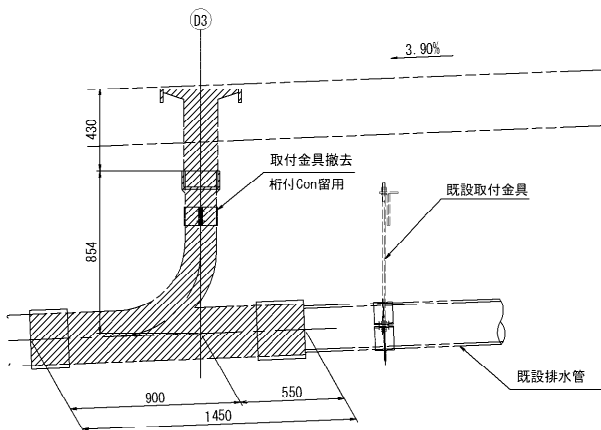
注記

長 野 自 動 車 道			
五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	排水装置詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	3/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

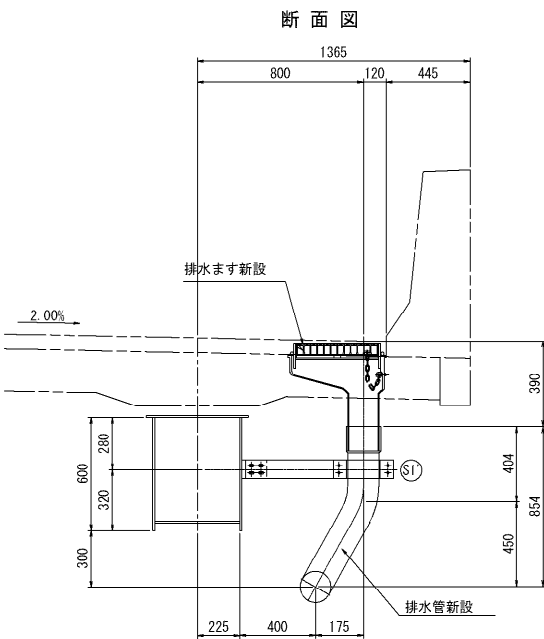
撤去図



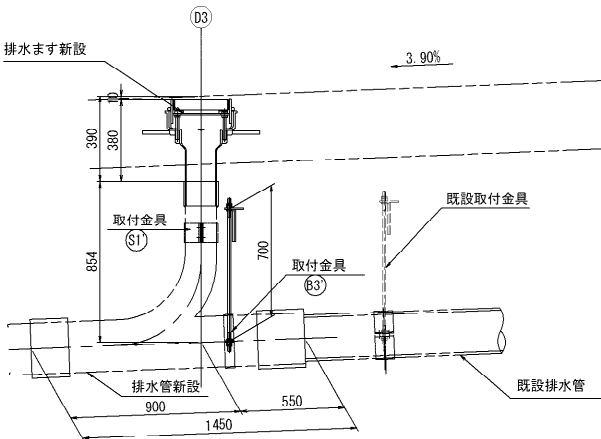
側面図



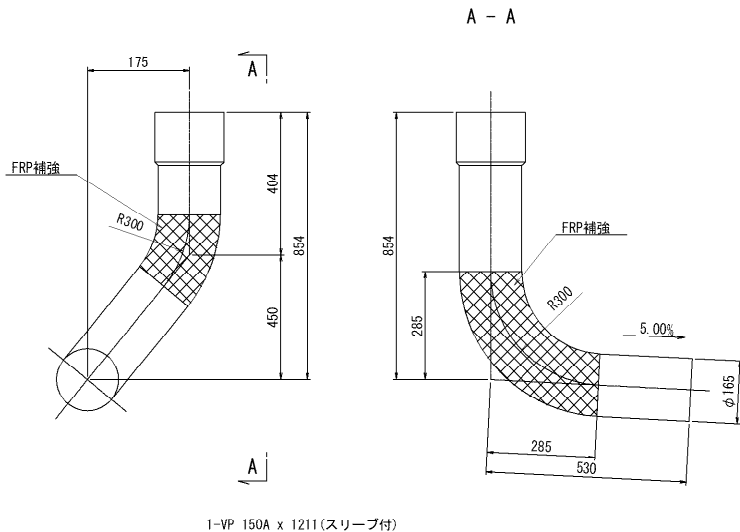
新設図



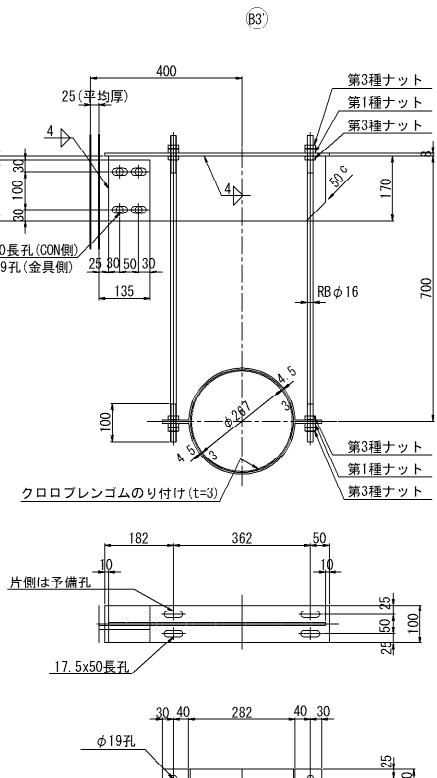
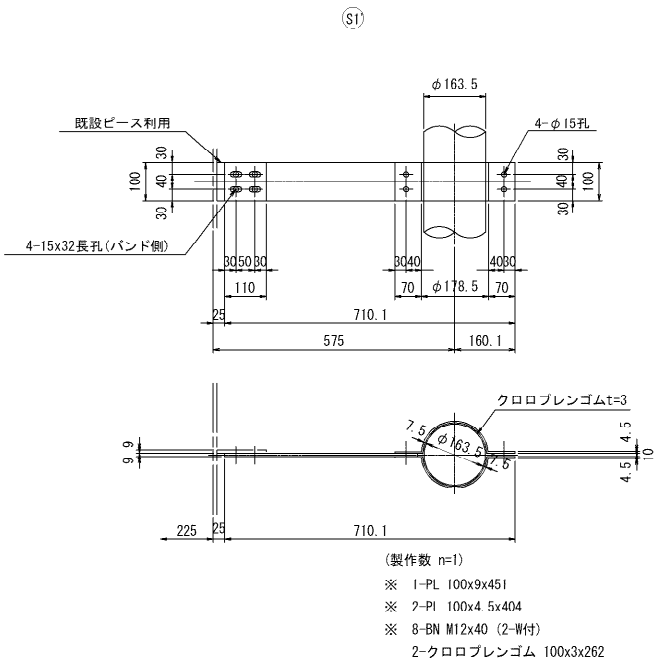
側面図



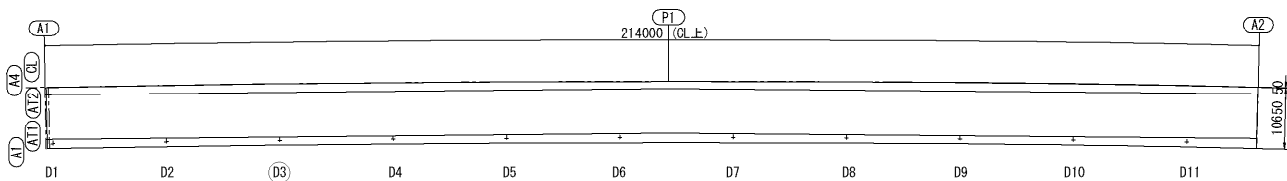
排水管詳細 S=1:20



取付金具詳細 S=1:20



位置図

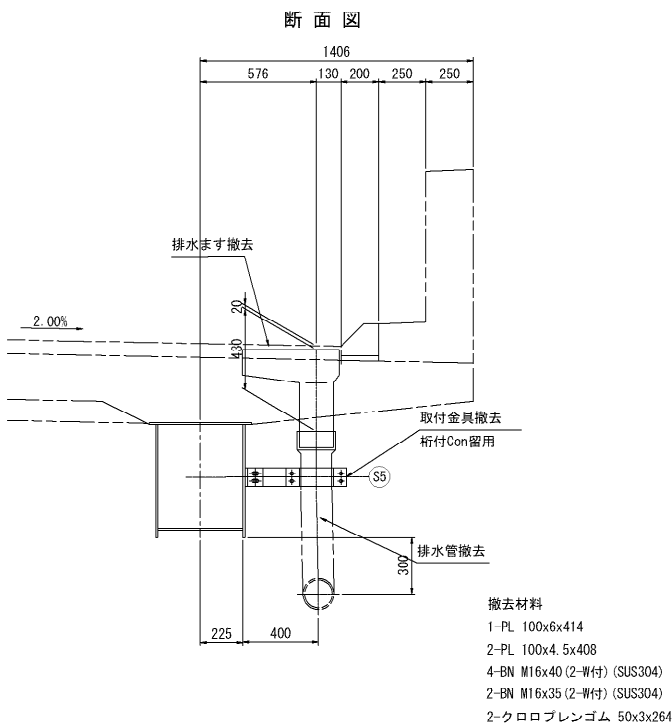


注記

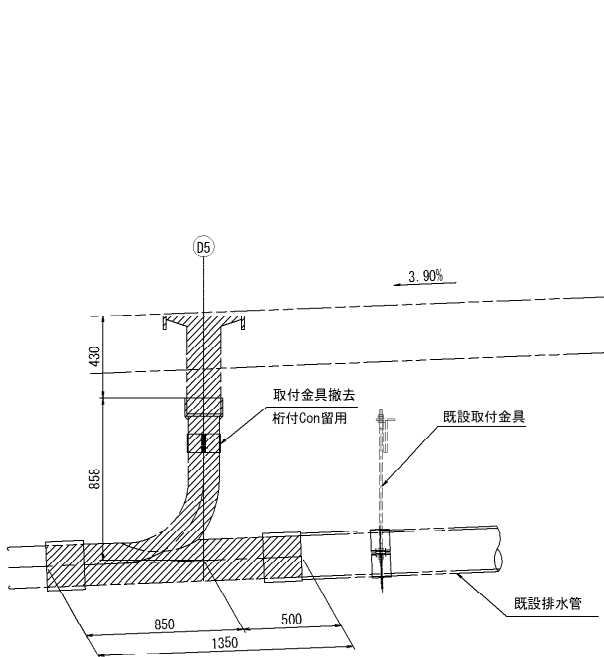
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 排水装置詳細図(その3)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	5/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

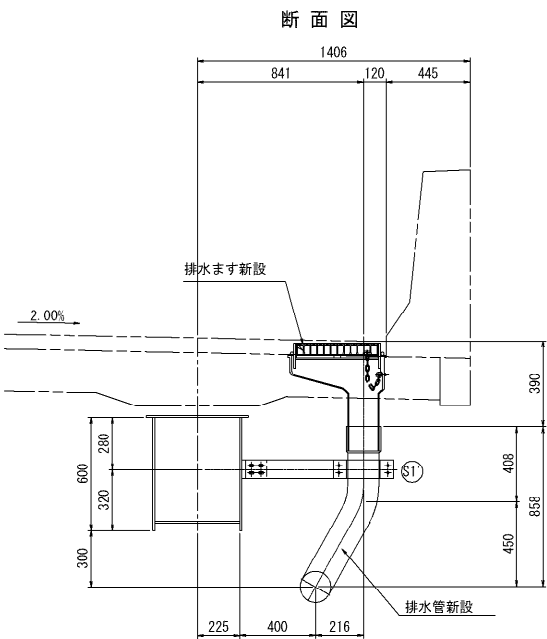
撤去図



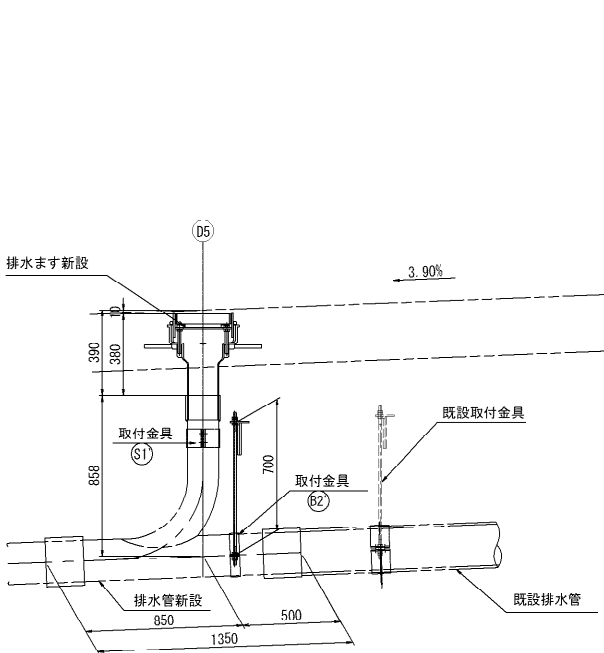
側面図



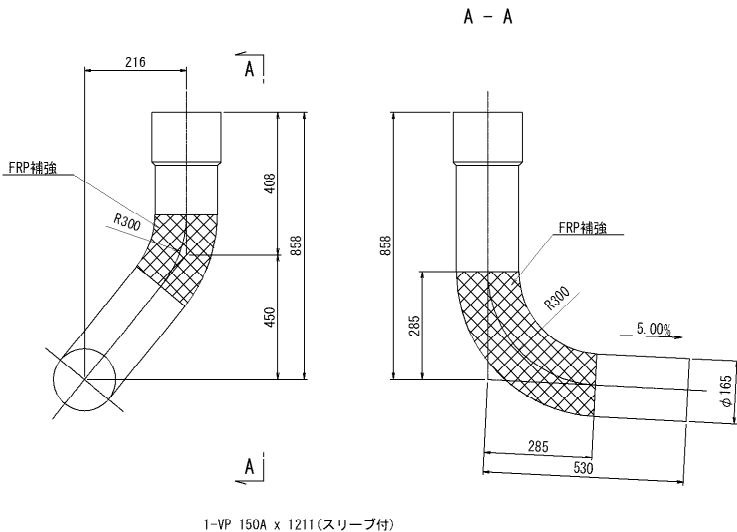
新設図



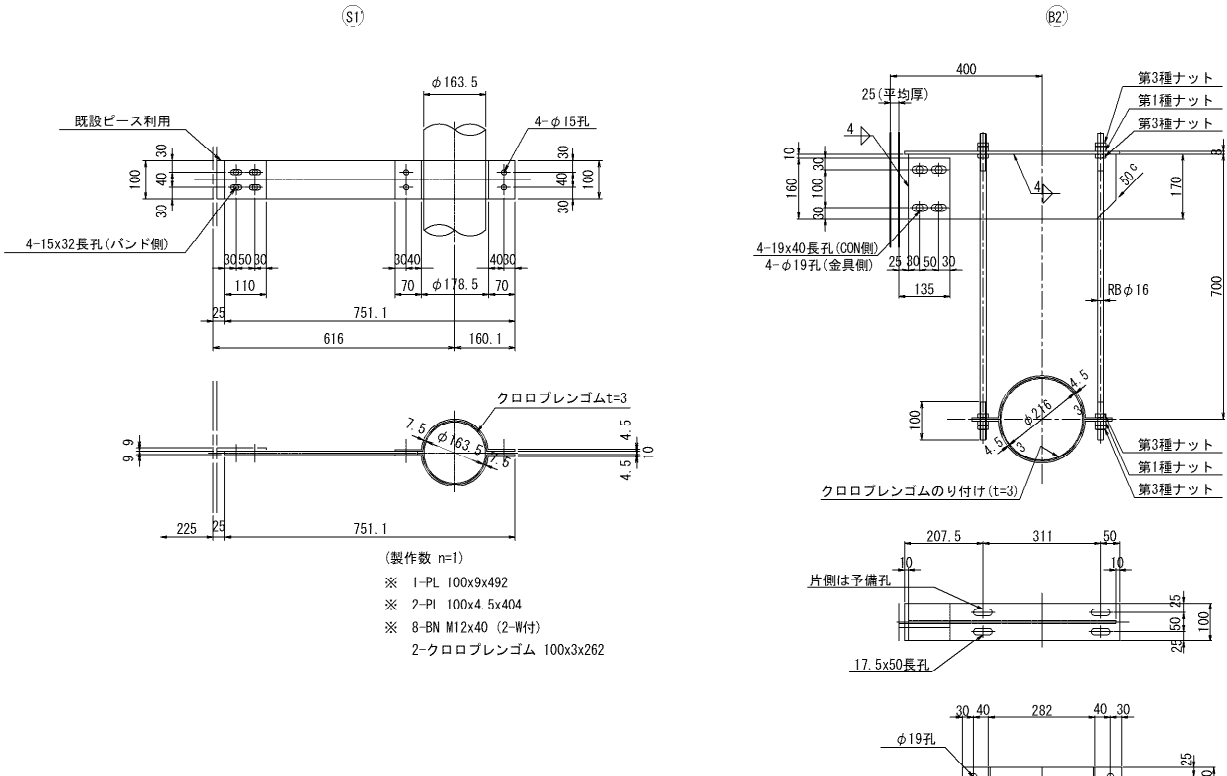
側面図



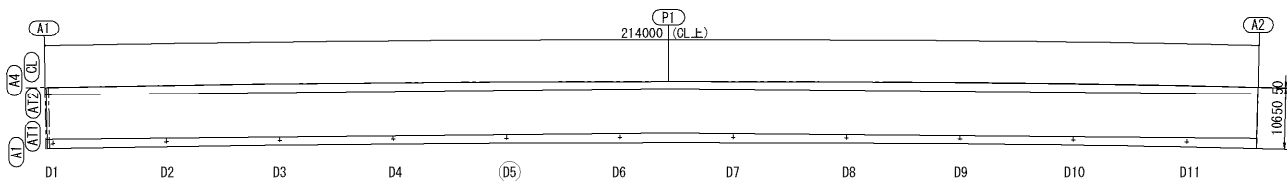
排水管詳細 S=1:20



取付金具詳細 S=1:20



位置図

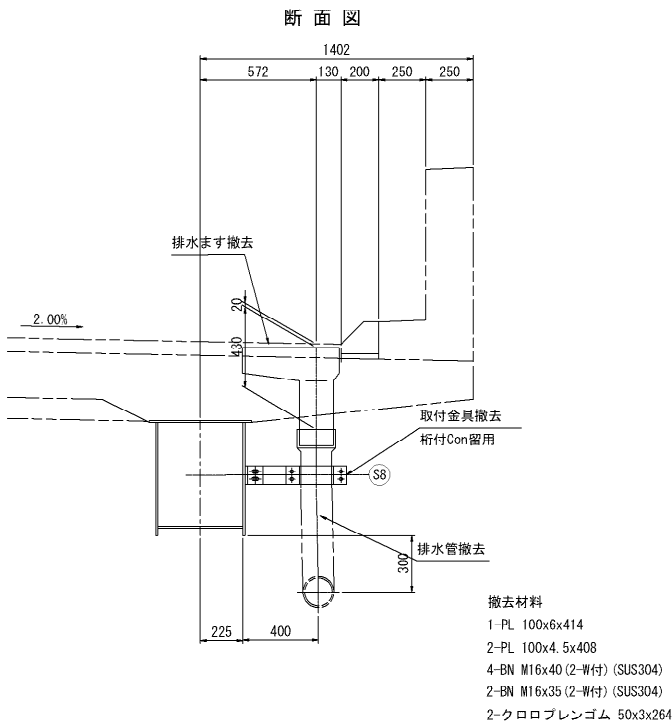


注記

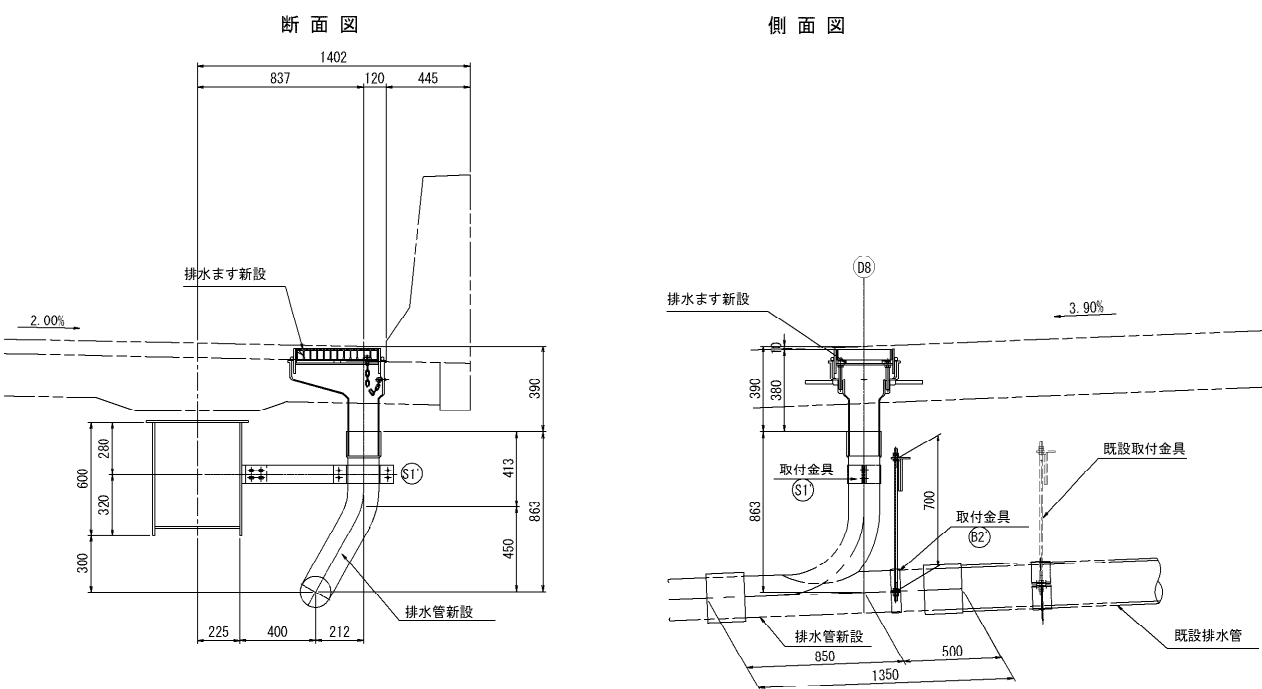
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。付着量は、JIS H 8641 HDZ77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 排水装置詳細図(その5)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	7/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

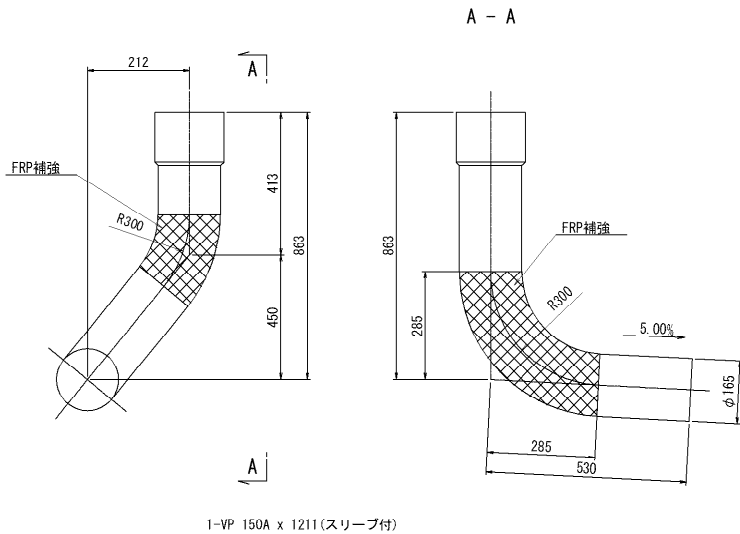
撤去図



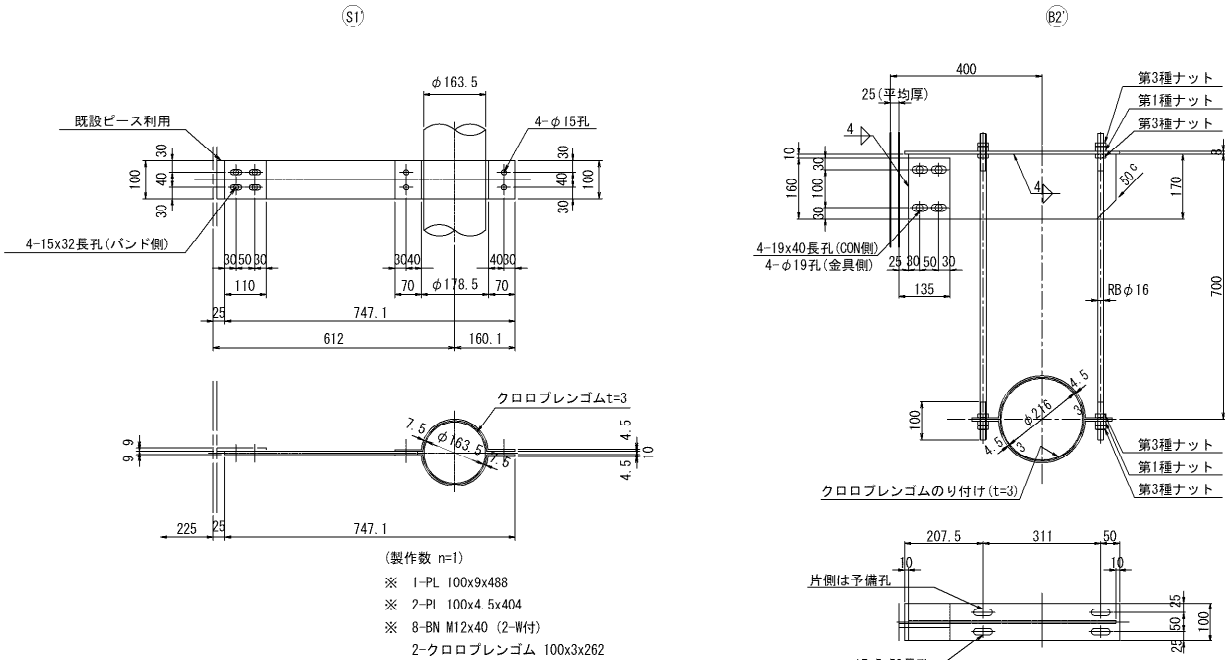
新設図



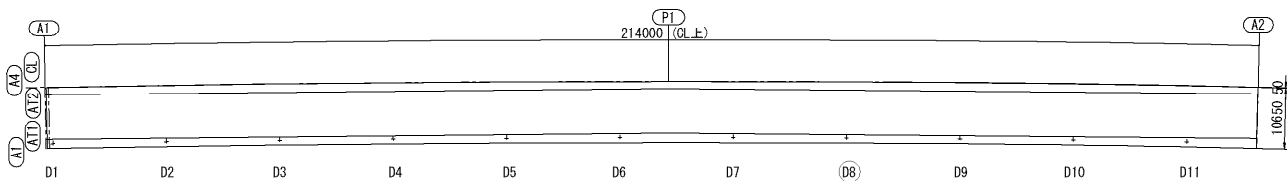
排水管詳細 S=1:20



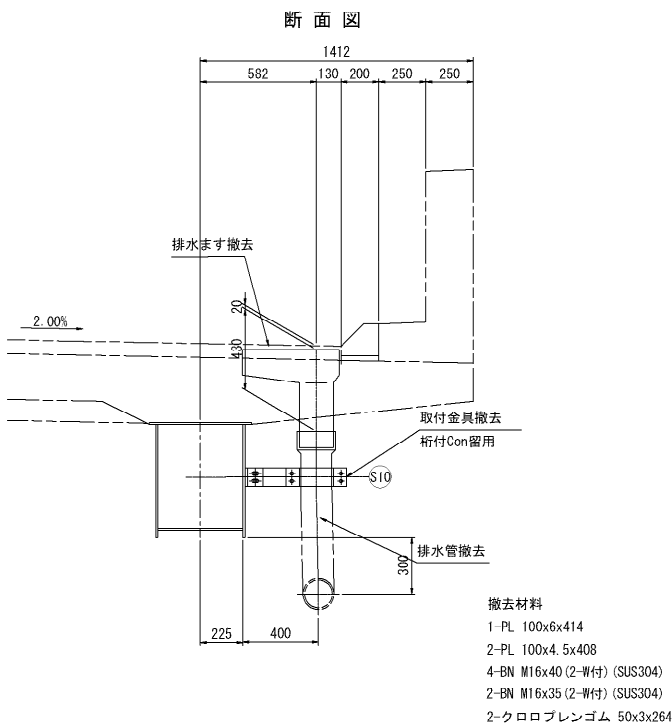
取付金具詳細 S=1:20



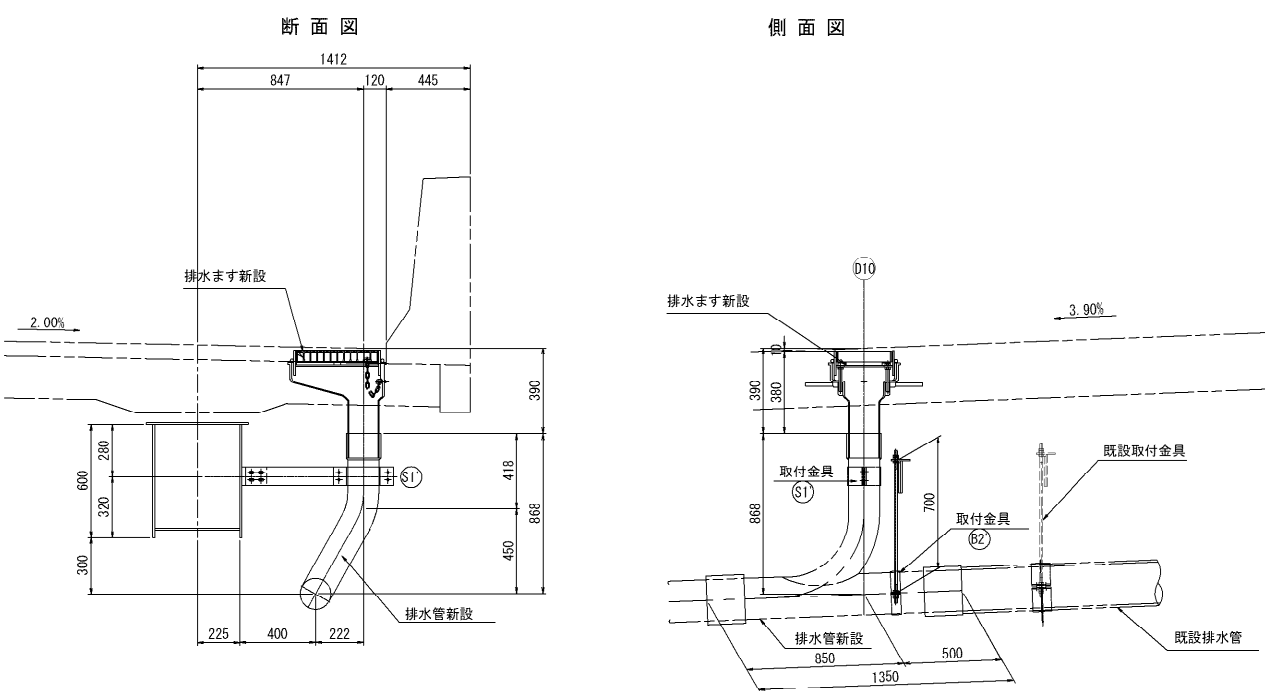
位置図



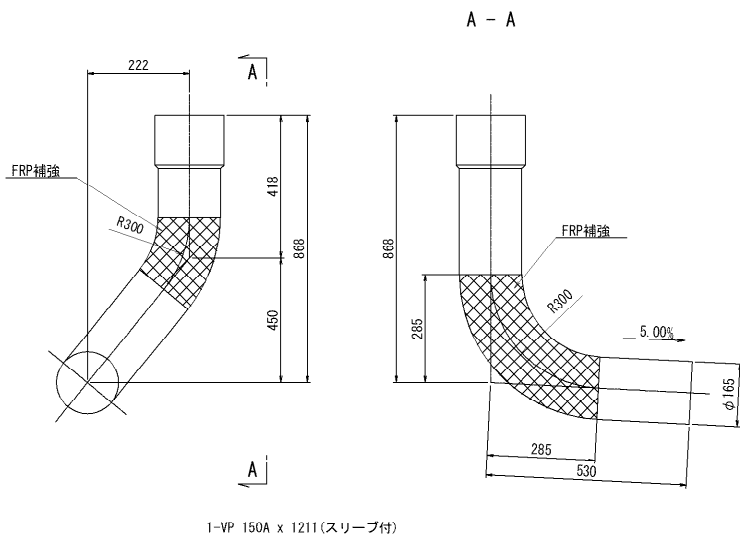
撤去図



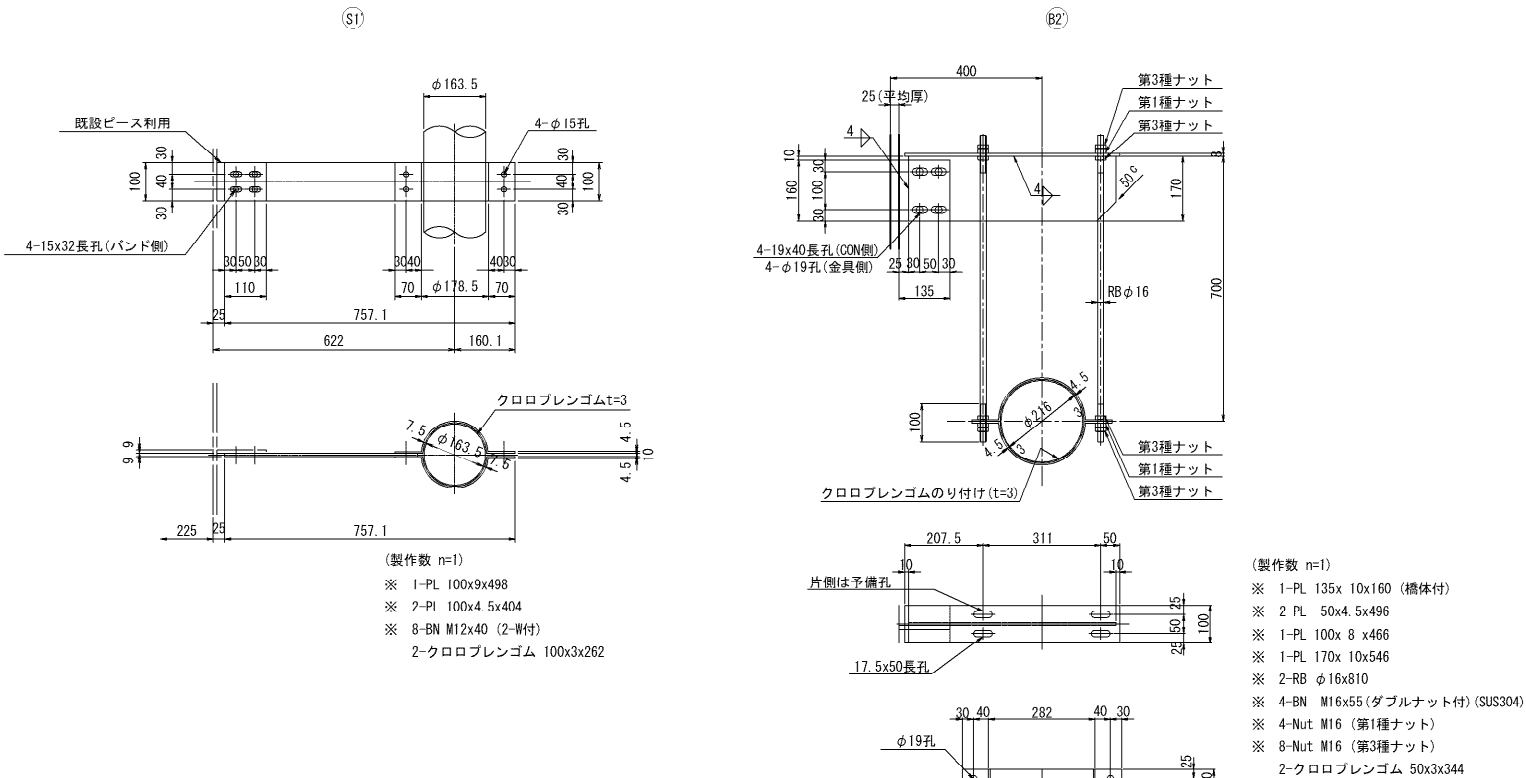
新設図



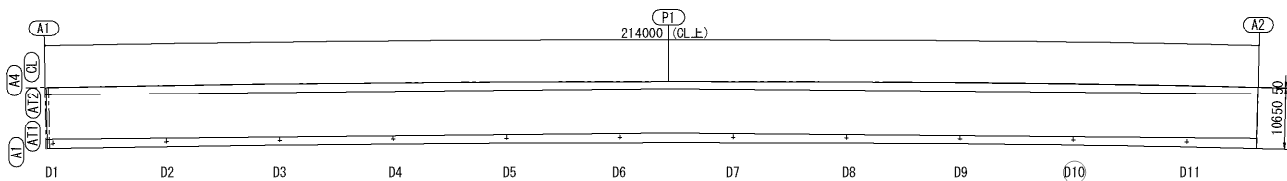
排水管詳細 S=1:20



取付金具詳細 S=1:20



位置図



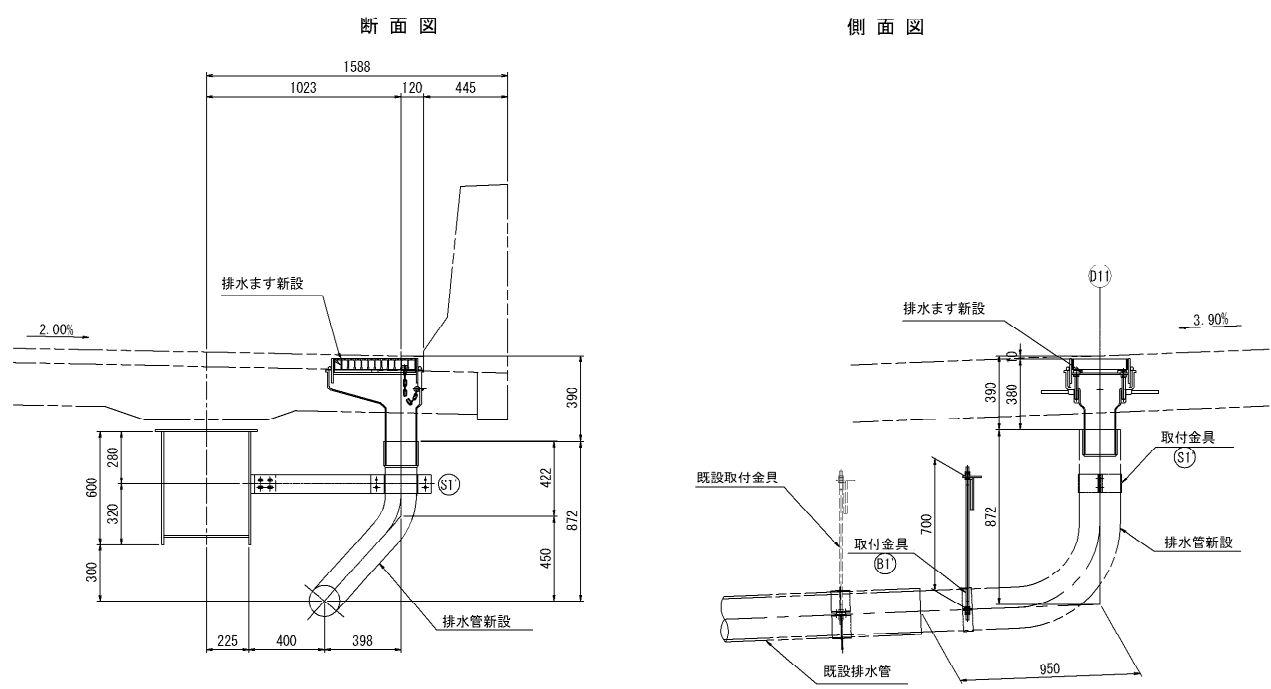
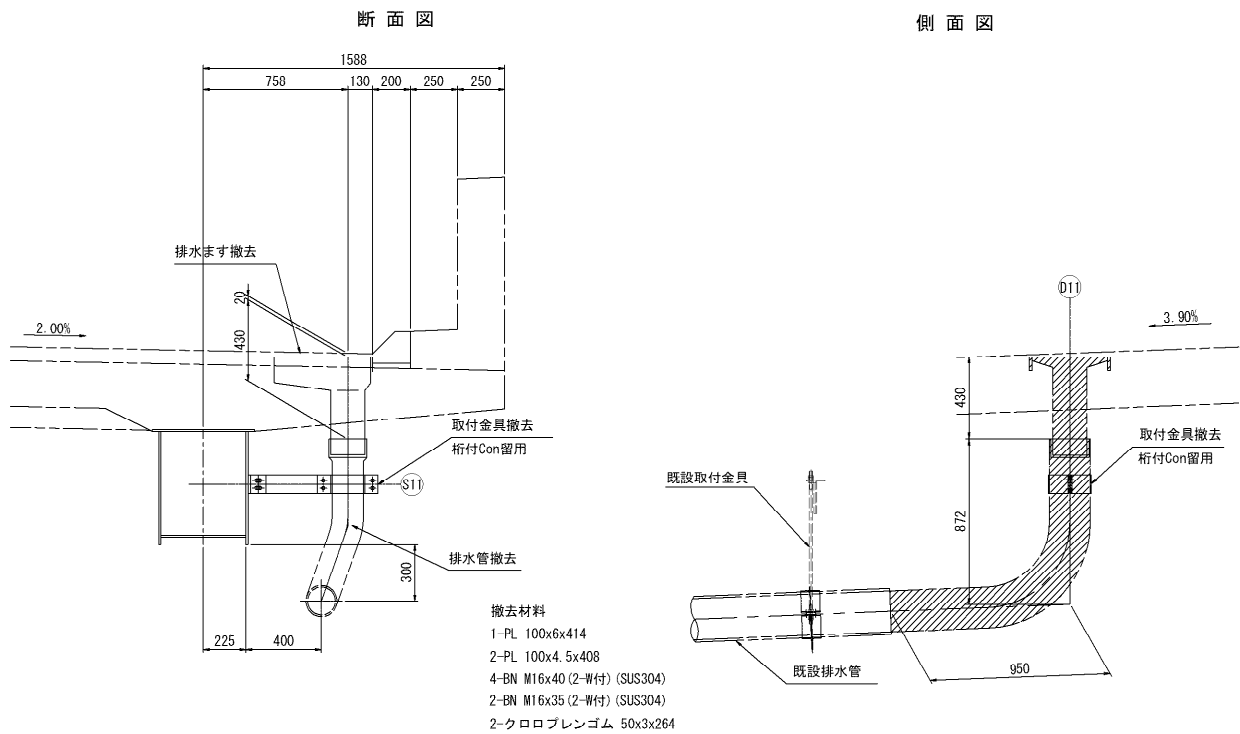
注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 排水装置詳細図(その10) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	12/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

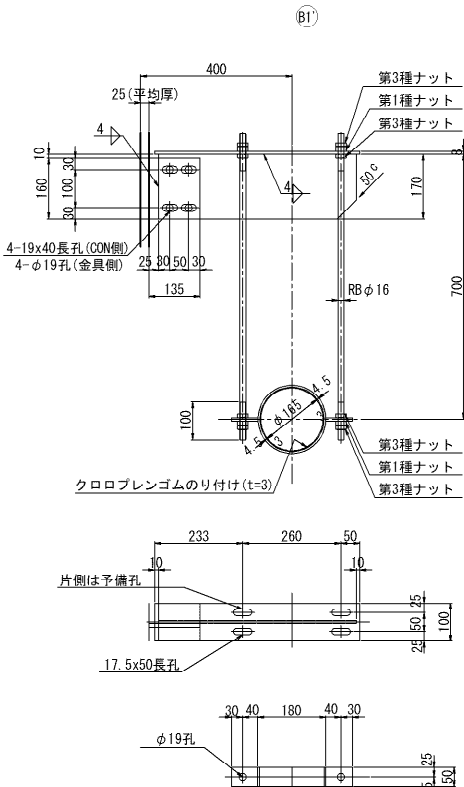
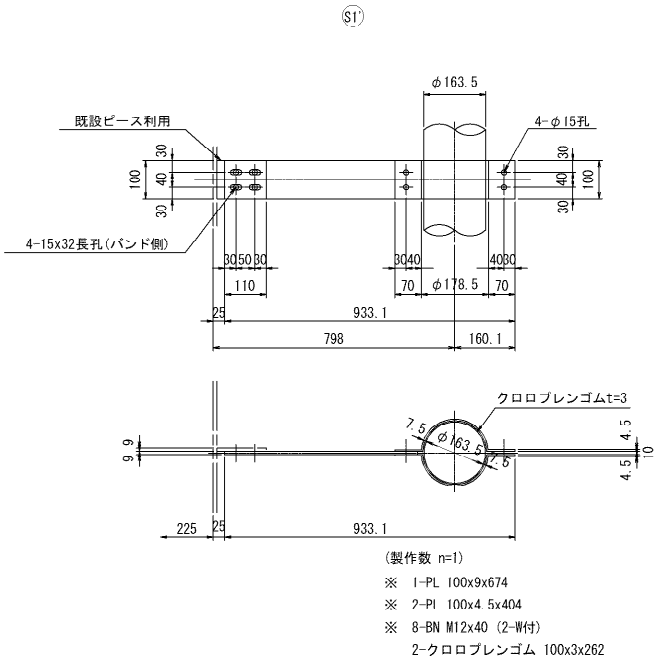
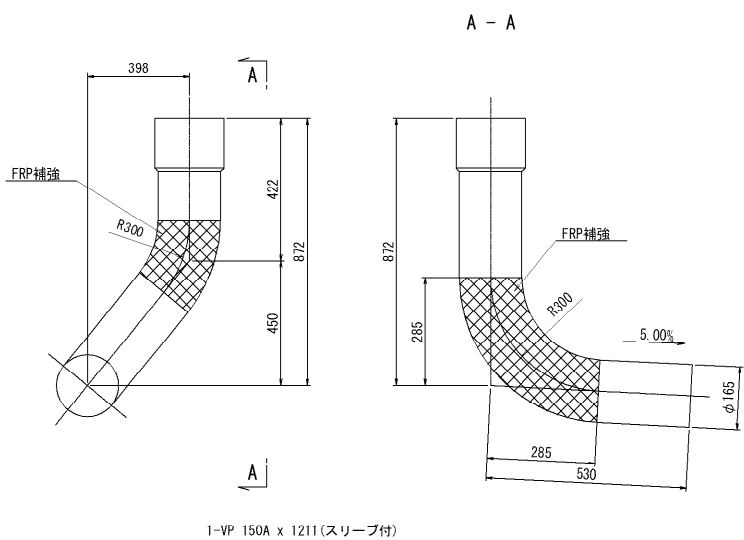
撤去図

新設図



排水管詳細 S=1:20

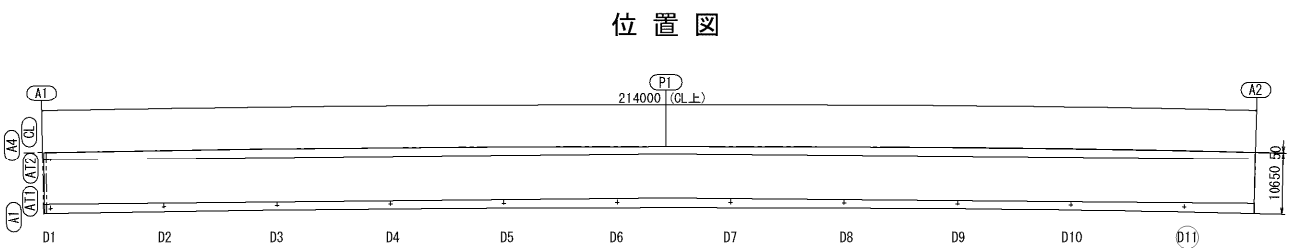
取付金具詳細 S=1:20

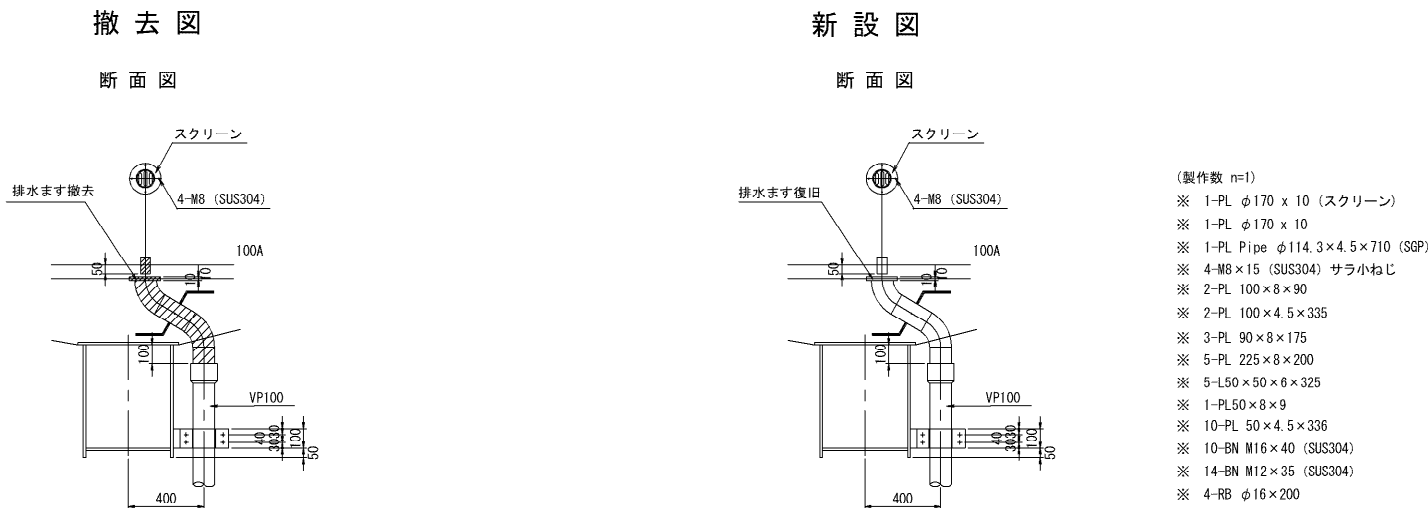


注記

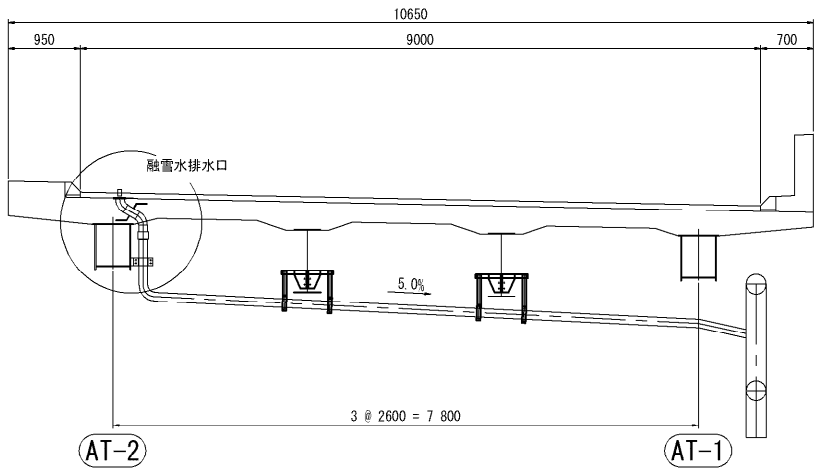
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 排水装置詳細図(その11)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	13/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

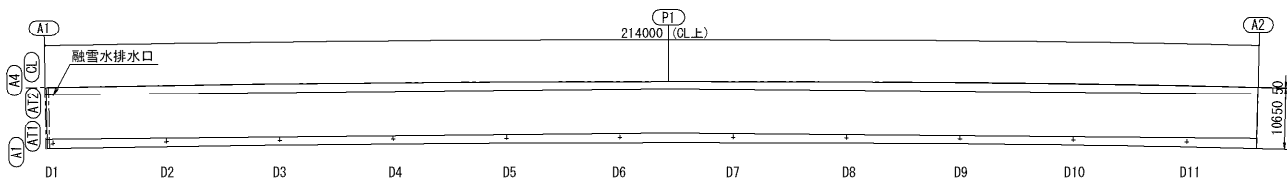




融雪水排水口部断面図 S=1:100
(撤去時)



位置図

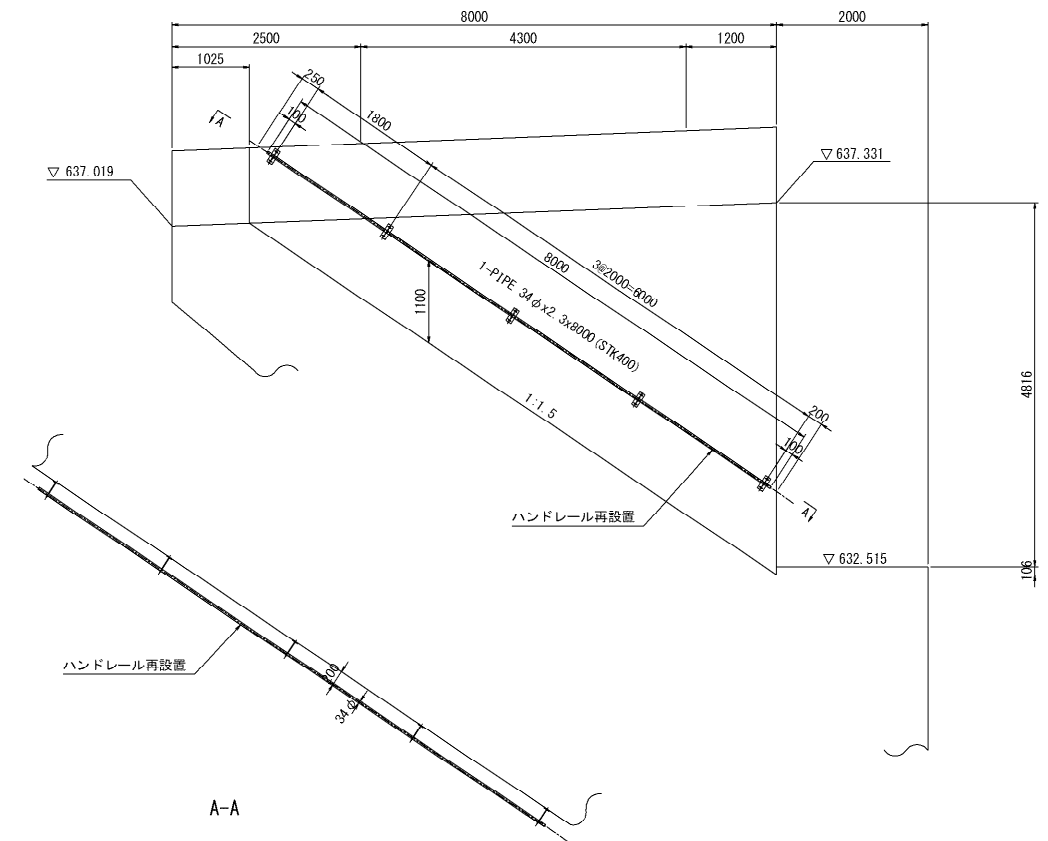


注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融垂鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 H0ZT77とする。但し、ボルト・ナット類はIDZT49とする。

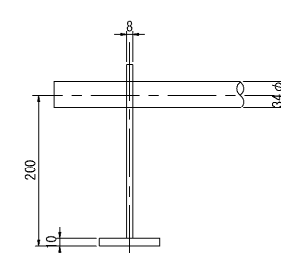
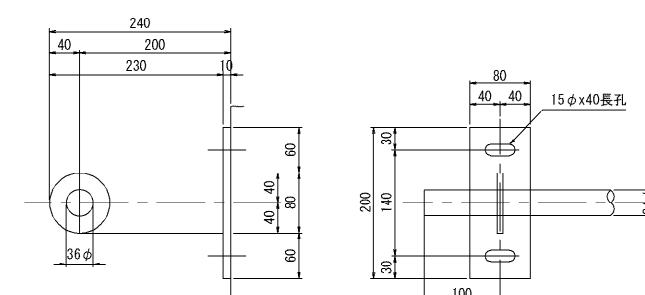
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	融雪水排水口詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	14/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

スロープ手摺

スロープ手摺

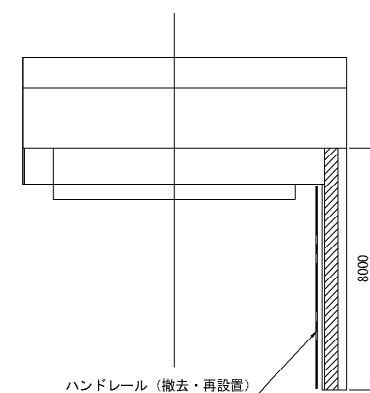


撤去・再設置 取付金具 S=1:10
(設置数:5)



取付金具(設置) (1箇所当たり)
 1-PL 80x8x230 (SS400)
 1-PL 80x10x200 (SS400)
 2-BN M12x55 (1-W付) (SS400)
 2-ネールアンカー M12x50 (SS400)
 ※ アンカー部のみ新規部材とする。

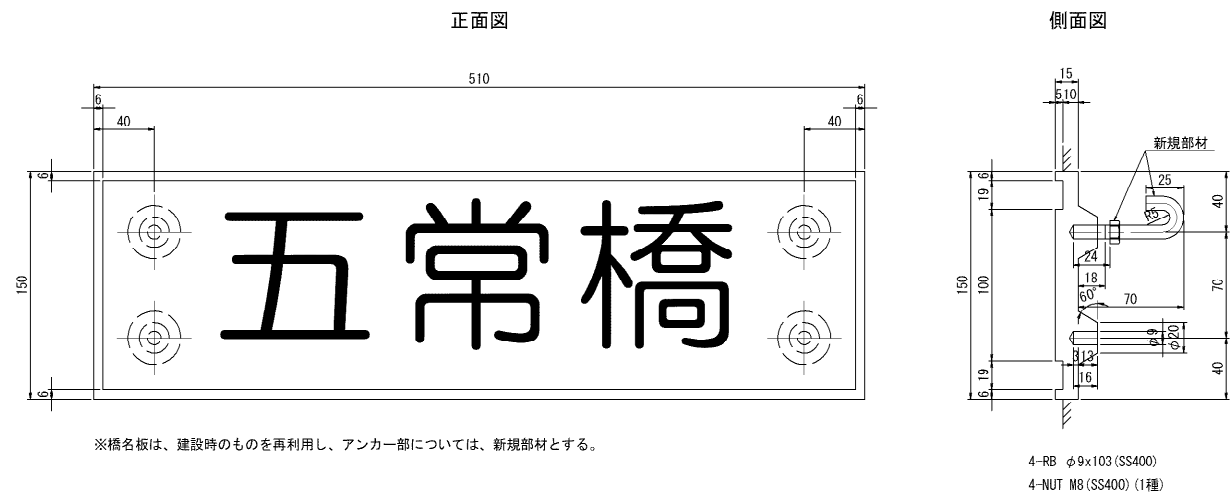
位置図



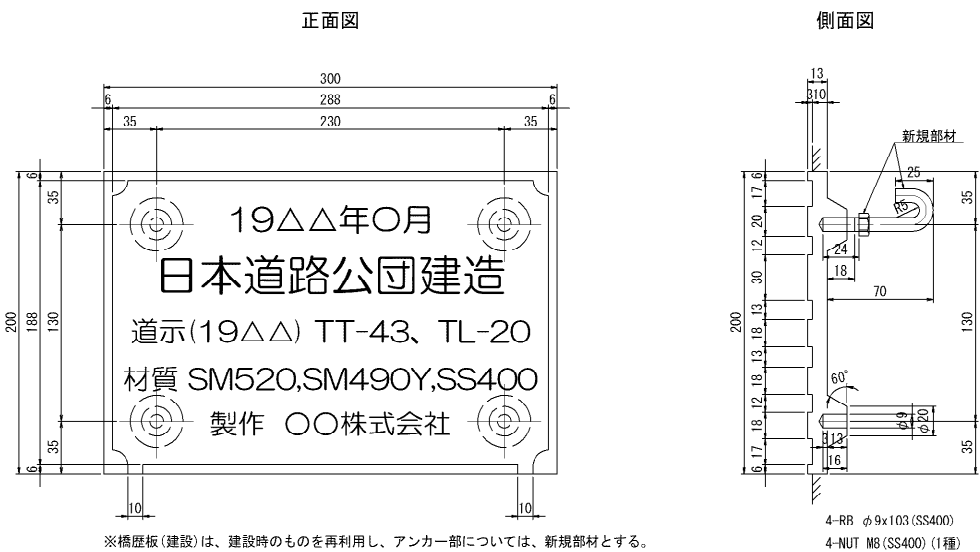
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛メッキの付着量は、JIS H8641 HDZT77 とする。
尚、ボルト・ナットの付着量は、HDZT49とする。
 3. 復旧部材は、現場実測確認のうえ製作を行うこと。

長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 設 取 替 工 事			
図面の種類	五常橋(上り線) 撤去設置工 概略路詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	15/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルティング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事 務 所 名	長 野 工 事 事 務 所		

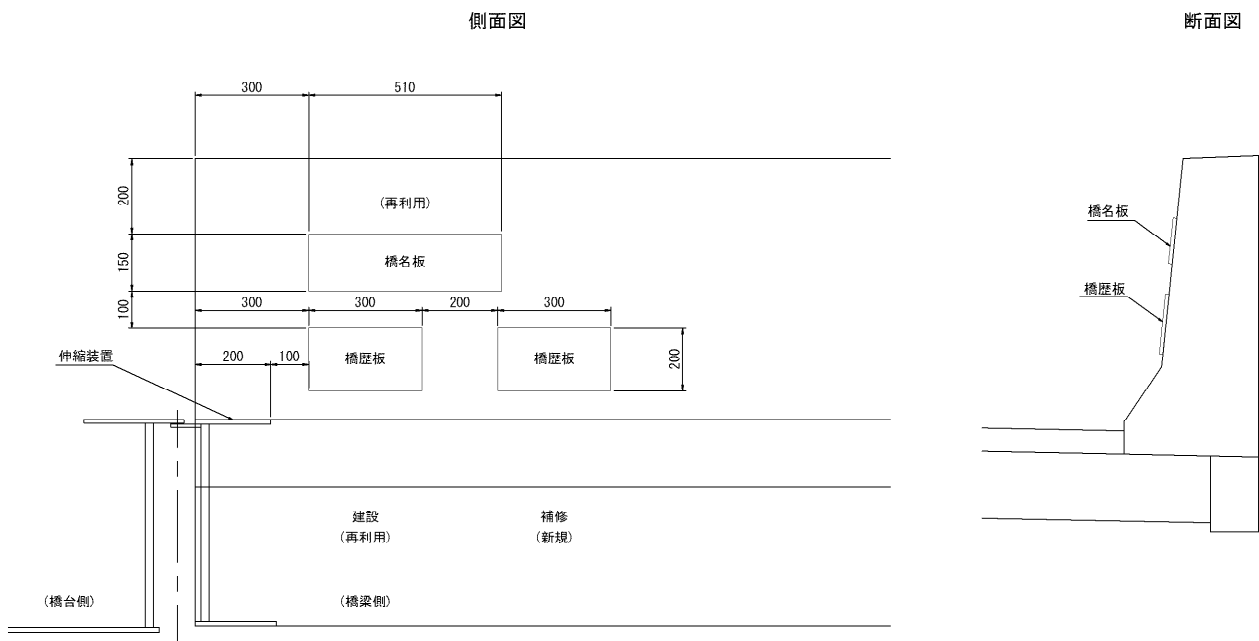
橋名板(撤去・設置)
(撤去・再設置)



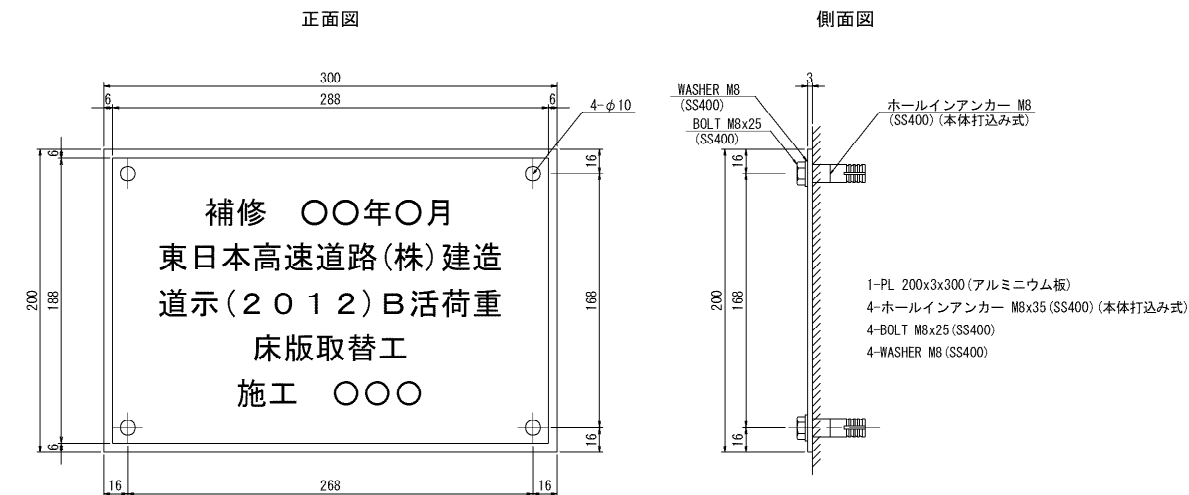
橋歴板(建設)
(撤去・再設置)



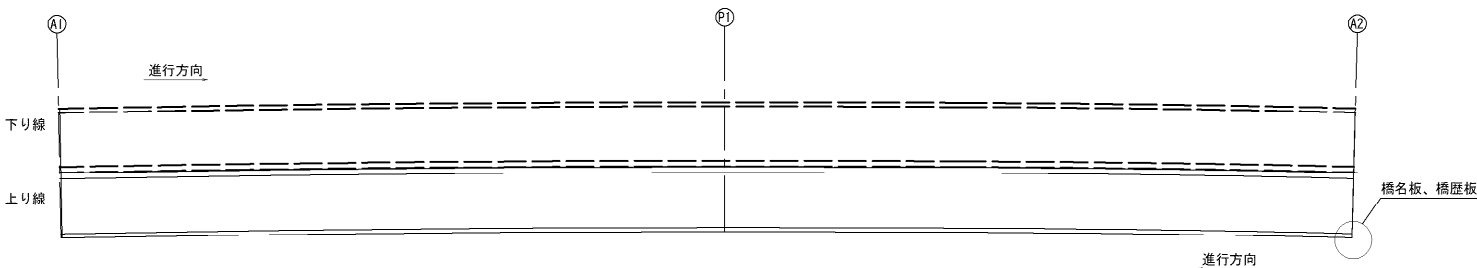
取付位置図 S=1:20



橋歴板(補修)
(新設)製作数: 1



設置位置



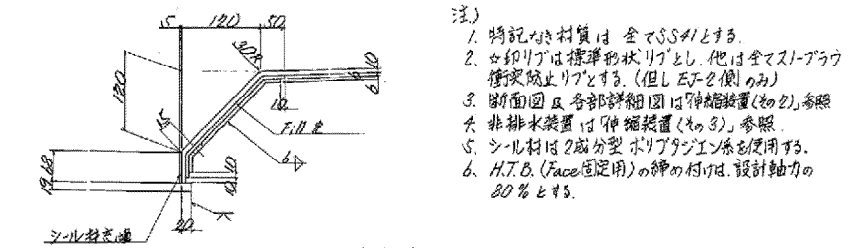
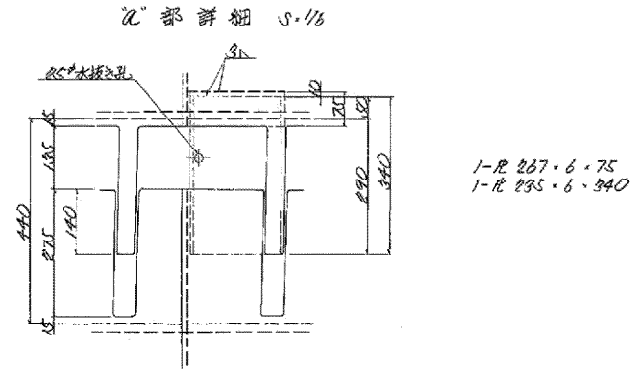
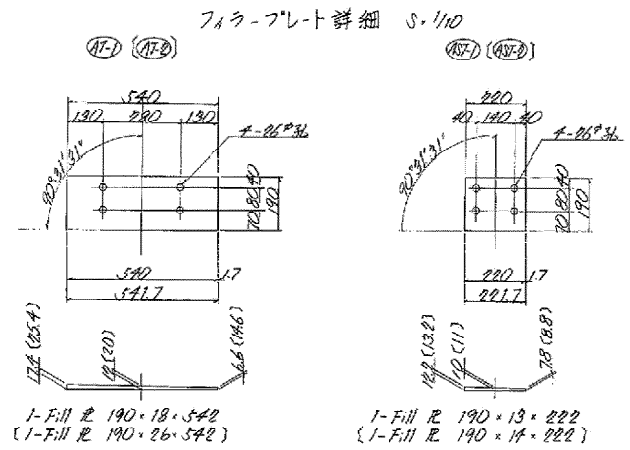
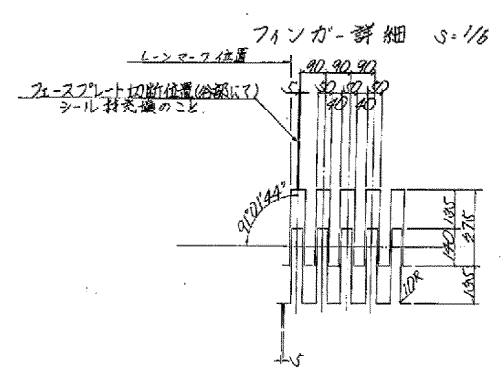
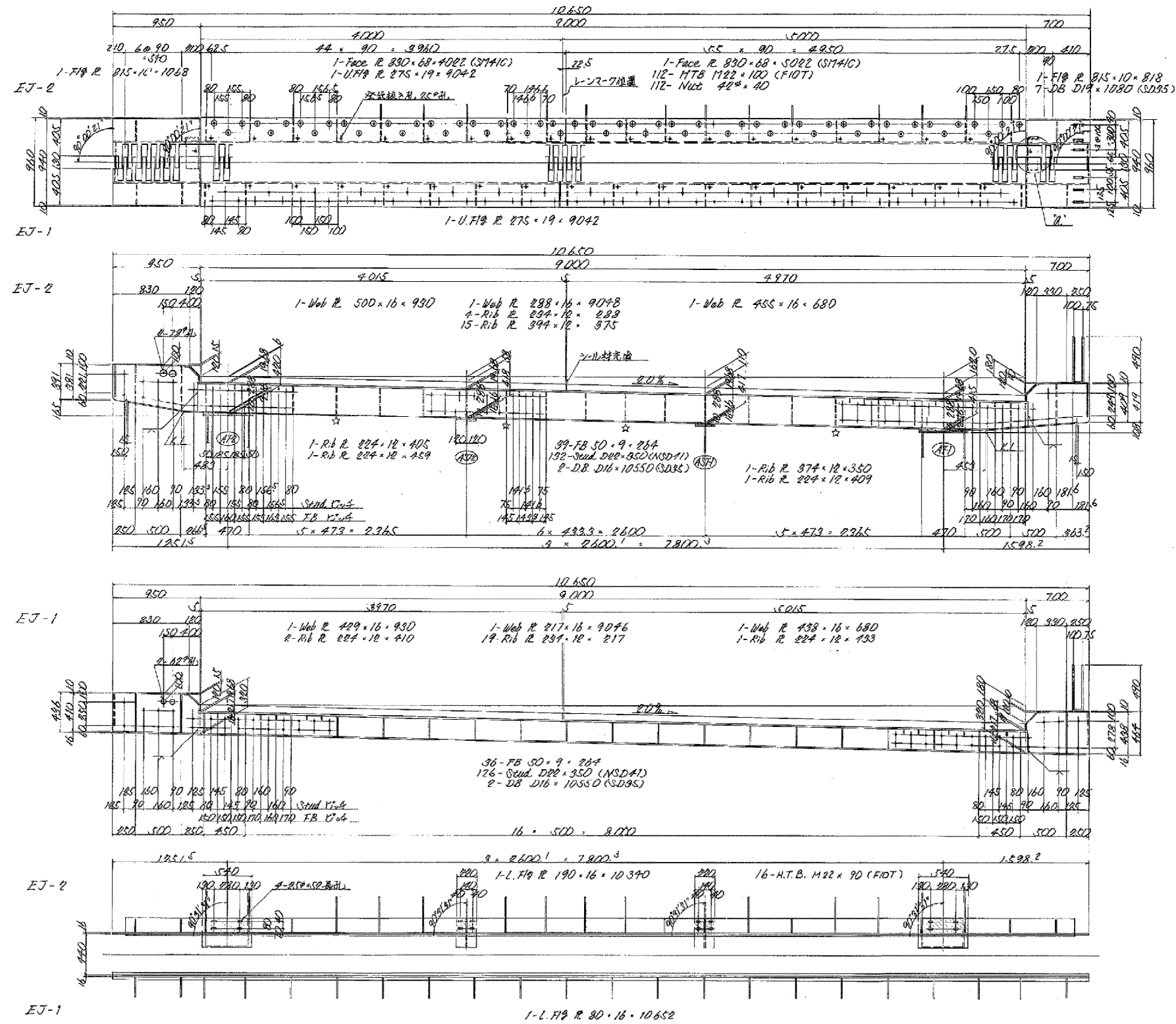
注記

- 橋歴板の材質は、JIS H 4000 A 5052 P (アルミニウム板)とする。
- 橋歴板の字体はゴシックとする。

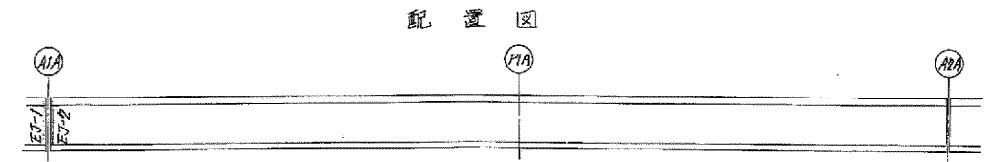
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	橋名板・橋歴板(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	16/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その1)(参考図)

A1橋台



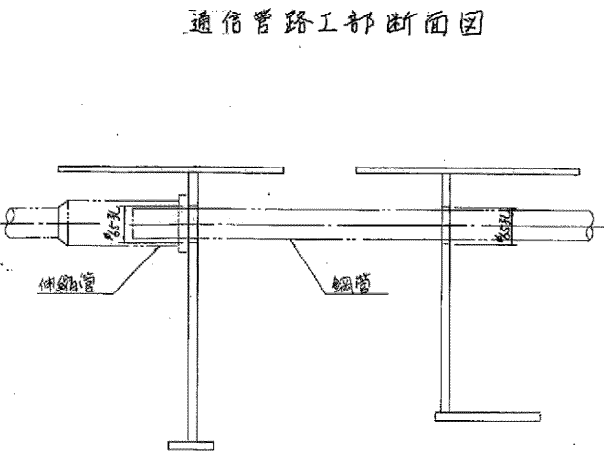
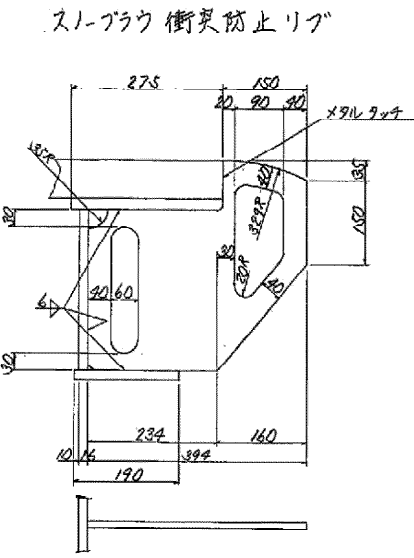
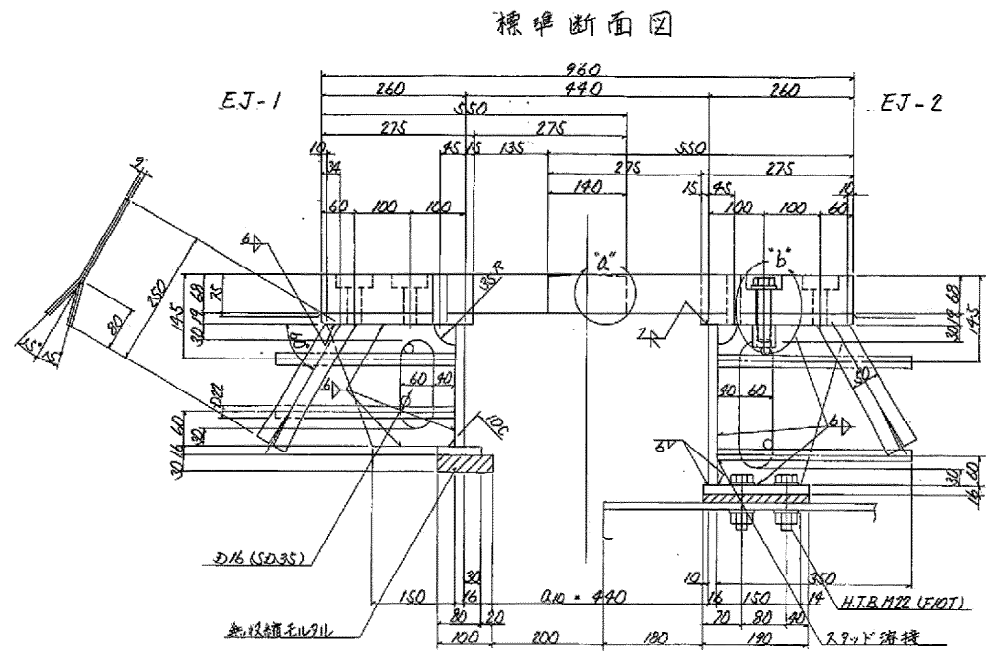
項目	単位	上り線	備考
既設伸縮装置	kg	10,159	建設時完成図より



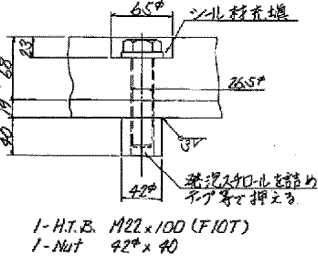
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その1)(参考図)		
縮尺	-	図面番号	17/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その2)(参考図)

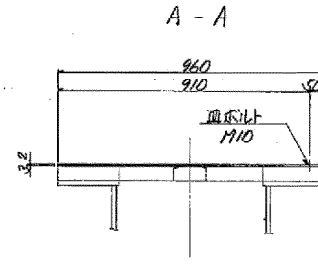
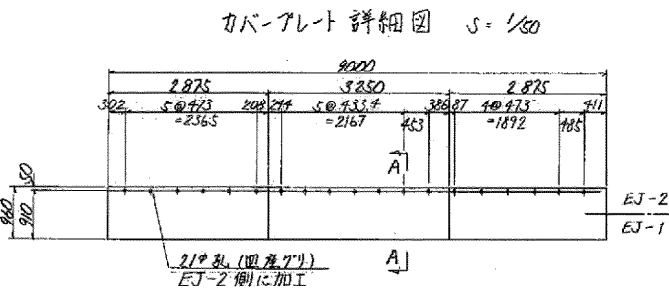
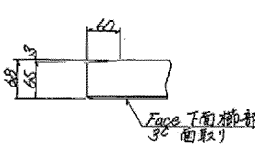
A1橋台



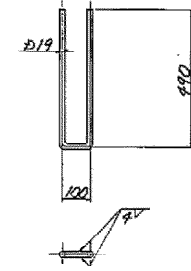
"b"部詳細 S=1/3



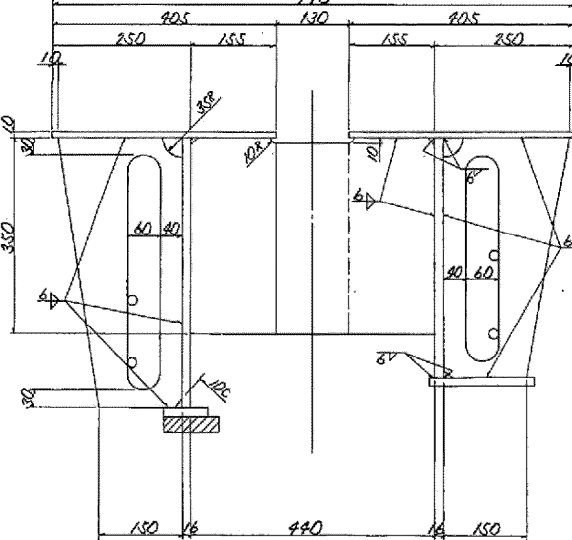
"a"部詳細



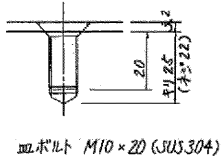
スラグアンカー詳細図 S=1/10



地覆部断面図



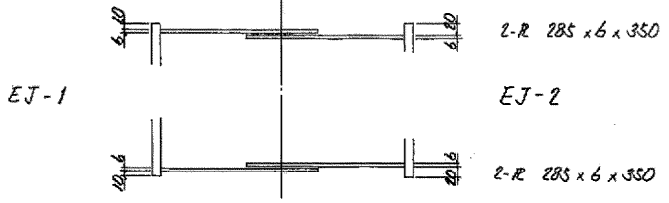
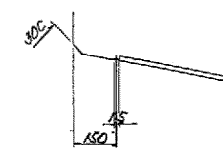
2-R 960 x 3.2 x 2.875 19-皿ボルト M10 x 20
1-R 960 x 3.2 x 3.250



掘付け時におけるウェジ遊間

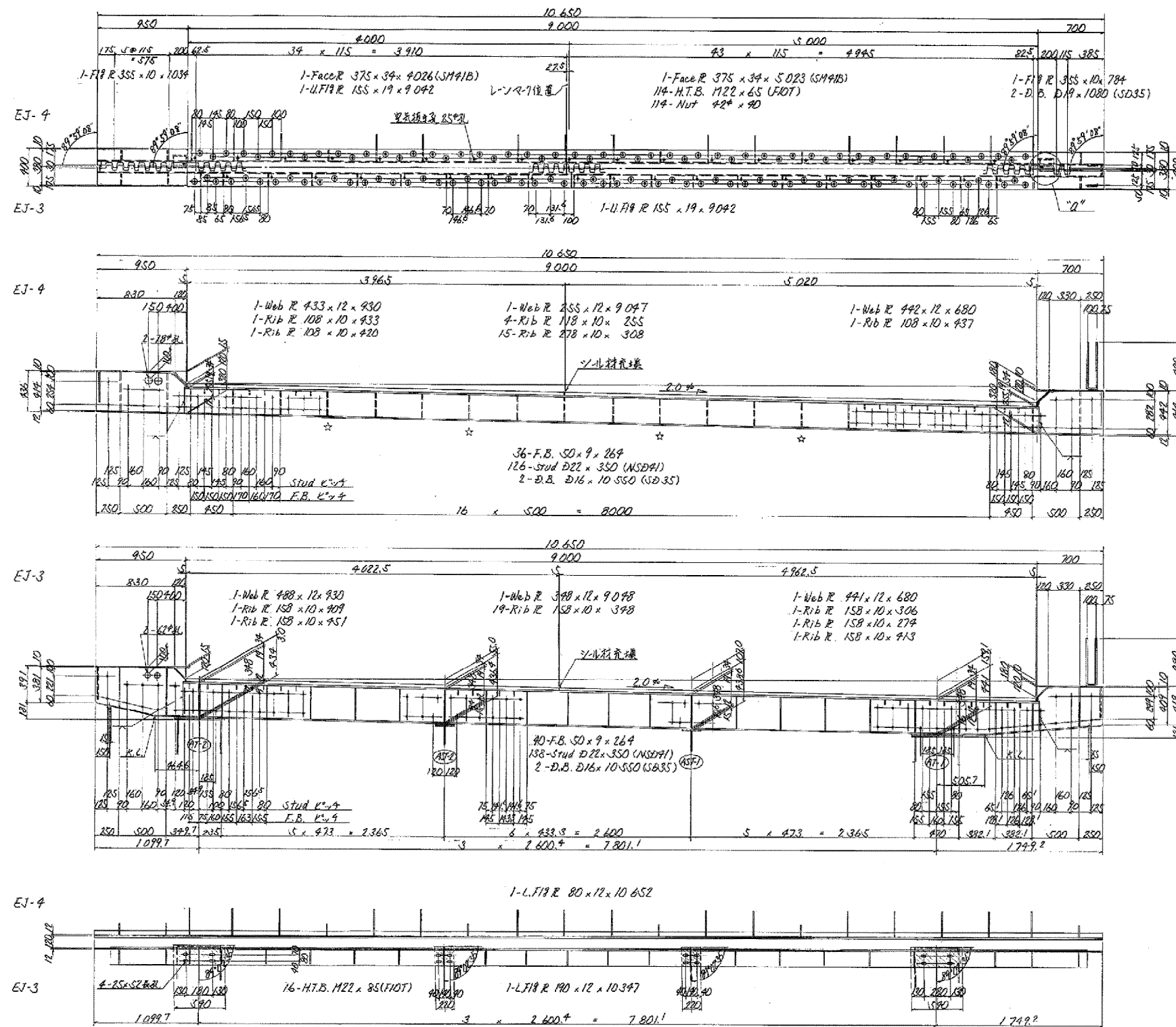
掘付け時期	Δ (mm)
春 (+10℃)	Δ10 = 440
夏 (+30℃)	Δ10 = 342
秋 (+10℃)	Δ10 = 440
冬 (-20℃)	Δ-20 = 536
シールド掘削時(-20℃)	Δ-20 = 536

水切り詳細図 S=1/10

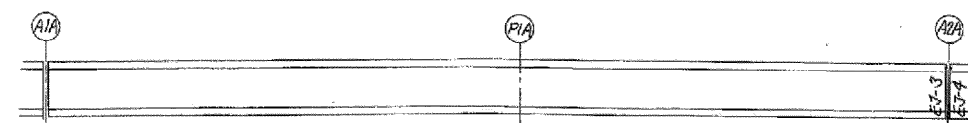


注)
1. 特記材料は全てSS41とする。
2. 排水装置は「伸縮装置(その3)」参照。
3. シールドは2成分型リタゲン系を使用。
4. H.T.B. (Face固定用)の締め付けは、設計軸力の80%とする。

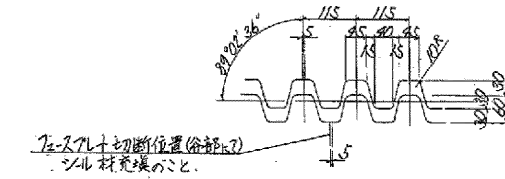
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その2)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	18/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



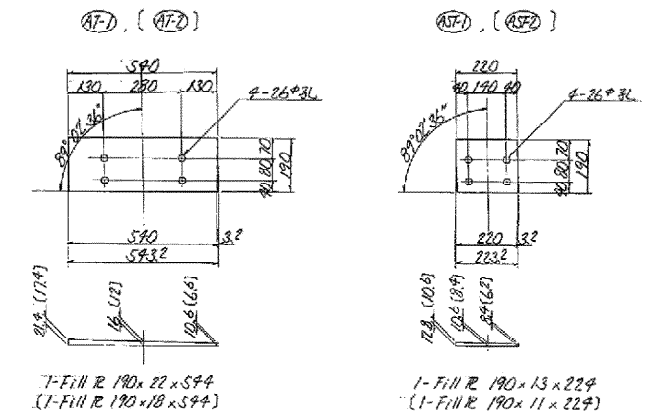
配置図



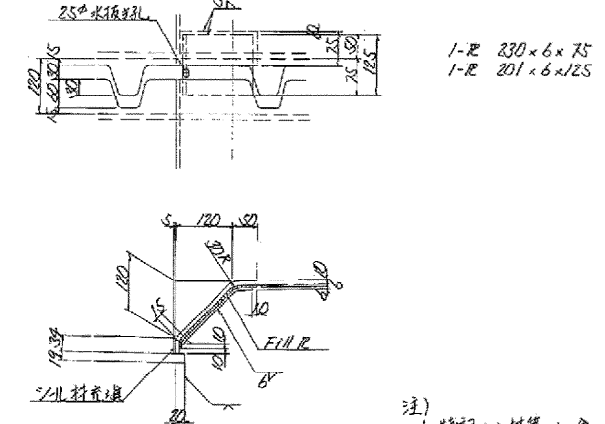
フィンガ-詳細 $S = 1/6$



フラット + 詳細 $S = 1/10$



"a"部詳細 $\psi = 1/6$

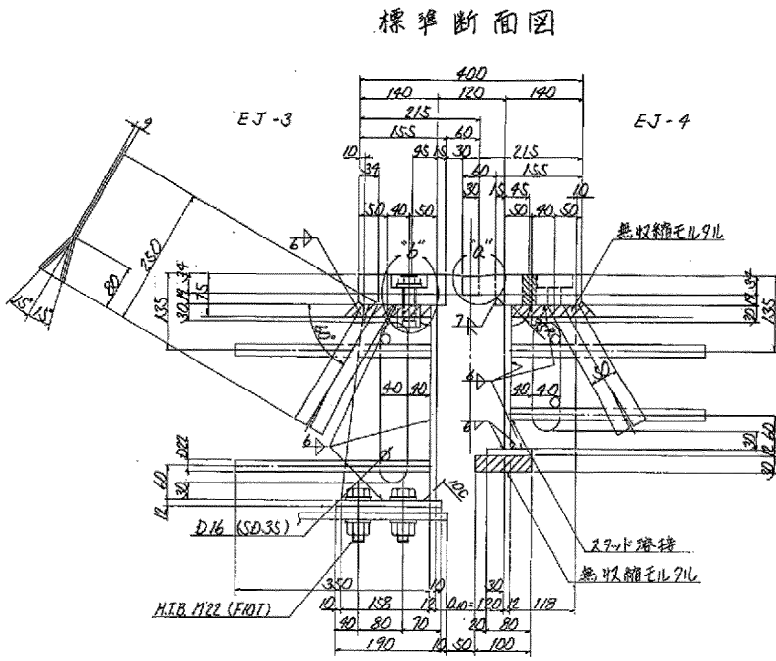


- 注)
1. 特記の材質は、全てSS41とする。
 2. ☆印は標準形状リフト、他は金メッキ加工
標準形状リフトとする。(但し、左側の品)
 3. 断面図と各部詳細図は、随組設置(物5)参照。
 4. 非排水装置は、随組設置(物6)。省略。
 5. シール材は、2成分型シリコン系を使用す。
 6. H.T.B. (Face固定用)の糊の付与は、設計軸心の
80%とする。

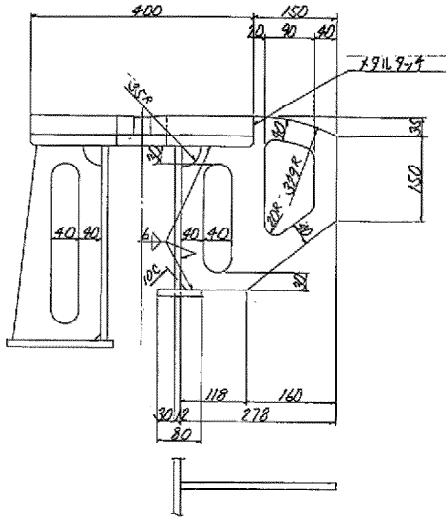
長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	撤去工 伸縮装置詳細図(その4)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	20/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その5)(参考図)

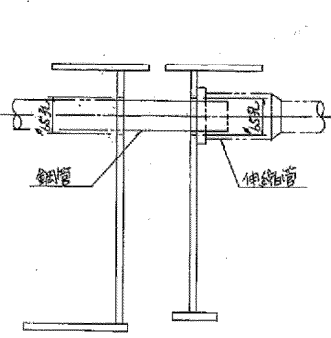
A2橋台



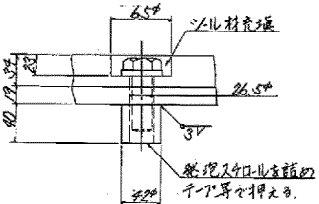
スノーブライク衝突防止リブ



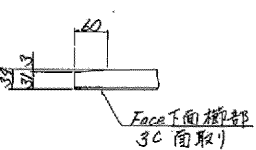
通信管路工部断面図



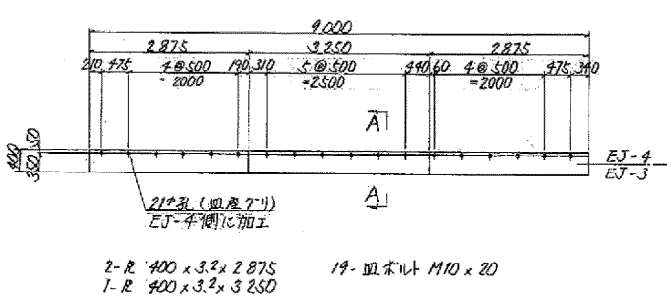
b'部詳細 S=1/3



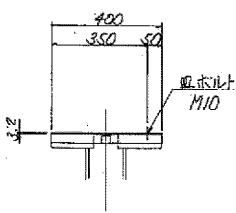
a'部詳細



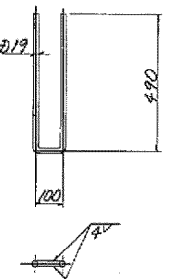
カバ-プレート詳細図 S=1/50



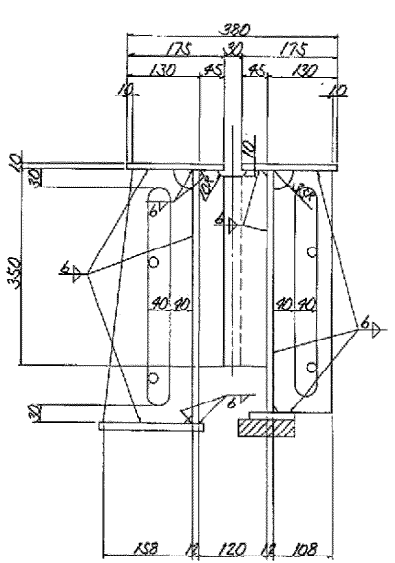
A-A



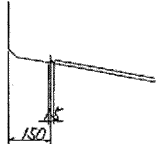
スライダ-詳細図 S=1/10



地覆部断面図

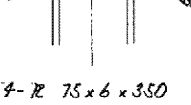


水切り詳細図 S=1/10



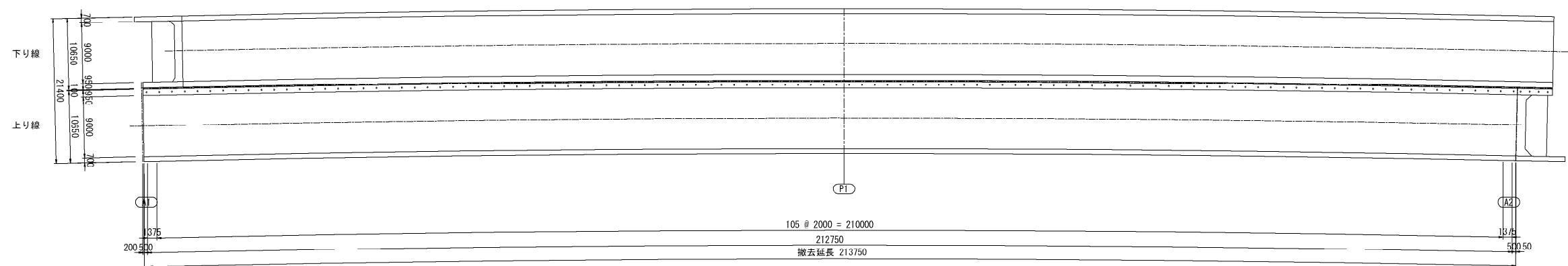
- 注)
- 1. 特記材料は全てSD35とする。
 - 2. 非排水装置は伸縮装置(その6)を参照。
 - 3. シル材は2成分型ポリウレタン系を使用。
 - 4. H.T.B. (Face固定用)の締め付けは設計耐力の80%とする。

EJ-3 EJ-4

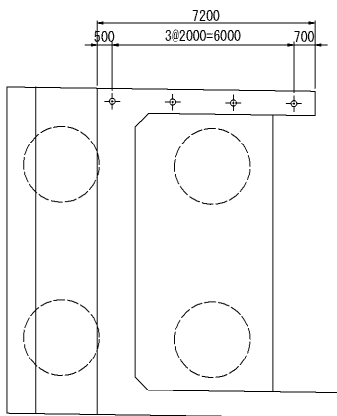


長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その5)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	21/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図

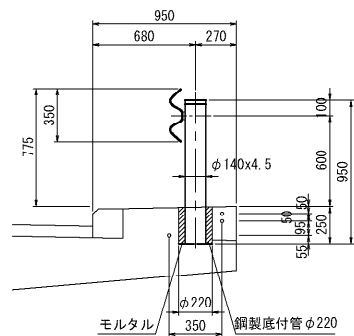


詳細

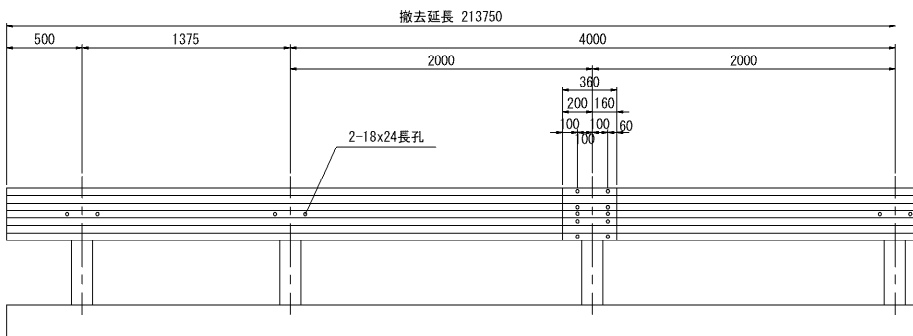


A2橋台

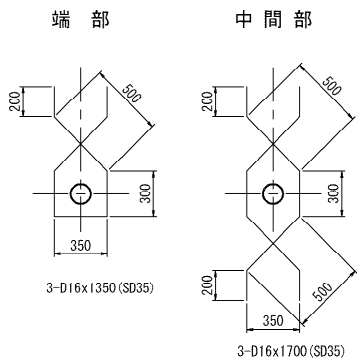
断面図 S=1:50



側面図 S=1:50

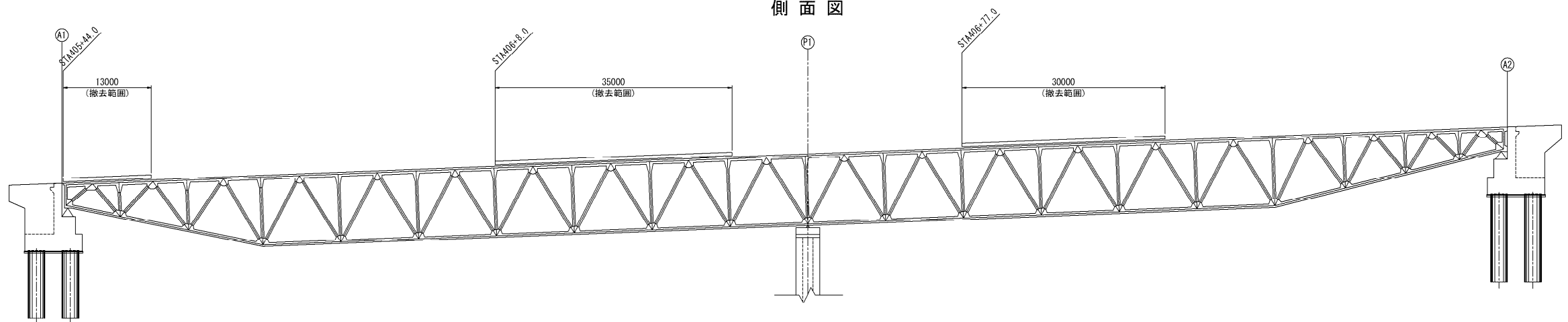


ポスト補強配筋図 S=1:50

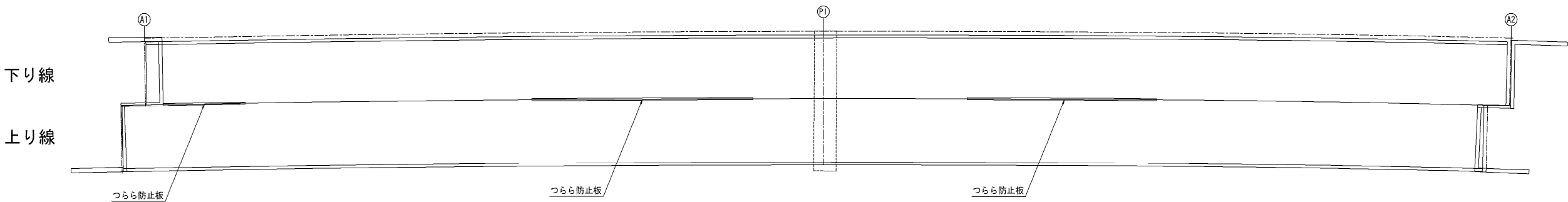


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	撤去工 防護柵詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	23/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

側面図

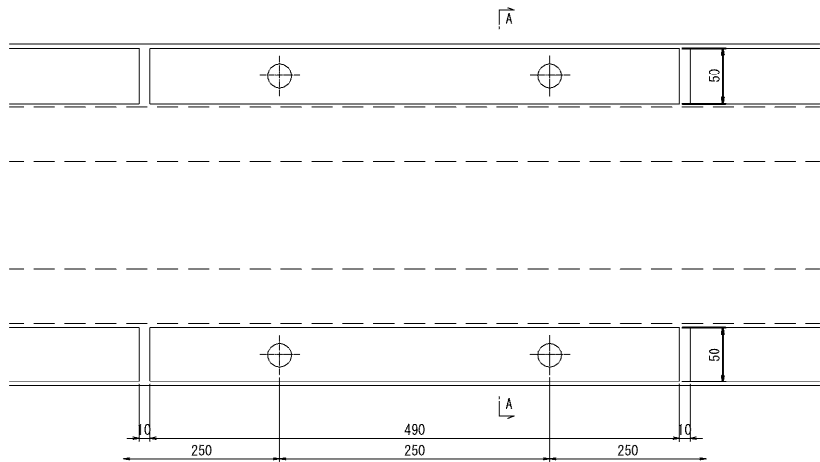


平面図



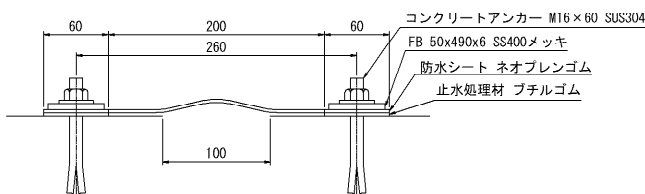
詳細図

S=1:7



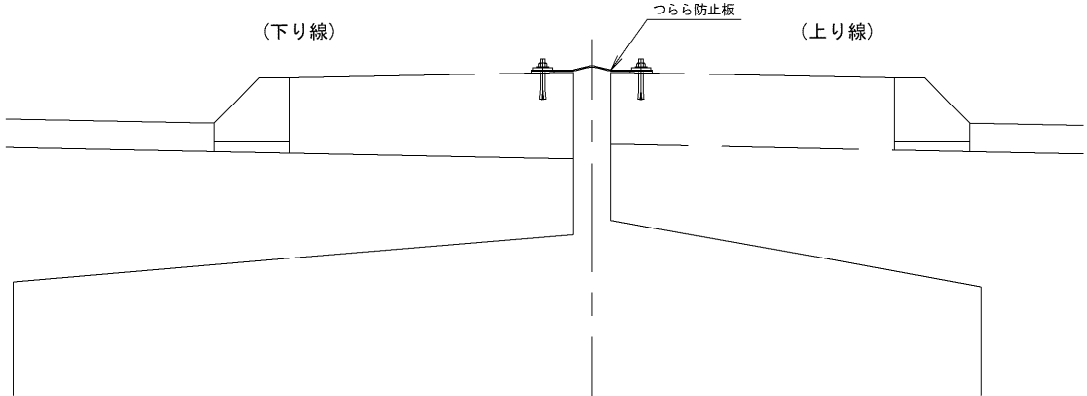
A - A

S=1:7



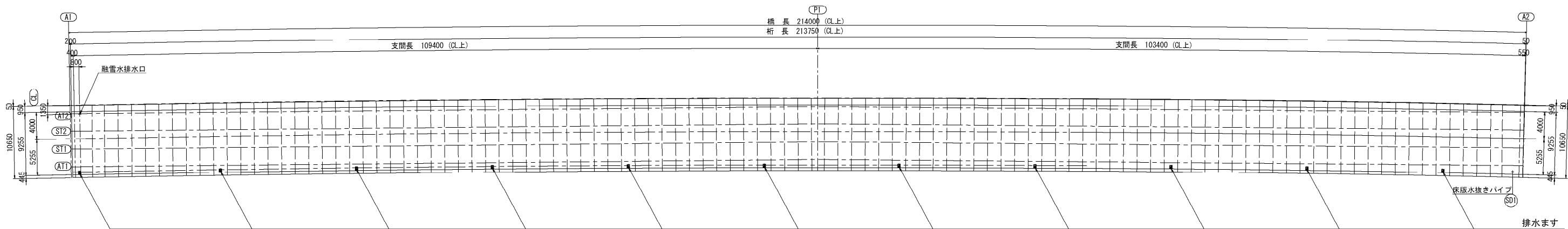
取付位置

S=1:20



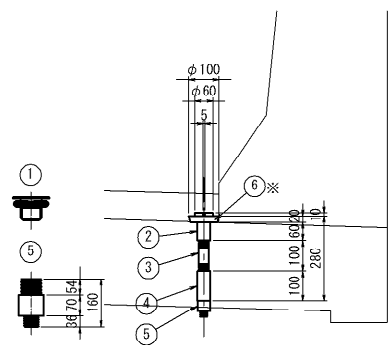
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	撤去工 つらら防止板詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	24/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

平面図



床版水抜きパイプ詳細図 S=1:25

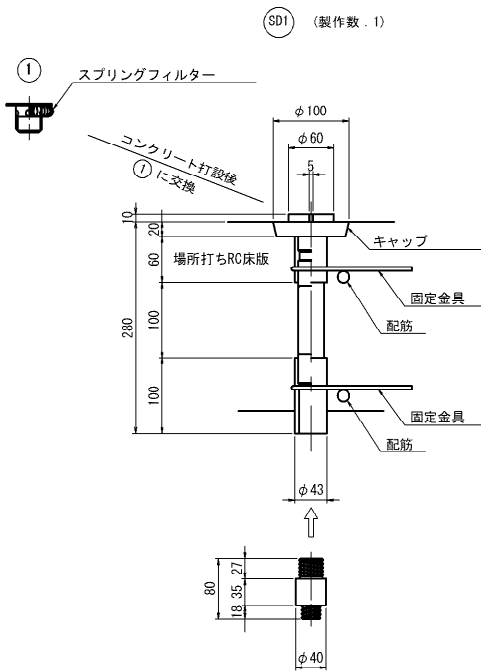
※コンクリート打設後 ①を設置。



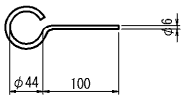
床版水抜きパイプ材料表

部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付(φ60×2.3t)
②	φ42.7×60	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
③	φ34.0×100	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
④	φ42.7×100	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0×80	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性
固定金具	φ6x237	SR235
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター(SUS304)

床版水抜きパイプ構成図 S=1:10



固定金具 S=1:10



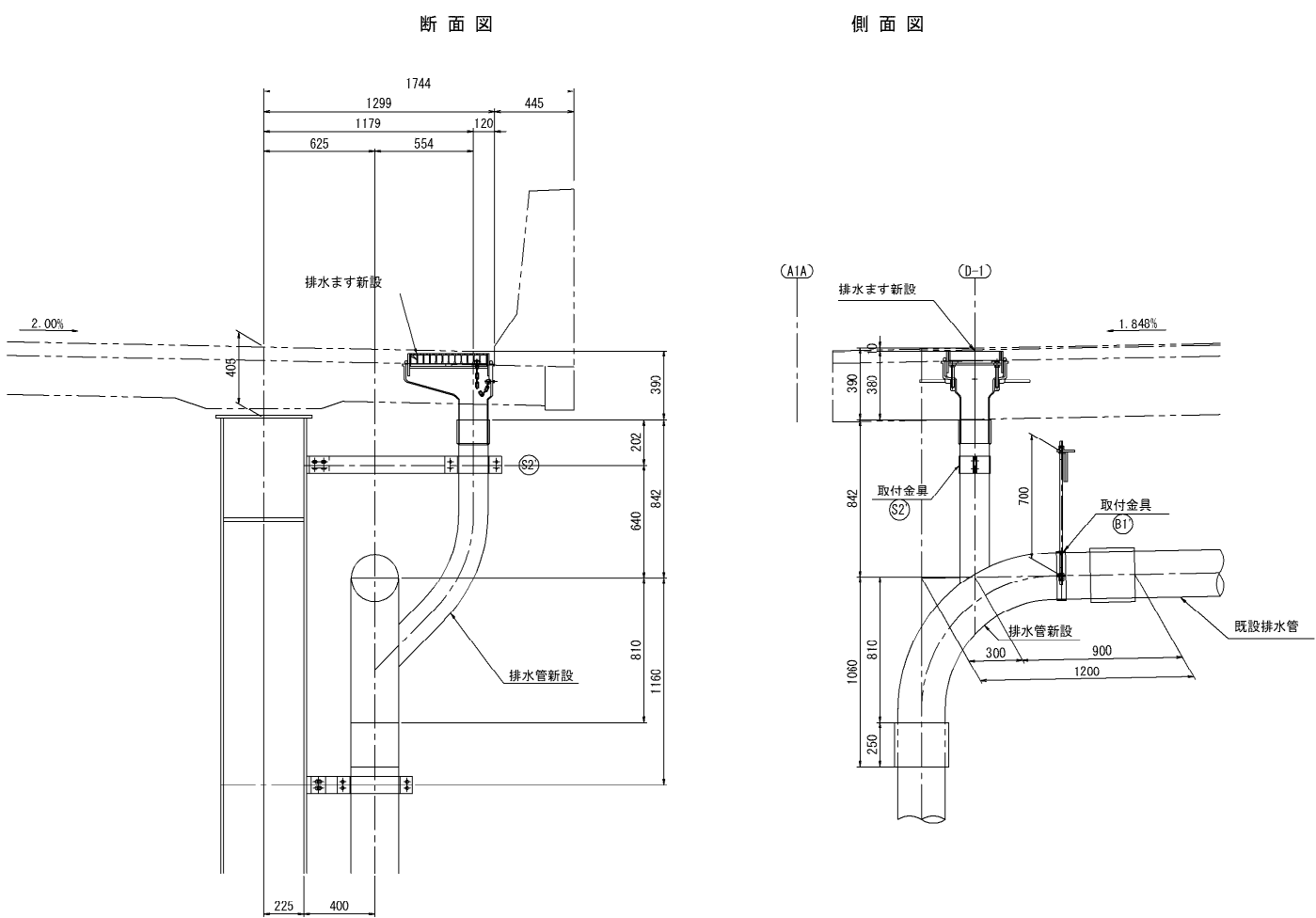
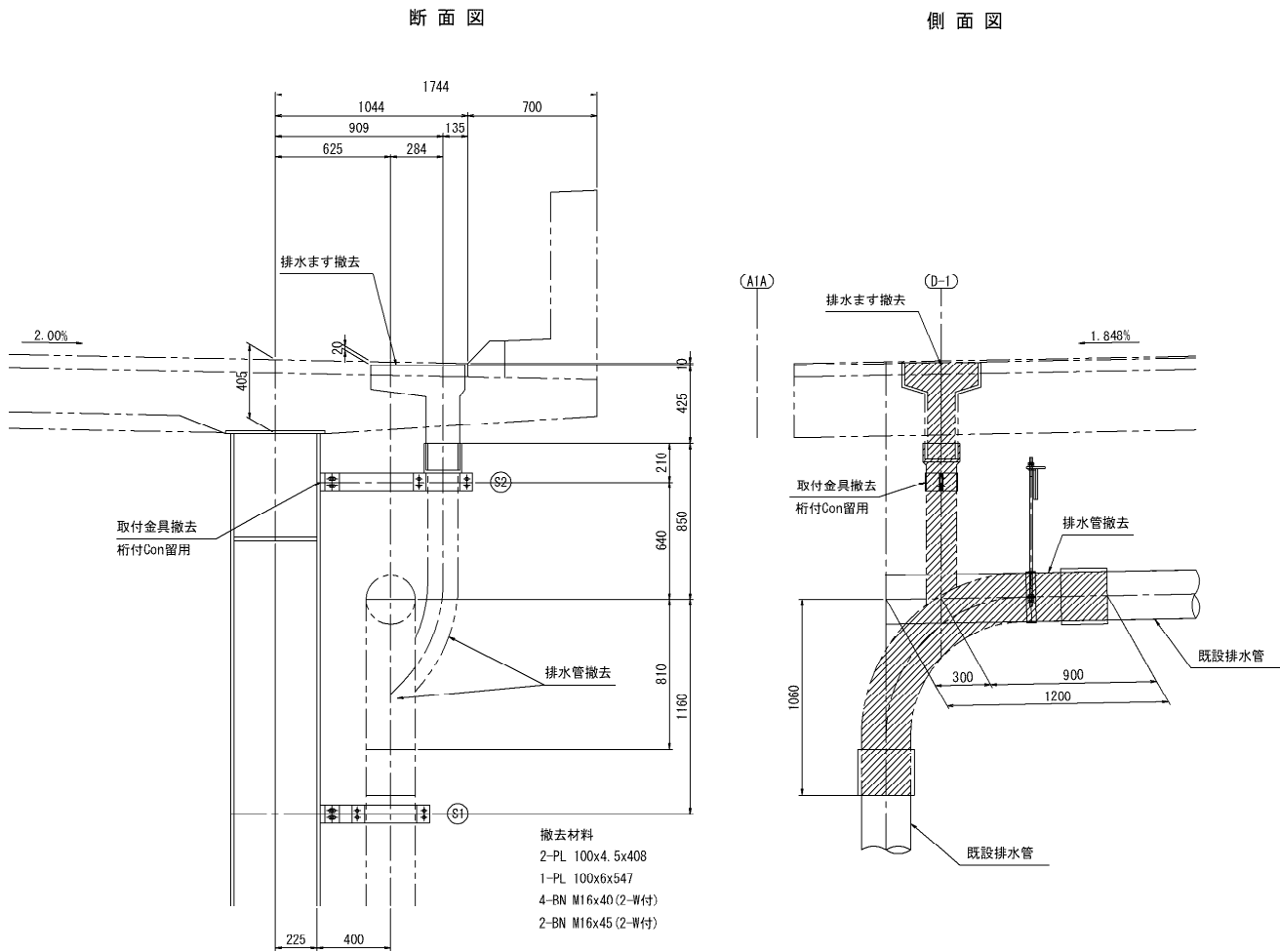
2-RB φ6x237 (SR235)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)		
	床版水抜きパイプ詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	25/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋
(床版取替)

撤去図

新設図

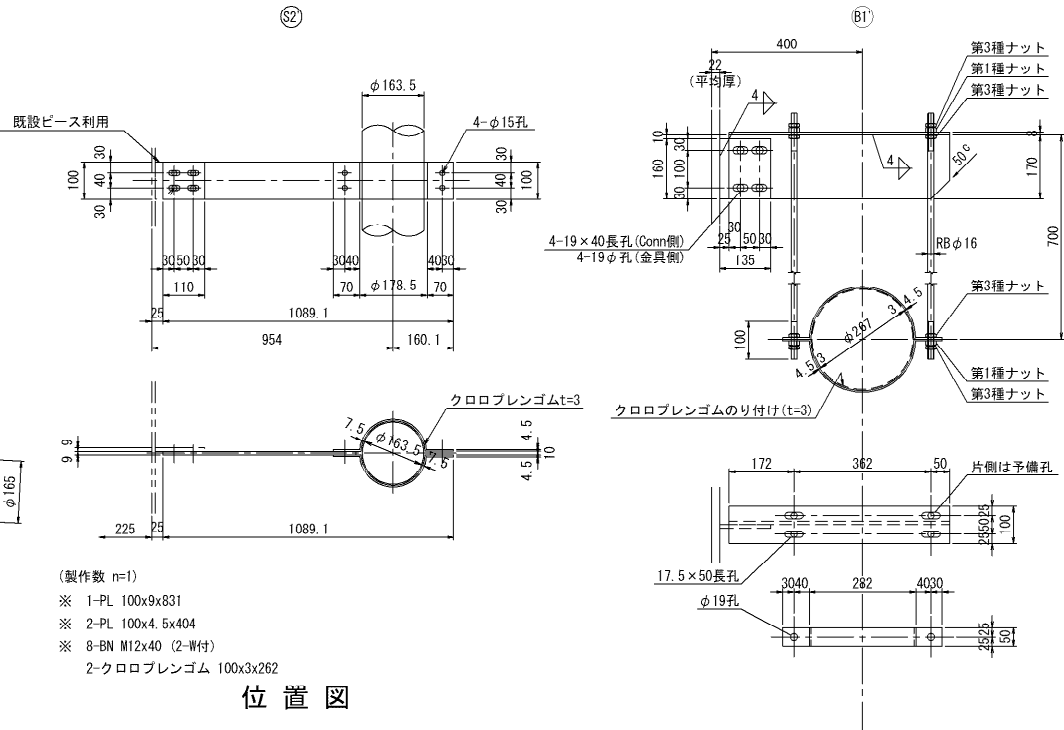
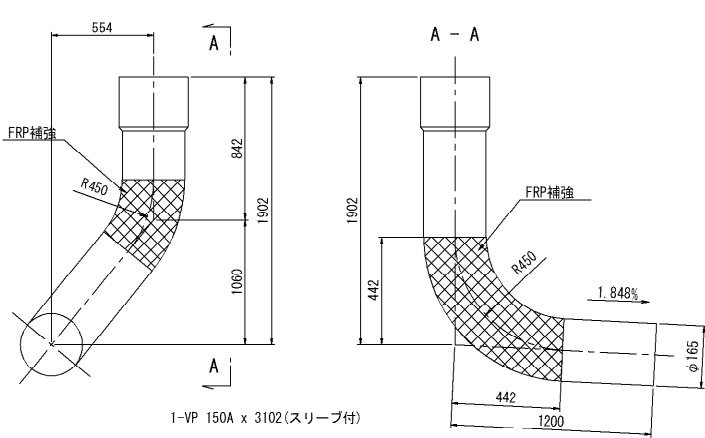


取付金具詳細 S=1:20

材料表

名 称	種 別	単位	D-1	D-2	D-3	D-4	備 考		
流水延長		m	3.102	2.360	2.376	2.388			
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	加工管		
排水樹	380×520	個	1	1	1	1			
取付金具	Ⓢ2	個	1	1	1	1			
	B1'	個	1	1	1	1			
	B2'	個	-	-	-	-			
	B3'	個	-	-	-	-			
名 称	種 別	単位	D-5	D-6	D-7	D-8	備 考		
流水延長		m	2.293	2.291	2.282	1.918			
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	加工管		
排水樹	380×520	個	1	1	1	1			
取付金具	Ⓢ2	個	1	1	1	1			
	B1'	個	-	-	-	-			
	B2'	個	1	1	1	-			
	B3'	個	-	-	-	1			
名 称	種 別	単位	D-9	D-10	D-11	D-12	備 考		
流水延長		m	3.191	2.369	2.389	2.403			
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	加工管		
排水樹	380×520	個	1	1	1	1			
取付金具	Ⓢ2	個	1	1	1	1			
	B1'	個	1	1	1	1			
	B2'	個	-	-	-	-			
	B3'	個	-	-	-	-			
名 称	種 別	単位	D-13	D-14	D-15	D-16	D-17	合 計	備 考
流水延長		m	2.408	2.308	2.300	2.287	1.919	40.584	
排水管	150A (VP)	個	1	1	1	1	1	17	加工管
排水樹	380×520	個	1	1	1	1	1	17	
取付金具	Ⓢ2	個	1	1	1	1	1	17	
	B1'	個	1	-	-	-	-	9	
	B2'	個	-	1	1	1	-	6	
	B3'	個	-	-	-	-	1	2	

排水管詳細 S=1:20



- (製作数 n=1)
- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
 - ※ 2-PL 50x4.5x576
 - ※ 1-PL 100x 8 x584
 - ※ 1-PL 170x 10x584
 - ※ 2-RB φ16x810
 - ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
 - ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
 - ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)
 - ククロブレングム 50x3x474

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
 - 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
 - ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

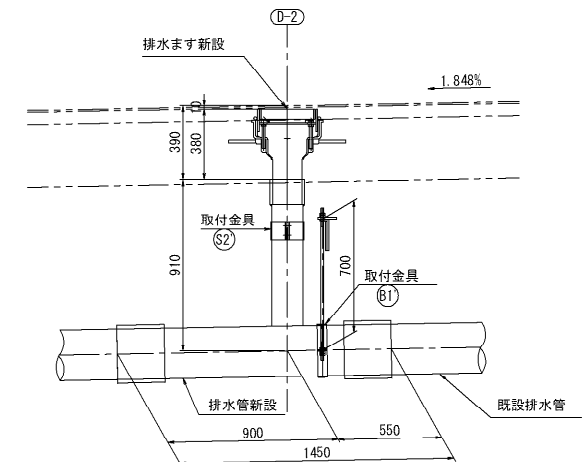
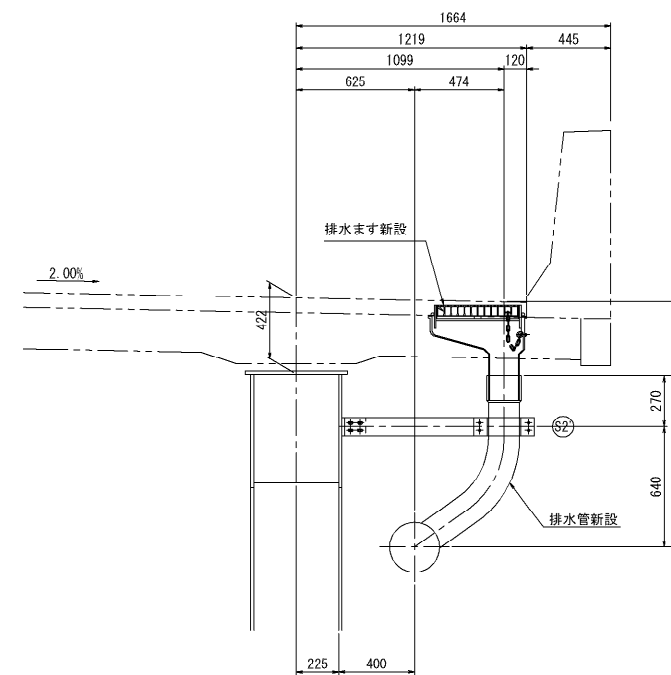
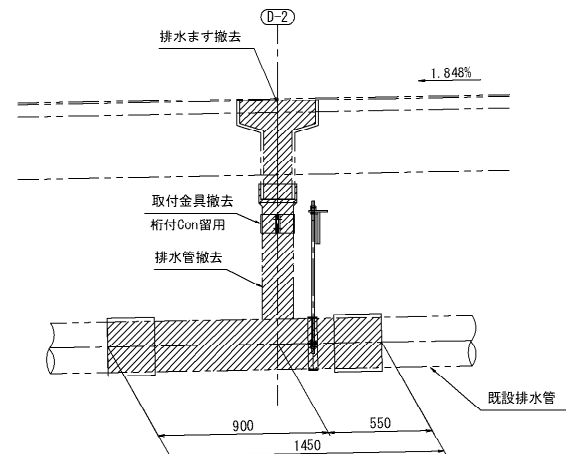
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	26/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設 図

側面図

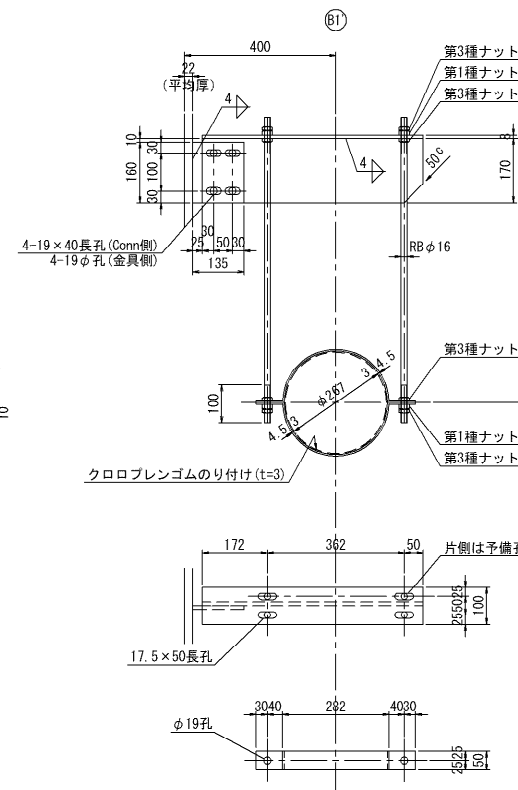
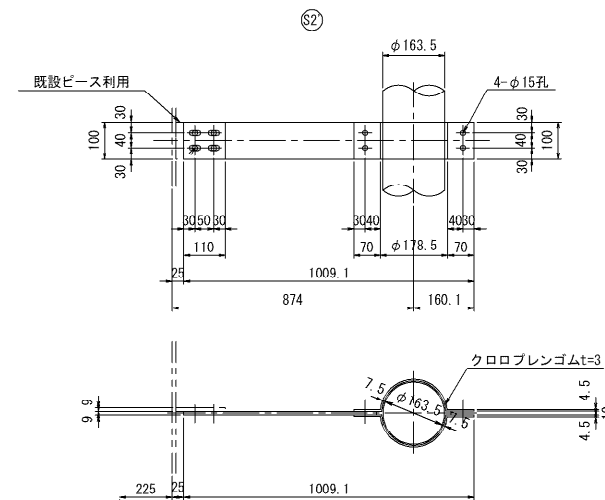
断面図

側面図

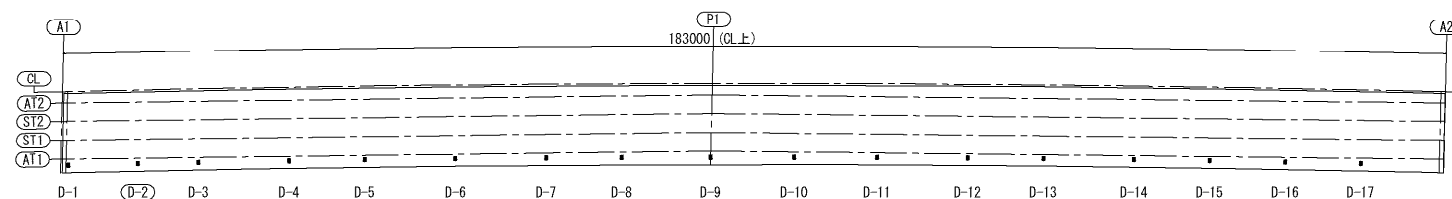


S=1 : 20

S=1 : 20



位置図

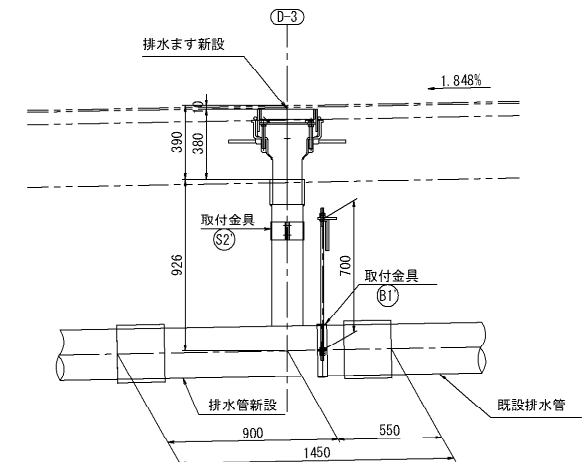


1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

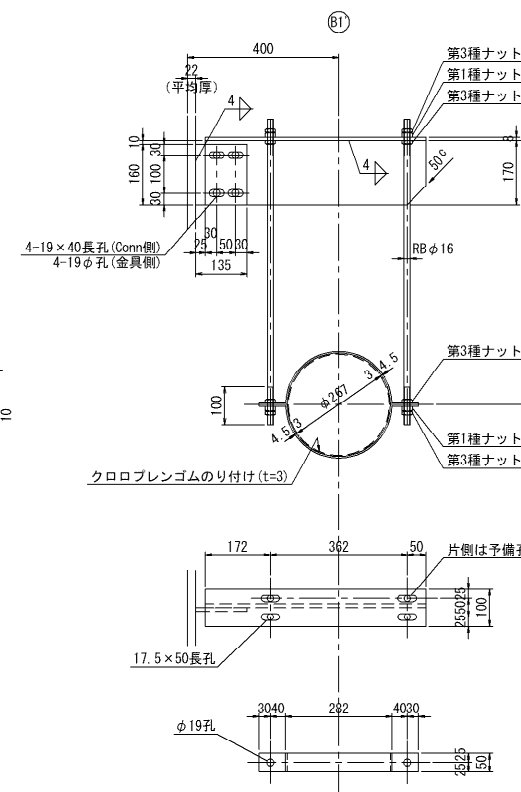
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その2)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	27/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設図

側面図



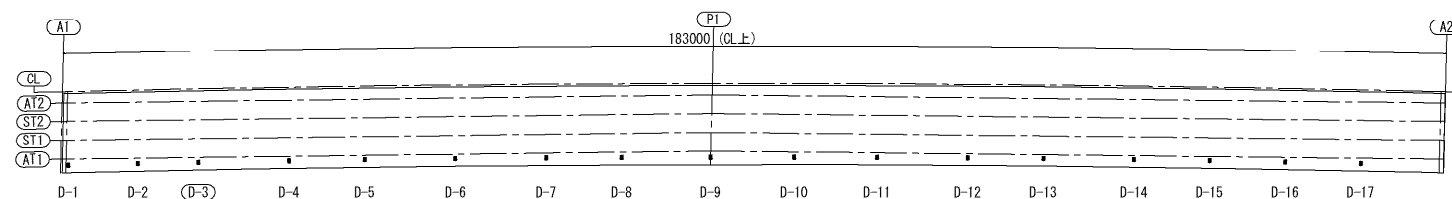
取付金具詳細 S=1:20



(製作数 n=1)

- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4. 5x576
- ※ 1-PL 100x 8 x584
- ※ 1-PL 170x 10x584
- ※ 2-RB ϕ16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)

2-クローブレンゴ 50x3x424



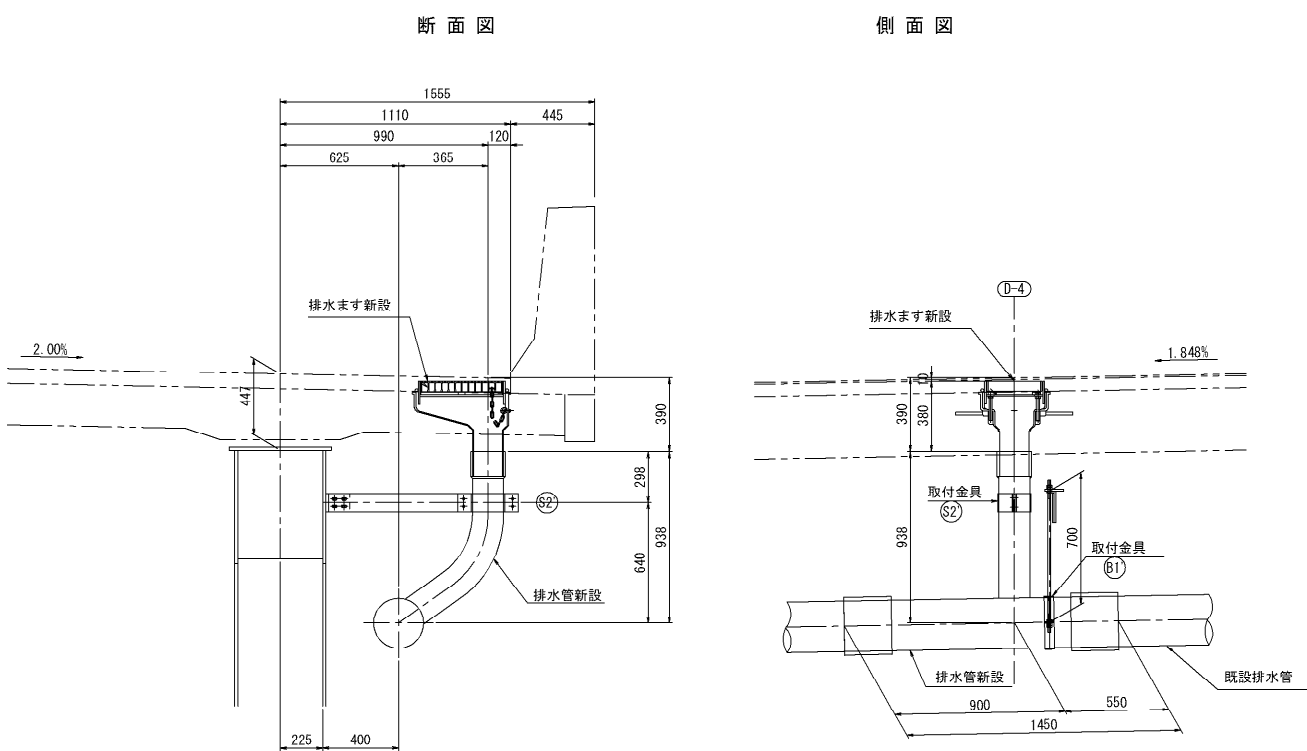
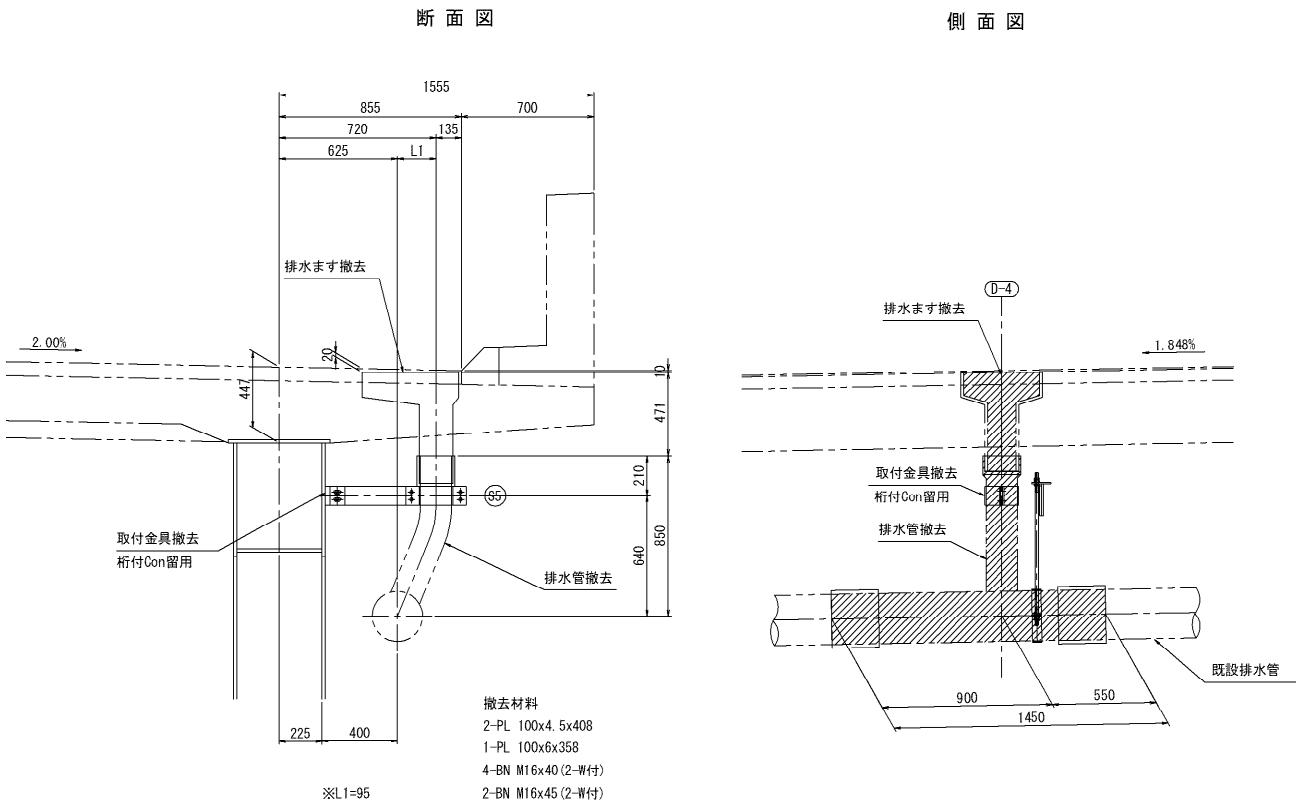
注記)

1. 特記なき材質は全てS304とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印刷部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その3)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	28/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

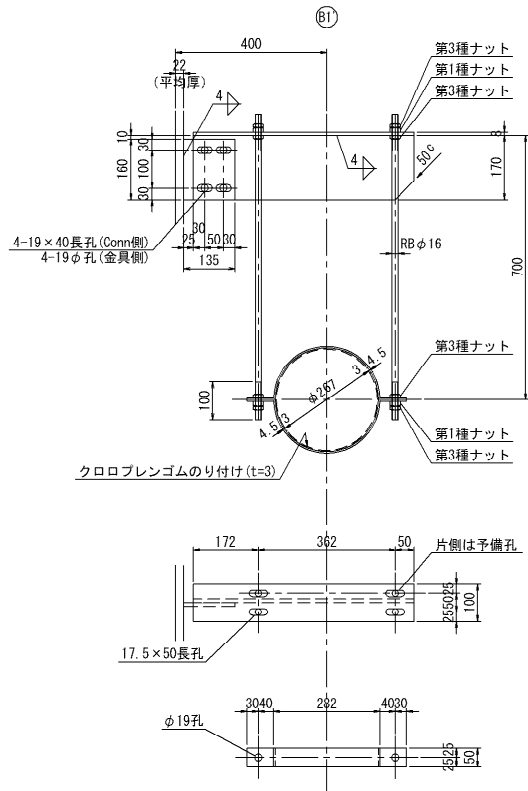
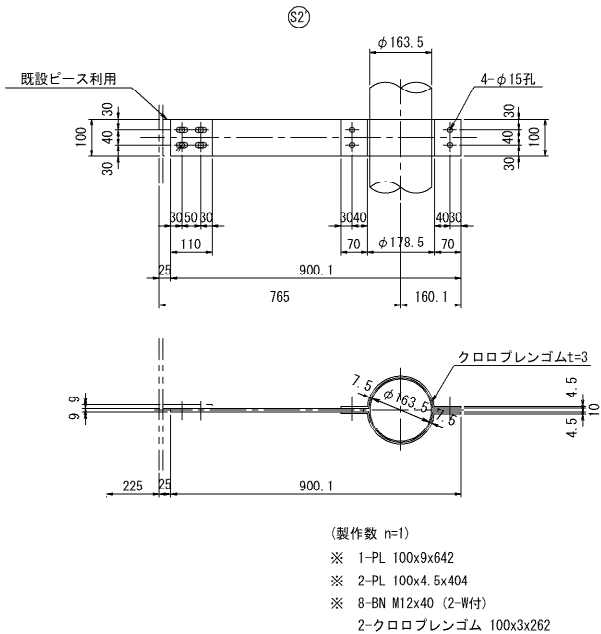
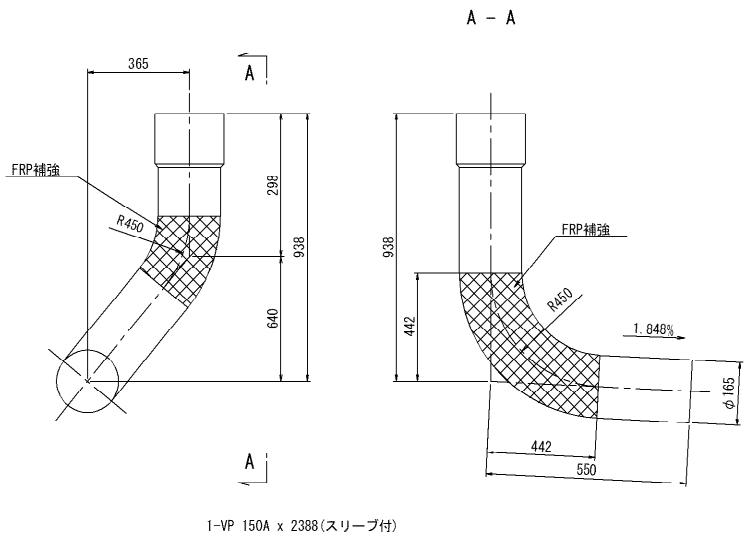
撤去図

新設図



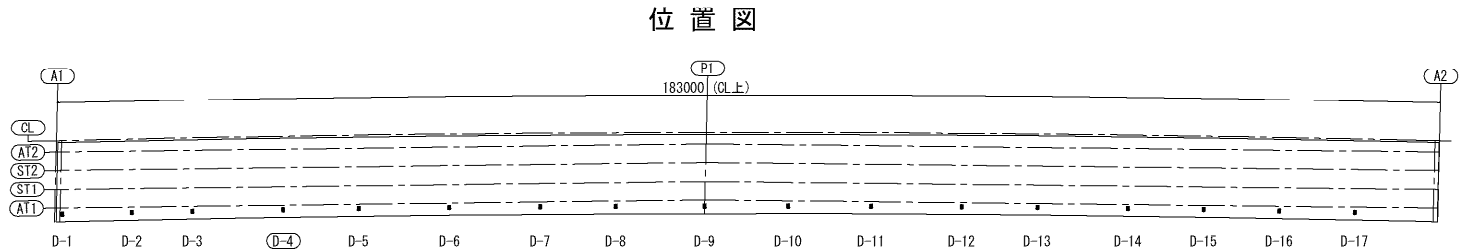
排水管詳細 S=1:20

取付金具詳細 S=1:20



(製作数 n=1)
※ 1 PL 135x 10x160 (橋体付)
※ 2-PL 50x4.5x576
※ 1-PL 100x 8 x584
※ 1-PL 170x 10x584
※ 2-RB φ16x810
※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
※ 8-Nut M16 (第3種ナット)
2-クロロレンゴム 50x3x424

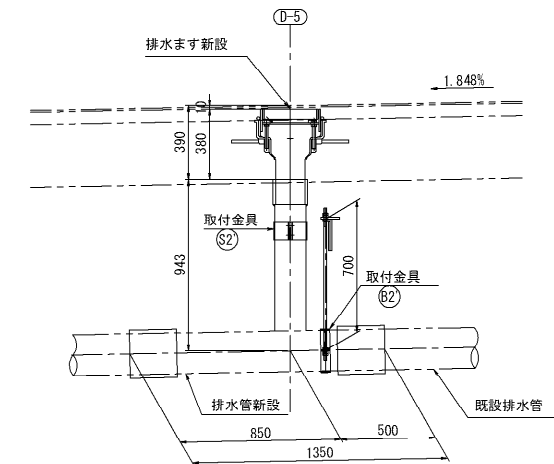
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
 - 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
 - ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。



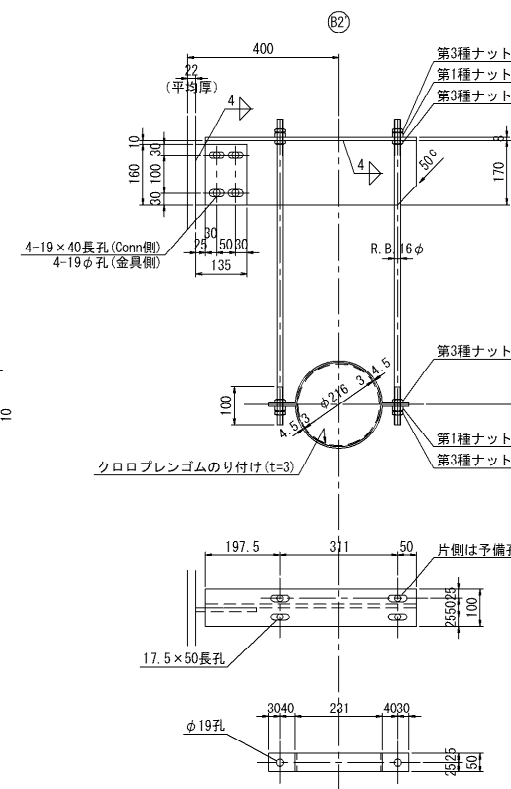
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その4)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	29/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設図

側面図

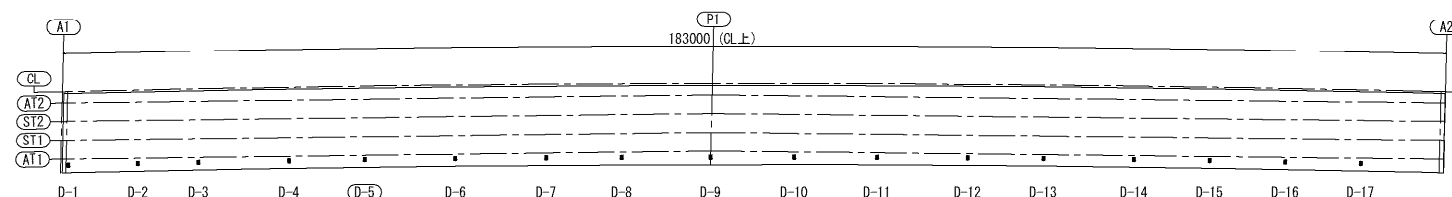


取付金具詳細 S=1:20



【注記】

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印刷材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げるとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。



(製作数 n=1)

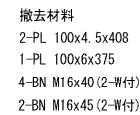
- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4, 5x496
- ※ 1-PL 100x 8 x559
- ※ 1-PL 170x 10x559
- ※ 2-RB ϕ 16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)

2-クロロブレナム 50x3x344

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) 排水装置詳細図(その5)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	30/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

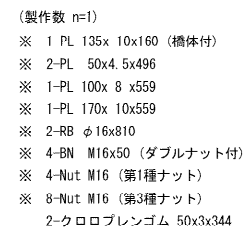
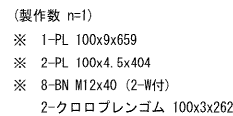
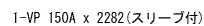
新設図

側面図

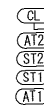


S=1 : 20

S=1 : 20



位置図



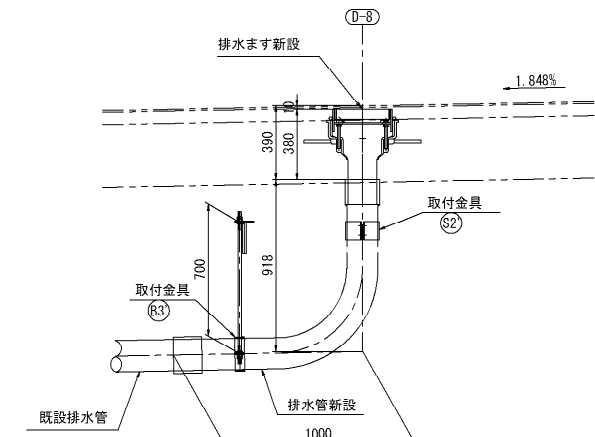
(注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

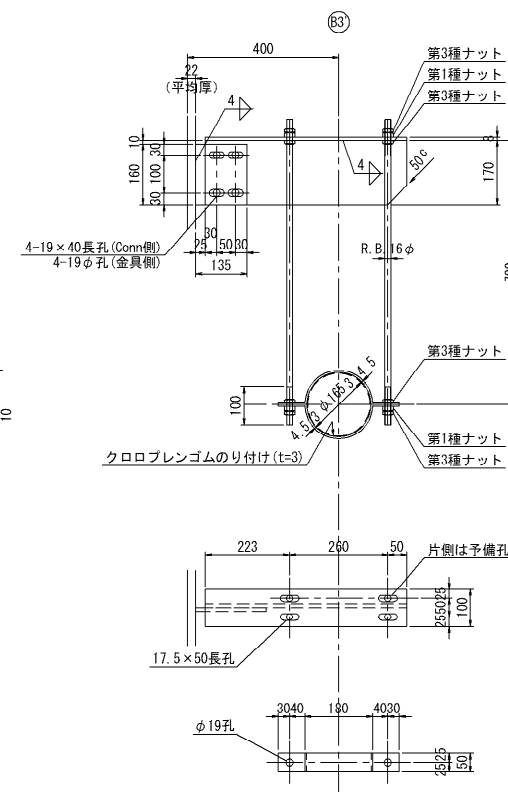
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その7)(参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号 32/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設図

側面図



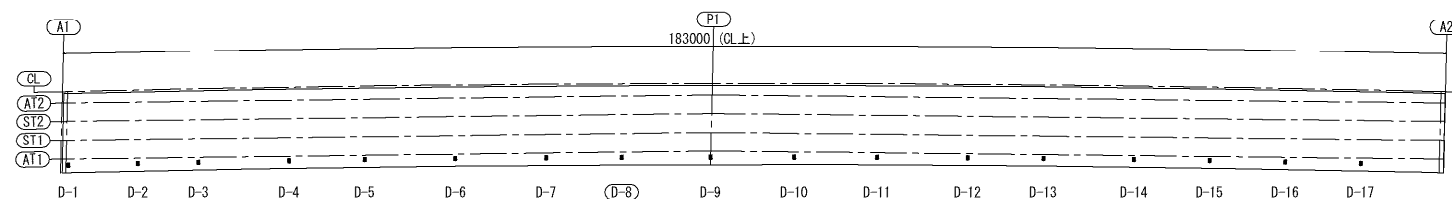
取付金具詳細 S=1:20



(製作数 n=1)

- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4. 5x416
- ※ 1-PL 100x 8 x533
- ※ 1-PL 170x 10x533
- ※ 2-RB φ16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 4-Nut M16 (第3種ナット)

2-クローブリングコ 50x3x264

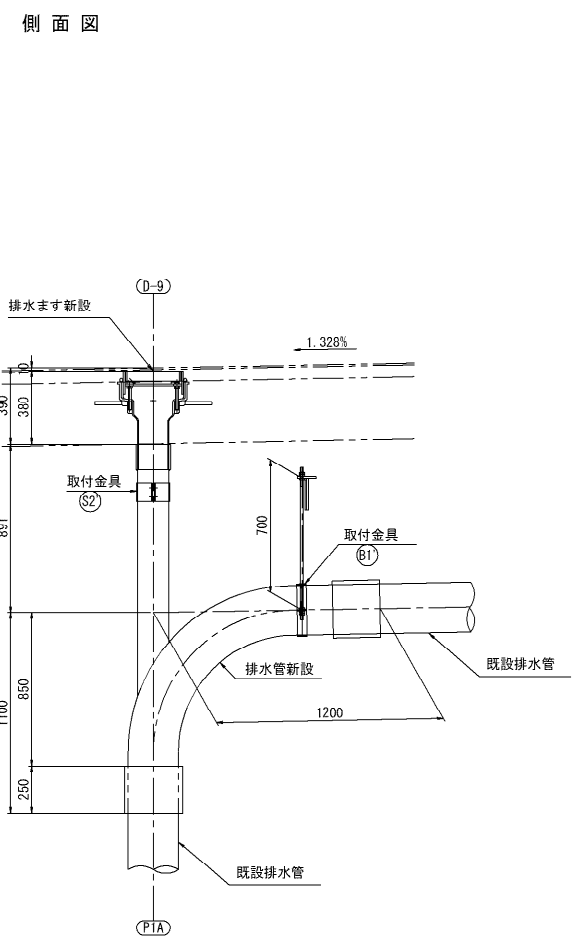
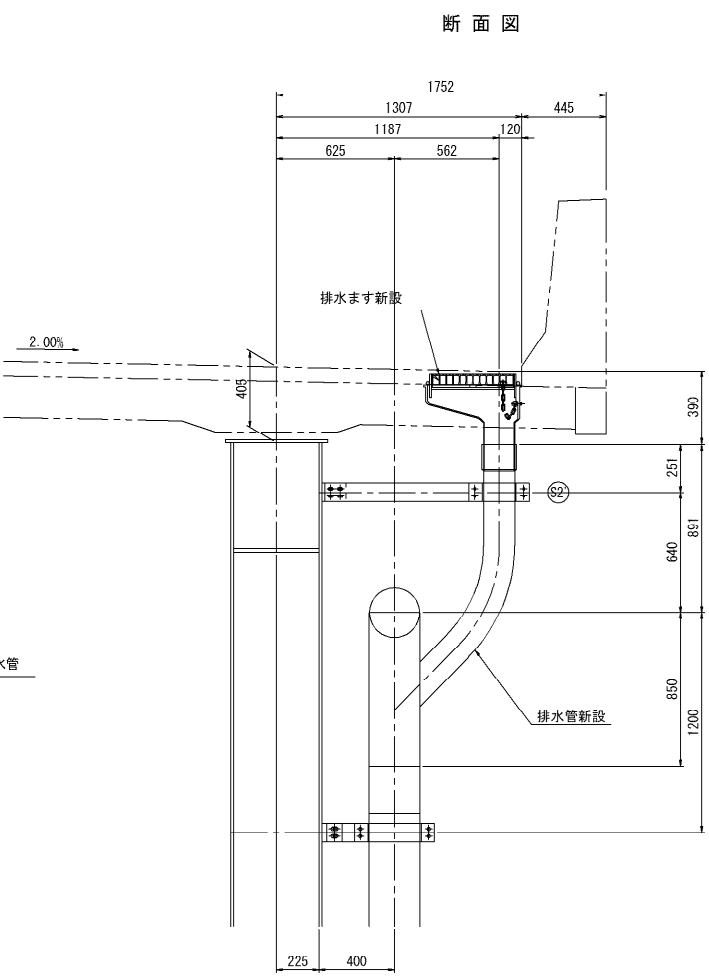
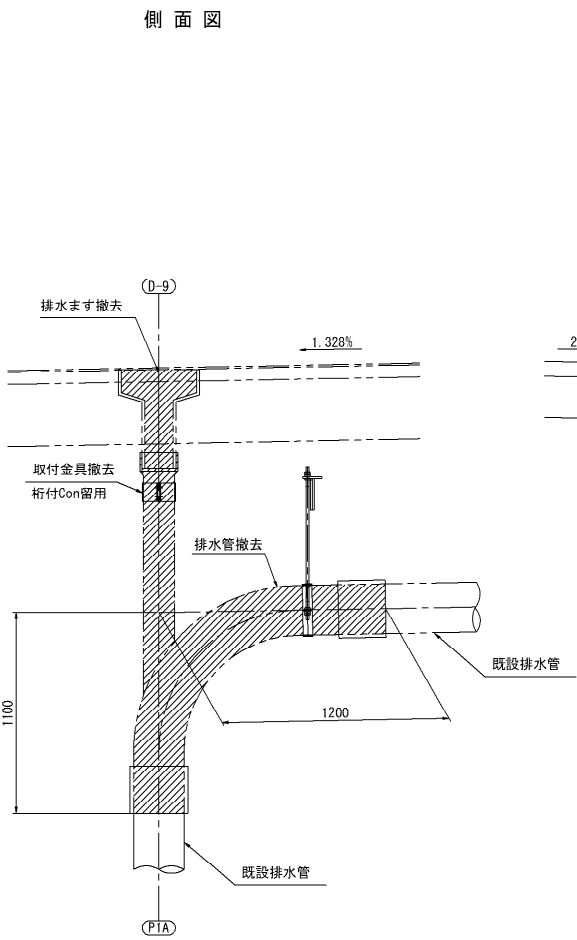
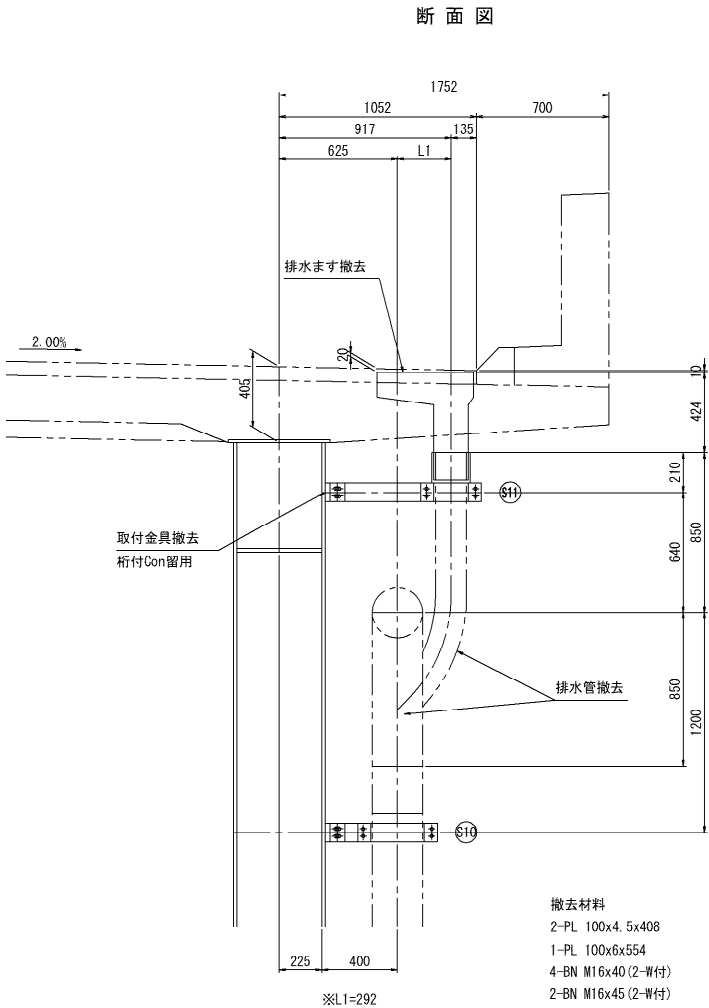


1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

<p style="text-align: center;">長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 版 取 替 工 事</p>				
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その8)(参考図)			
縮 尺	図示	図面番号	33/147	
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ			
施工会社名				
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所			

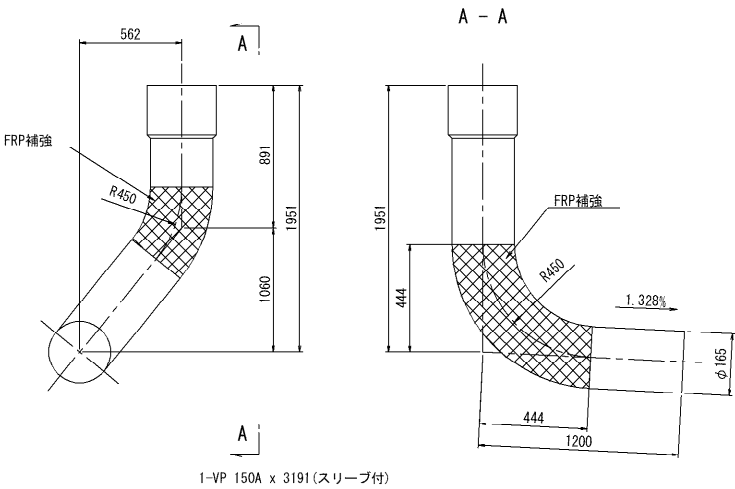
撤去図

新設図

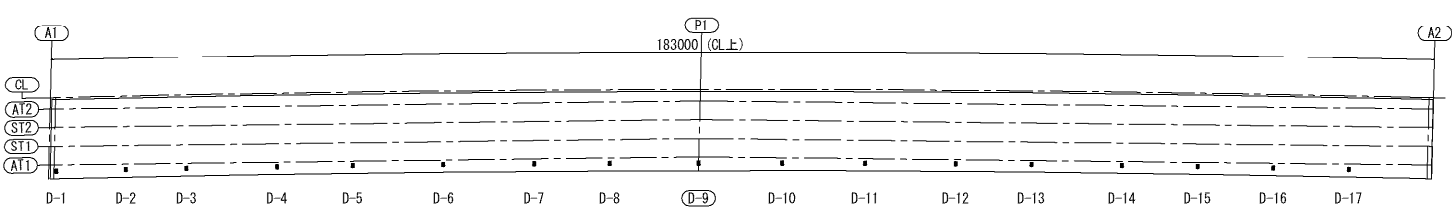


排水管詳細

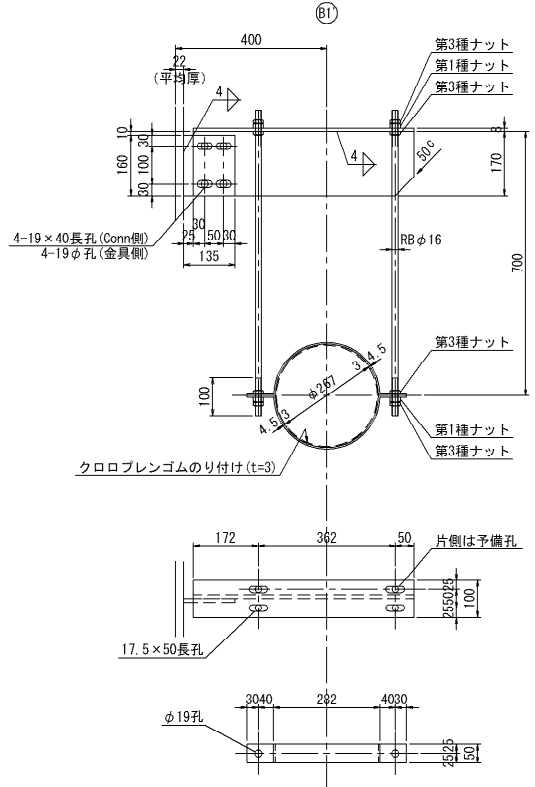
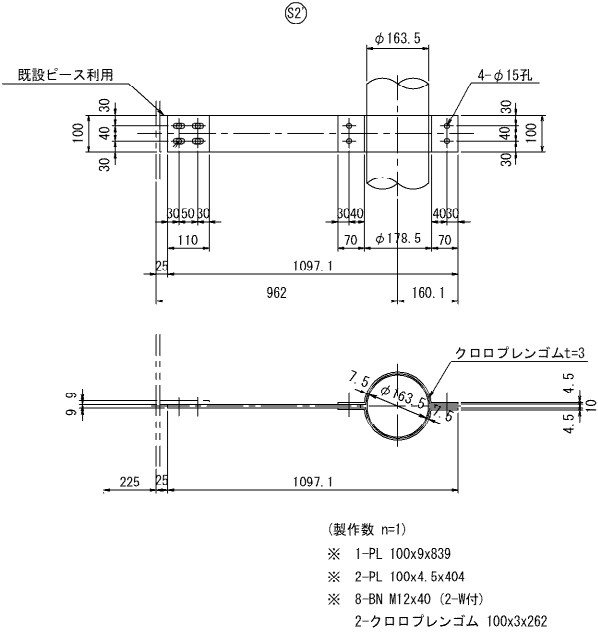
S=1:20



位置図



取付金具詳細 S=1:20



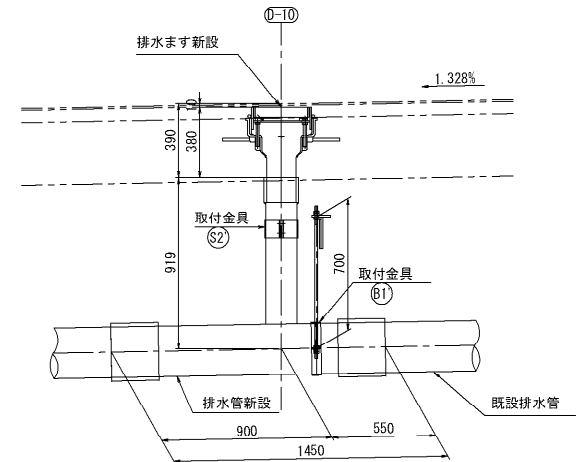
- (製作数 n=1)
- ※ 1 PL 135x 10x160 (橋体付)
 - ※ 2-PL 50x4.5x576
 - ※ 1-PL 100x 8 x584
 - ※ 1-PL 170x 10x584
 - ※ 2-RB φ16x810
 - ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
 - ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
 - ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)
 - 2-クロロレンゴム 50x3x424

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
 - 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
 - ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ149とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その9)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	34/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

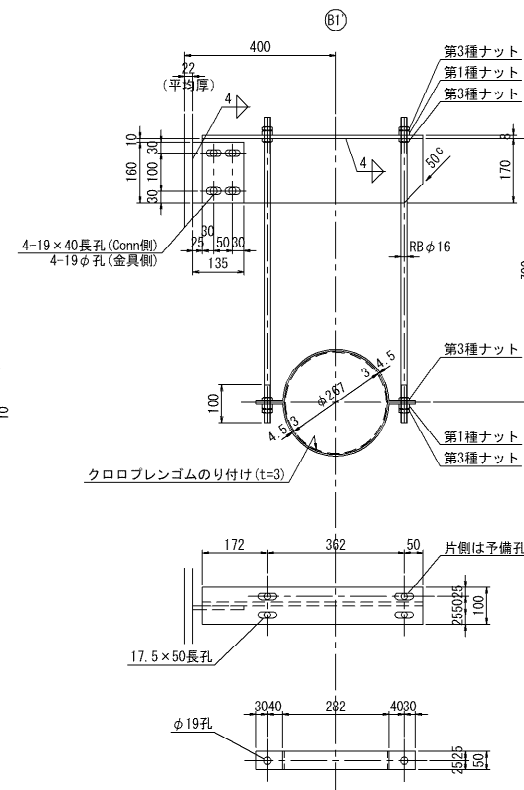
新設 図

側面図



撤去材料
2-PL 100x4.5x408
1-PL 100x6x436
4-BN M16x40 (2-W付)
2-BN M16x45 (2-W付)

取付金具詳細 S=1:20



(製作数 n=1)

- ※ 1-PL 100x9x719
- ※ 2-PL 100x4.5x404
- ※ 8-BN M12x40 (2-W付)
2-クロロブレンゴム 100x3x262

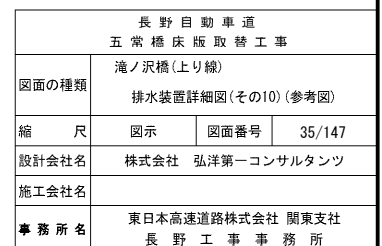
(製作数 n=1)

- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4. 5x576
- ※ 1-PL 100x 8 x584
- ※ 1-PL 170x 10x584
- ※ 2-RB φ16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)

2-ククロブレングム 50x3x424

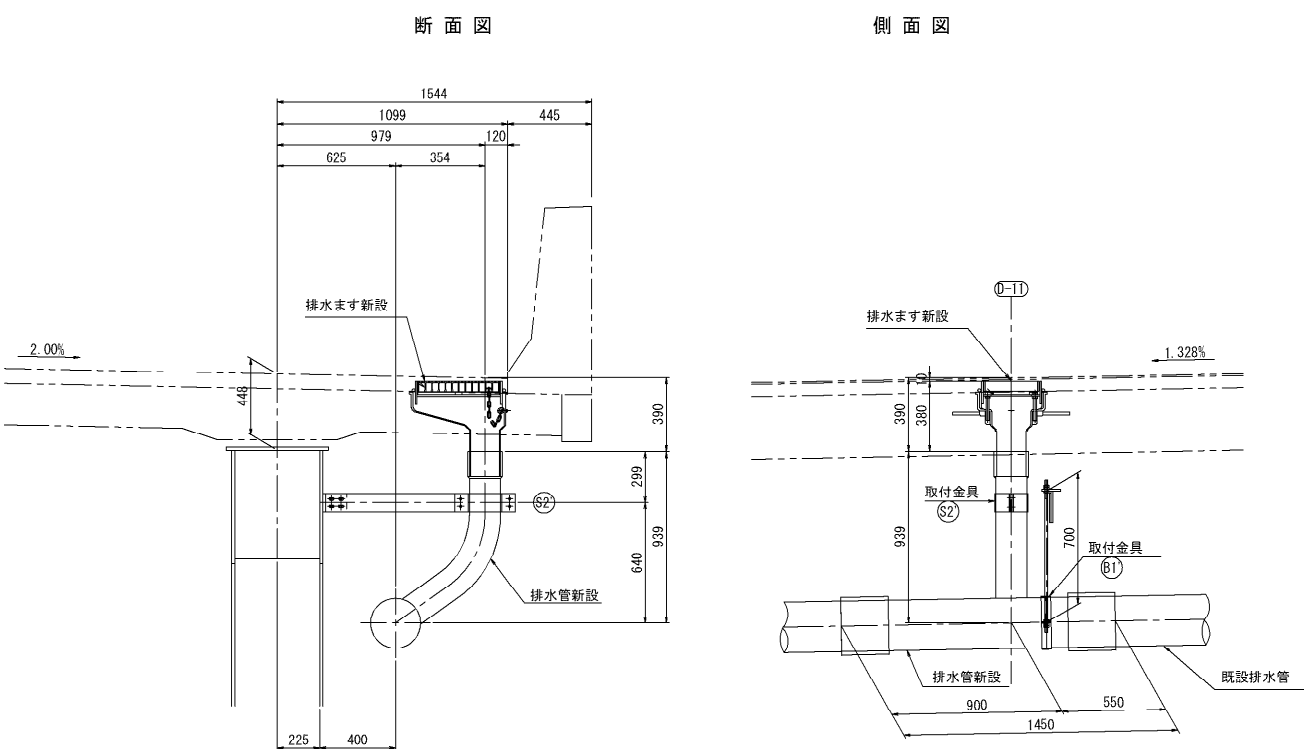
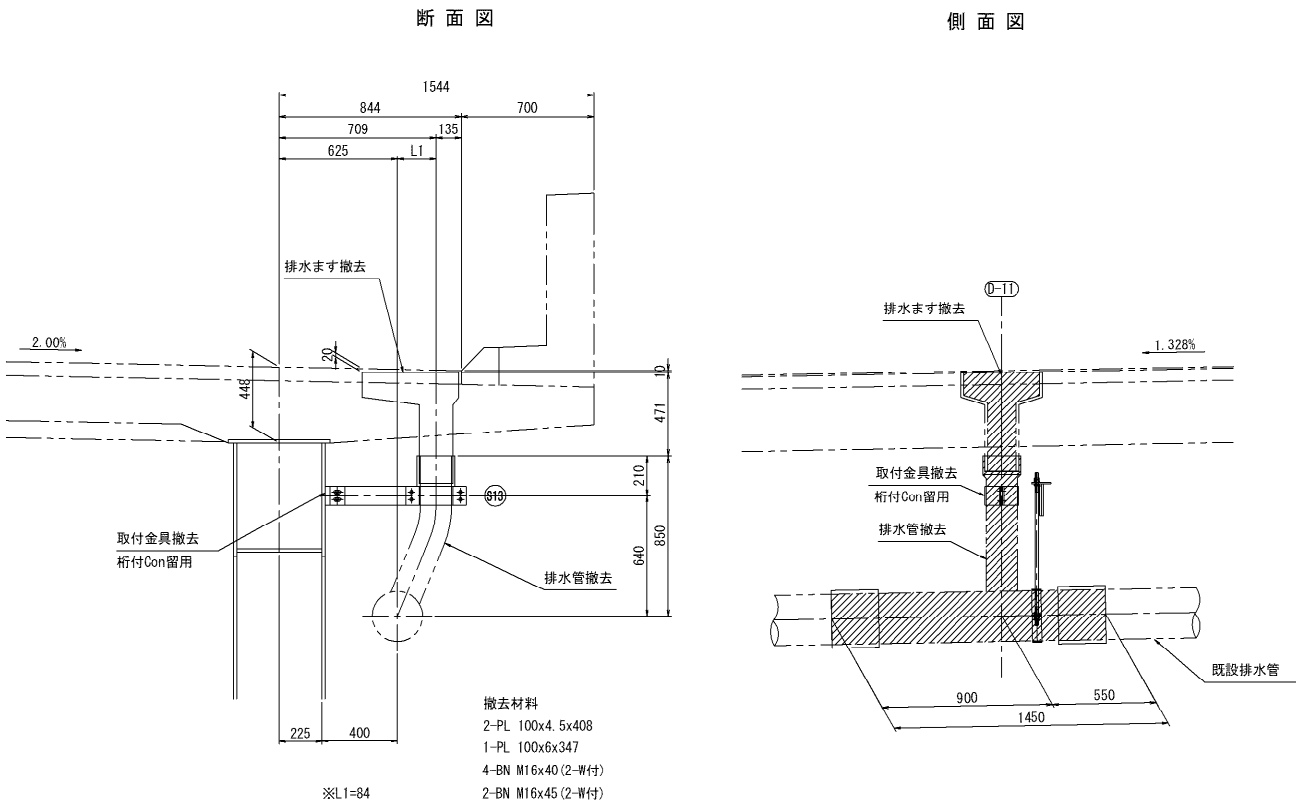
(注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ149とする。



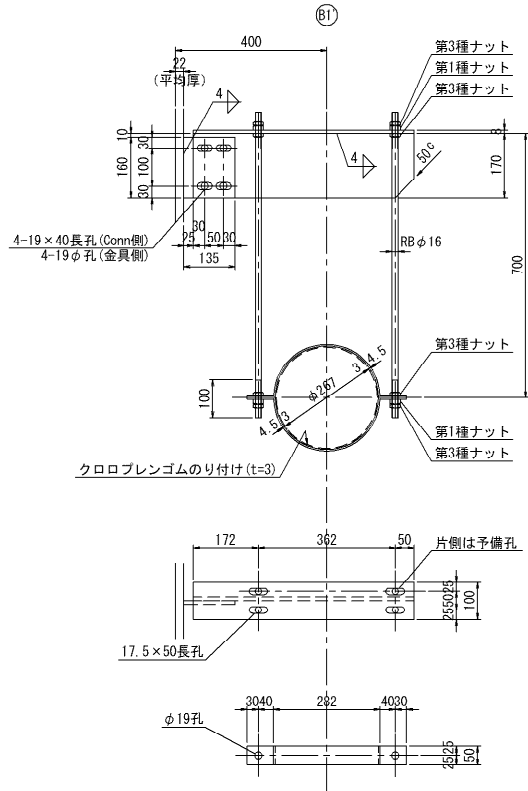
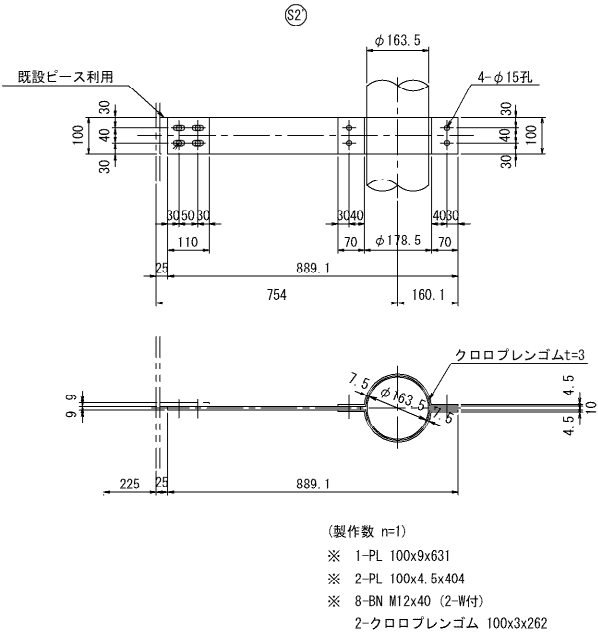
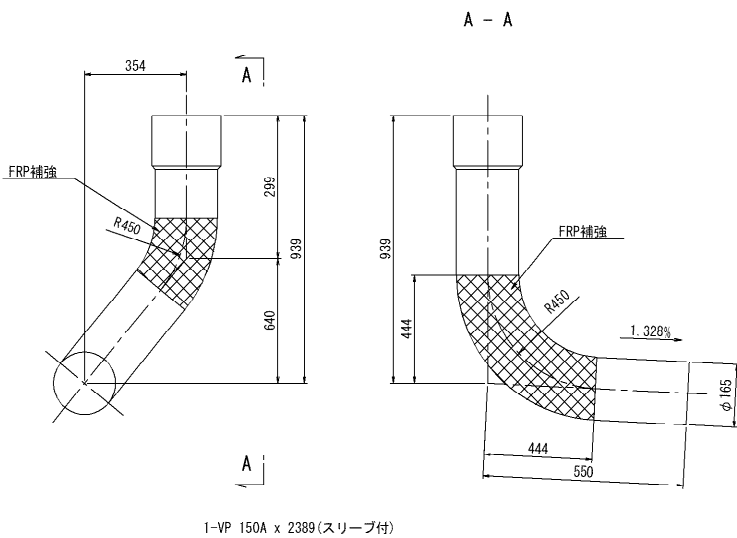
撤去図

新設図



排水管詳細 S=1:20

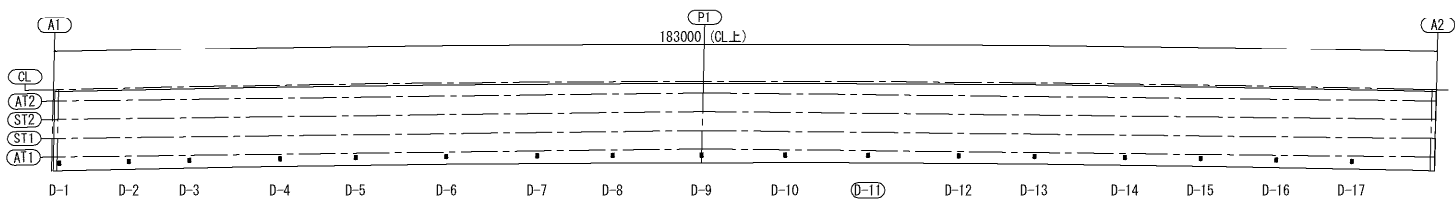
取付金具詳細 S=1:20



- (製作数 n=1)
※ 1 PL 135x 10x160 (橋体付)
※ 2-PL 50x4.5x576
※ 1-PL 100x 8 x584
※ 1-PL 170x 10x584
※ 2-RB φ16x810
※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
※ 8-Nut M16 (第3種ナット)
2-クロロレンゴム 50x3x424

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、
製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔は
φ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

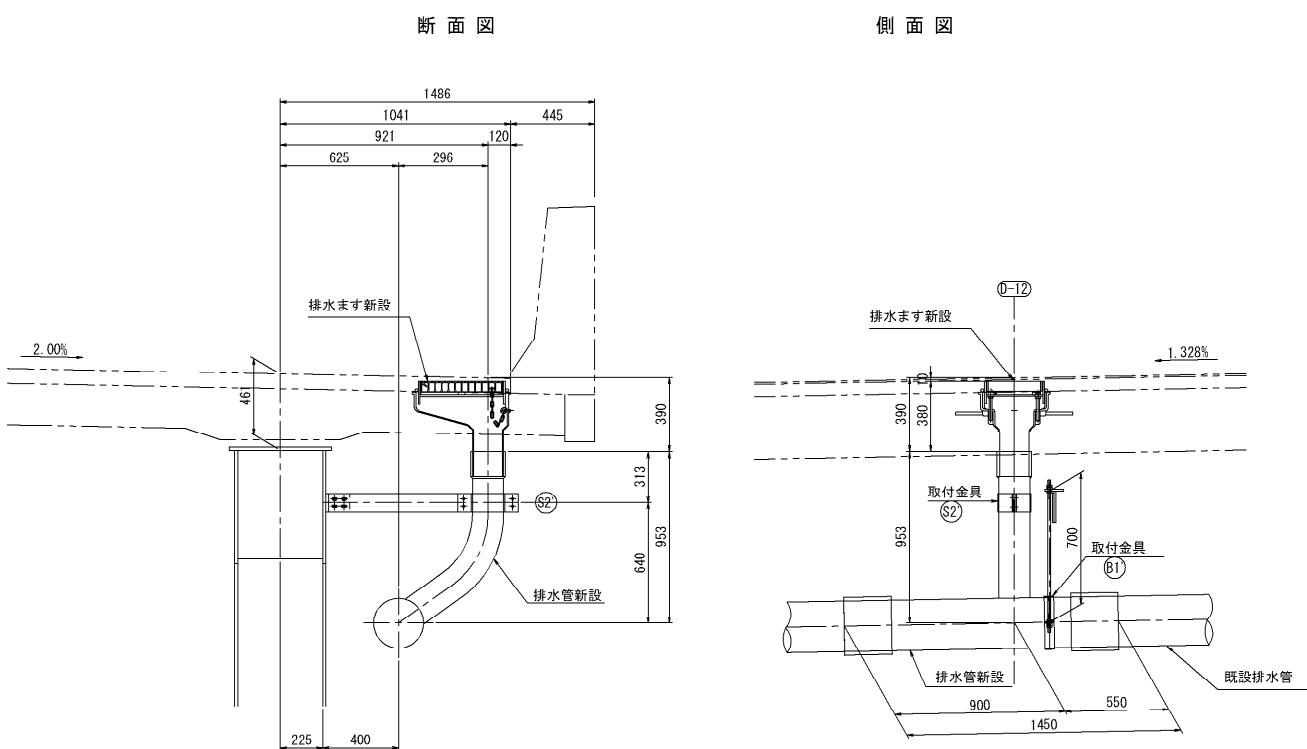
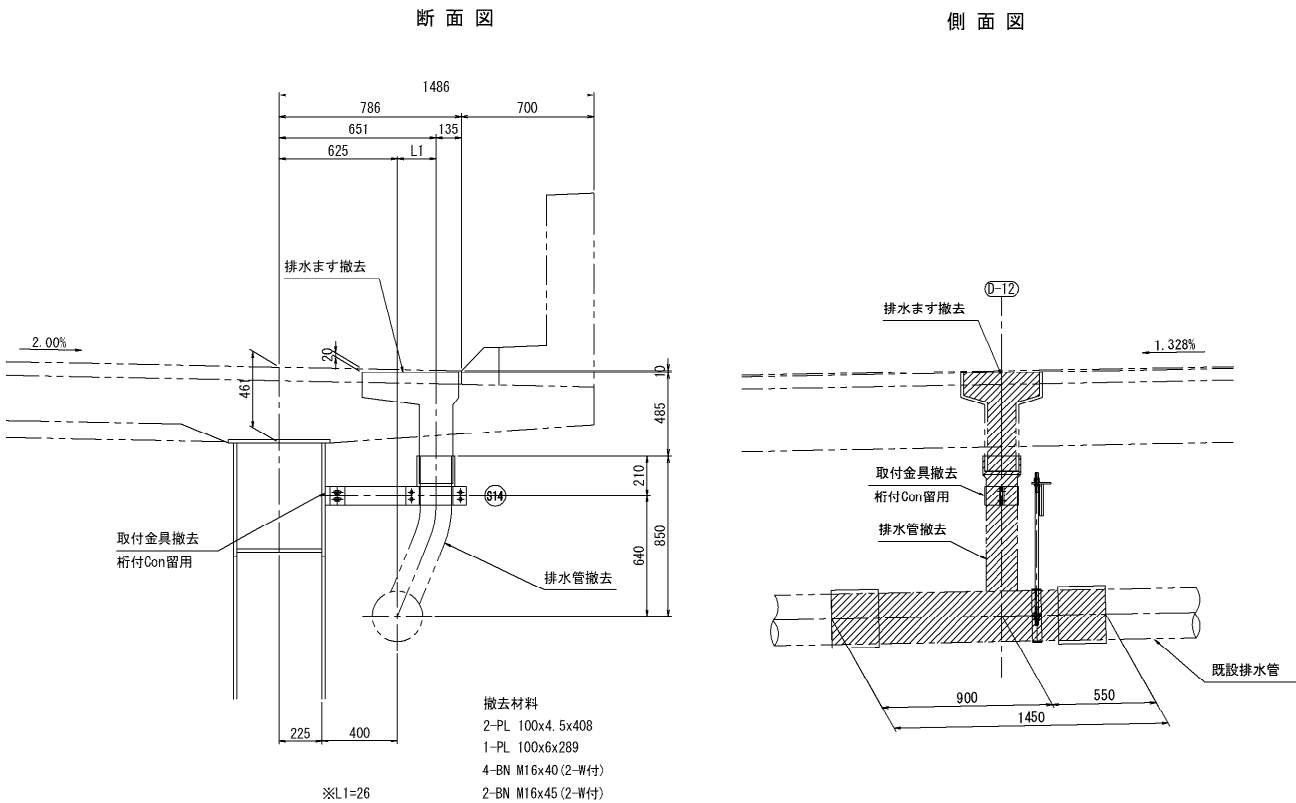
位置図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その11)(参考図)	図面番号	36/147
縮尺	図示	図面番号	36/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

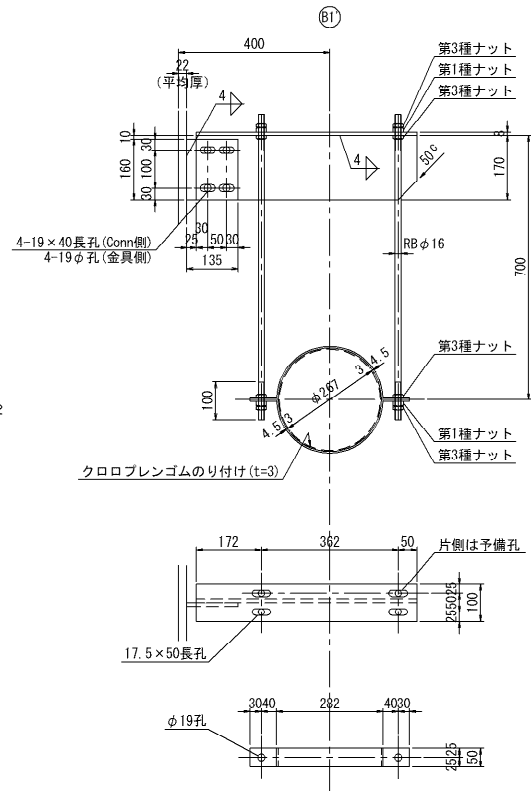
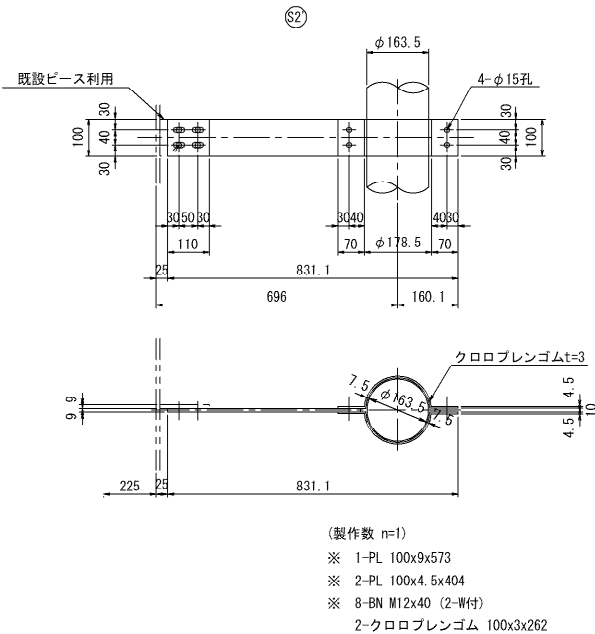
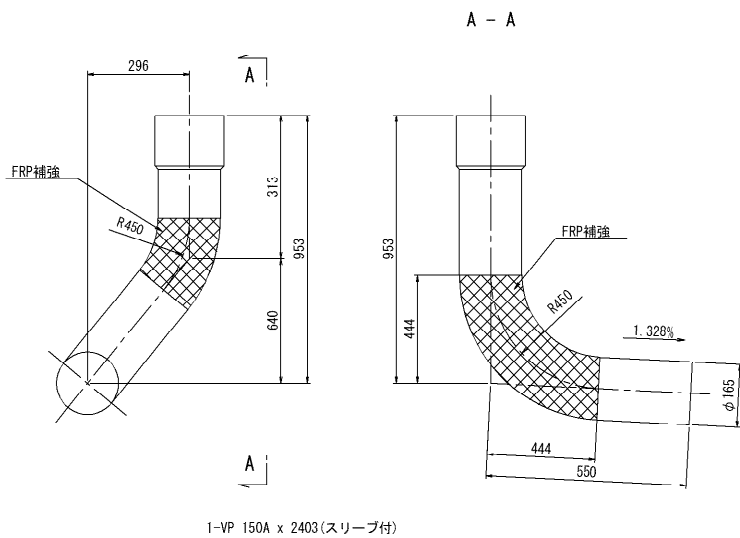
撤去図

新設図

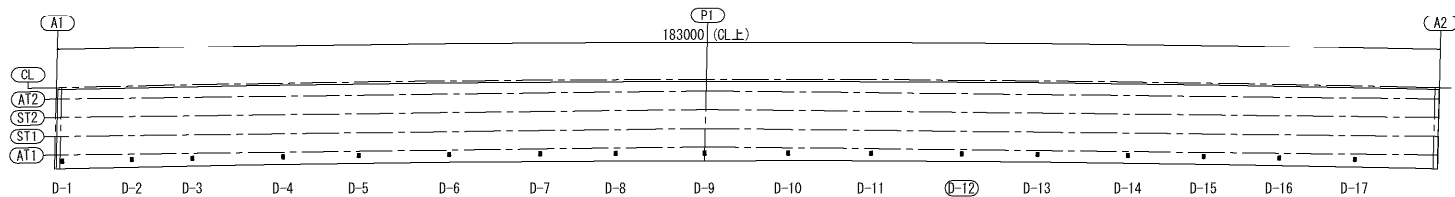


排水管詳細 S=1:20

取付金具詳細 S=1:20



位置図



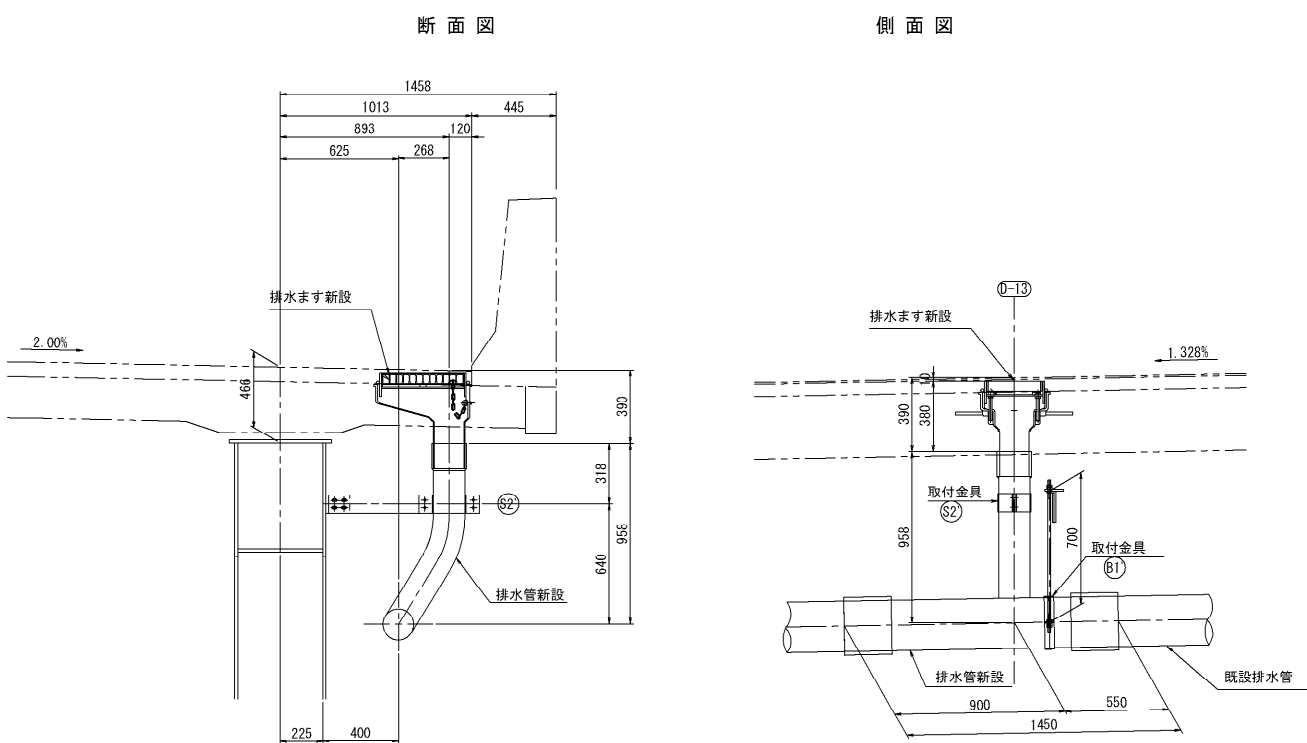
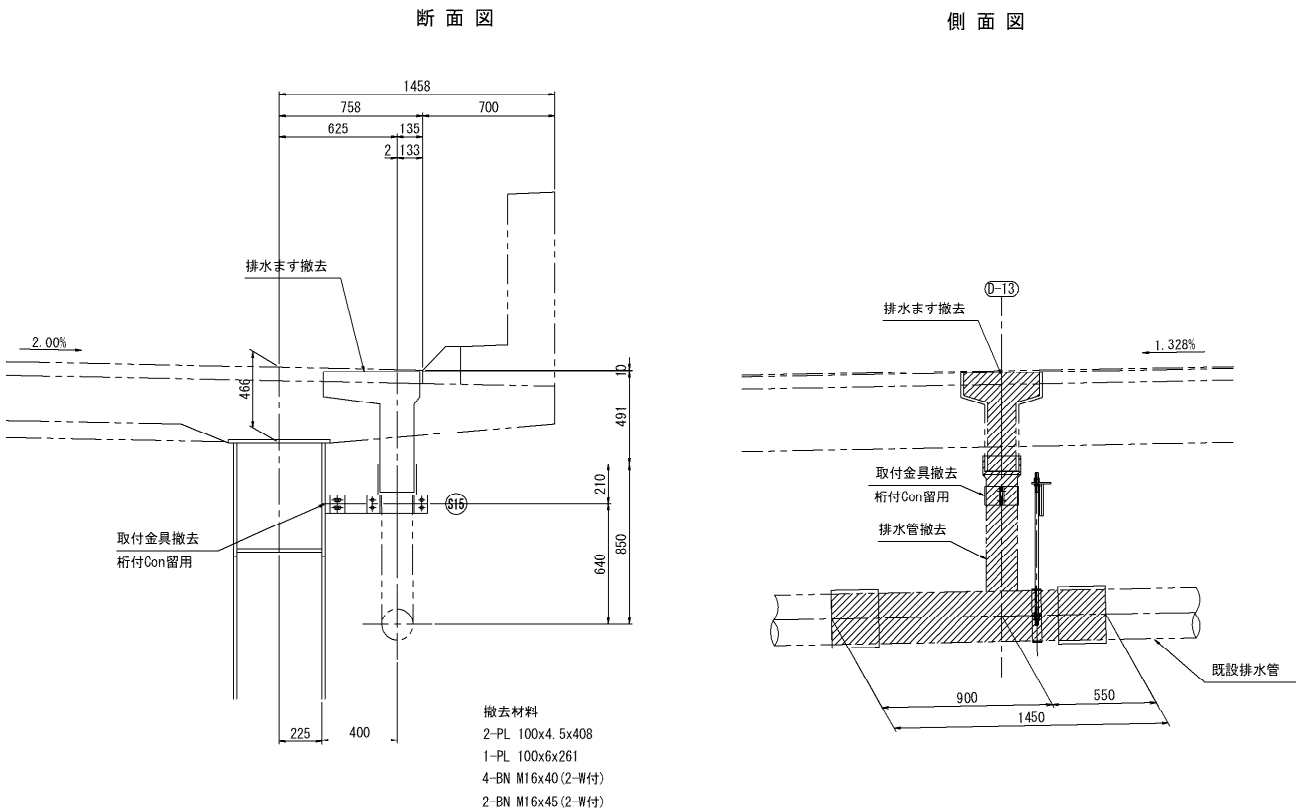
注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その12)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	37/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

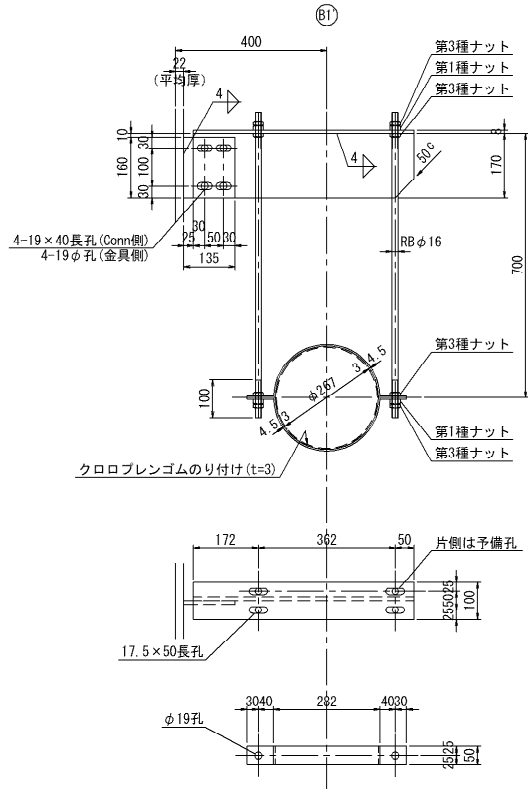
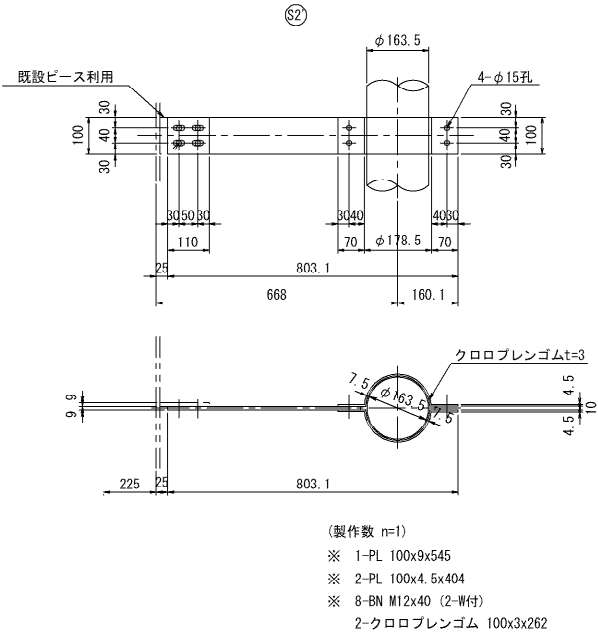
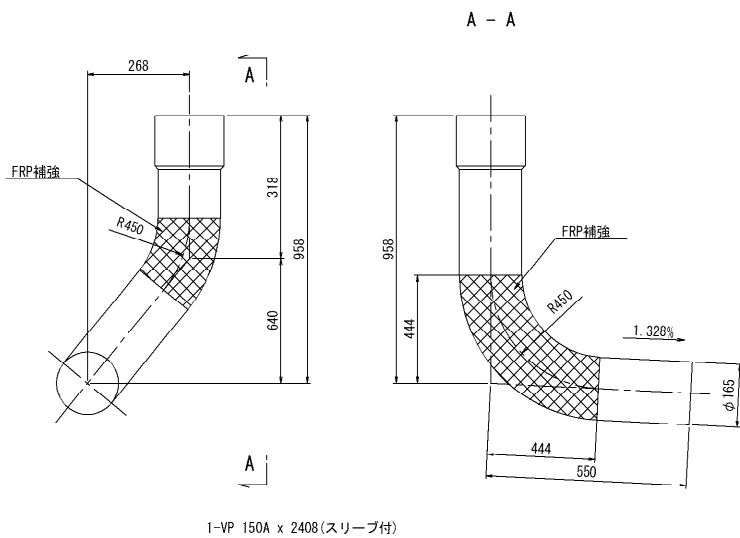
撤去図

新設図



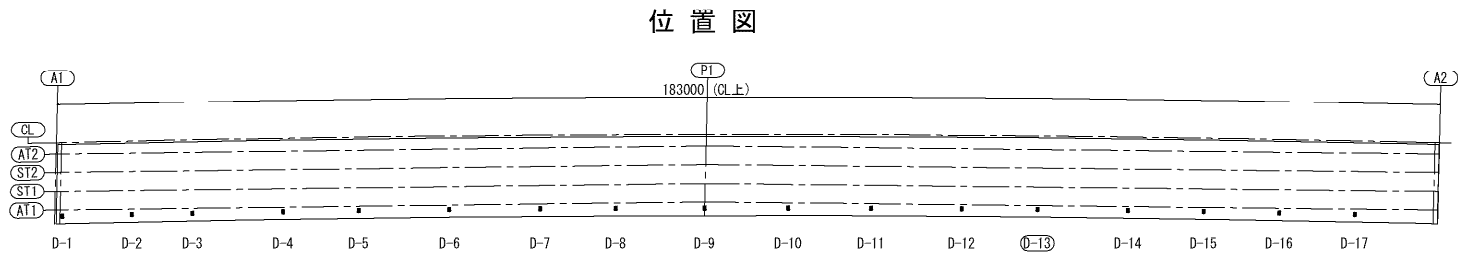
排水管詳細 S=1:20

取付金具詳細 S=1:20



注記)

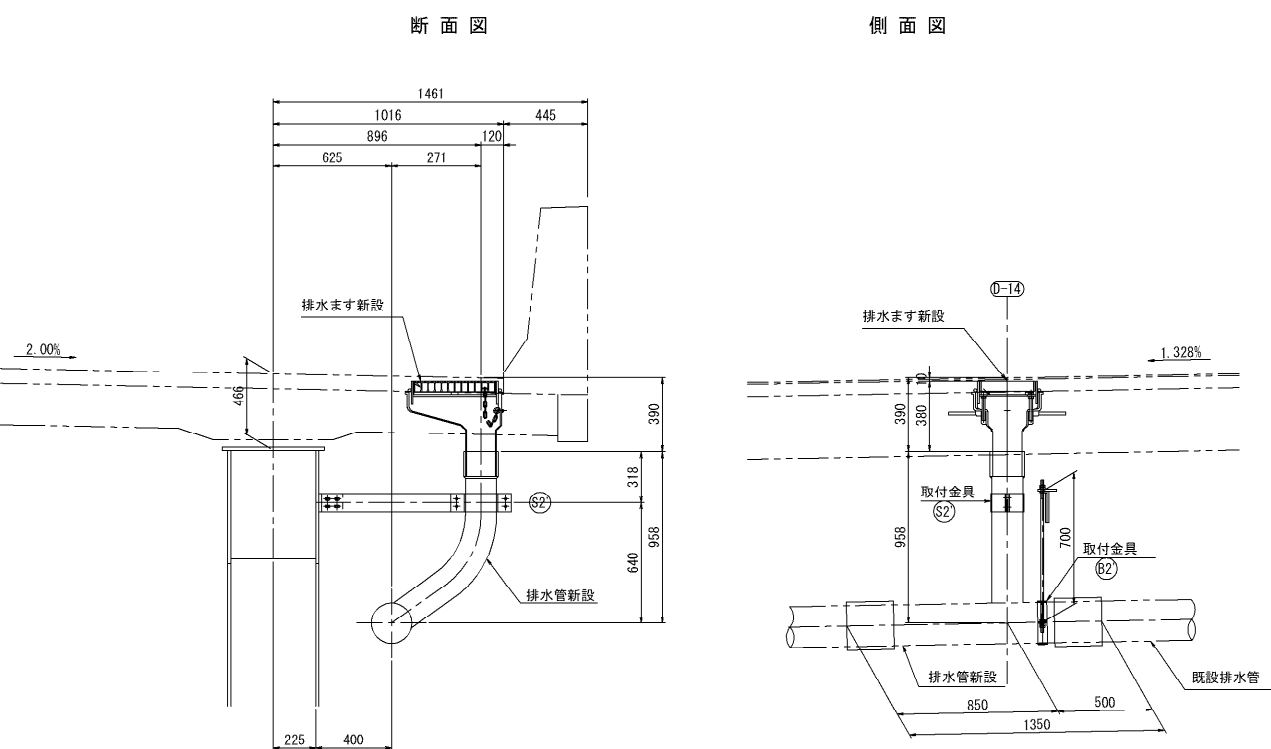
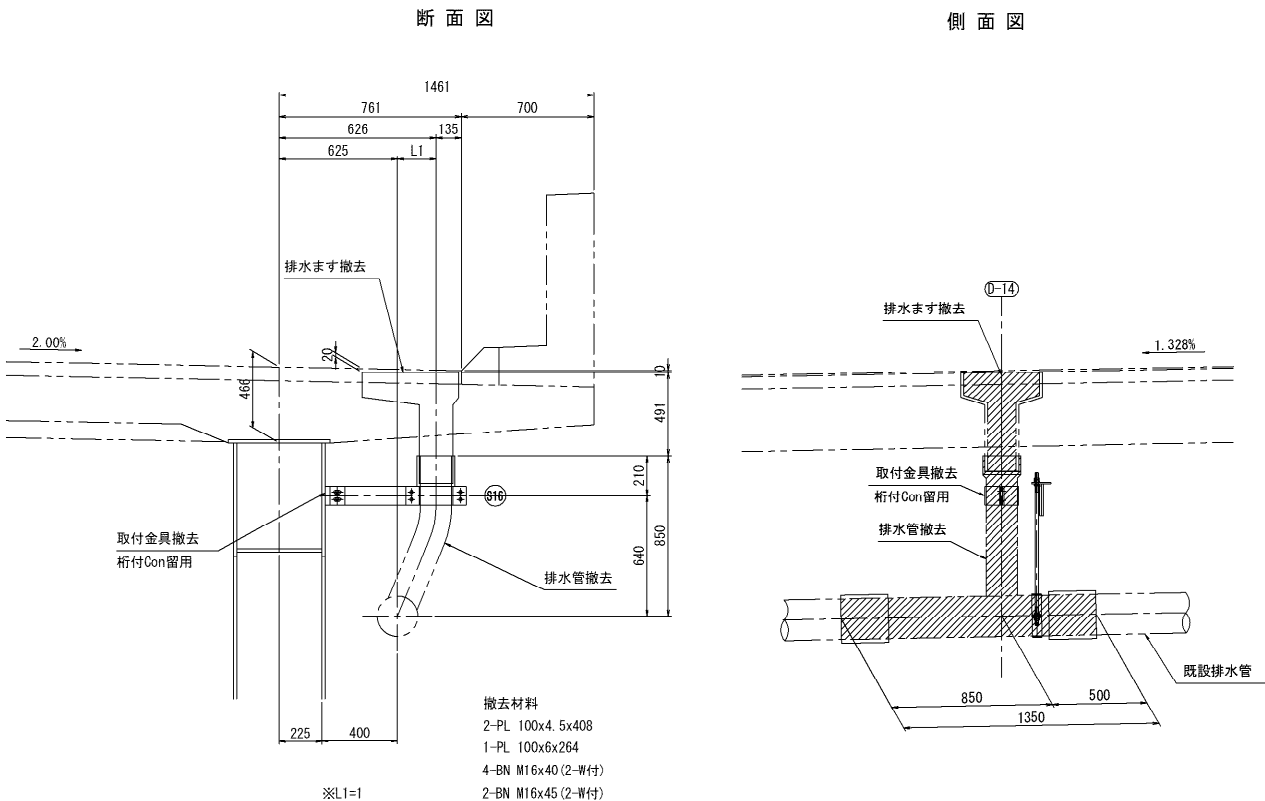
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
- 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ20.5とする。
- ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その13)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	38/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

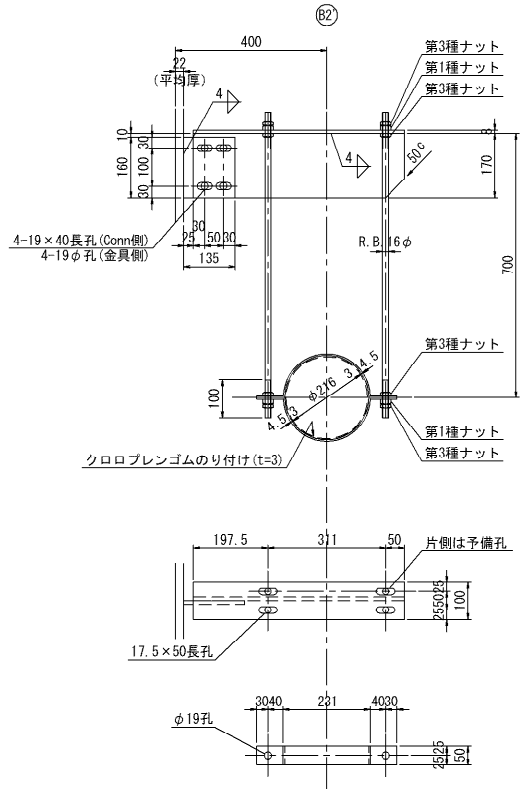
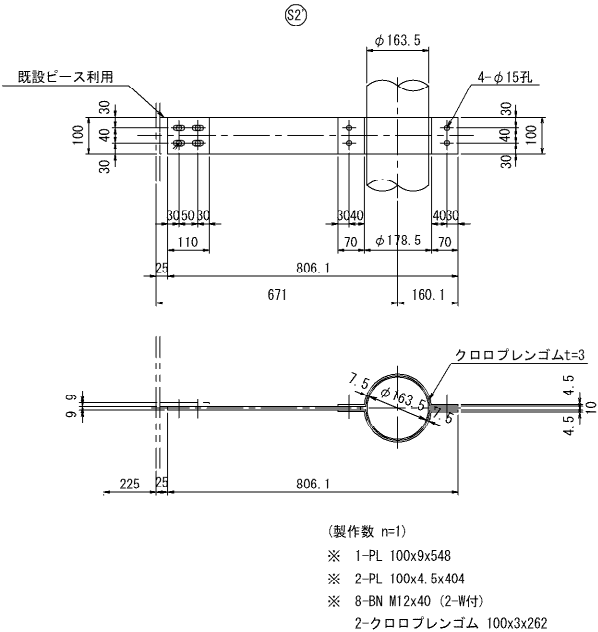
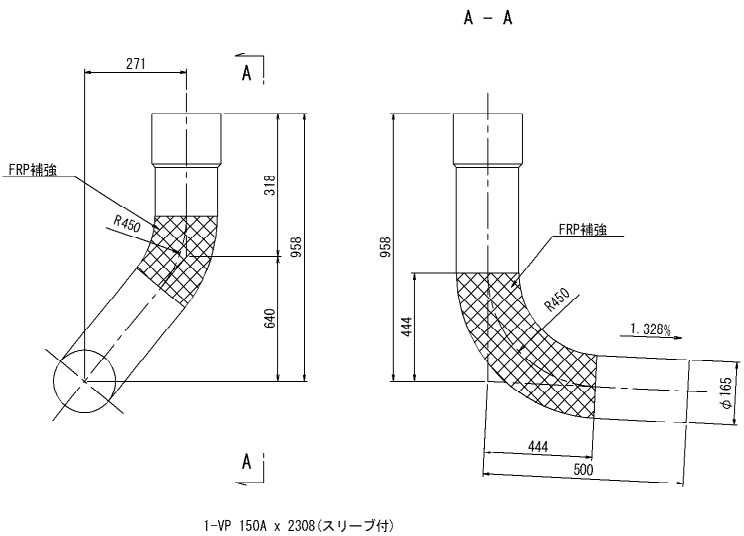
撤去図

新設図

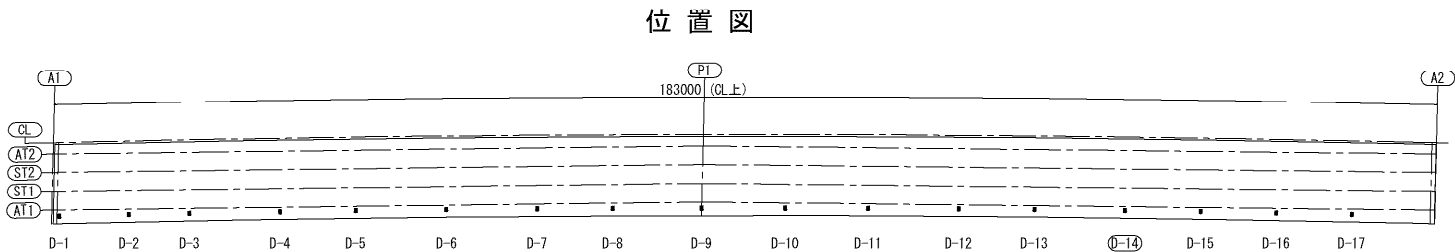


排水管詳細 S=1:20

取付金具詳細 S=1:20



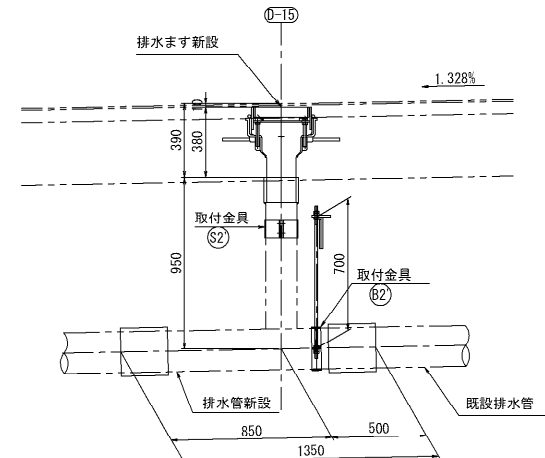
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、
製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔は
φ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ777とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ749とする。



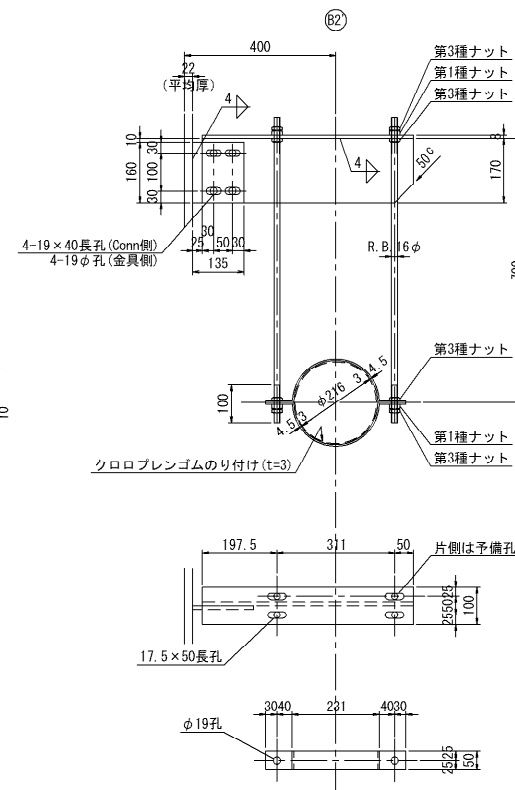
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その14)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	39/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設 図

側面図



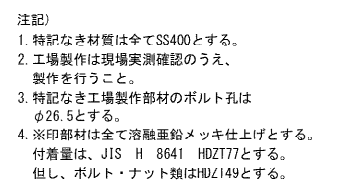
取付金具詳細 S=1:20



(製作数 n=1)

- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4. 5x496
- ※ 1-PL 100x 8 x559
- ※ 1-PL 170x 10x559
- ※ 2-RB ϕ 16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)

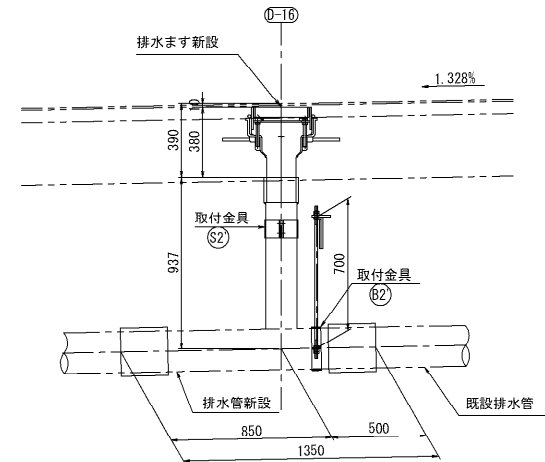
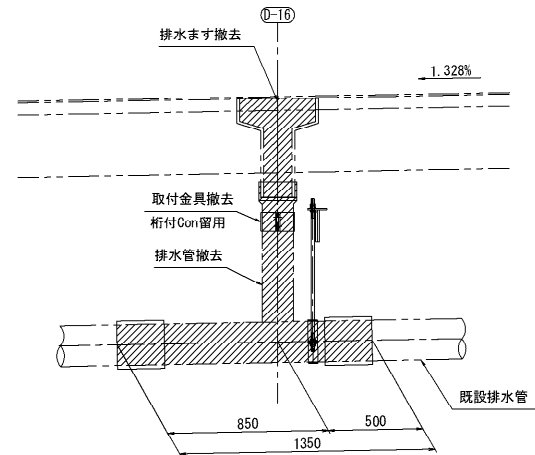
2-クローブリングゴム 50x3x344



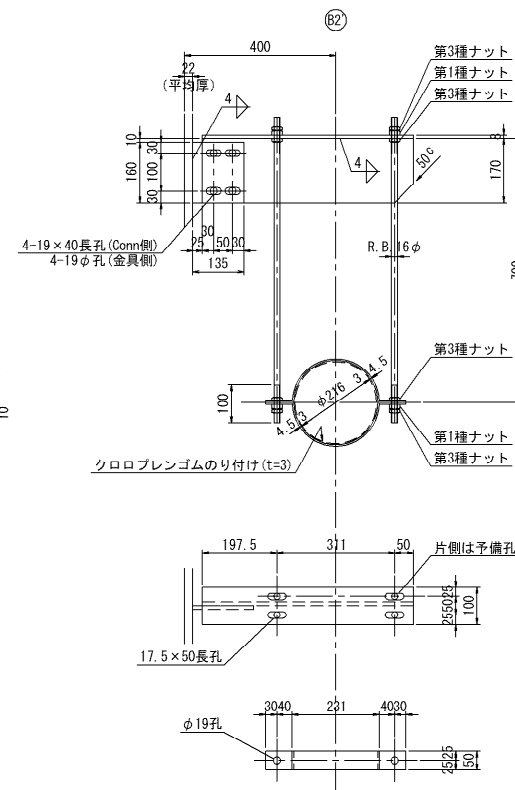
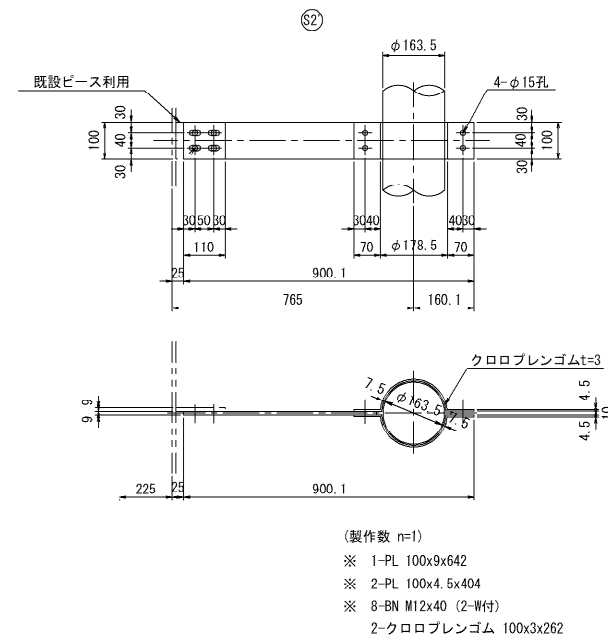
長野自動車道 五常橋仮設取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その15) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	40/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設 図

側面図

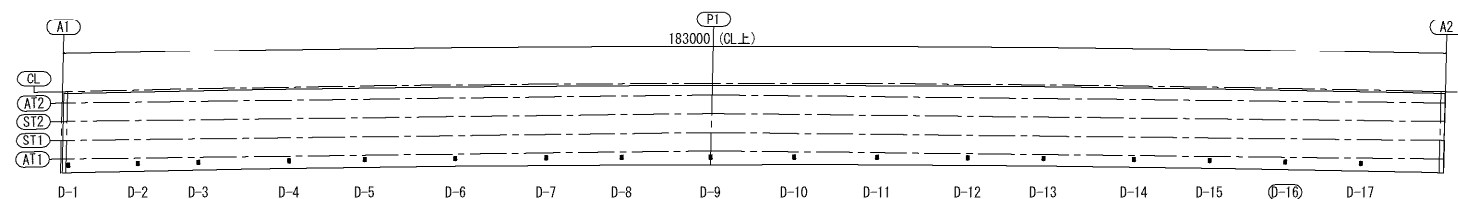


取付金具詳細 S=1:20



【注記】

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
3. 特記なき工場製作部材のボルト孔はφ26.5とする。
4. ※印部材は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。



(製作数 n=1)

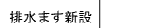
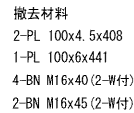
- ※ 1-PL 135x 10x160 (橋体付)
- ※ 2-PL 50x4. 5x496
- ※ 1-PL 100x 8 x559
- ※ 1-PL 170x 10x559
- ※ 2-RB ϕ 16x810
- ※ 4-BN M16x50 (ダブルナット付)
- ※ 4-Nut M16 (第1種ナット)
- ※ 8-Nut M16 (第3種ナット)

2-ククロピレンゴム 50x3x344

長野自動車道 五常橋床版取替工事		
図面の種類	滝ノ沢橋(上り橋) 排水装置詳細図(その16)(参考図)	
縮 尺	図示	図面番号 41/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ	
施工会社名		
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

新設 図

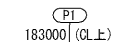
側面図



S=1 : 20



位置図

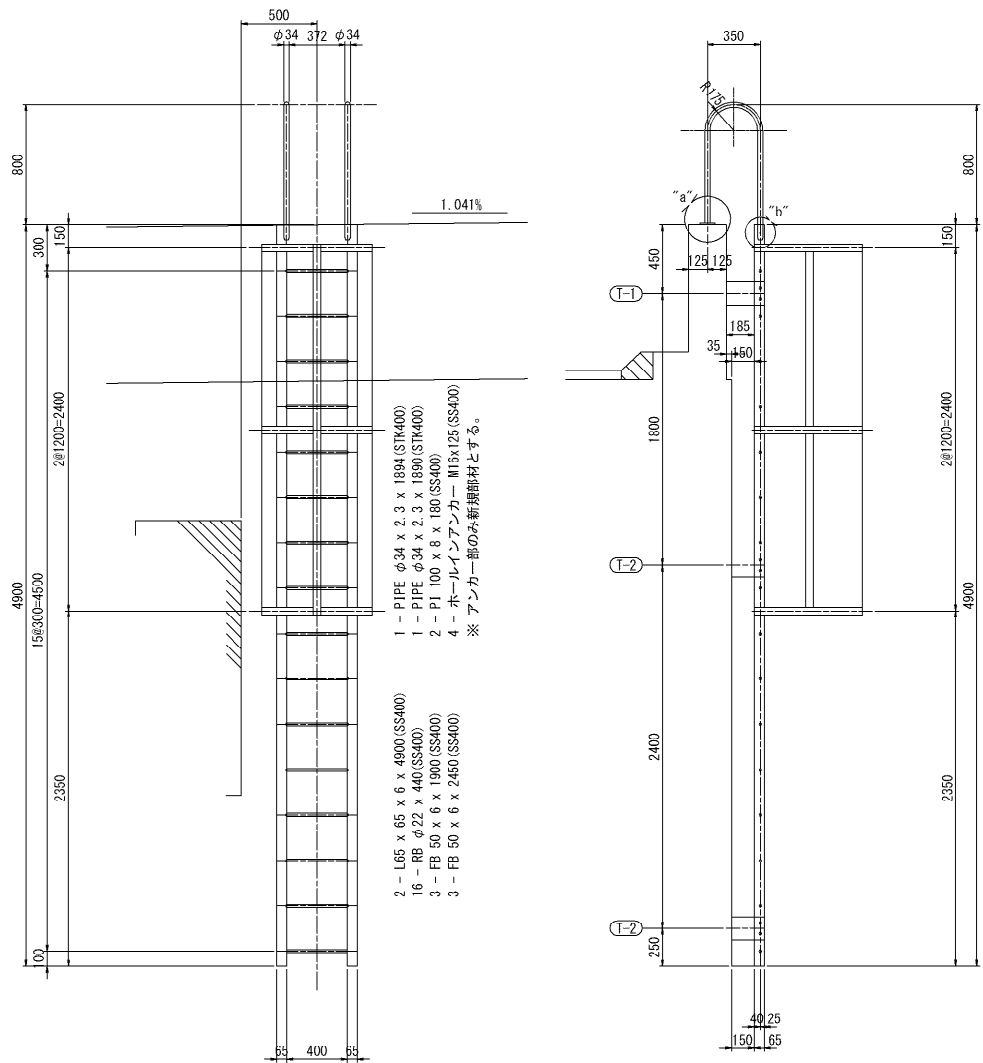


注記)

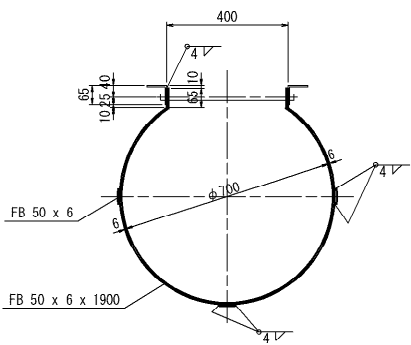
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 排水装置詳細図(その17)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	42/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A2橋台上

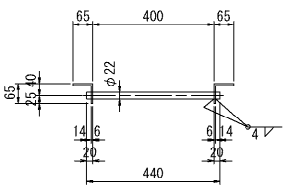
昇降梯子 S=1:50



A-A S=1:25



B-B S=1:25

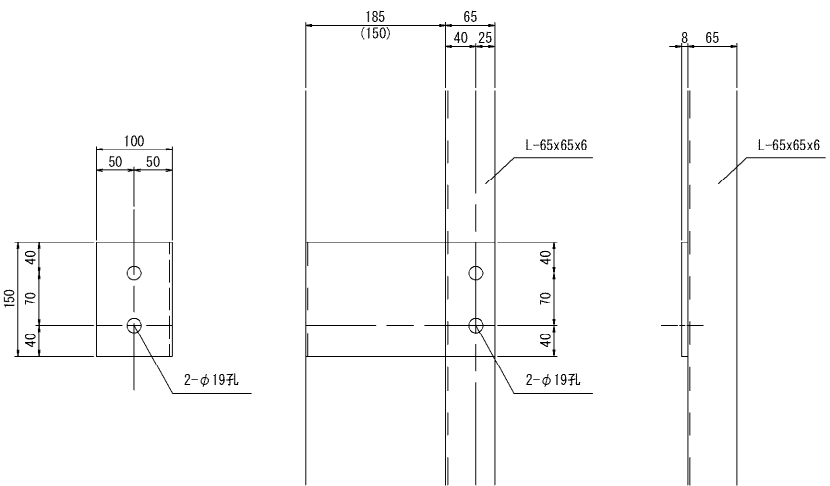


A2橋台上 撤去数量表

名 称	部材名	質量 (kg)
昇降梯子	一般構造用炭素鋼鋼管	6
取付金具	鋼 板	255
	棒 鋼	21
合 計		282

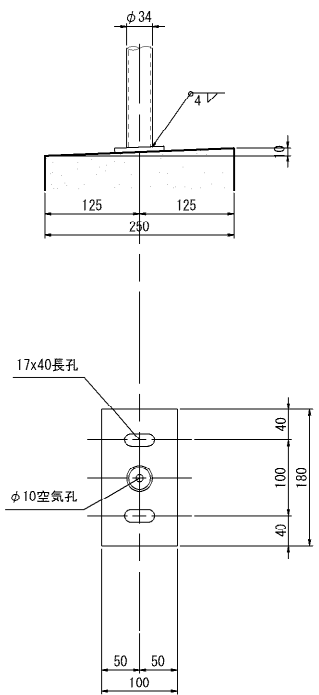
取付金具詳細図 S=1:10

(T-1), ((T-2))

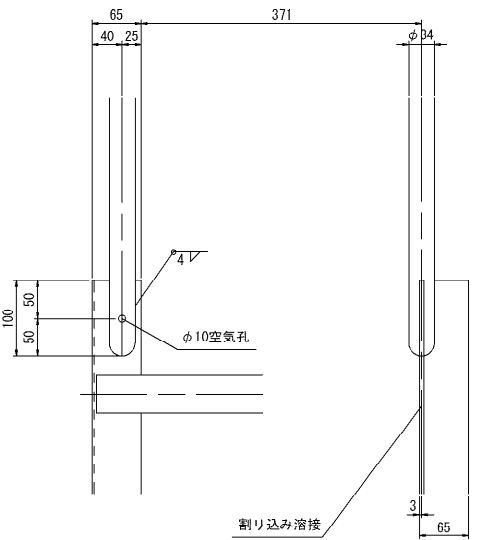


1-P1 150x8x350 (315) (SS400)
2-BN M16x40 (2-W付) (SS400)
2-ホールインアンカー M16x125 (SS400)
※ アンカー部のみ新規部材とする。

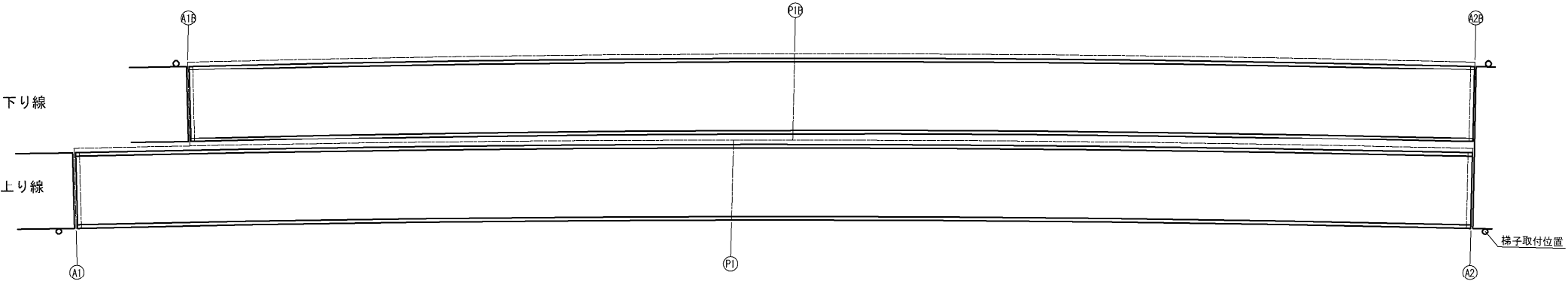
“a”詳細図 S=1:10



“b”詳細図 S=1:10



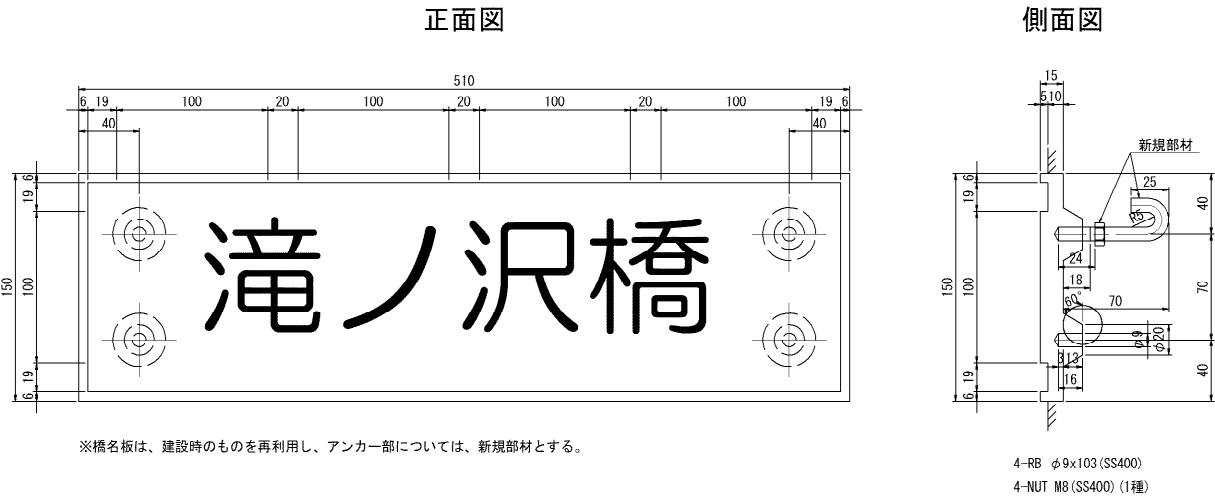
配置図



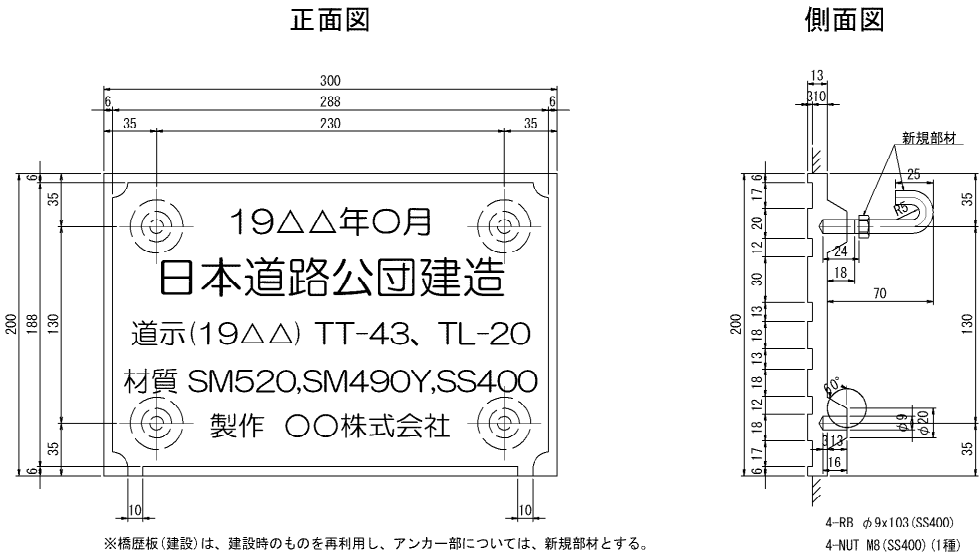
注記:
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛メッキの付着量は、JIS H8641 HDZT77 とする。
尚、手摺の付着量は、HDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	43/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

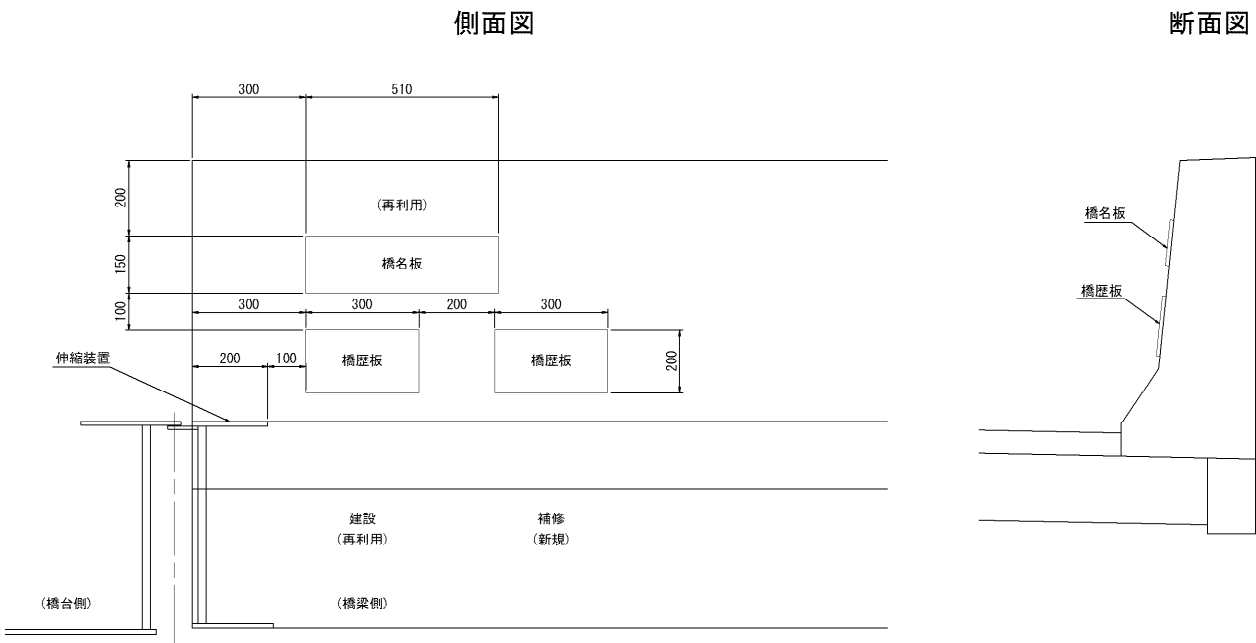
橋名板(撤去・設置)
(撤去・再設置)



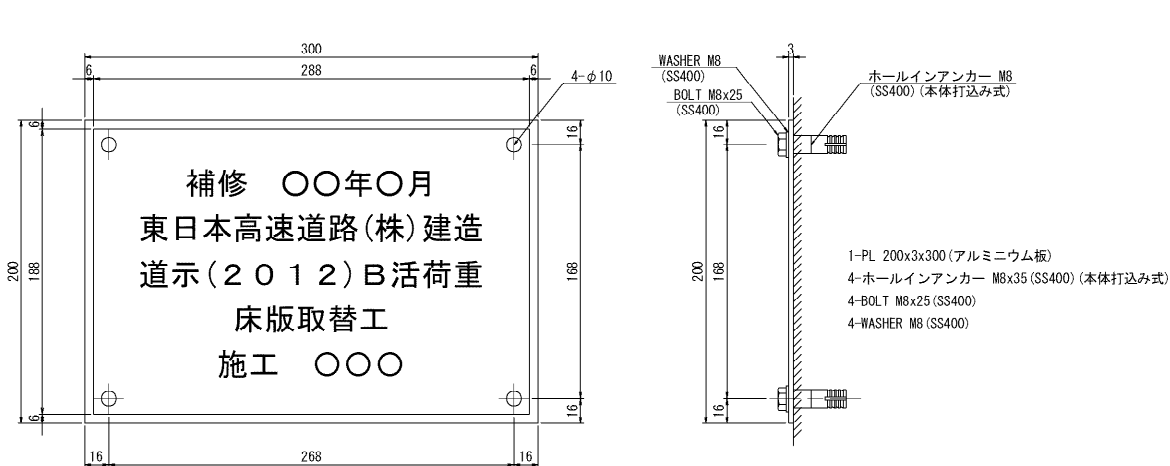
橋歴板(建設)
(撤去・再設置)



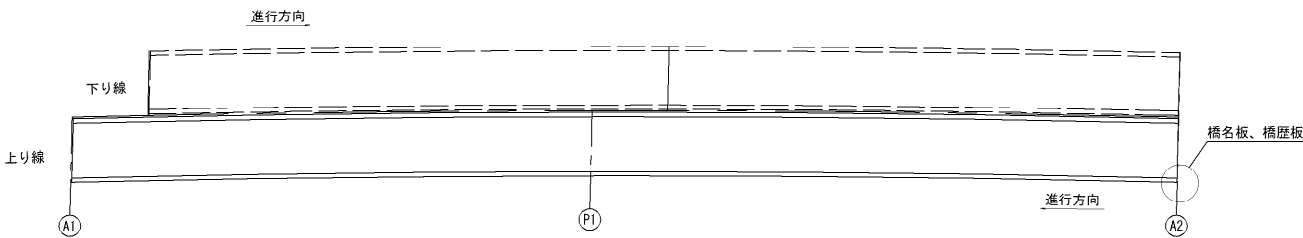
取付位置図



橋歴板(補修)
(新設)製作数: 1

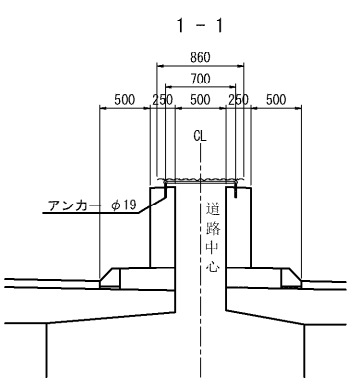


設置位置

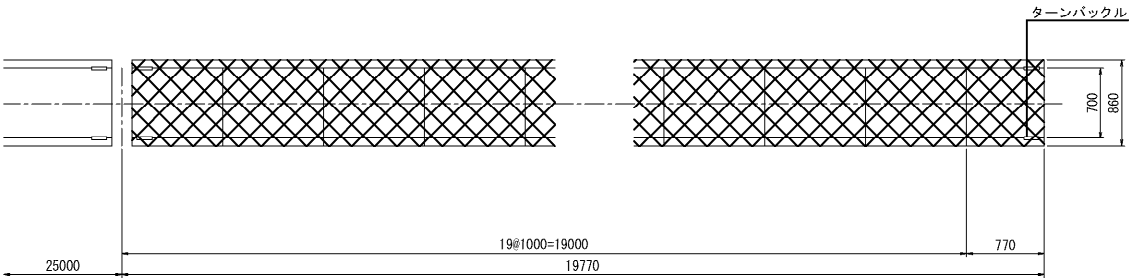


注記
1. 橋歴板の材質は、JIS H 4000 A 5052 P (アルミニウム板)とする。
2. 橋歴板の字体はゴシックとする。

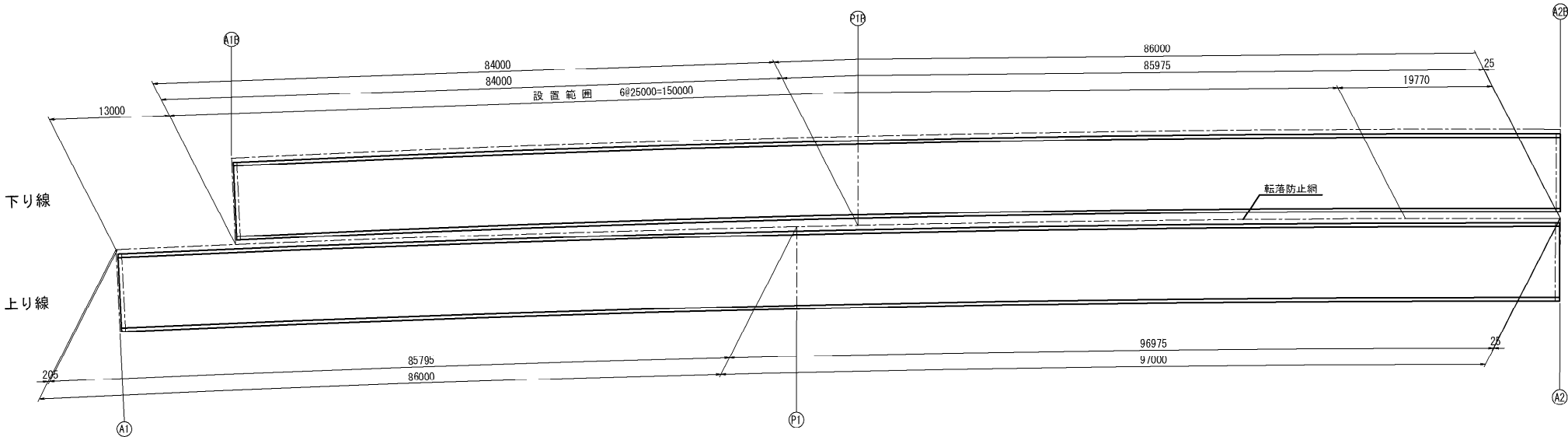
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 橋名板・橋歴板(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	44/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



端部割付図



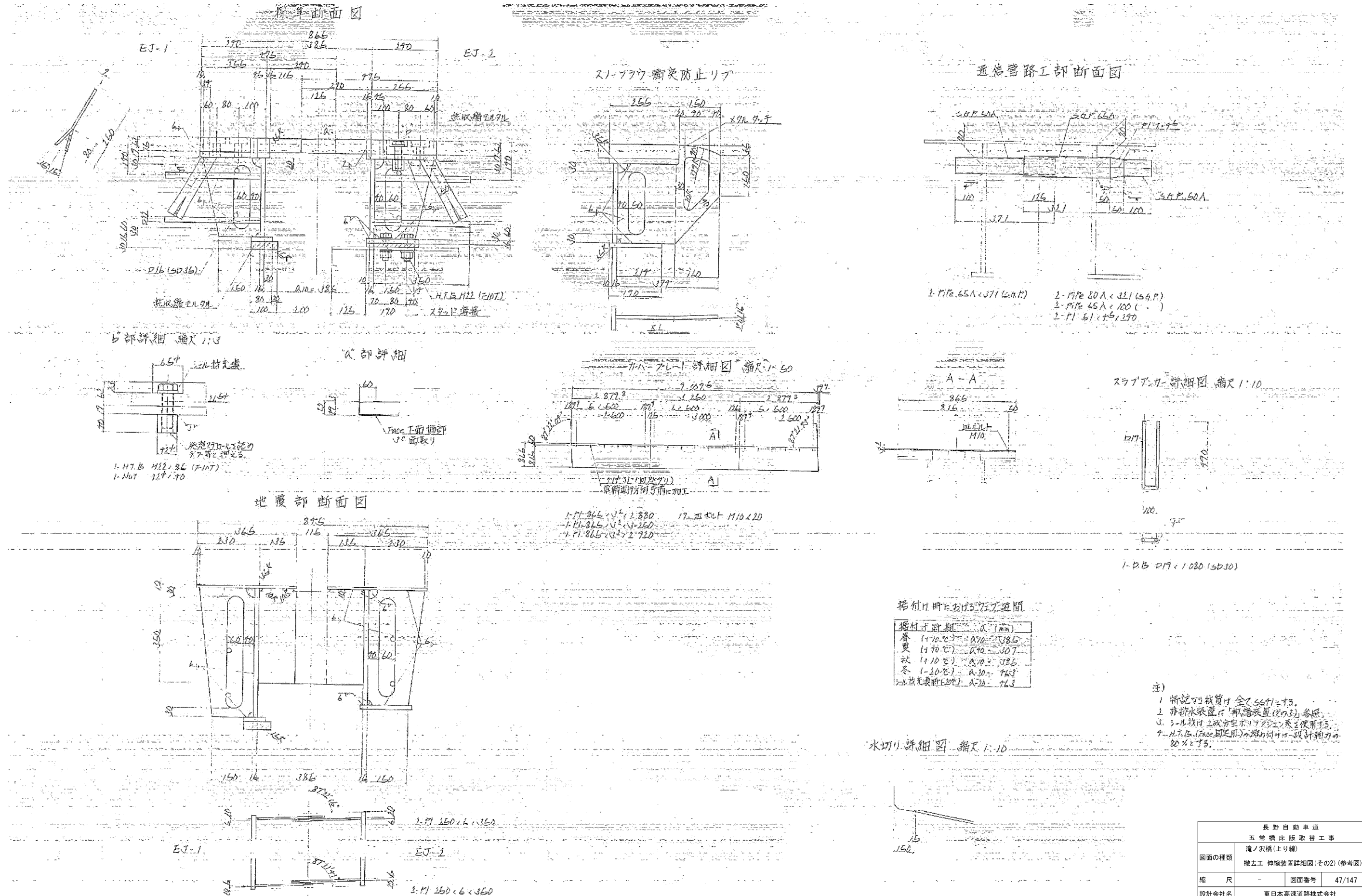
配置図



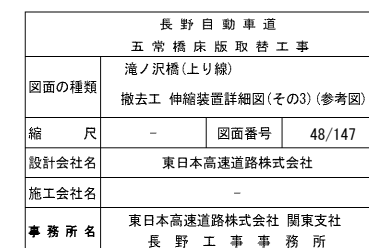
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造物
寸法を再確認すること。

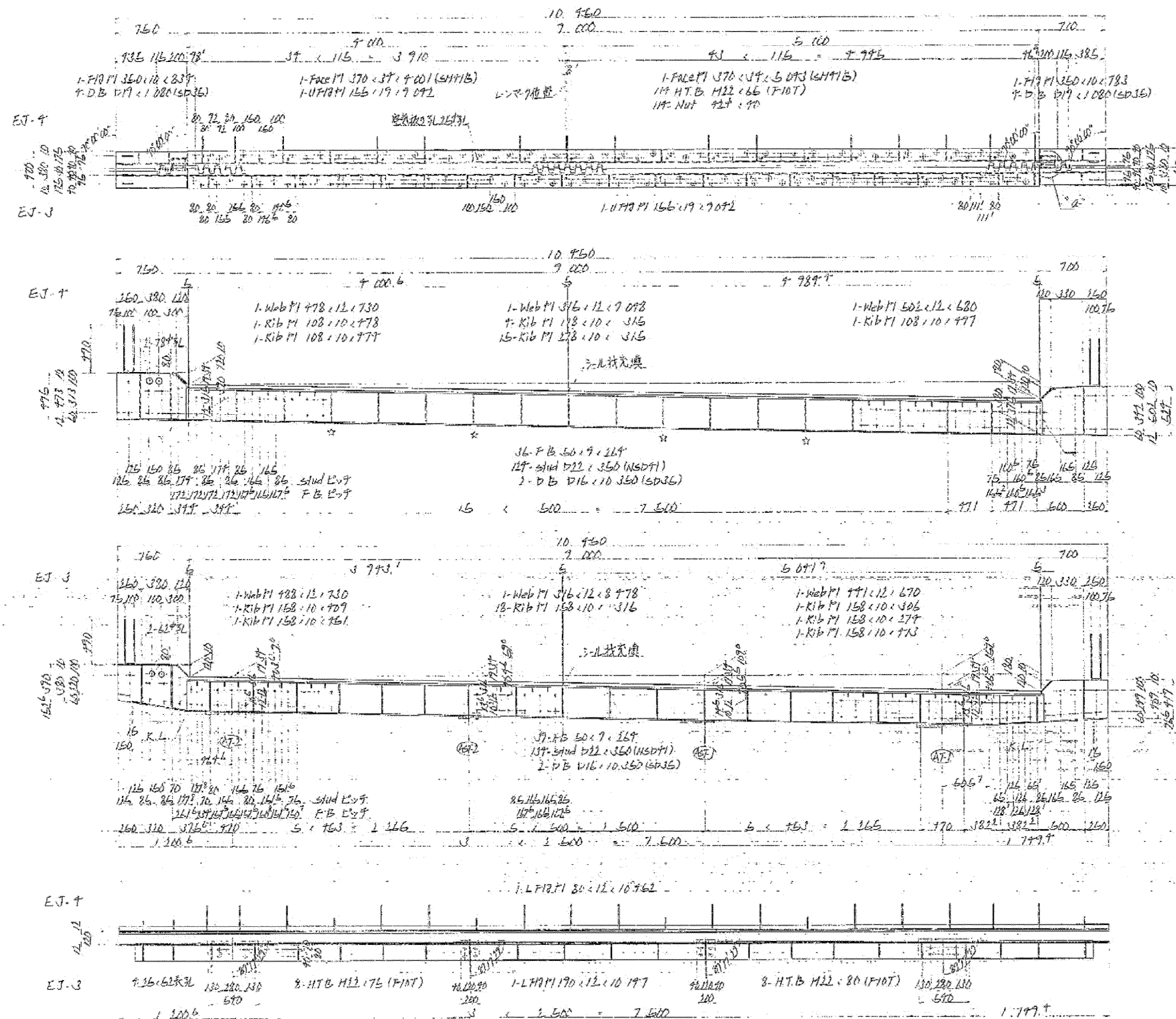
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 中央分離帯転落防止網詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	45/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	46/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

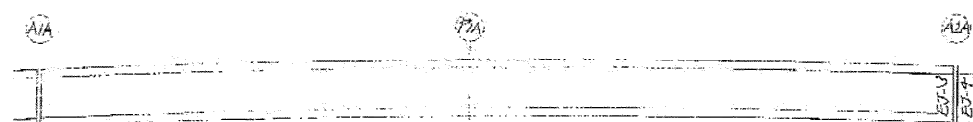


長 野 自 動 車 道			
五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	-	図面番号	47/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

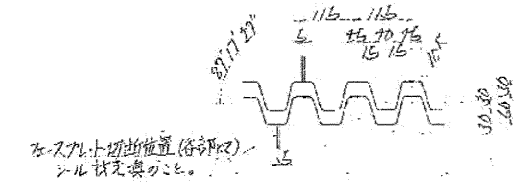




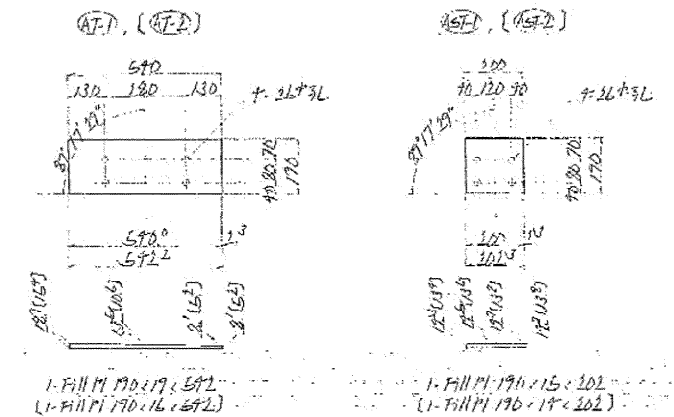
配置図



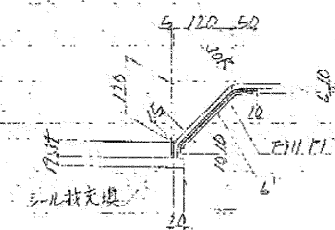
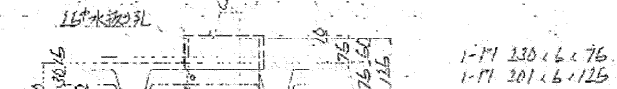
フイガー詳細 縮尺 1:6



747-761 詳細 縮尺 1:10



“A”部詳細縮尺1:6

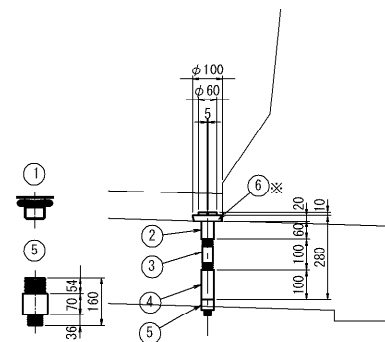


- 1 持たせの材質は 金で仕上げする。
- 2 金釘リブは 際型形状リブとし、廻り全てをリブで
衝撃防止リブとする。(但し、エナジ割れのみ)
- 3 前面図及び各部詳細図は、標準装置(そのら)を参照。
- 4 ナホ排水装置は、標準装置(そのら)を参照。
- 5 シール材は、エポキシボリブジエネ系を使用する。
- 6 ナフタ(ケロシン系)の油の付着は、設計軸力の
80%とする。

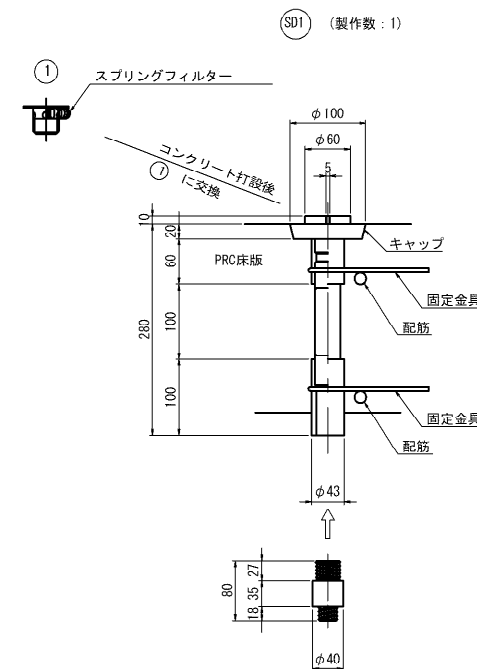
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 伸縮装置詳細図(その4)(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	49/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

Technical drawing of a bridge deck cross-section showing reinforcement details. The drawing includes a grid of reinforcement bars (A1, A2, ST1, ST2) and a waterproofing layer (防水層). Dimensions are provided for various parts of the deck, including the width (10450), height (210), and reinforcement spacing (400, 9200). Labels include '左側床版先端A1上' (Left side deck end A1 top), '右側床版先端A1上' (Right side deck end A1 top), and '排水ます' (Drainage pit).

※コンクリート打設後①を設置。



S=1:10



2-RB $\phi 6 \times 237$ (SR235)

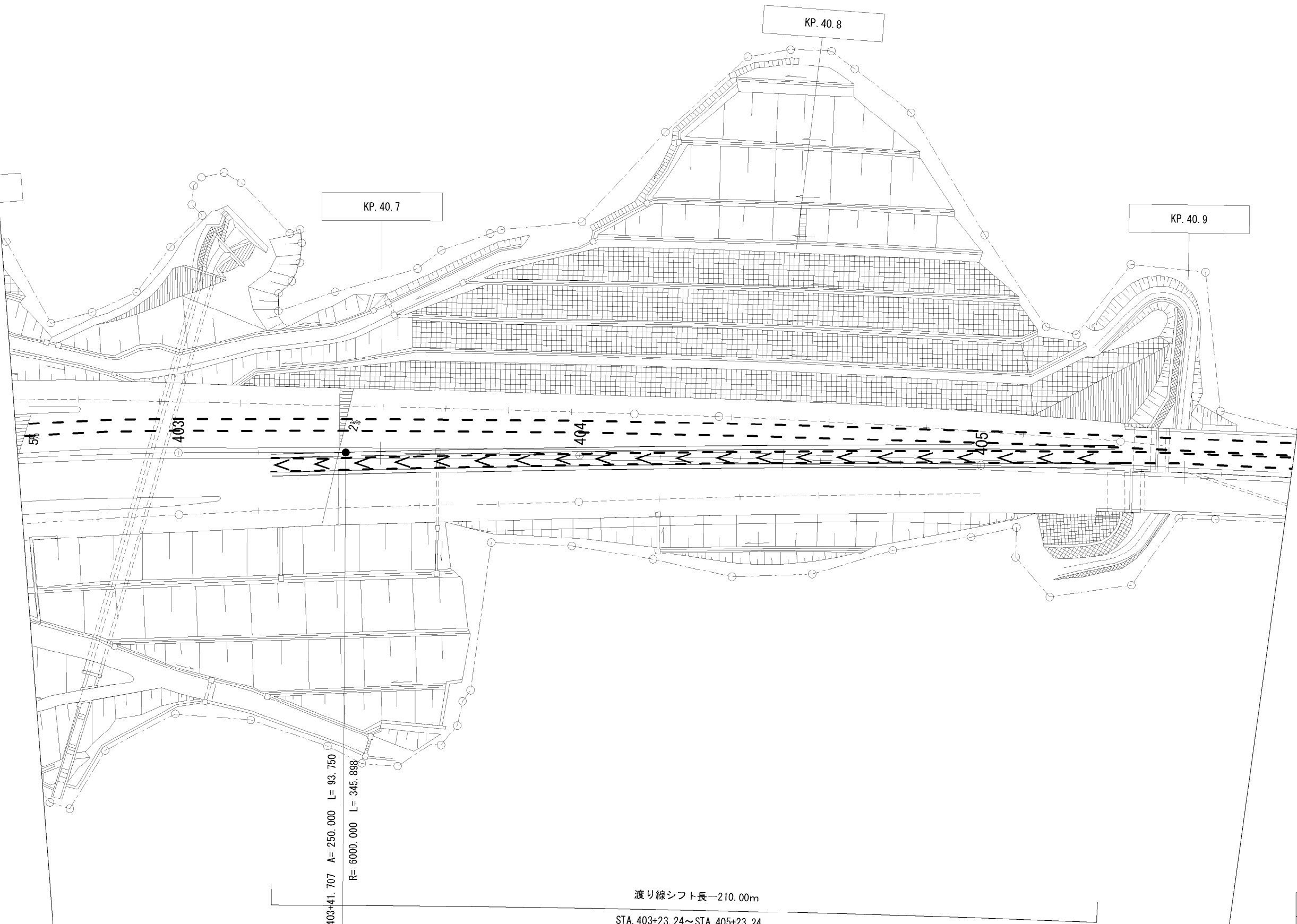
部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
②	φ42.7×60	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
③	φ34.0×100	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
④	φ42.7×100	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0×80	
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性 SR235
固定金具	φ6×237	
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)

部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
②	φ42.7×60	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
③	φ34.0×100	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
④	φ42.7×100	鋼管 (亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0×80	
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性 SR235
固定金具	φ6×237	
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 床版抜きパイプ詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	52/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

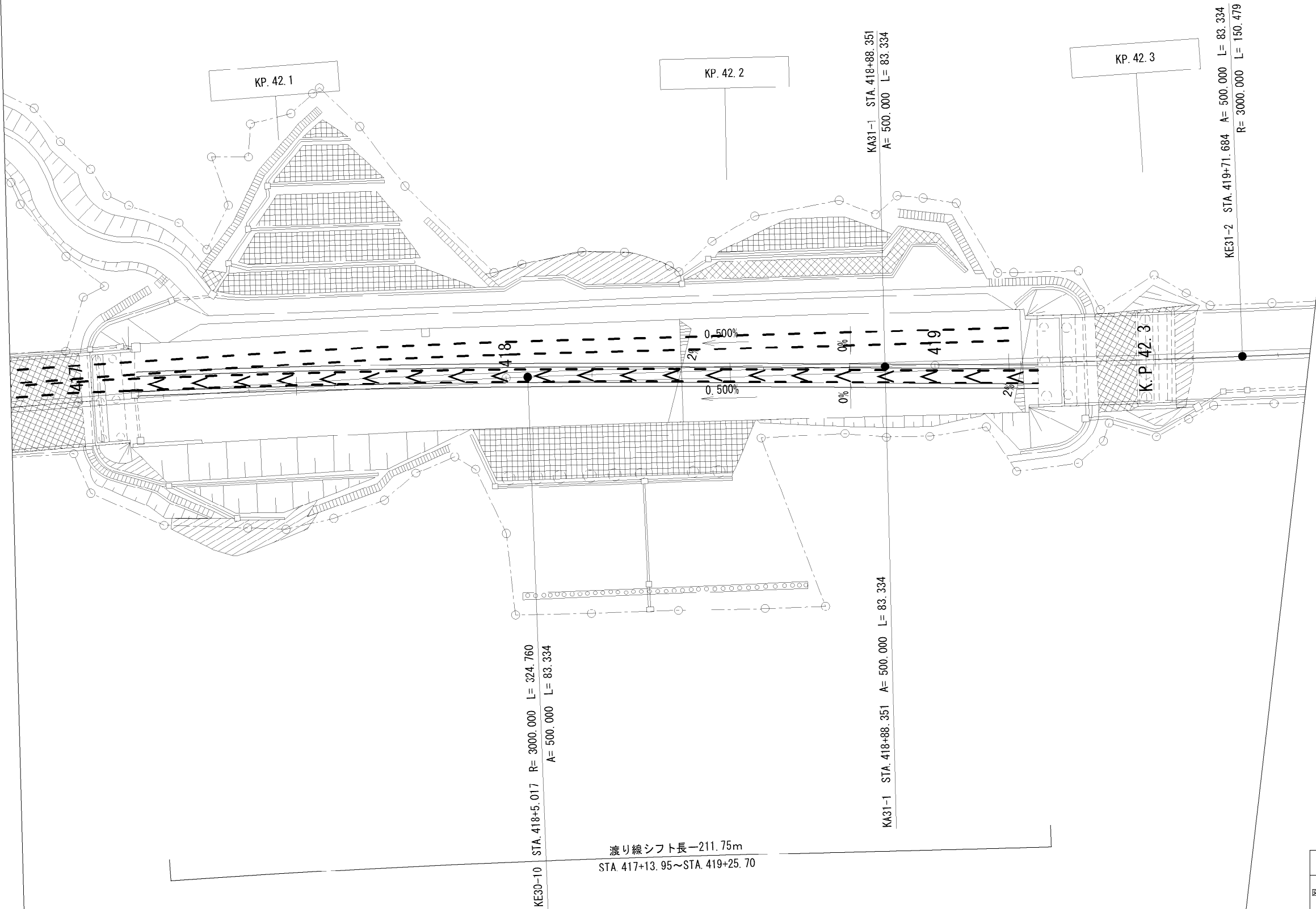
床版取替工 共通項目

渡り線シフト部平面図(その1)(参考図) S=1:1000
 起点側



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	渡り線シフト部平面図(その1)(参考図)		
縮尺	1:1000	図面番号	53/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線シフト部平面図(その2)(参考図) S=1:1000
 終点側

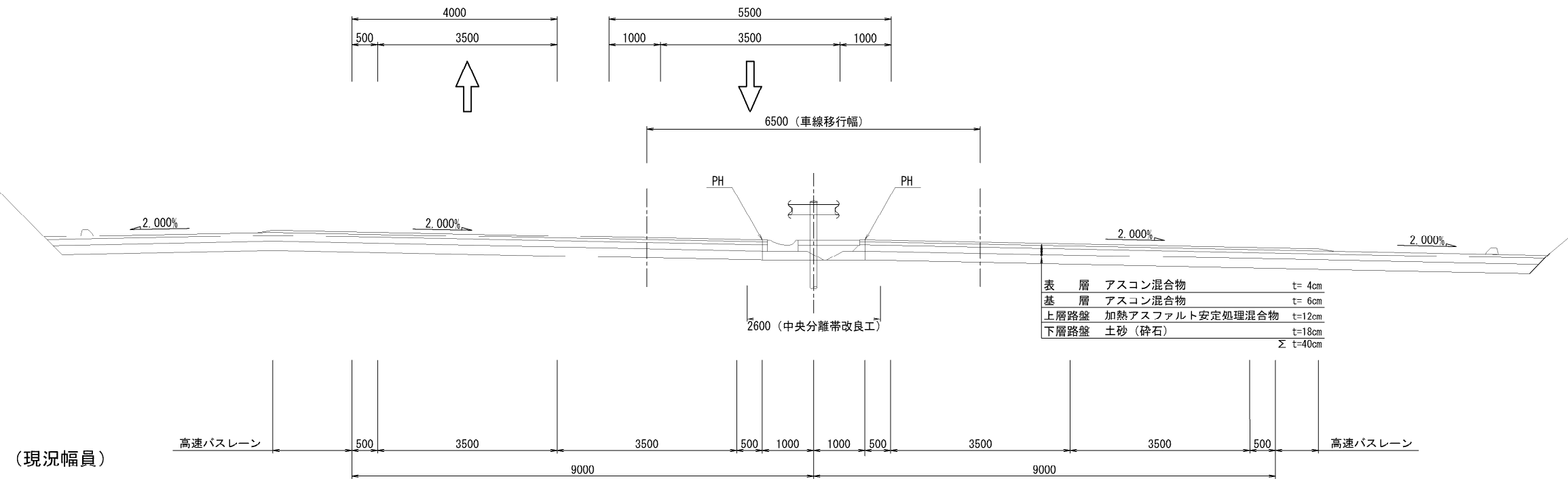


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	渡り線シフト部平面図(その2)(参考図)		
縮尺	1:1000	図面番号	54/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工務所		

渡り線（車線シフト部）
起点側

下り線

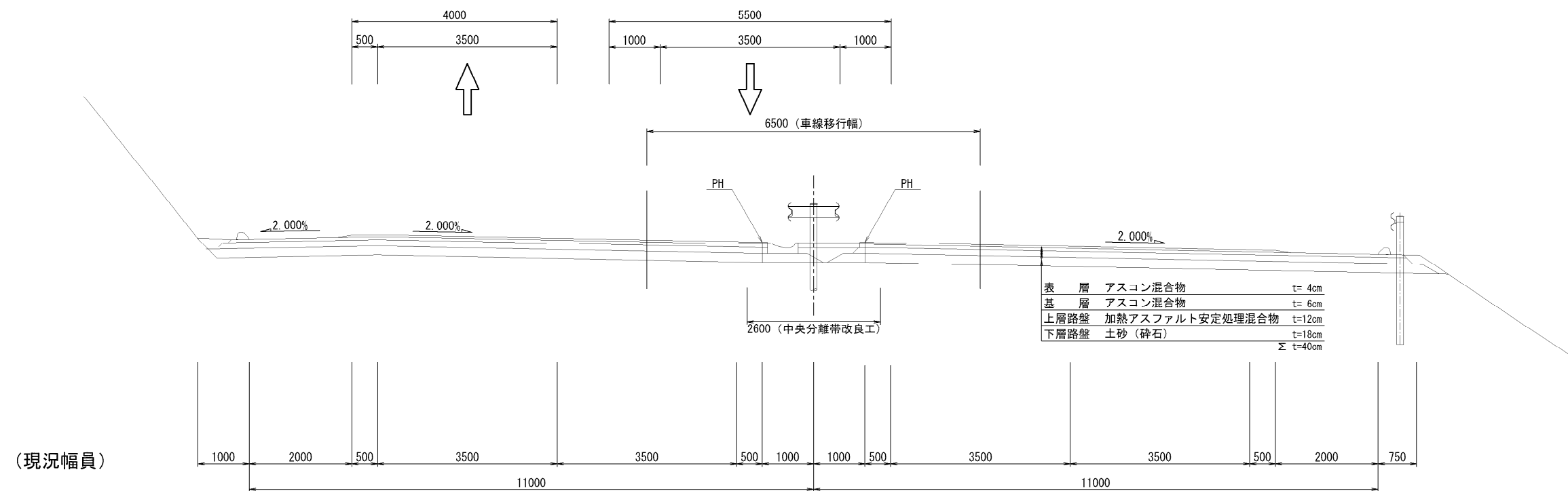
上　り　線



渡り線（車線シフト部）
終点側

下り線

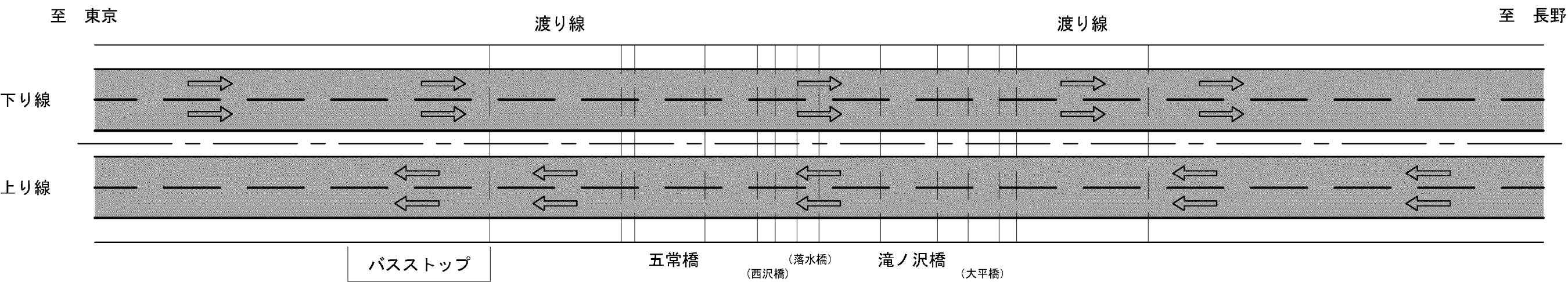
上　り　線



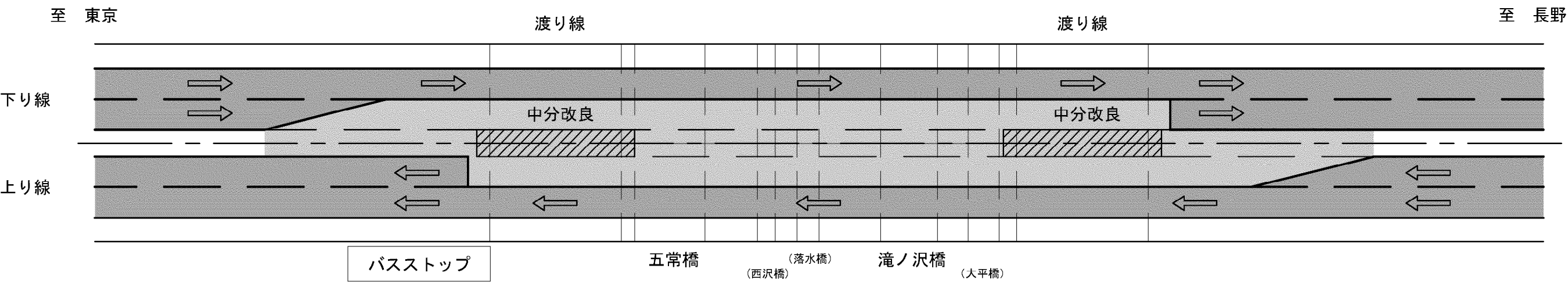
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	渡り線ソフト部標準横断面図(参考図)		
縮 尺	1:100	図面番号	55/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

※舗装構成は現況舗装を示す。

STEP 0
4車線運用(交通規制前)



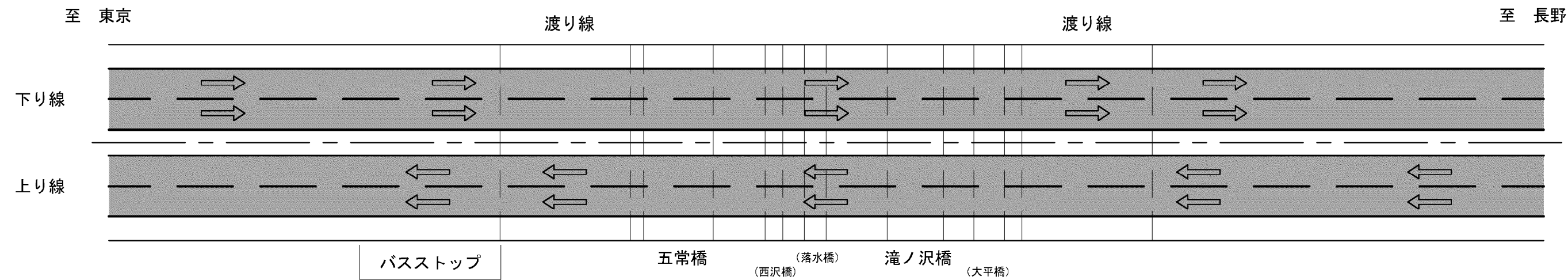
STEP 1
走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



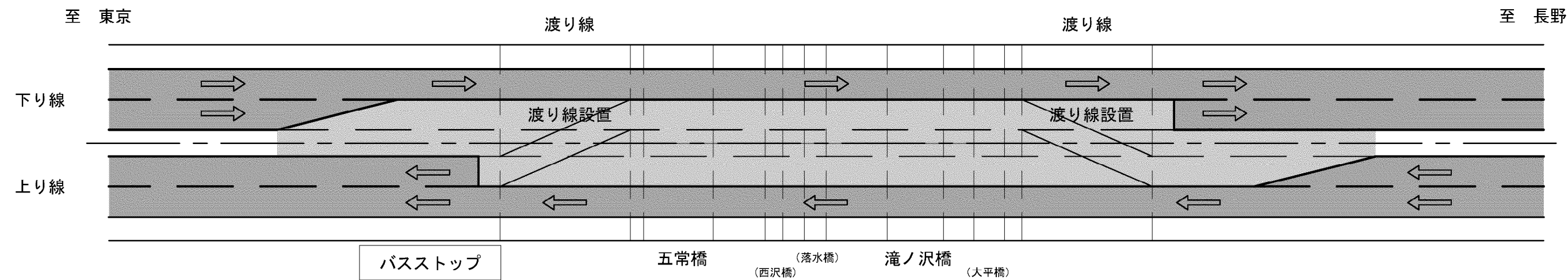
車線
工事箇所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	車線運用ステップ図(その1)(参考図)		
縮尺	-	図面番号	56/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 2 (STEP 6)
4車線運用



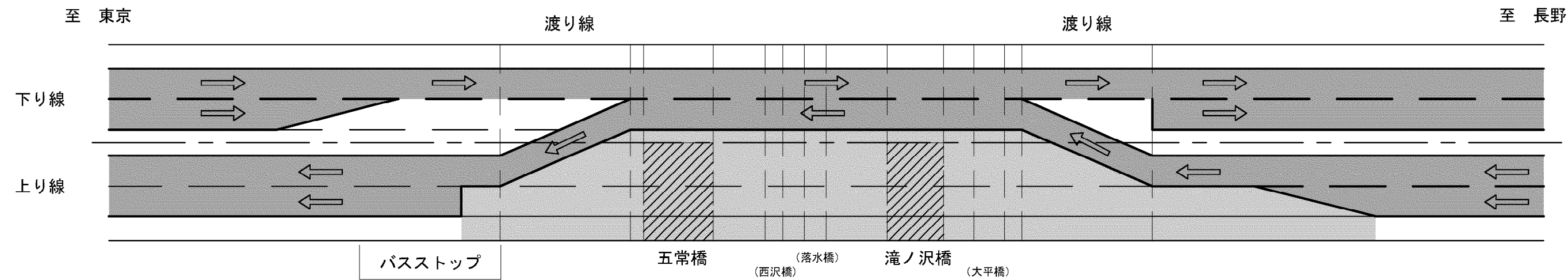
STEP 3
走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



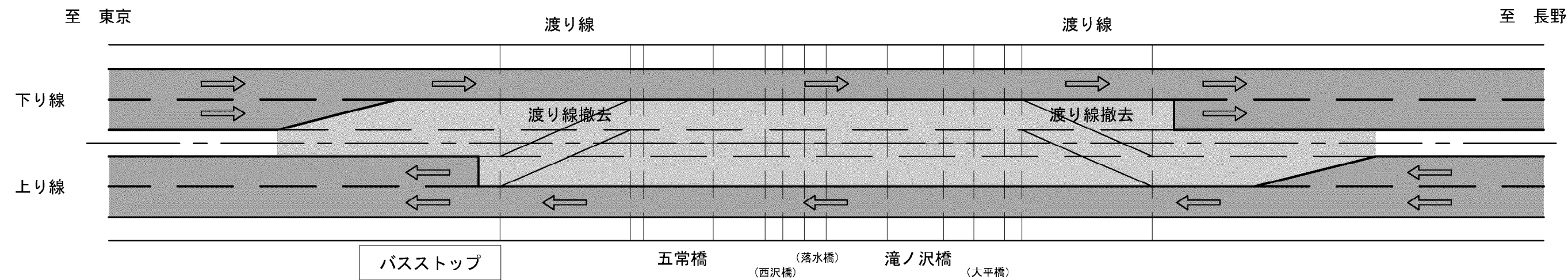
車線
工事箇所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	車線運用ステップ図(その2)(参考図)		
縮尺	-	図面番号	57/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 4
渡り線運用(下り線 対面通行規制)



STEP 5
走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



車線
工事箇所

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	車線運用ステップ図(その3)(参考図)		
縮尺	-	図面番号	58/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その1)(参考図) S=1:2500

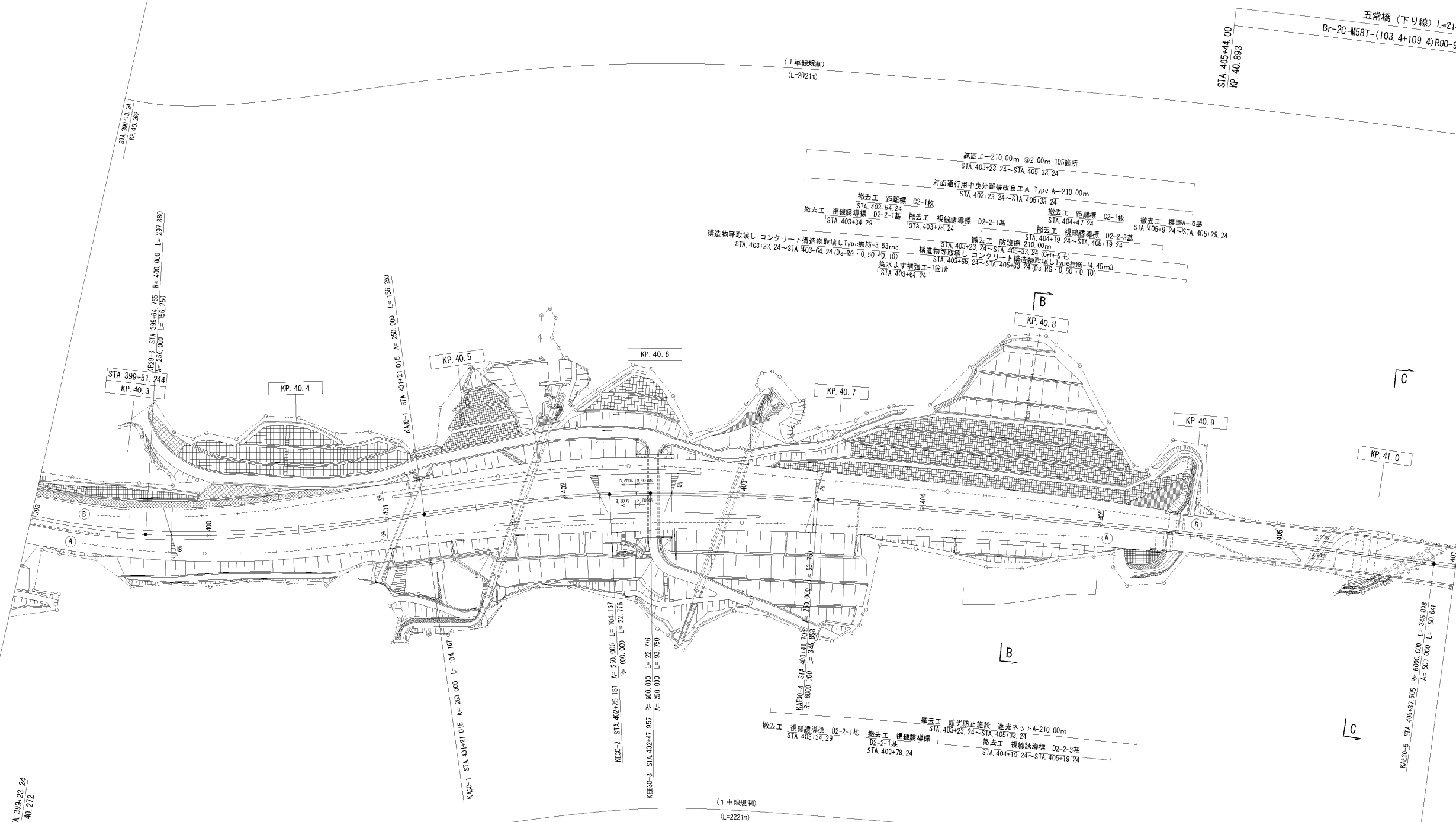
STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



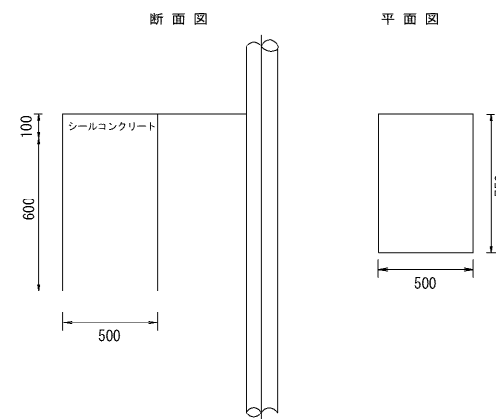
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その1)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	59/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その2)(参考図) S=1:2500

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



試掘工詳細図

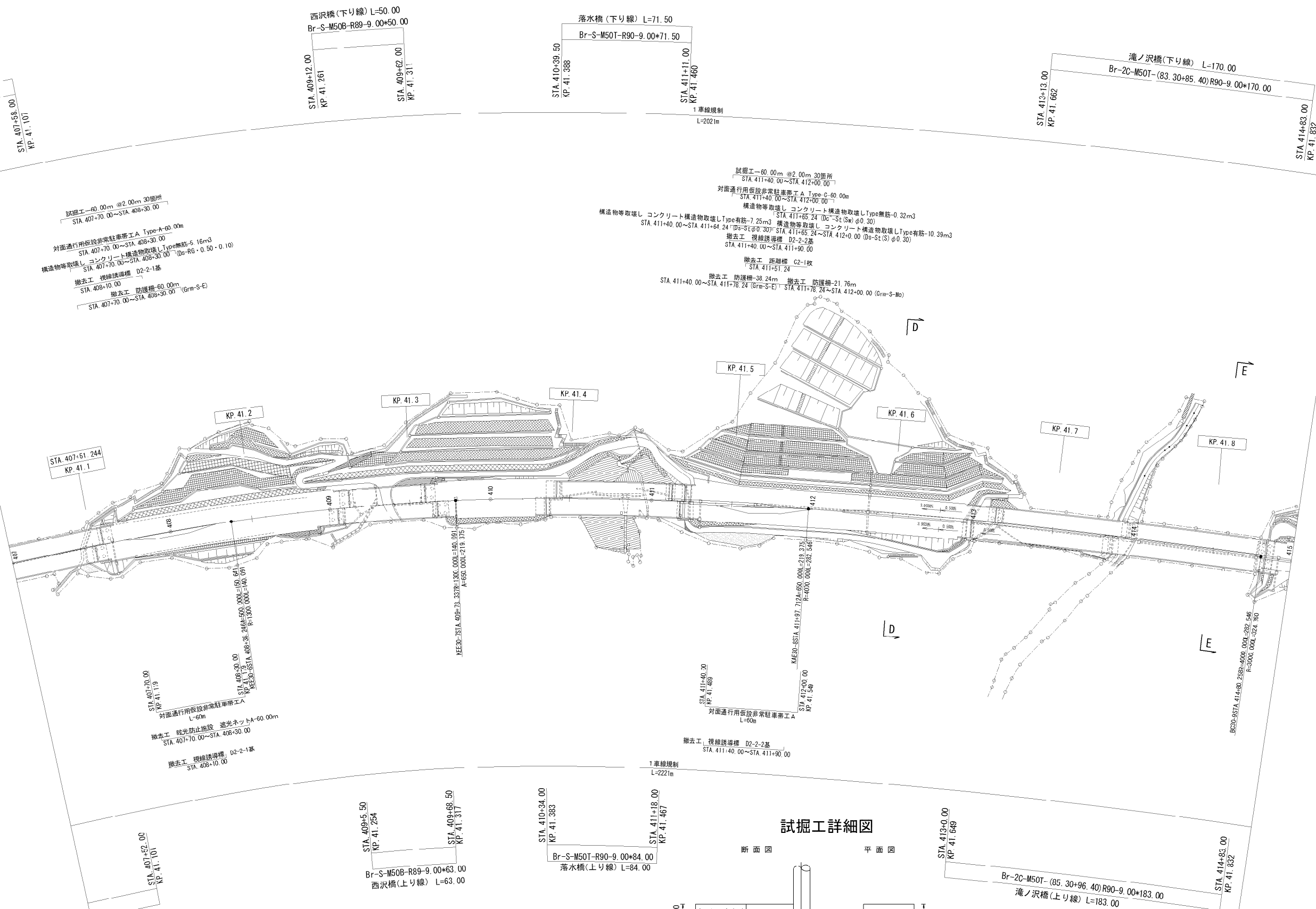


STA 405+38.00
KP 40.887
Br-2C-M58T-(109.40+103.40)R90-9.00*214.00
五常橋(上り線) L=214.00

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その2)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	60/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その3)(参考図) S=1:2500

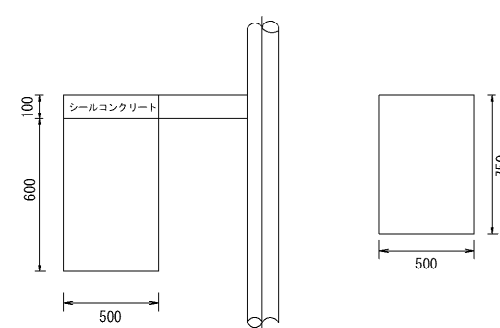
STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



試掘工詳細図

断面図

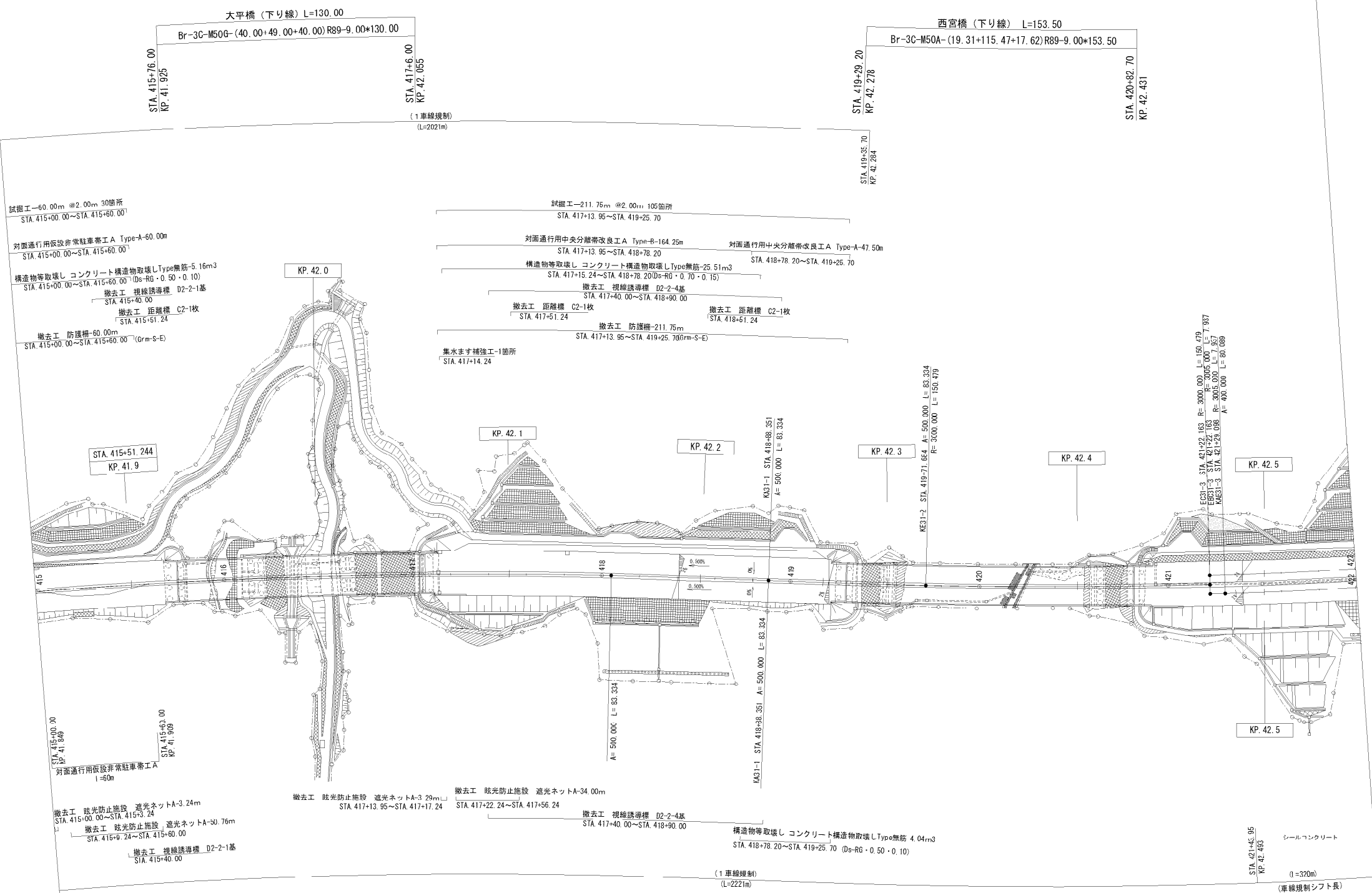
平面図



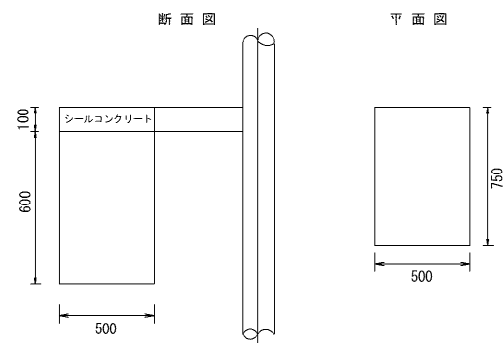
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その3)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	61/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その4)(参考図) S=1:2500

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

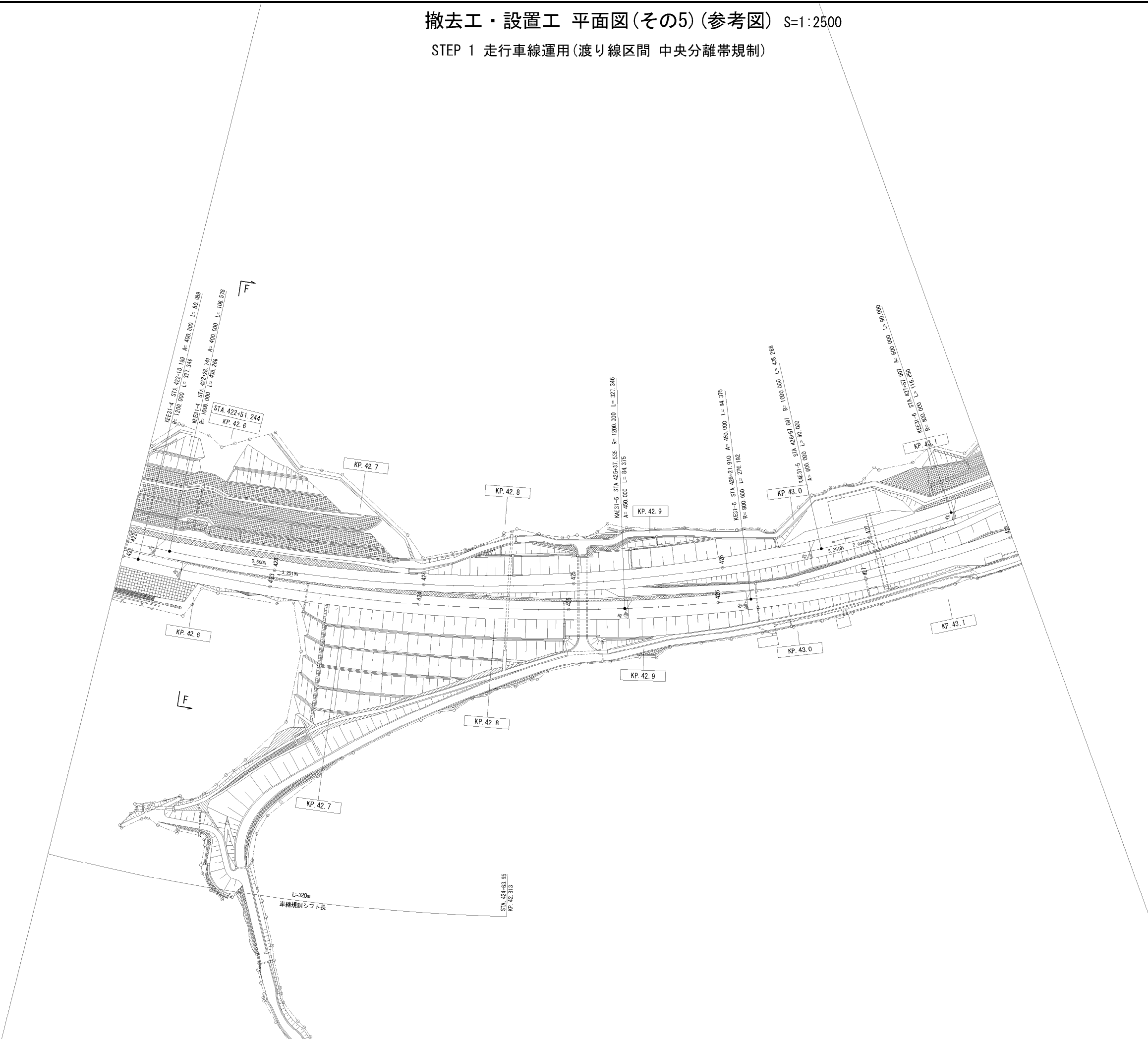


試掘工詳細図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その4)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	62/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その5)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	63/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その6)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	64/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

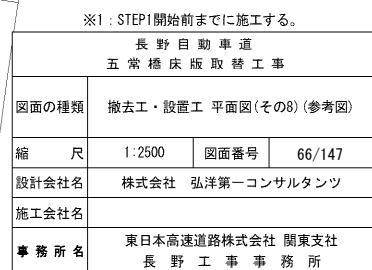
五常橋 (下り線) L=214.00
Br-2C-M58T-(103.4+109.4)R90-9.00*214.00

五常橋 (上り線) L=214.00
Br-2C-M58T-(109.4+103.4)R90-9.00*214.00

※1: STEP1開始前までに施
長野自動車道
五常橋床版取替
図面の種類
撤去工・設置工 平面図

長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 版 取 替 工 事			
0	図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その7) (参考図)	
	縮 尺	1:2500	図面番号 65/147
	設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ	
	施工会社名		
	事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所	

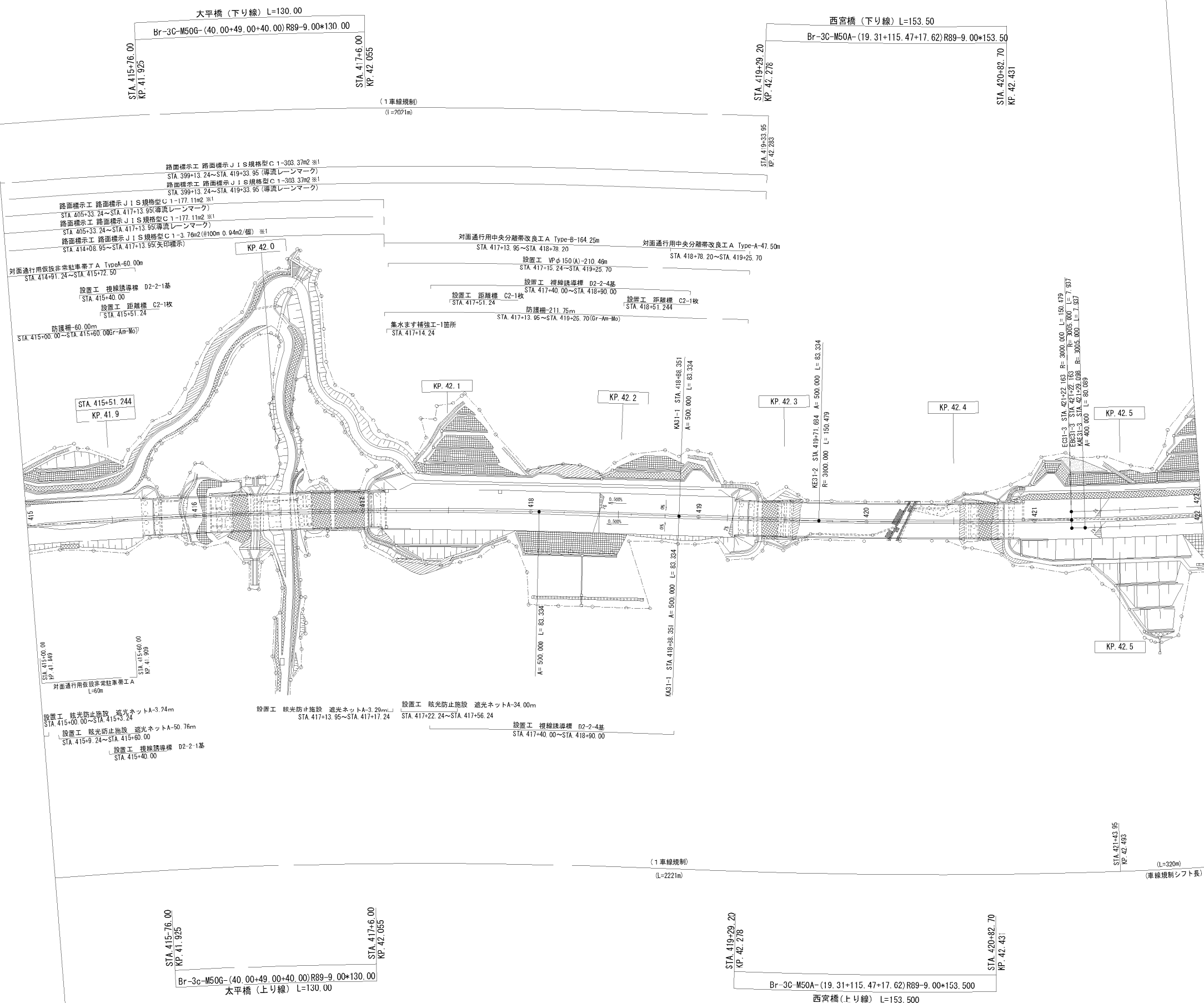
STA 410+39.50
XP 41.388
落水橋(下り線) L=71.50
Br-S-M50I-R90-9.00+71.50
STA 411+11.00



撤去工・設置工 平面図(その9)(参考図) S=1:2500

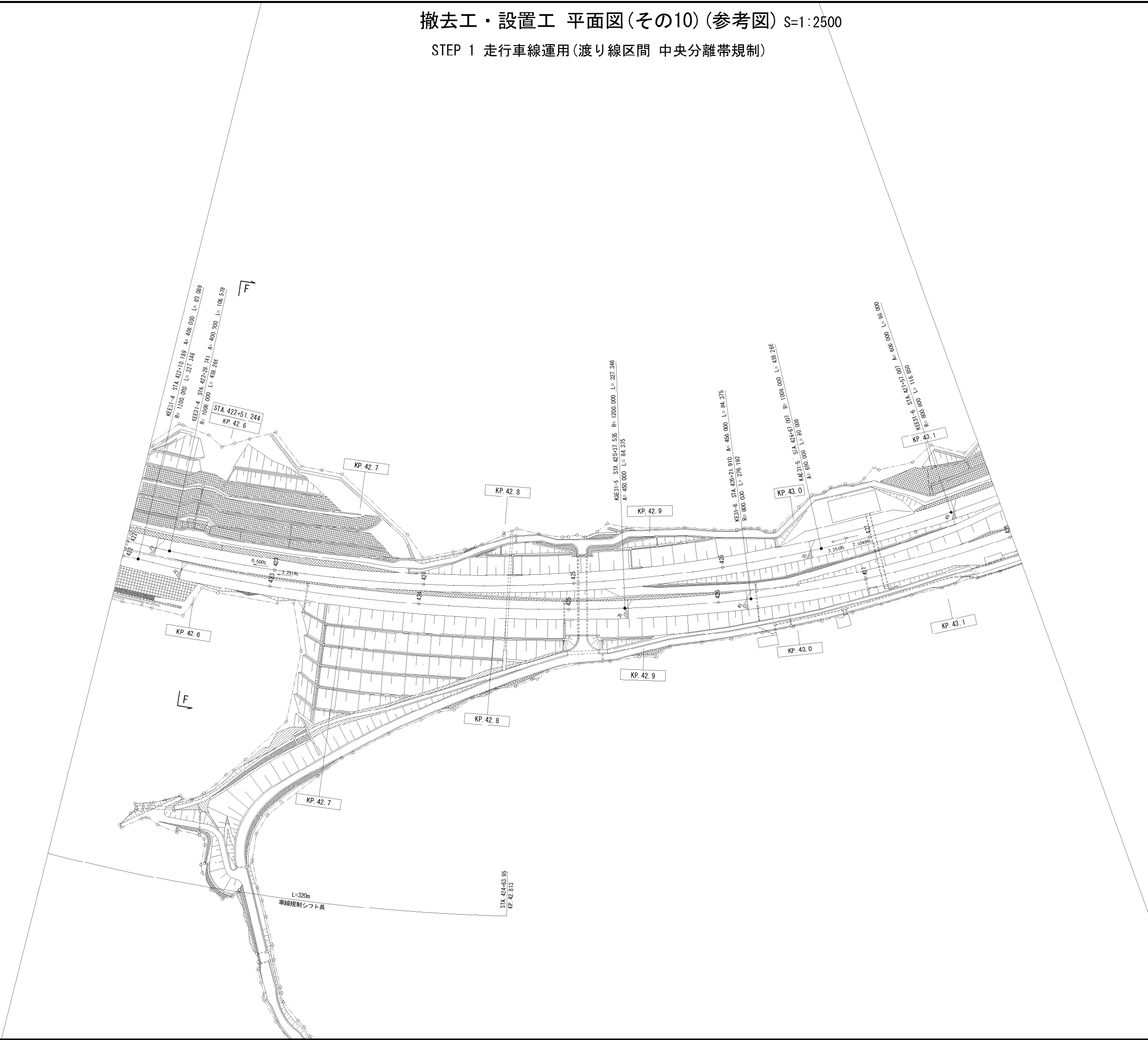
67/147

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



※1: STEP1開始前までに施工する。			
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その9)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	67/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



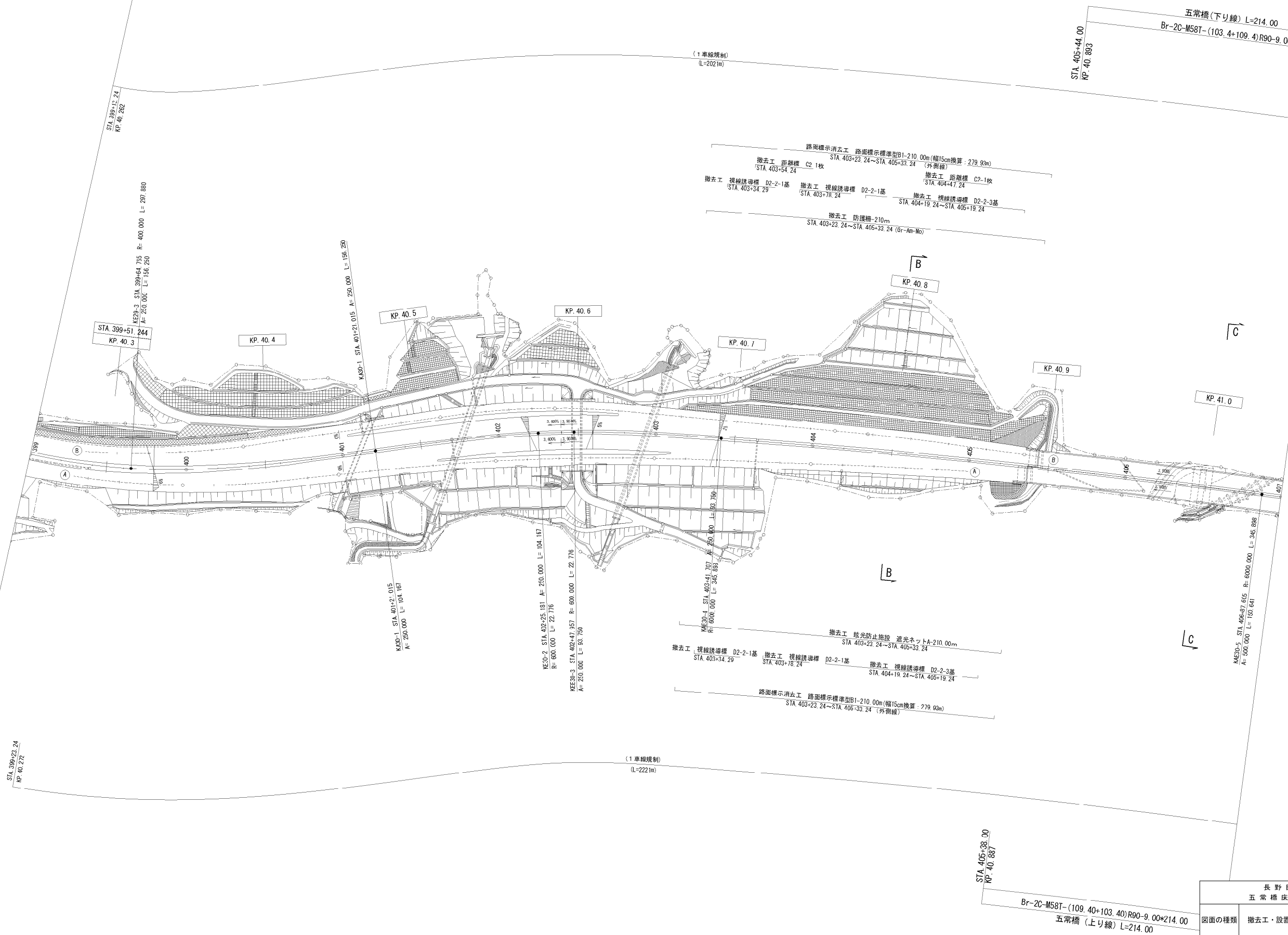
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その10)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	68/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



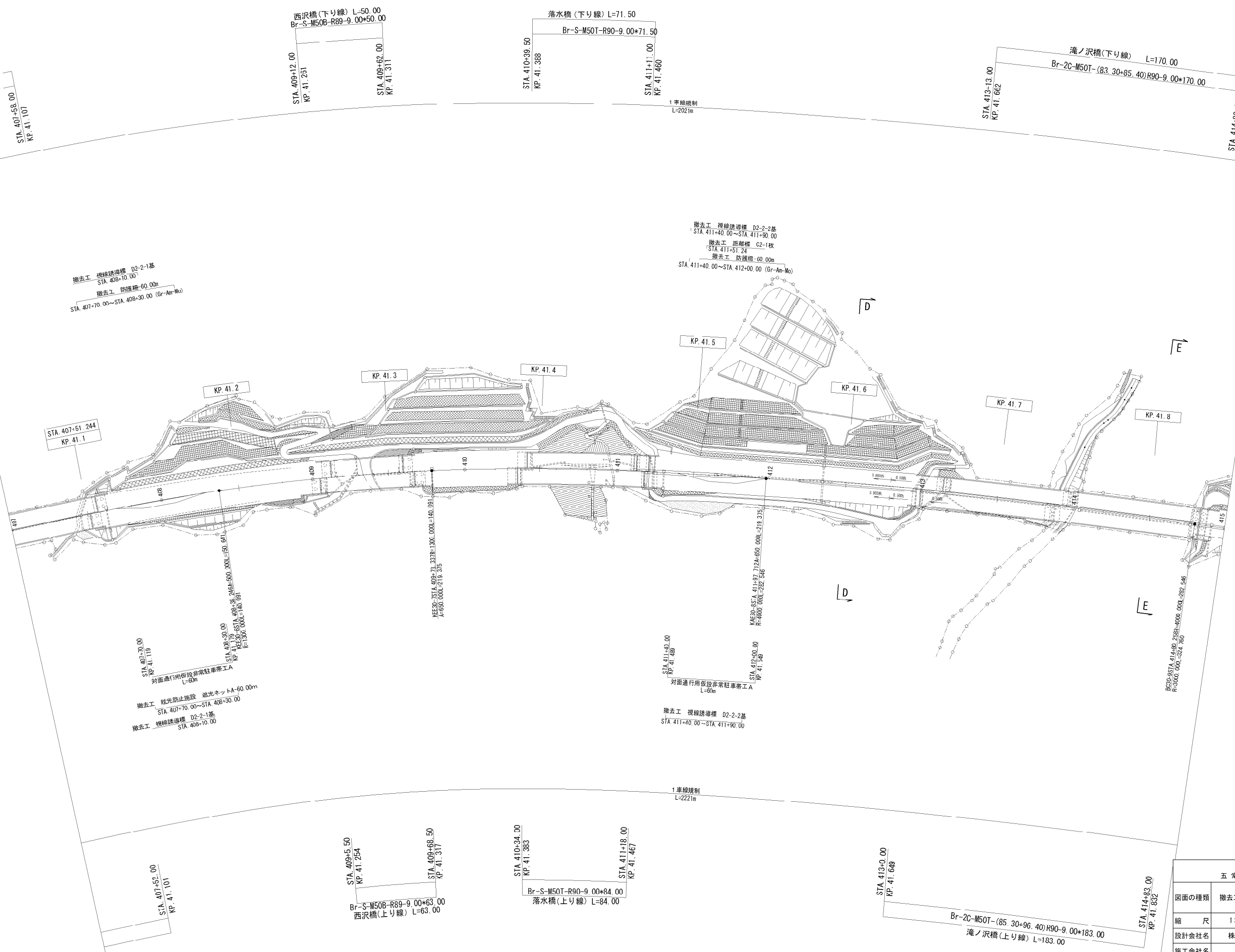
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その11)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	69/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その12)(参考図) S=1:2500
STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その12)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	70/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

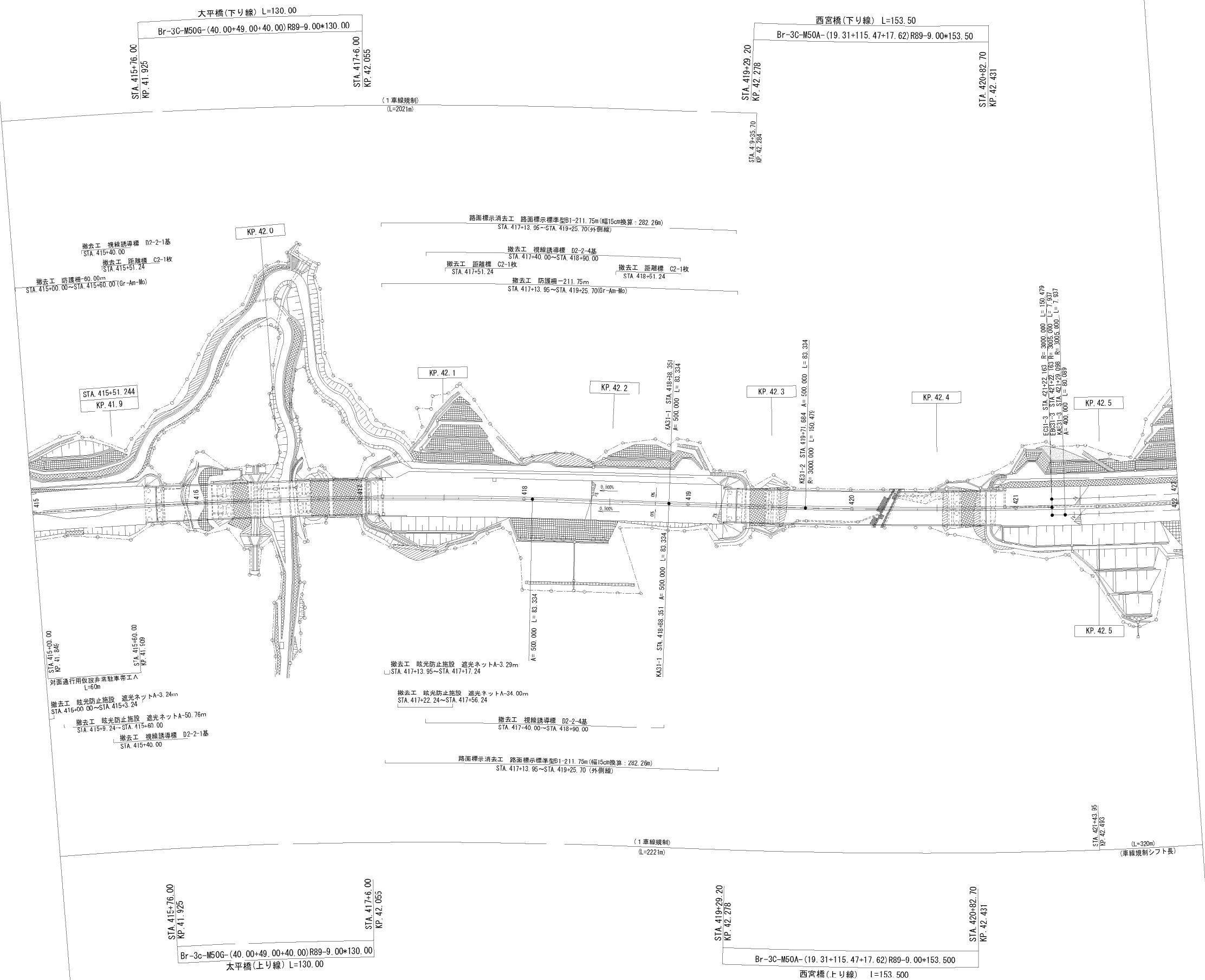
STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その13)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	71/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

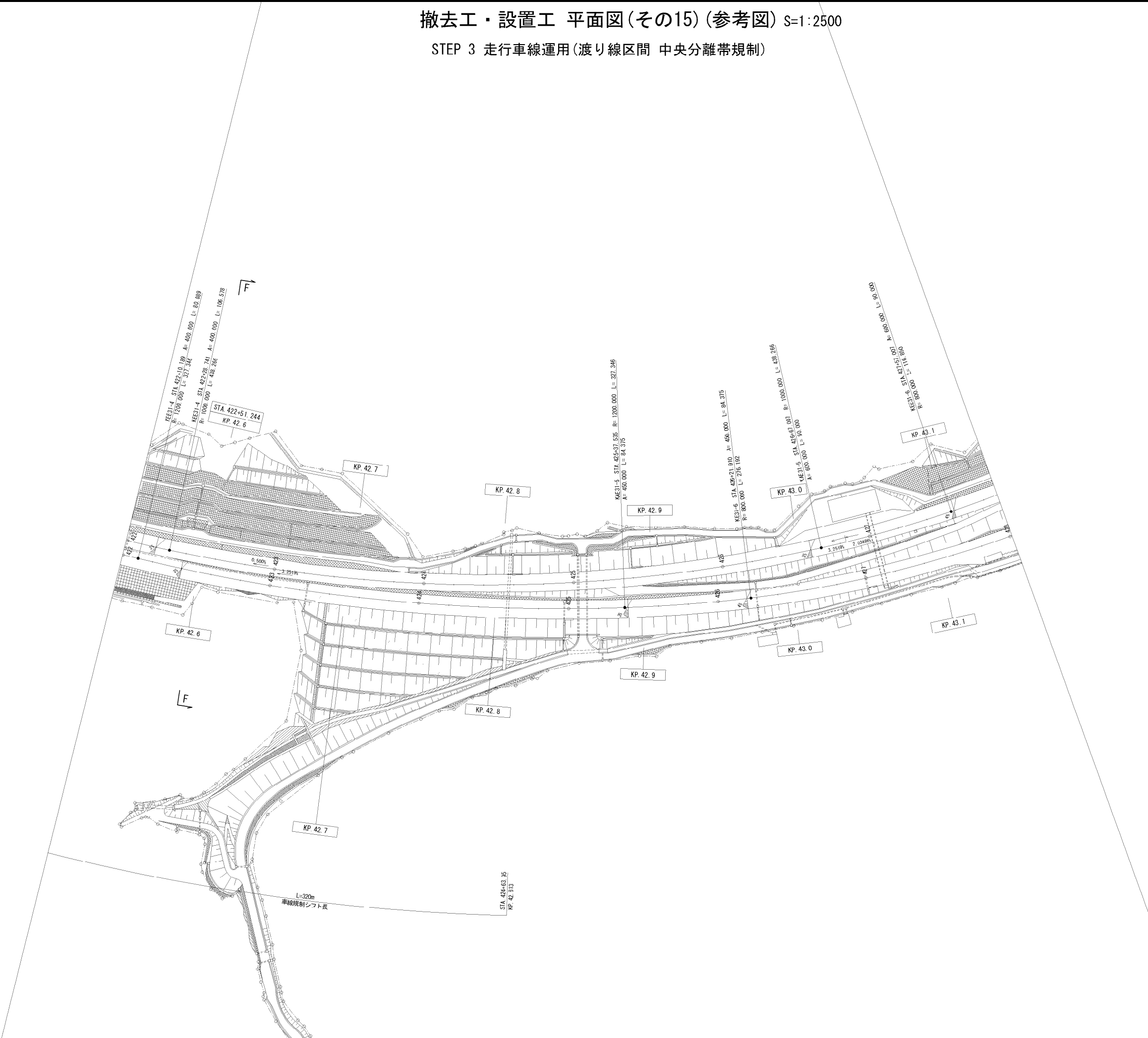
撤去工・設置工 平面図(その14)(参考図) S=1:2500

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その14)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	72/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタント		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その15)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	73/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

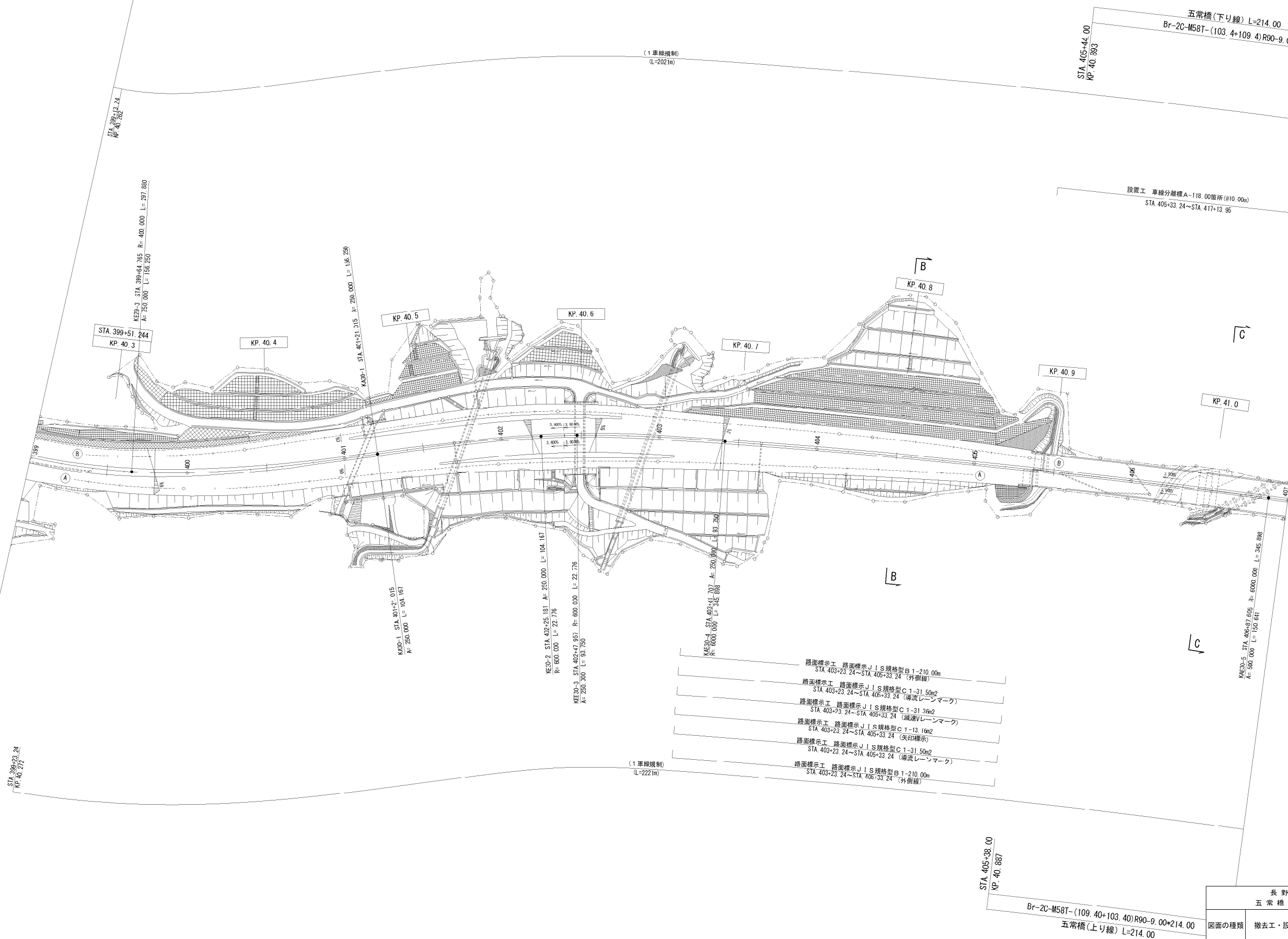
撤去工・設置工 平面図(その16)(参考図) S=1:2500

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その16)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	74/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

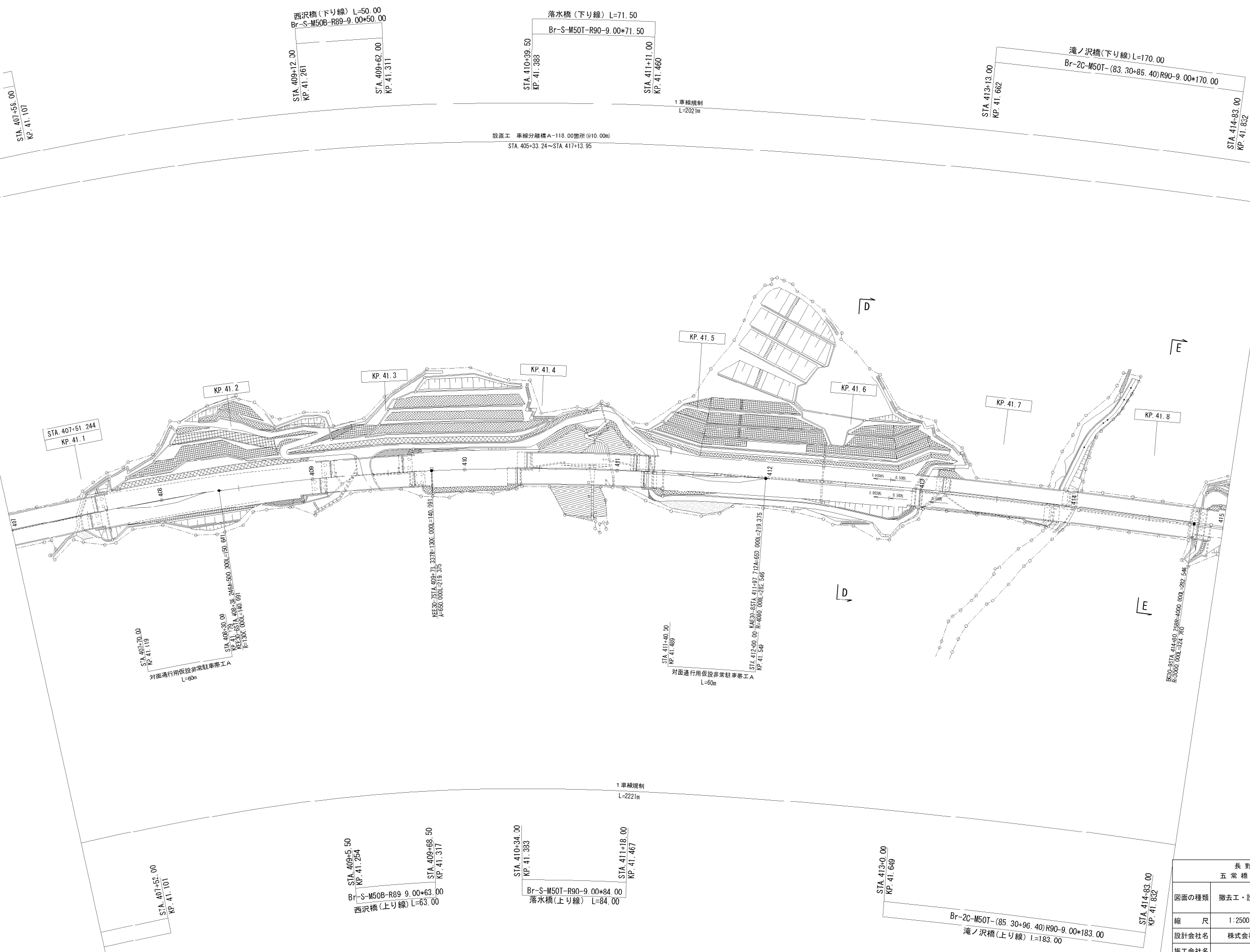
撤去工・設置工 平面図(その17)(参考図) S=1:2500
STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その17)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	75/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その18)(参考図) S=1:2500

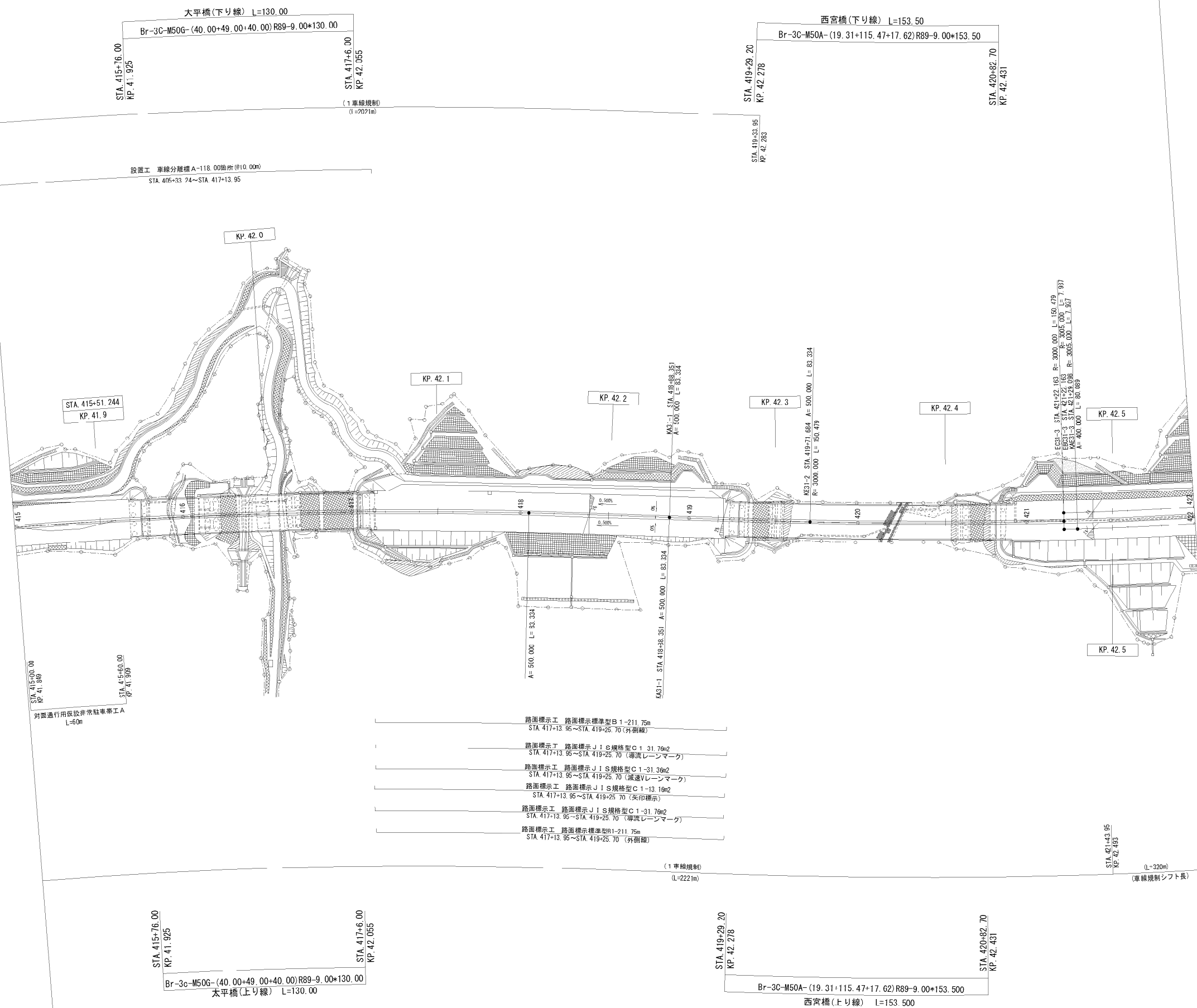
STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その18)(参考図)		
縮尺	1:2500	図面番号	76/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

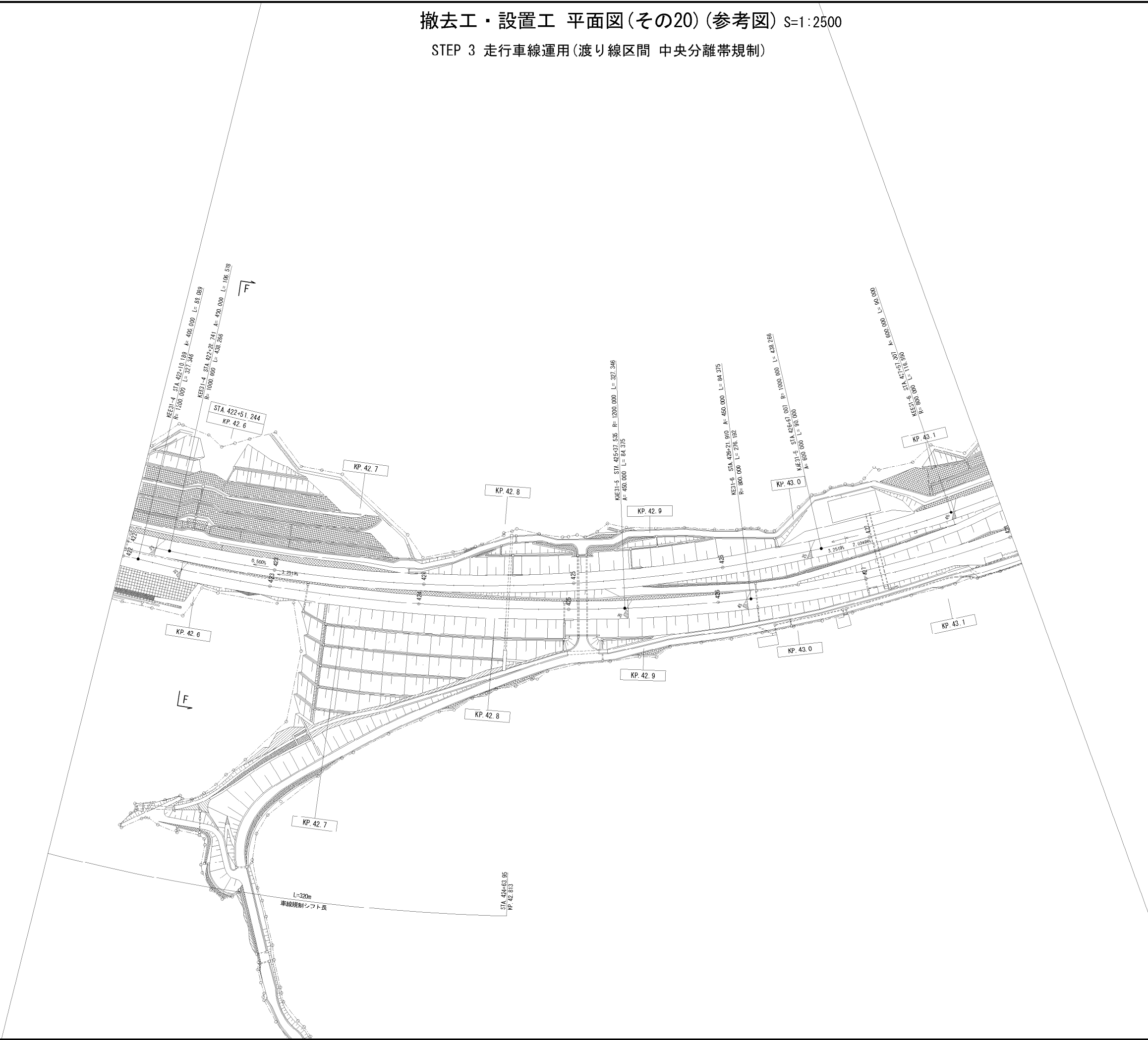
撤去工・設置工 平面図(その19)(参考図) S=1:2500

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋仮設代替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その19)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	77/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



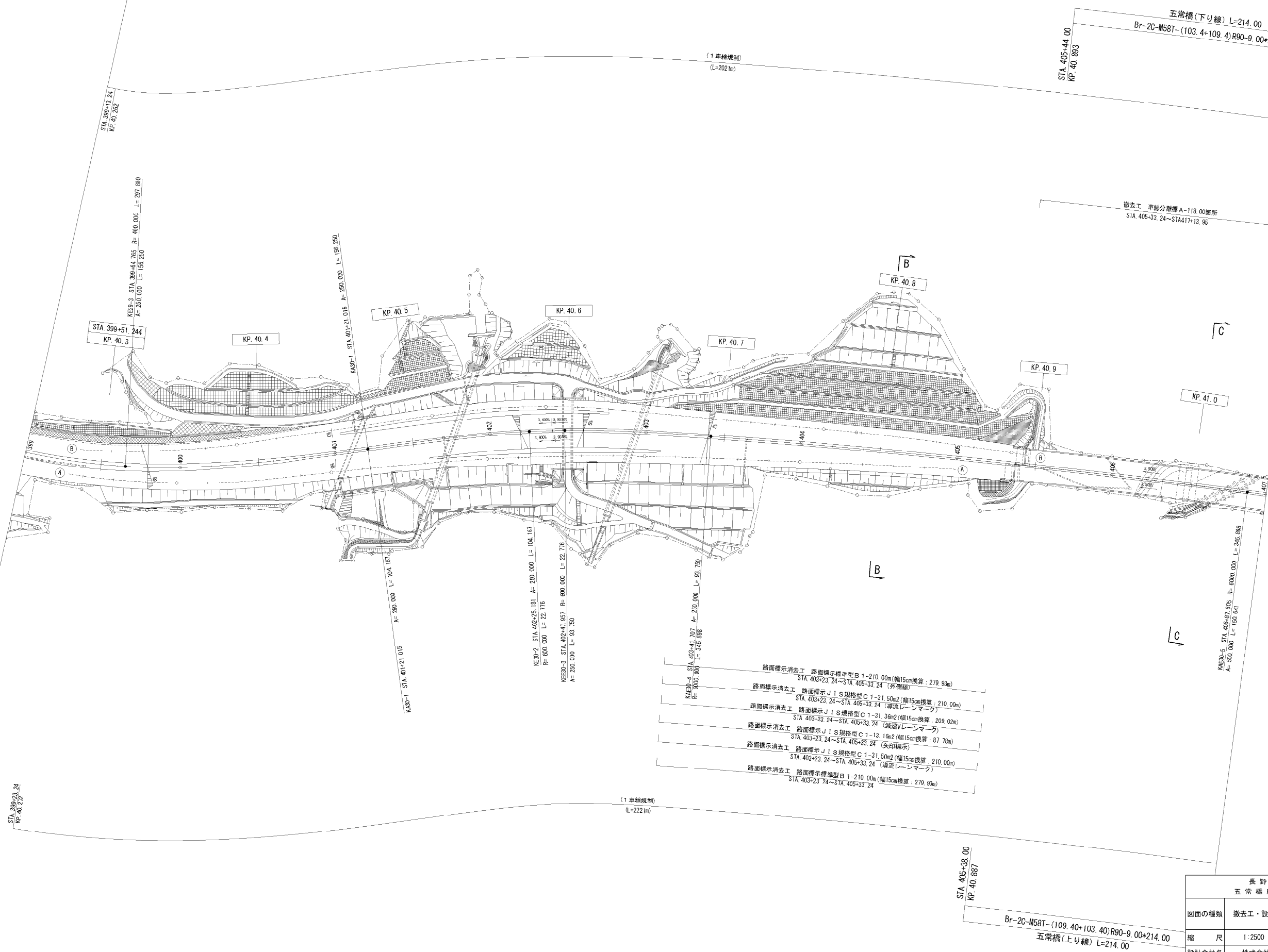
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その20)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	78/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



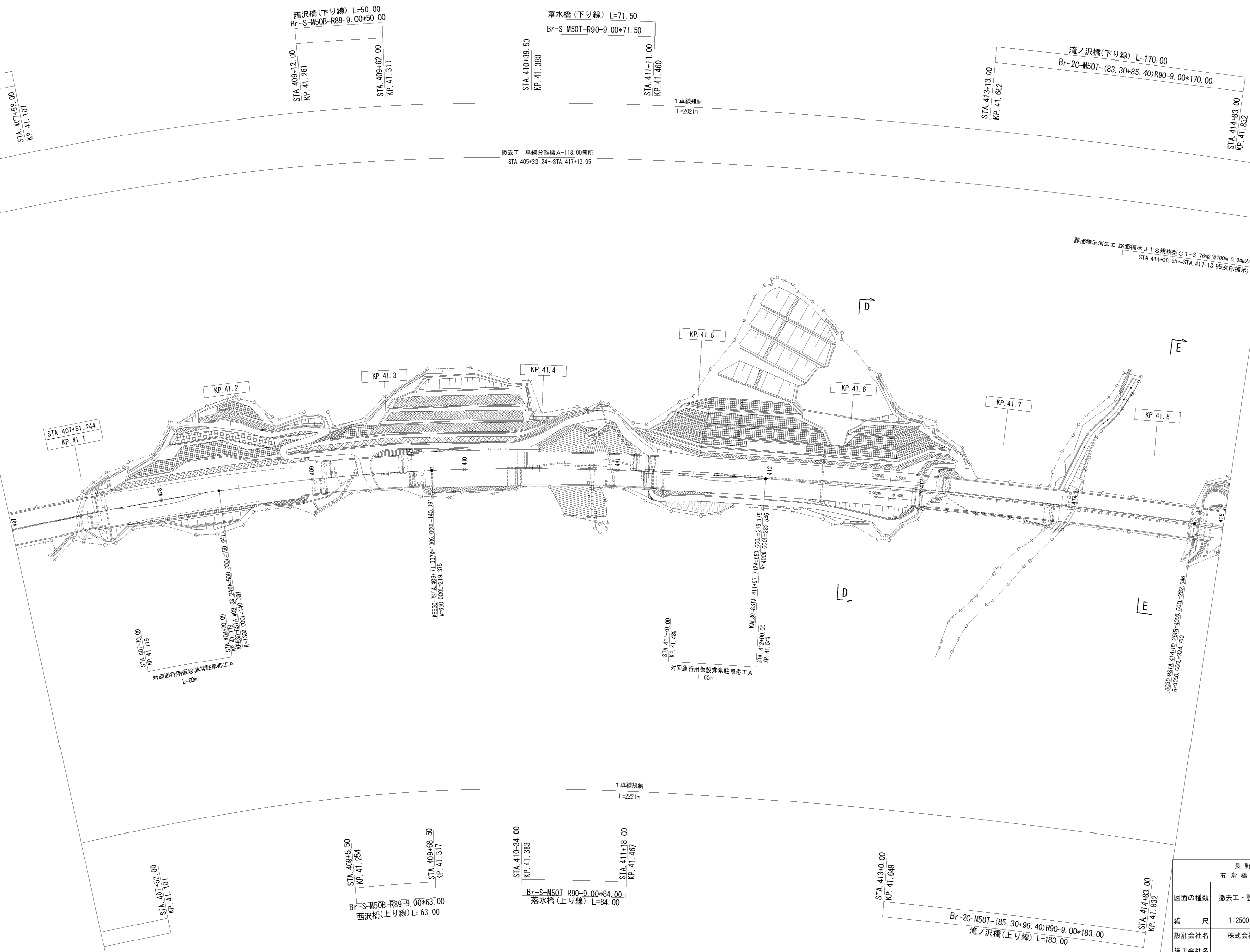
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その21)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	79/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その22)(参考図) S=1:2500
STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その22)(参考図)		
縮尺	1:2500	図面番号	80/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

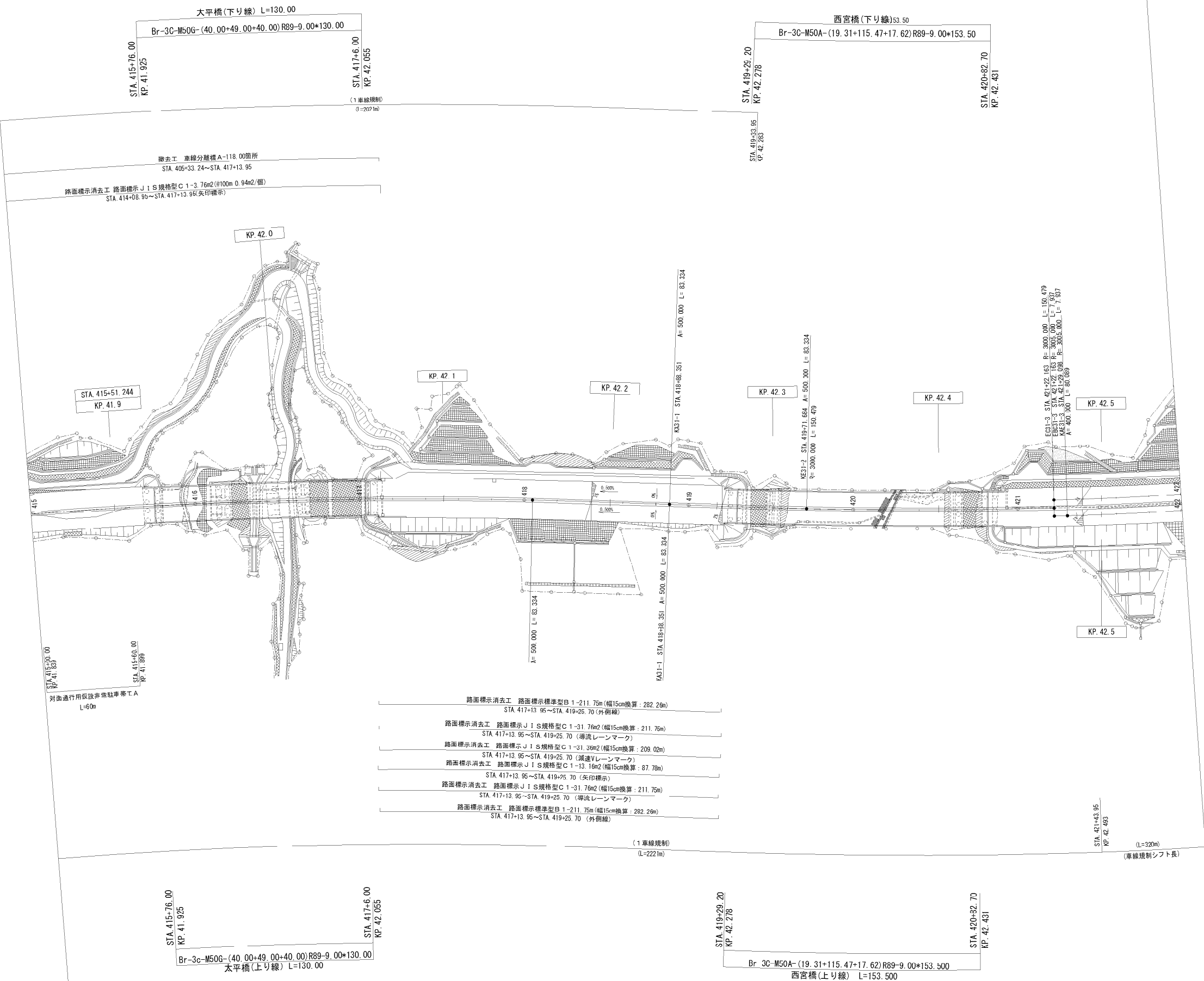
STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その23)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	81/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

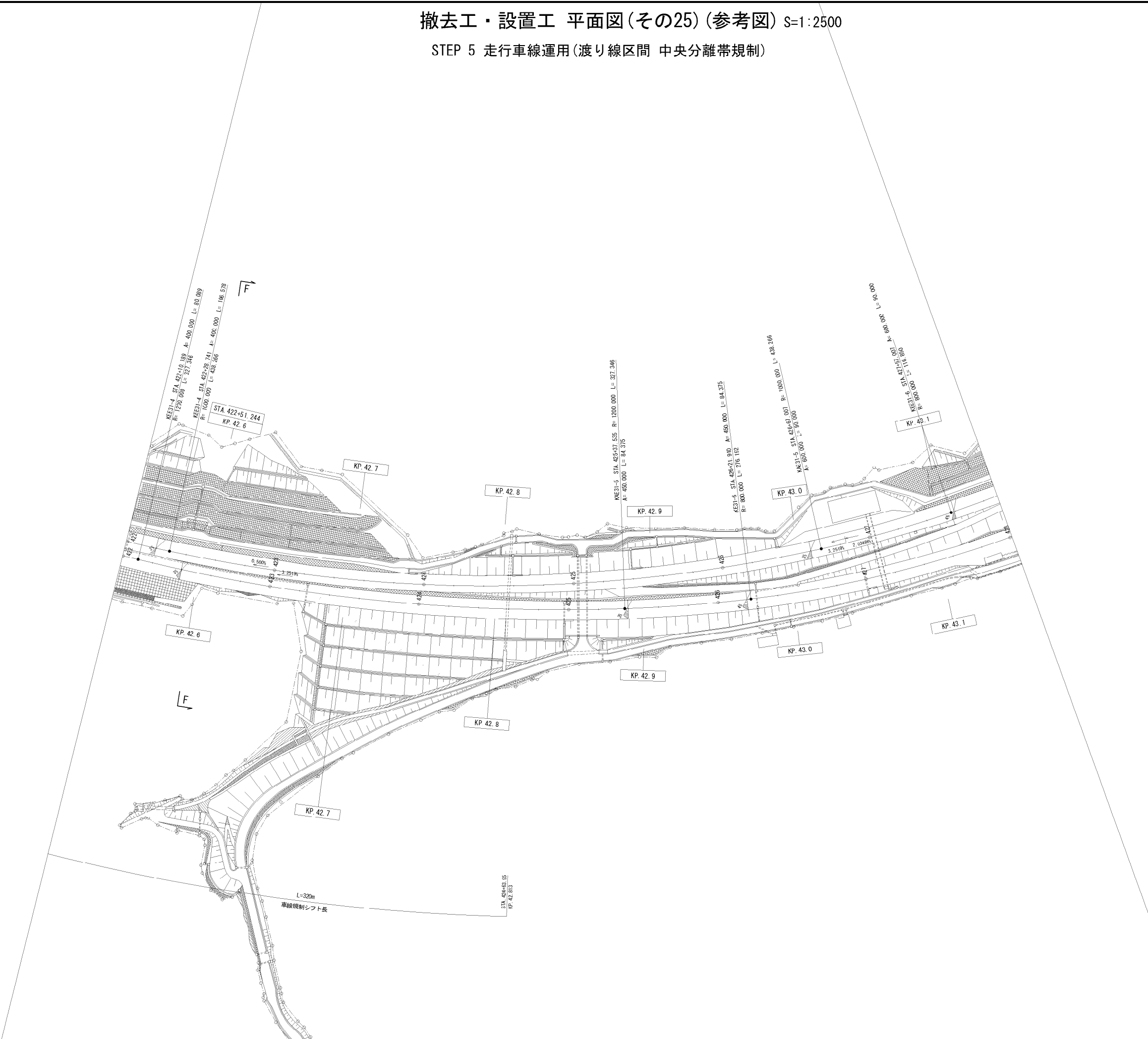
撤去工・設置工 平面図(その24)(参考図) S=1:2500

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その24)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	82/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



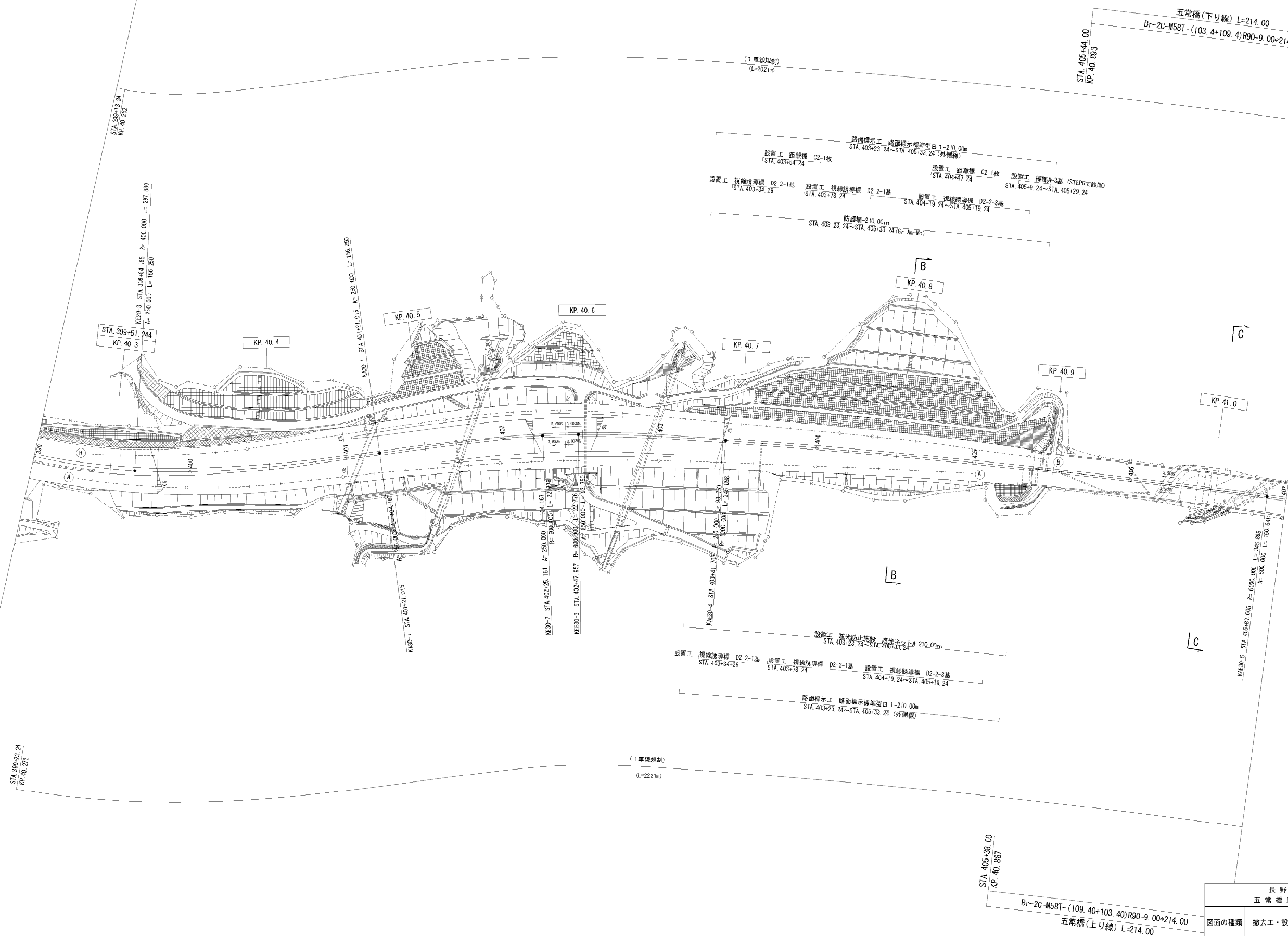
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その25)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	83/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その26)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	84/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

撤去工・設置工 平面図(その27)(参考図) S=1:2500
STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

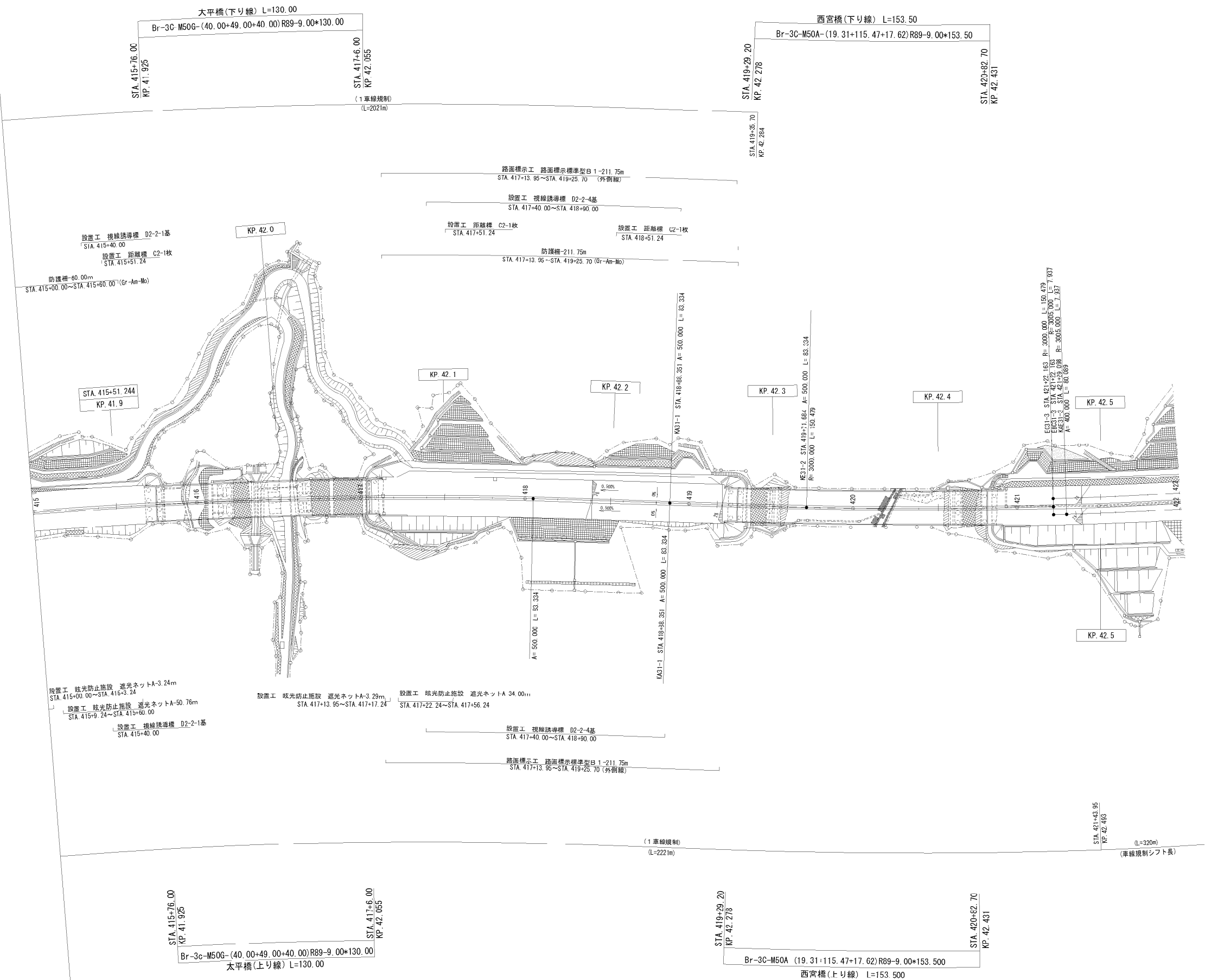


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その27)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	85/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

[illegible]

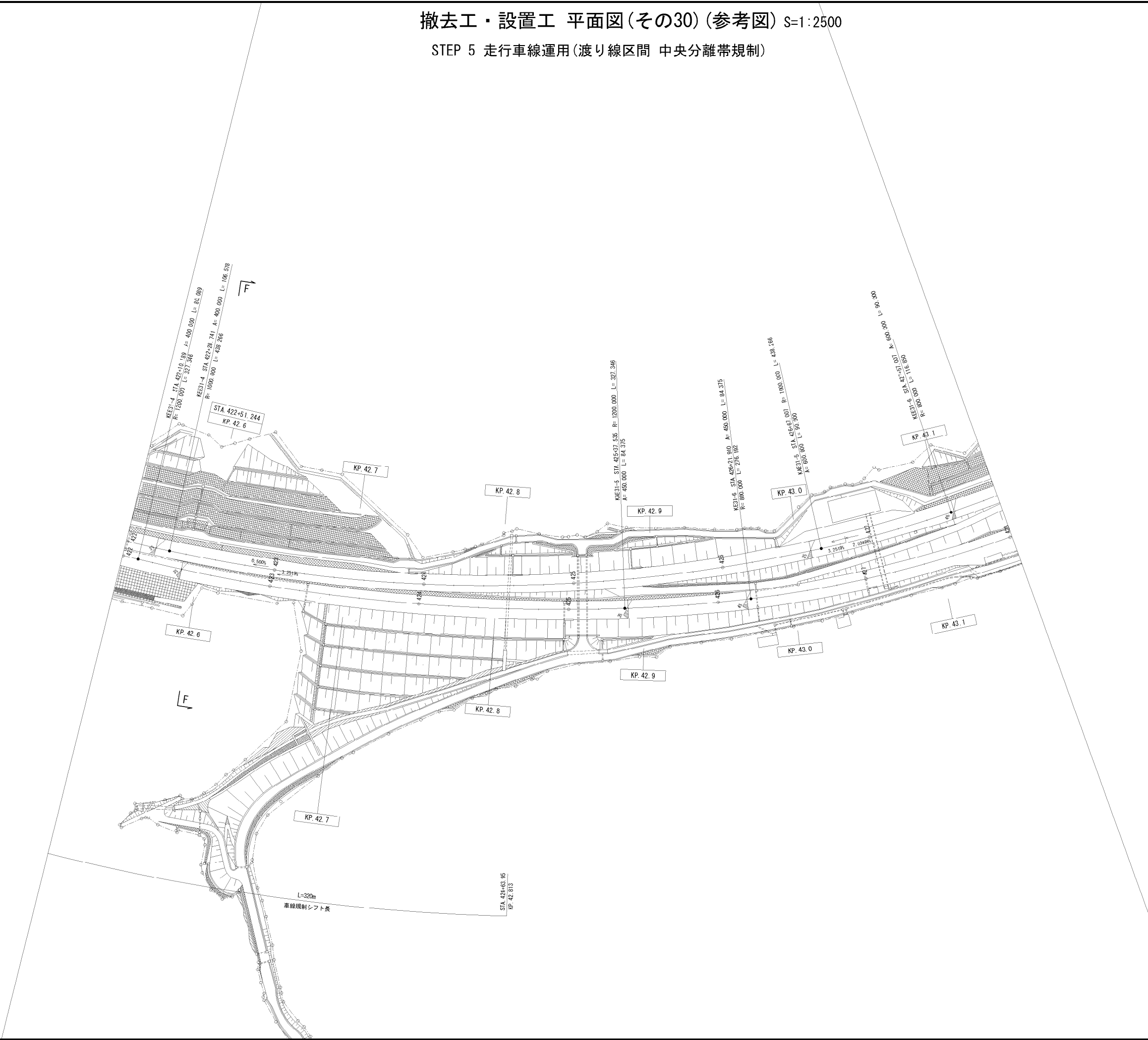
<p style="text-align: center;">長 野 自 動 車 道 五 常 橋 仮 販 取 替 工 事</p>			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その28) (参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	86/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その29)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	87/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

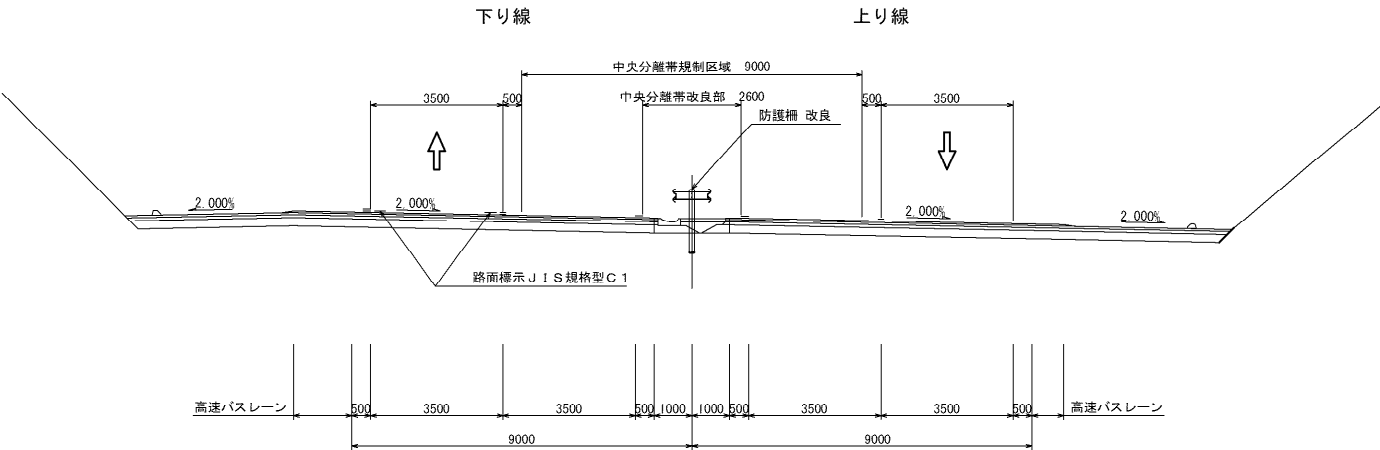
STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)



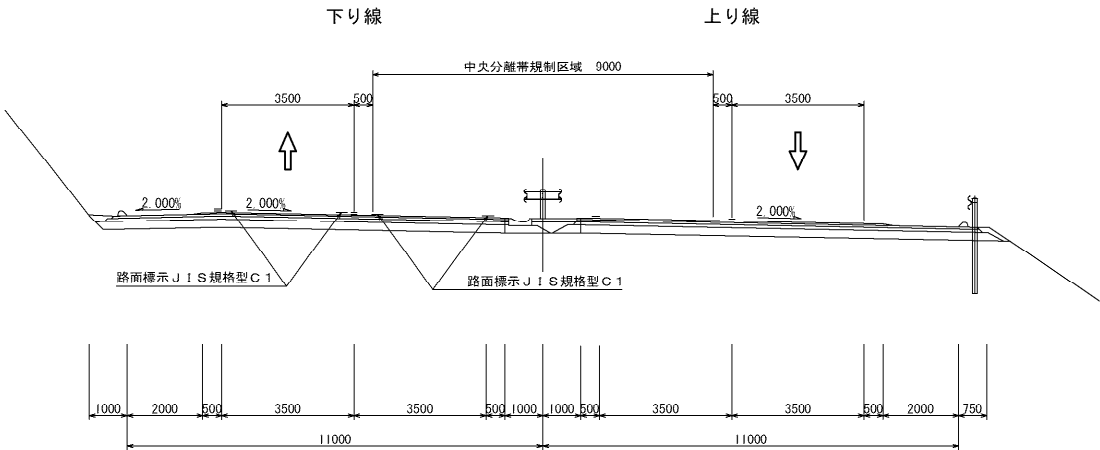
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 平面図(その30)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	88/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

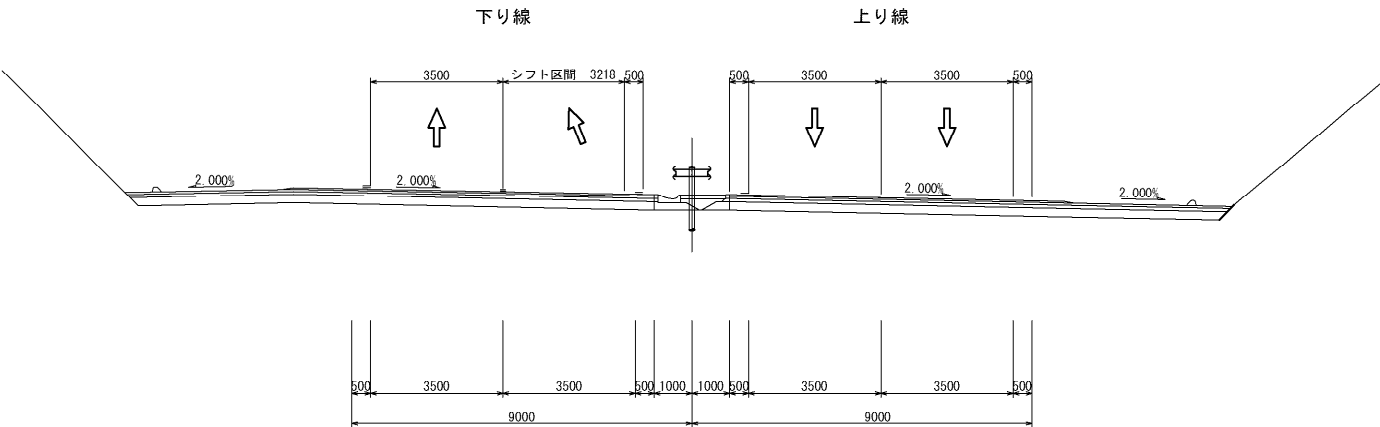
B-B断面
起点側中央分離帯改良区間
STA. 404+52.024
(KP. 40.8)



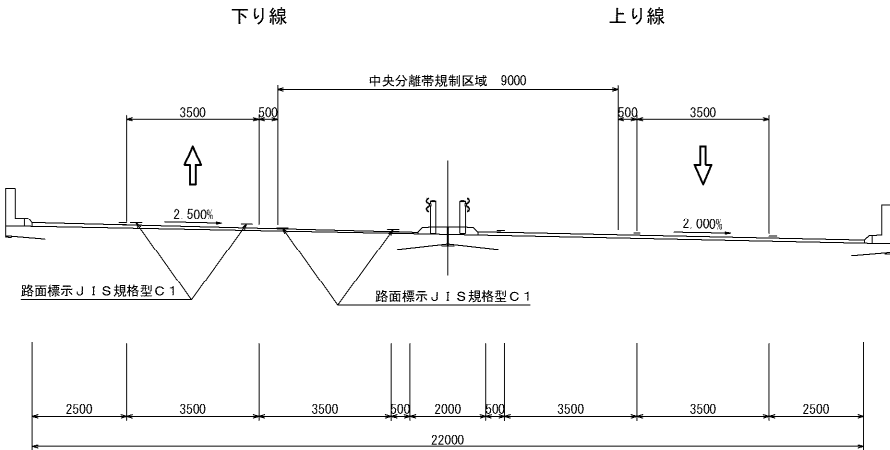
D-D断面
土工区間
STA. 412+52.024
(KP. 41.6)



A-A断面
車線規制シフト区間
STA. 397+52.024
(KP. 40.1)



C-C断面
橋梁区間
STA. 406+52.024
(KP. 41.0)

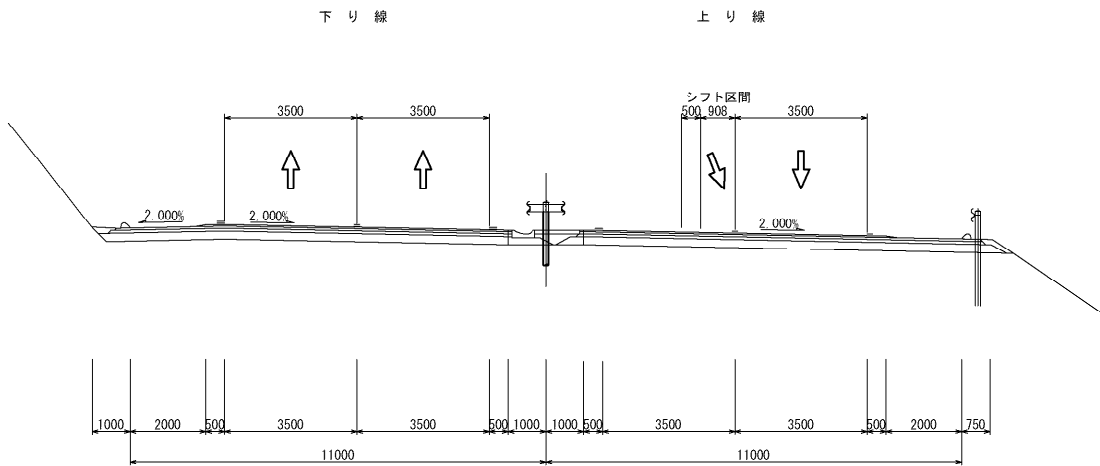


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その1)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	89/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 1 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

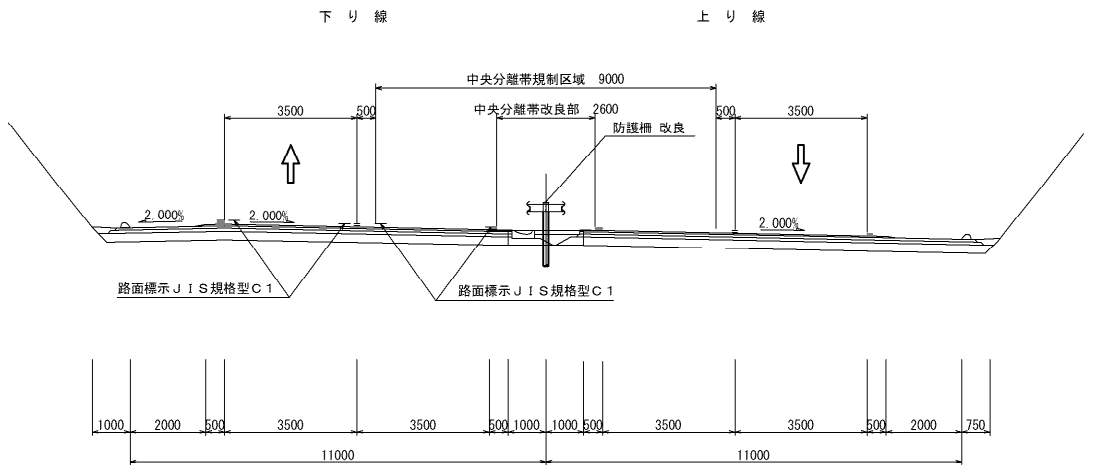
F-F断面
車線規制シフト区間

STA. 422+52.024
(KP 42.6)



E-E断面
終点側中央分離帯改良区間

STA. 418+0.00
(KP 42.15)

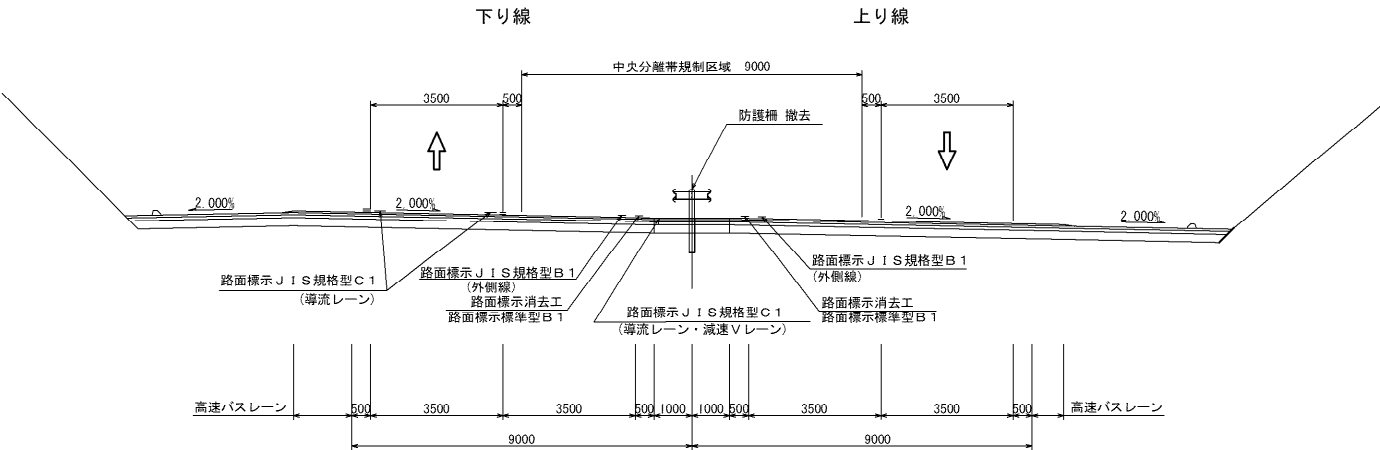


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その2)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	90/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

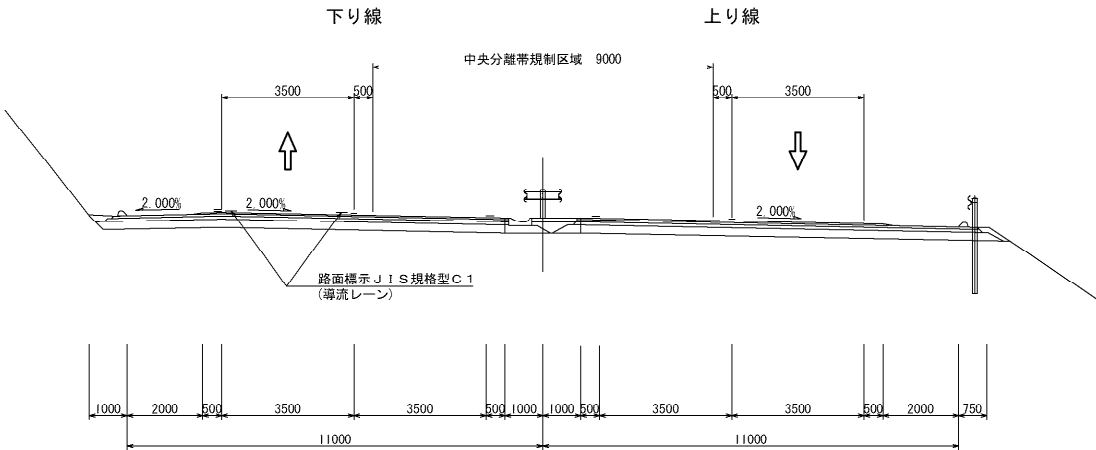
B-B断面
起点側中央分離帯改良区間

STA. 404+52.024
(KP 40.8)



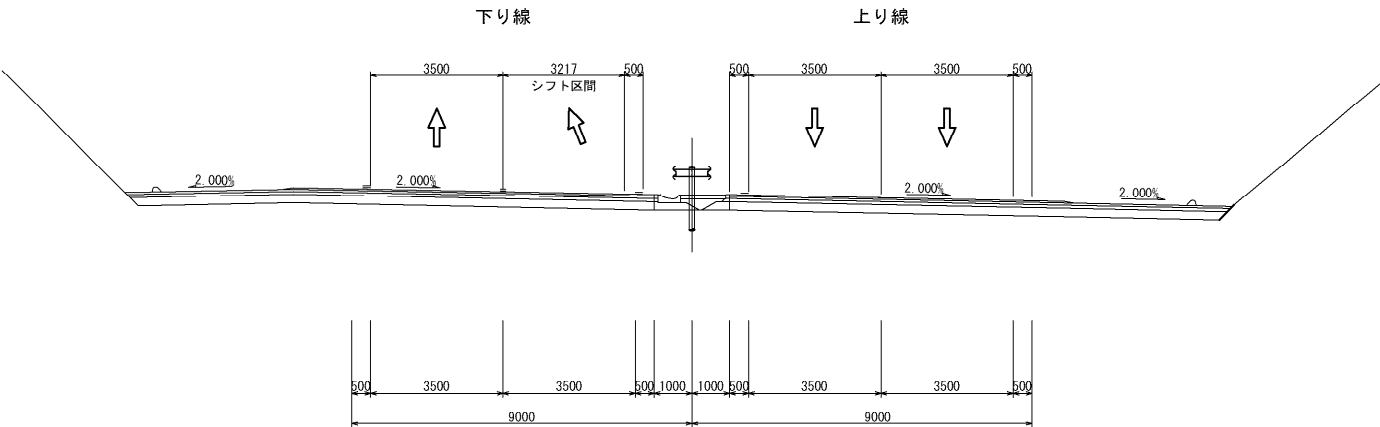
D-D断面
土工区間

STA. 412+52.024
(KP 41.6)



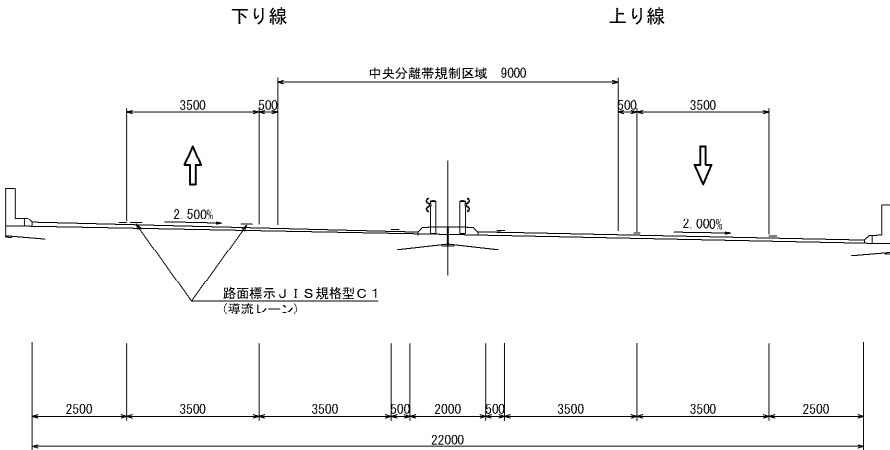
A-A断面
車線規制シフト区間

STA. 397+52.024
(KP 40.1)



C-C断面
橋梁区間

STA. 406+52.024
(KP 41.0)

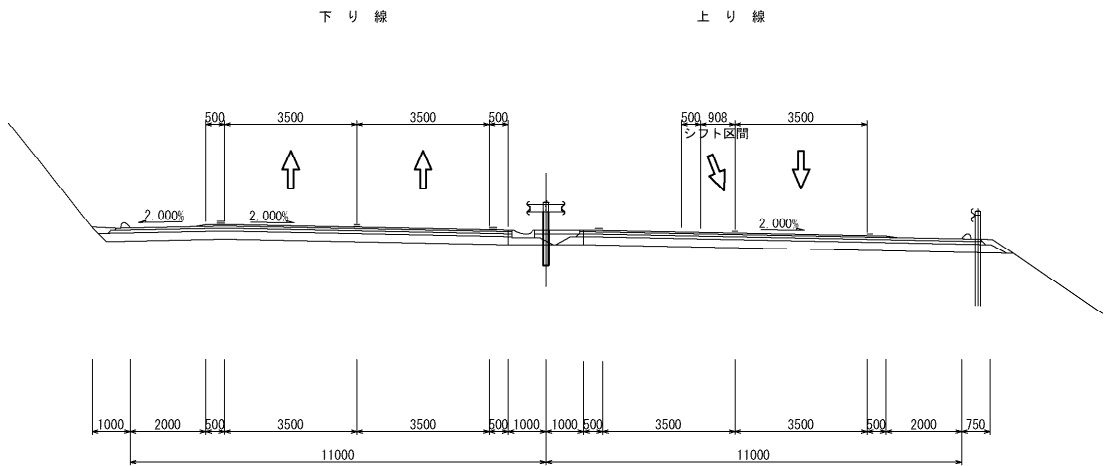


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その3)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	91/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

STEP 3 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

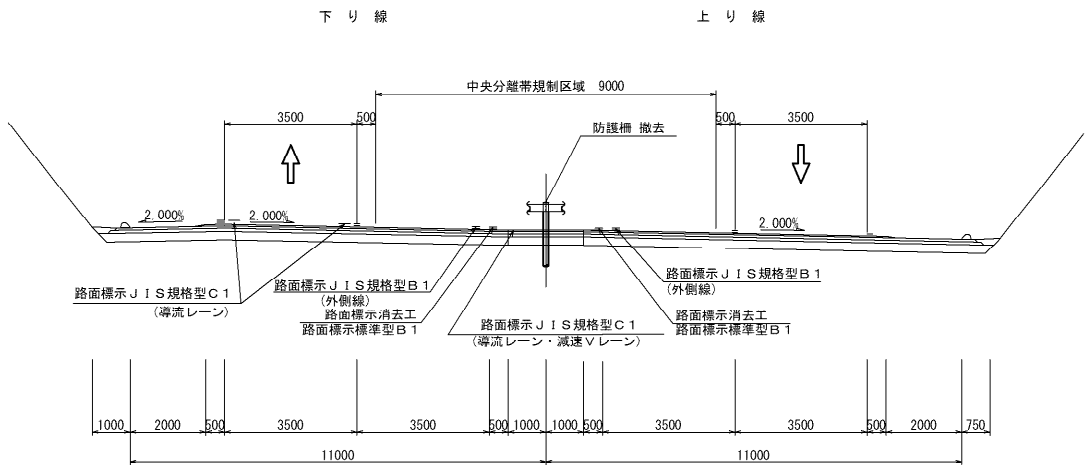
F-F断面
車線規制シフト区間

STA. 422+52.024
(KP 42.6)



E-E断面
終点側中央分離帯改良区間

STA. 418+0.00
(KP 42.15)

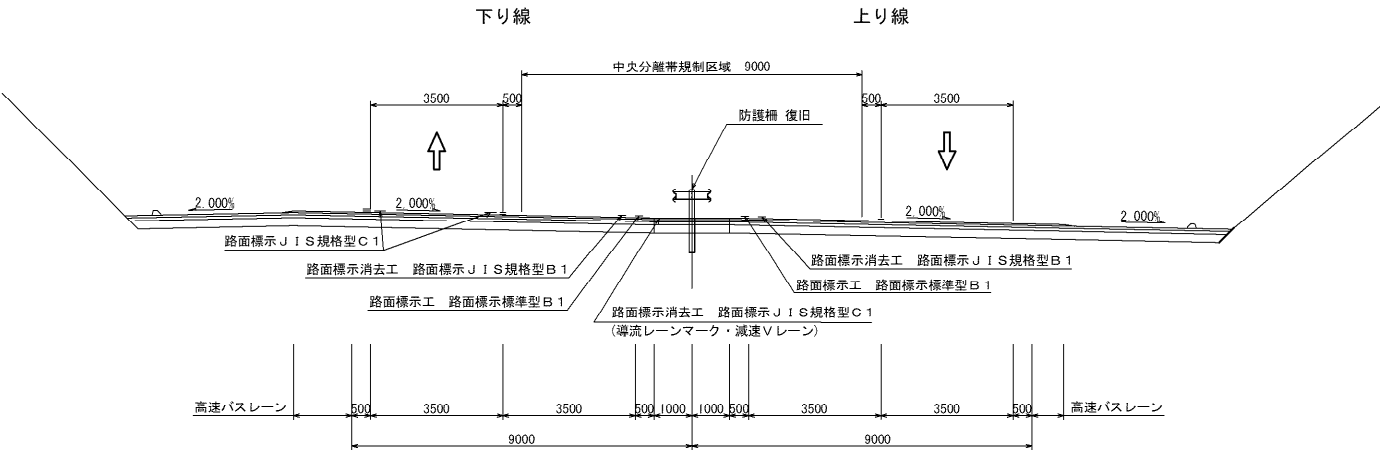


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その4)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	92/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

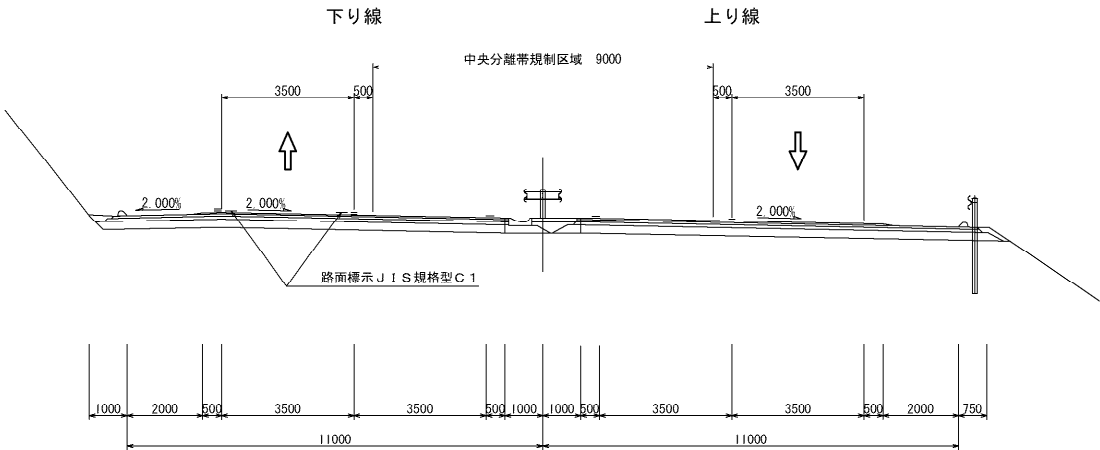
B-B断面
起点側中央分離帯改良区間

STA. 404+52.024
(KP 40.8)



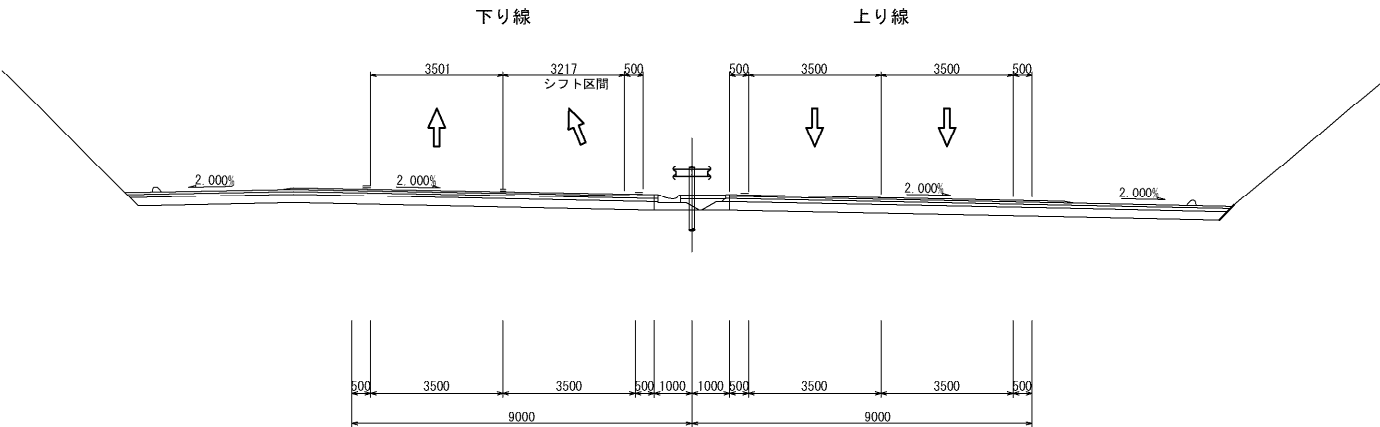
D-D断面
土工区間

STA. 412+52.024
(KP 41.6)



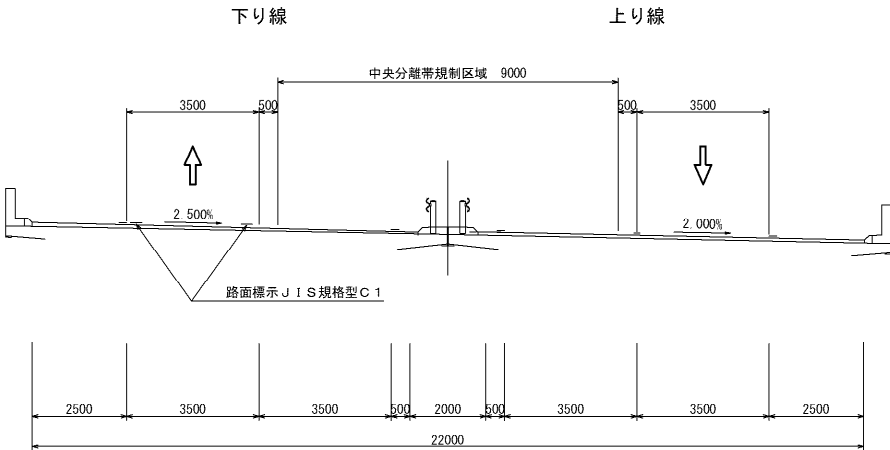
A-A断面
車線規制シフト区間

STA. 397+52.024
(KP 40.1)



C-C断面
橋梁区間

STA. 406+52.024
(KP 41.0)

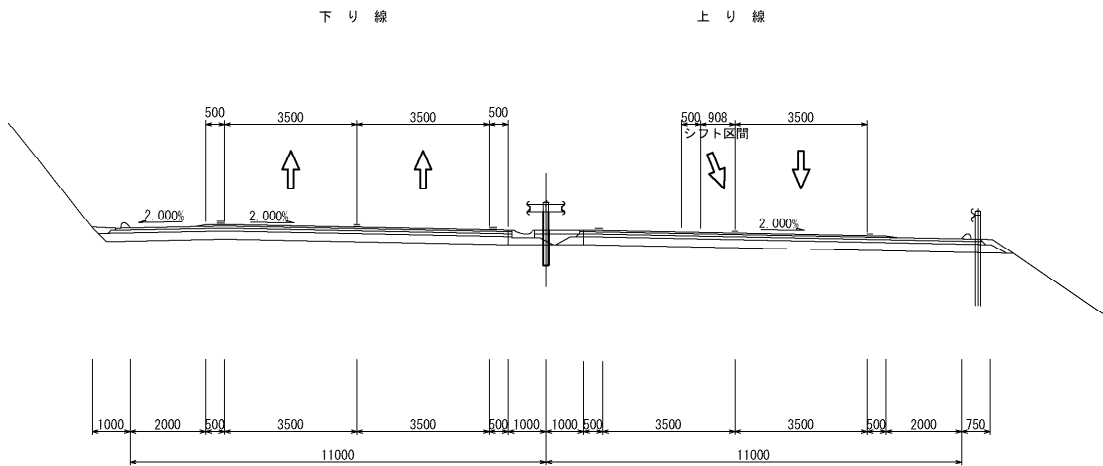


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その5)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	93/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

STEP 5 走行車線運用(渡り線区間 中央分離帯規制)

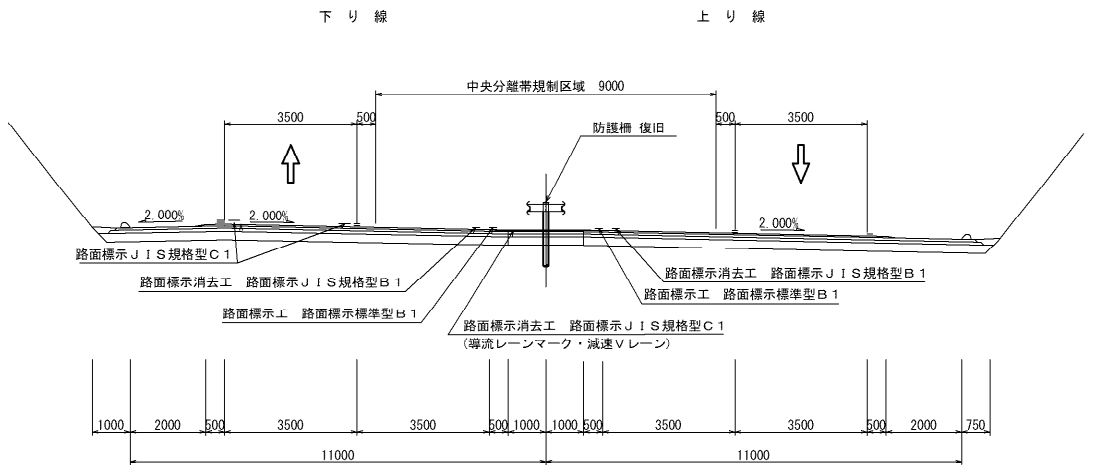
F-F断面
車線規制シフト区間

STA. 422+52.024
(KP 42.6)



E-E断面
終点側中央分離帯改良区間

STA. 418+0.00
(KP 42.15)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	撤去工・設置工 標準断面図(その6)(参考図)		
縮 尺	1:200	図面番号	94/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

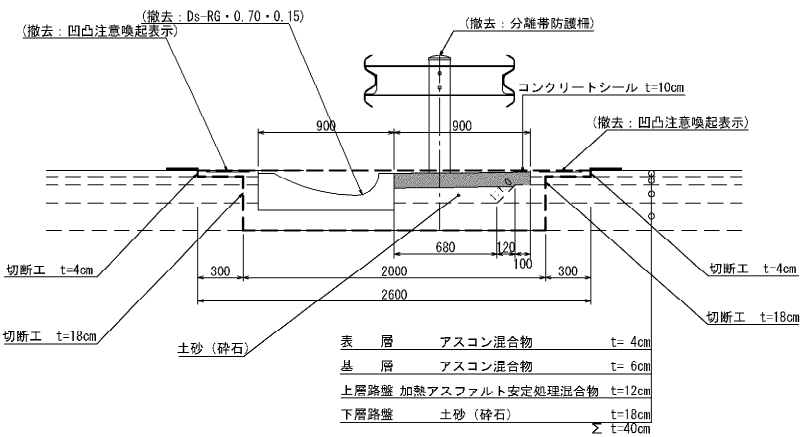
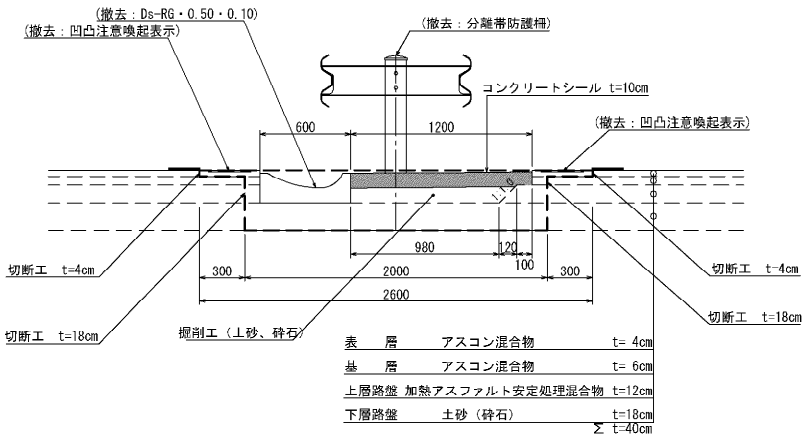
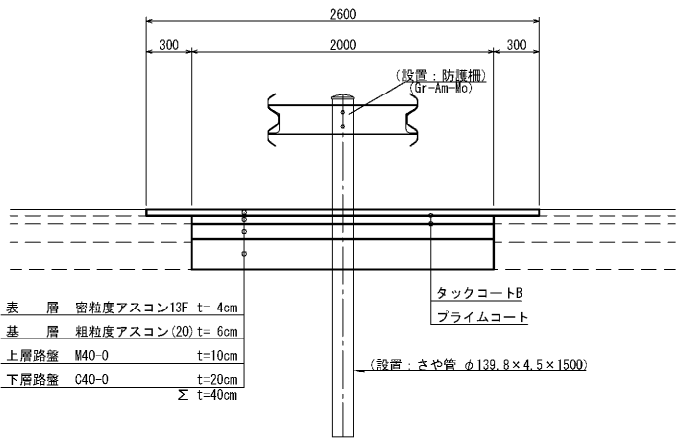
復旧工

撤去工

Type-A, B

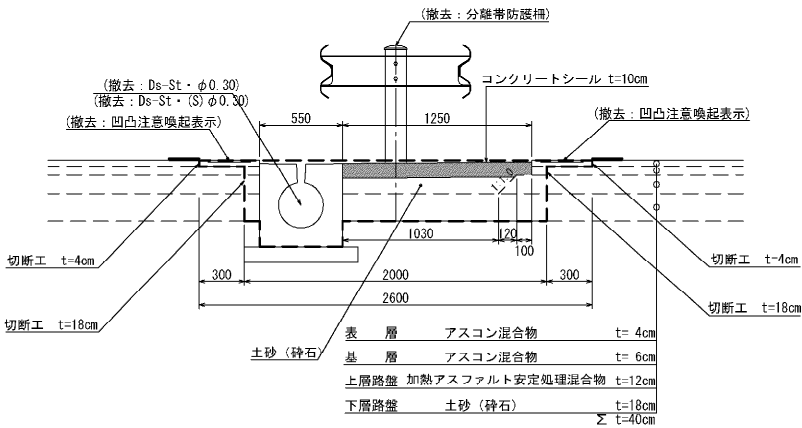
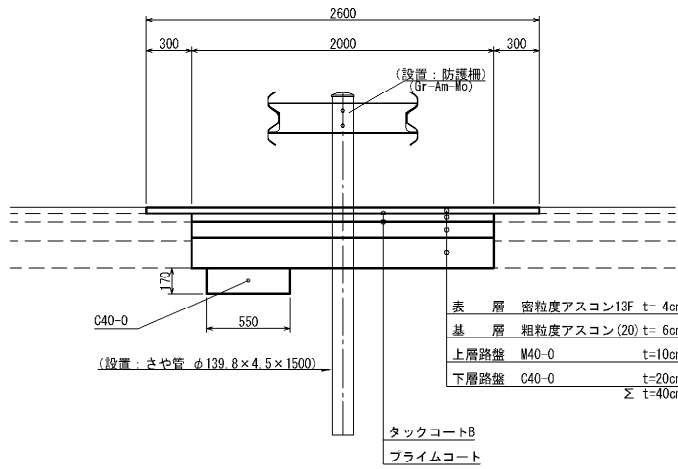
Type-A

Type-B



Type-C

Type-C



材料表

1m当たり

項目	形状・寸法	単位	数量			備考
			Type-A	Type-B	Type-C	
表層工	密粒度アスコン13F t=4cm	m ³	0.104	0.104	0.104	
基層工	粗粒度アスコン(20) t=6cm	m ³	0.120	0.120	0.120	
上層路盤工	M40-0 t=10cm	m ³	0.200	0.200	0.200	
下層路盤工	C40-0 t=20cm	m ³	0.400	0.400	0.400	
選青材散布工	プライムコート	m ²	2.000	2.000	2.000	
選青材散布工	タックコートB	m ²	2.600	2.600	2.600	
埋戻し工	C40-0	m ³	-	-	0.094	
コンクリート取壊し	無筋	m ³	0.120	0.090	0.125	コンクリートシール工
As舗装板取壊し	t=4cm	m ³	0.032	0.032	0.032	
As舗装板取壊し	t=18cm	m ³	0.055	0.055	0.055	
掘削工	土砂 (砕石)	m ³	0.468	0.391	0.374	
切断工	t=4cm	m	2.000	2.000	2.000	
切断工	t=18cm	m	2.000	2.000	2.000	

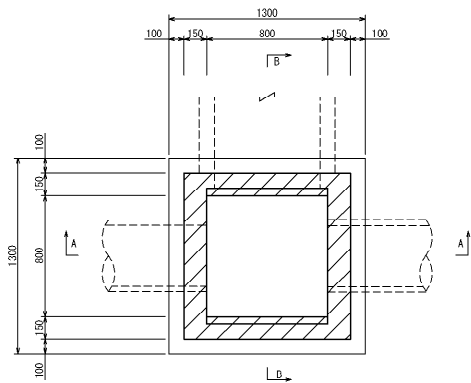
集計表

項目	形状・寸法	単位	数量	備考
Type-A	W=2.6m	m	476.52	Ds-Rg・0.50・0.10
Type-B	W=2.6m	m	164.25	Ds-Rg・0.70・0.15
Type-C	W=2.6m	m	62.62	Ds-St・φ0.30 (Ds-St・(S)φ0.30)
合計		m	703.39	

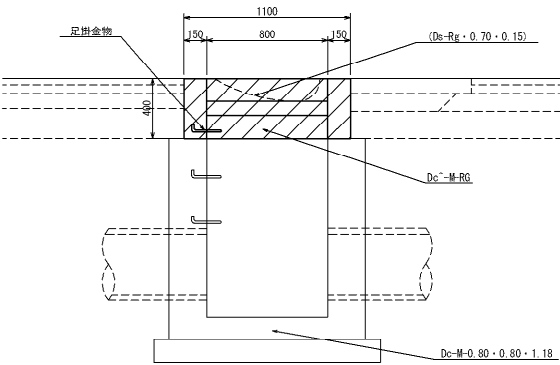
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用中央分離帯改良工 A ・ 対面通行用仮設非常駐車帯工 A 詳細図(参考図)		
縮 尺	1:50	図面番号	95/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

取壊し部詳細図

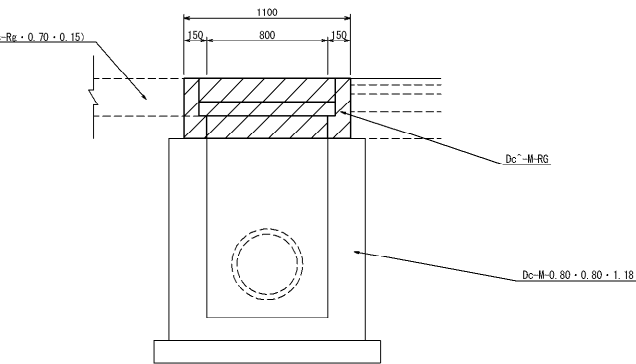
平面図



A - A

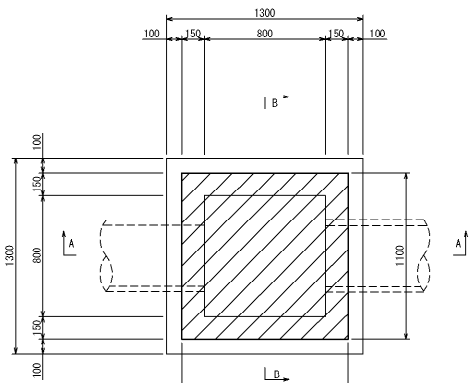


B - B

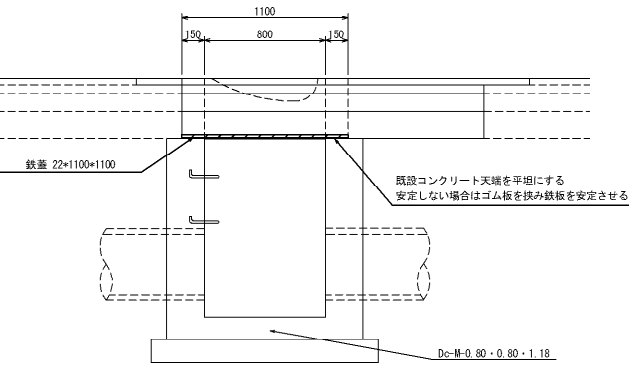


補強部詳細図

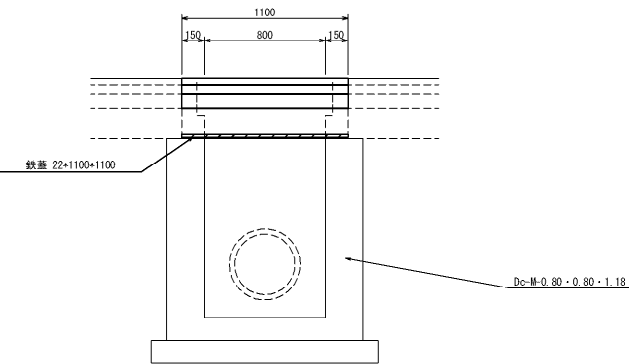
平面図



A - A



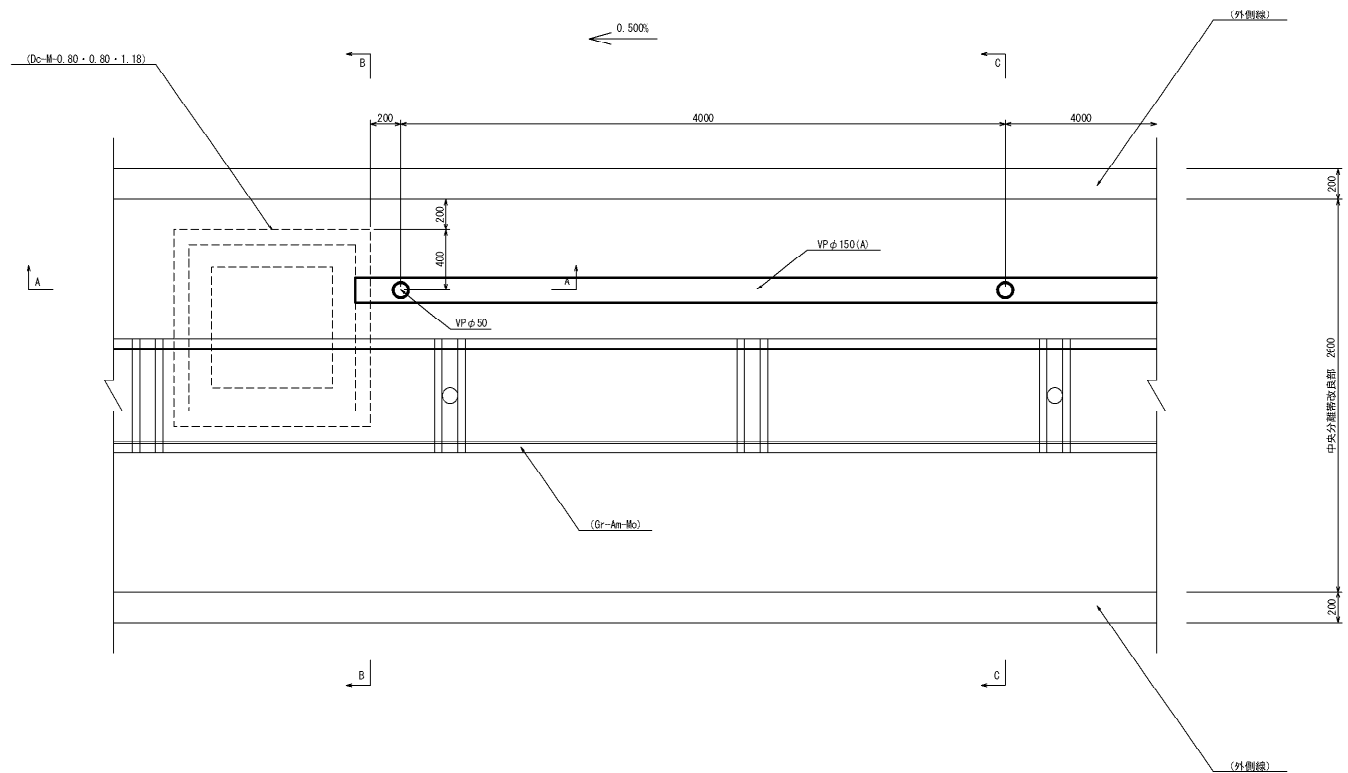
B - B



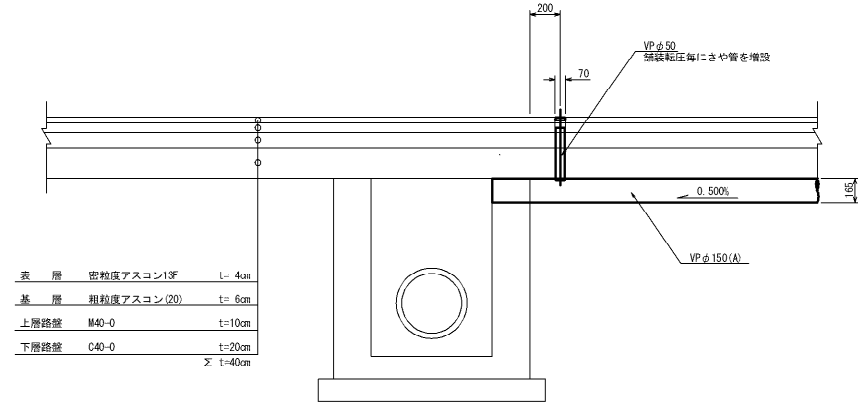
材料表				1箇所当り
項目	形状・寸法	単位	数量	備考
<取壊し部>				
コンクリート	C1-1	m3	0.21	
鉄筋	φ13	kg	1.30	足掛金物
グレーチング	80cm×80cm	個	1.00	
<補強部>				
鉄蓋	22×1100×1100	枚	1	

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用中央分離帯改良工 A ・ 対面通行用仮設非常駐車帯工 A 集水ます補強工詳細図(参考図)		
縮 尺	1:50	図面番号	96/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面図

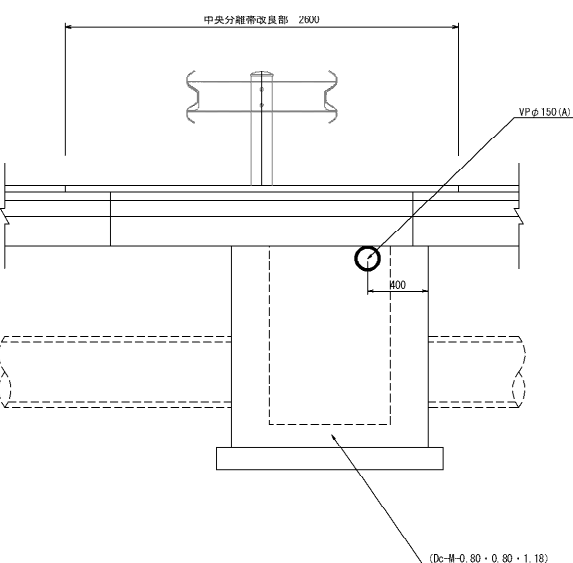


A - A

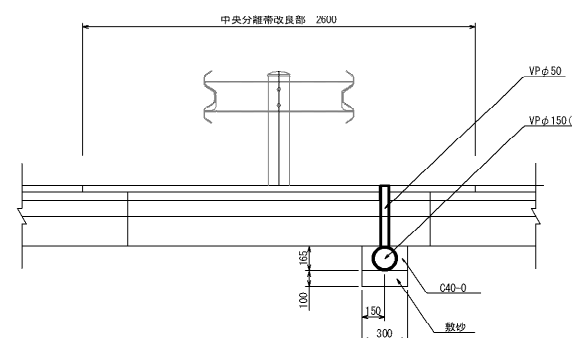


表層	密粒底アスコン13F	L=4m
基層	粗粒底アスコン(20)	t=6cm
上層路盤	M40-0	t=10cm
下層路盤	C40-0	t=20cm
		Σ t=40cm

B - B

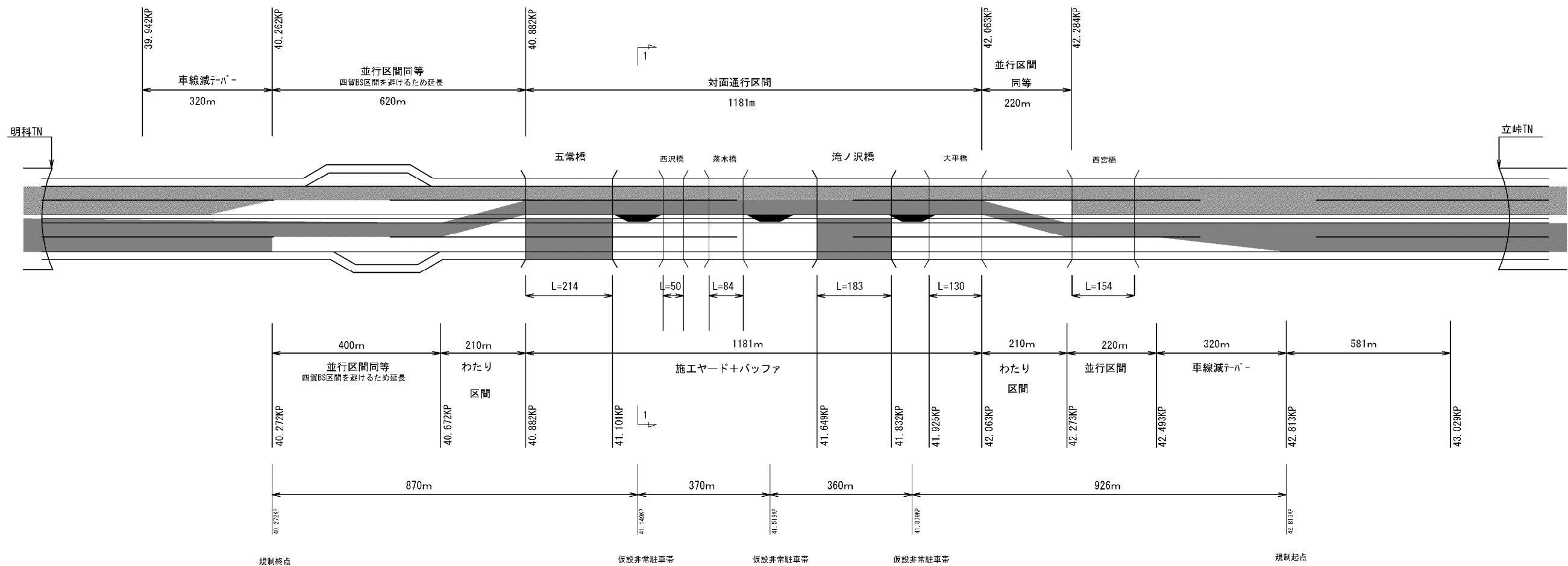


C - C

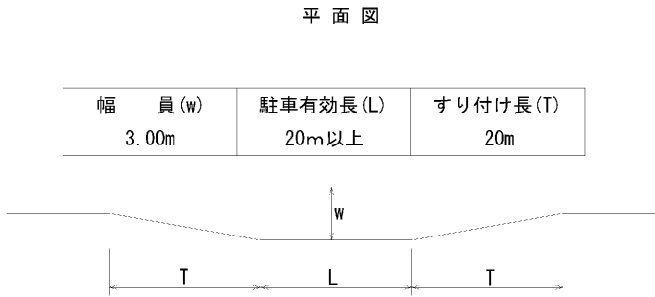
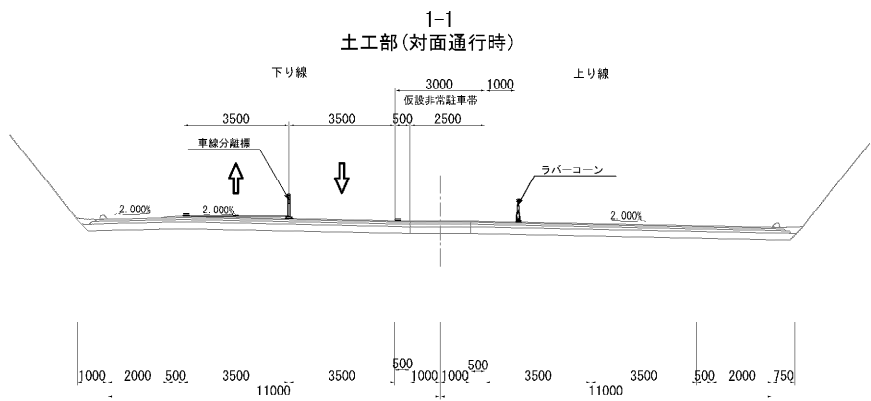


材料表					10m当り
項目	形状・寸法	単位	数量	備考	
VP管	φ150	m	10.0		
VP管	φ50	m	1.0		
砕石	C40-0	m ³	0.3		
敷砂		m ³	0.3		
掘削		m ³	0.8		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用中央分離帯改良工 A ・ 対面通行用仮設非常駐車帯工 A VPφ150 (A) 詳細図 (参考図)		
縮尺	1:50	図面番号	97/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



仮設非常駐車帯 標準横断面図 S=1:250



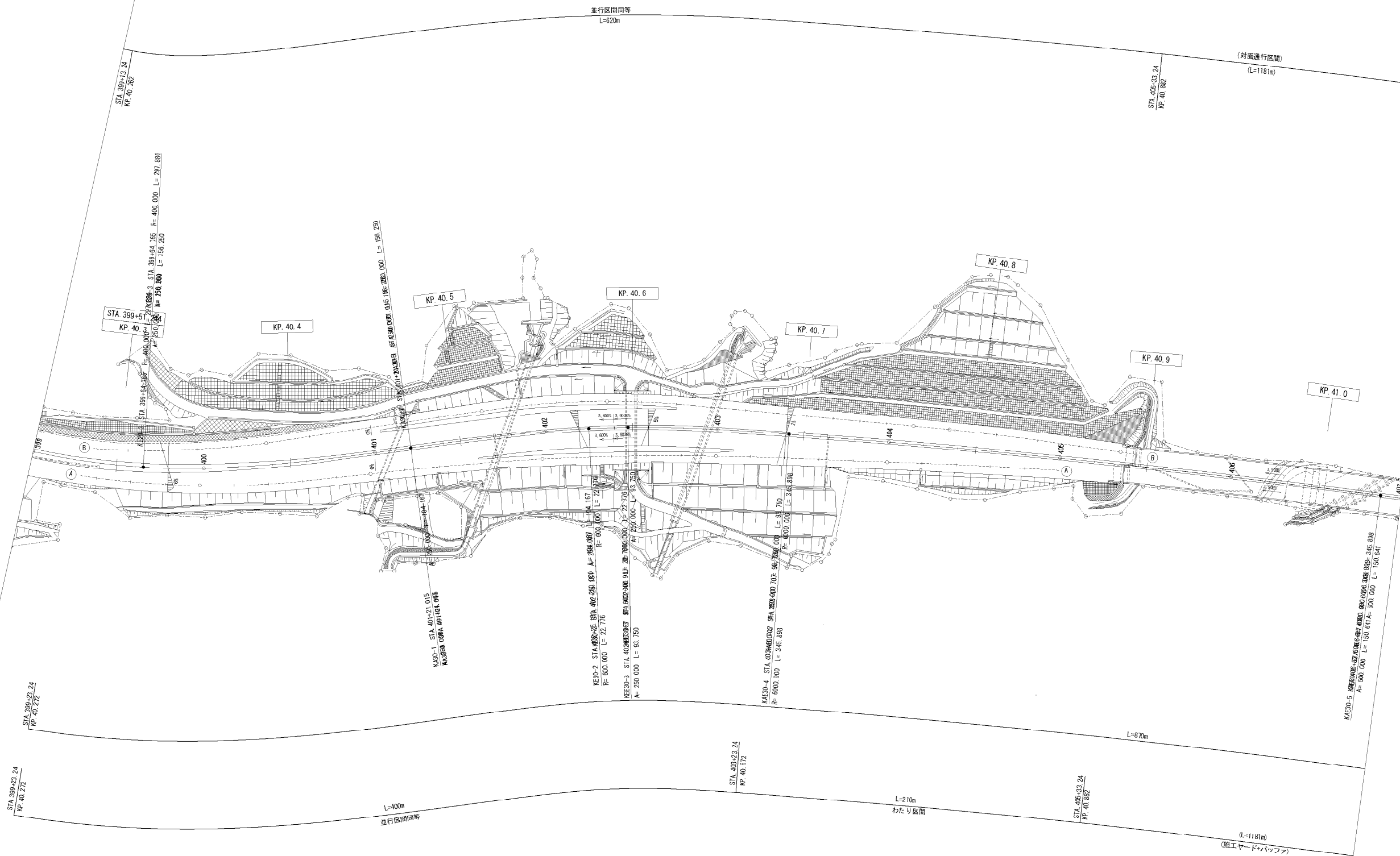
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 詳細図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	98/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線運用 (下り線 対面通行規制)



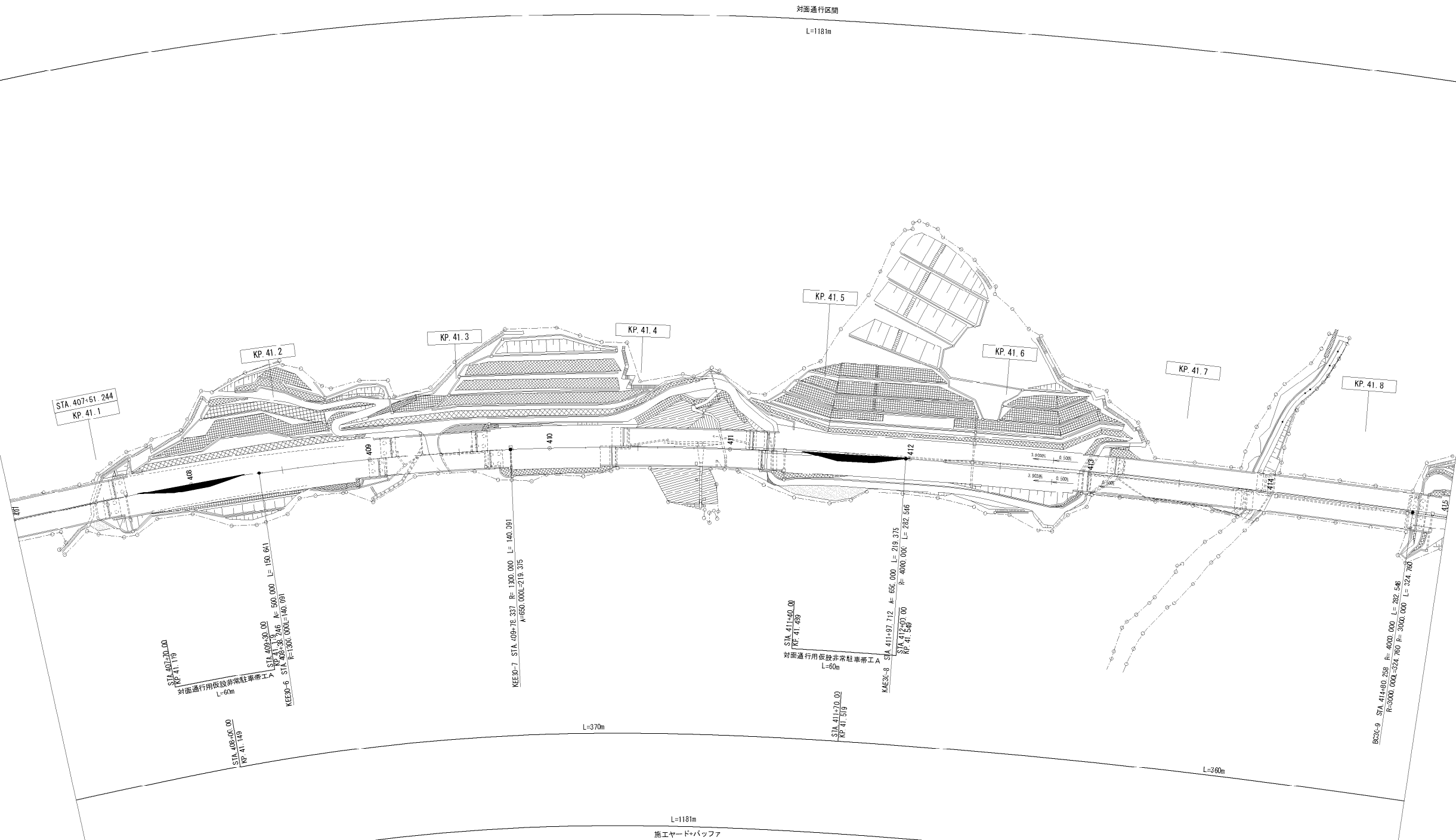
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 配置図 (その1) (参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	99/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線運用 (下り線 対面通行規制)



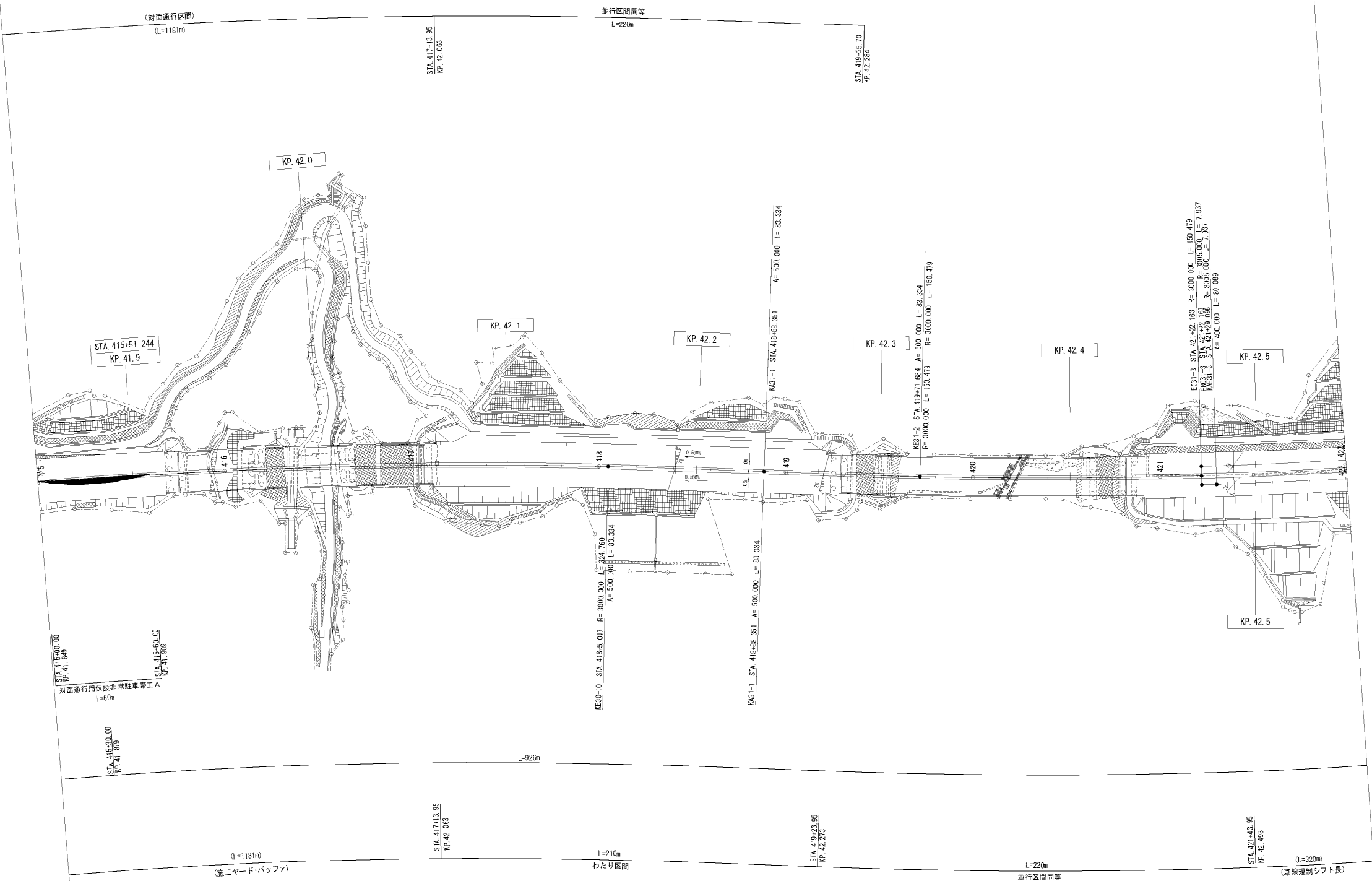
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 配置図 (その2) (参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	100/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線運用 (下り線 対面通行規制)



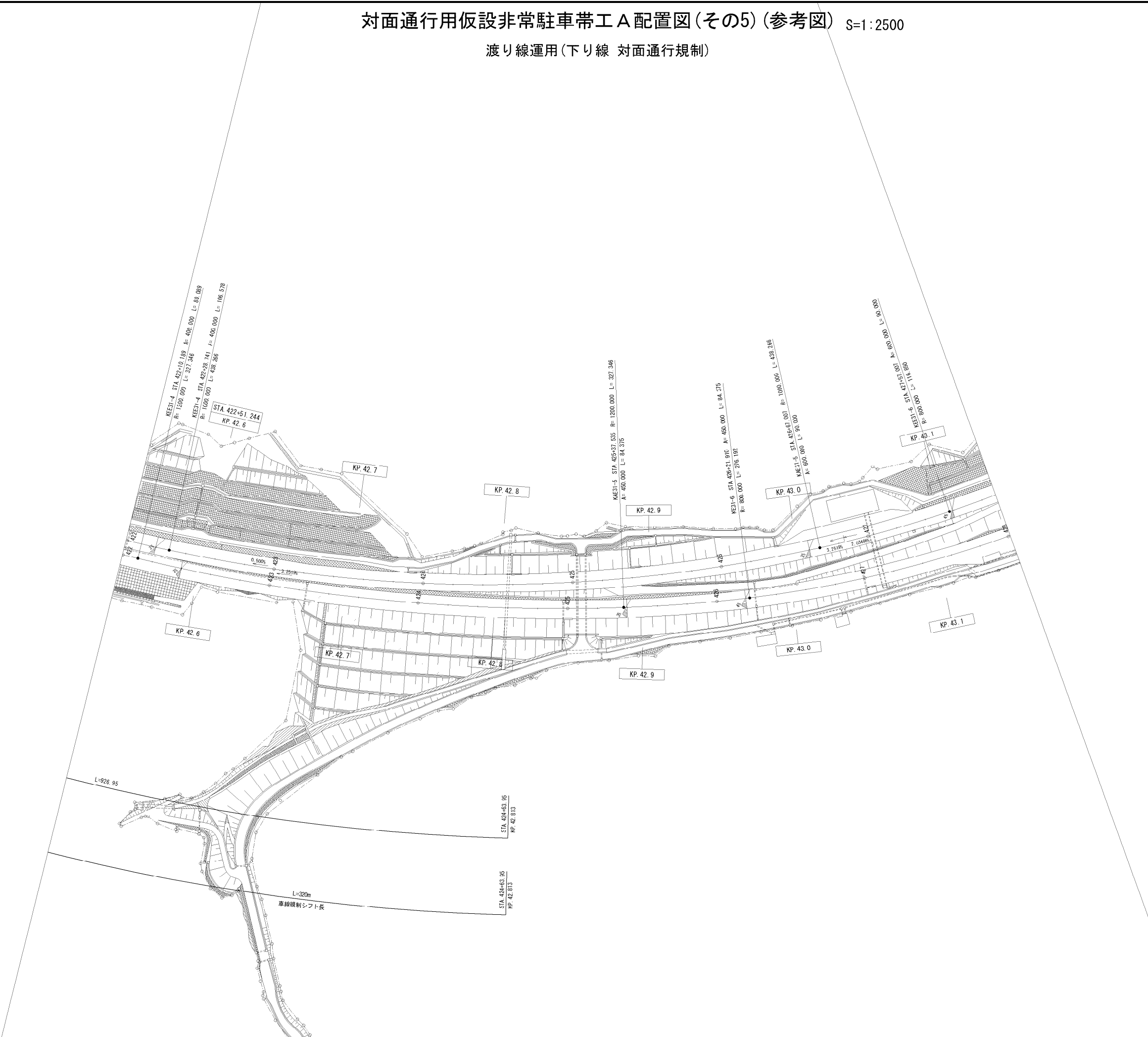
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 配置図 (その3) (参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	101/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線運用(下り線 対面通行規制)

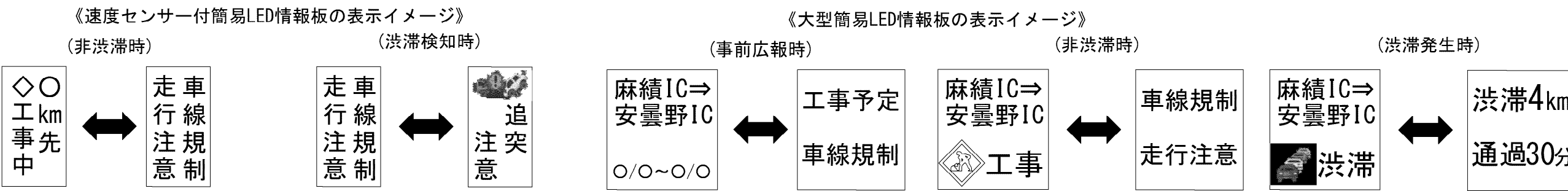
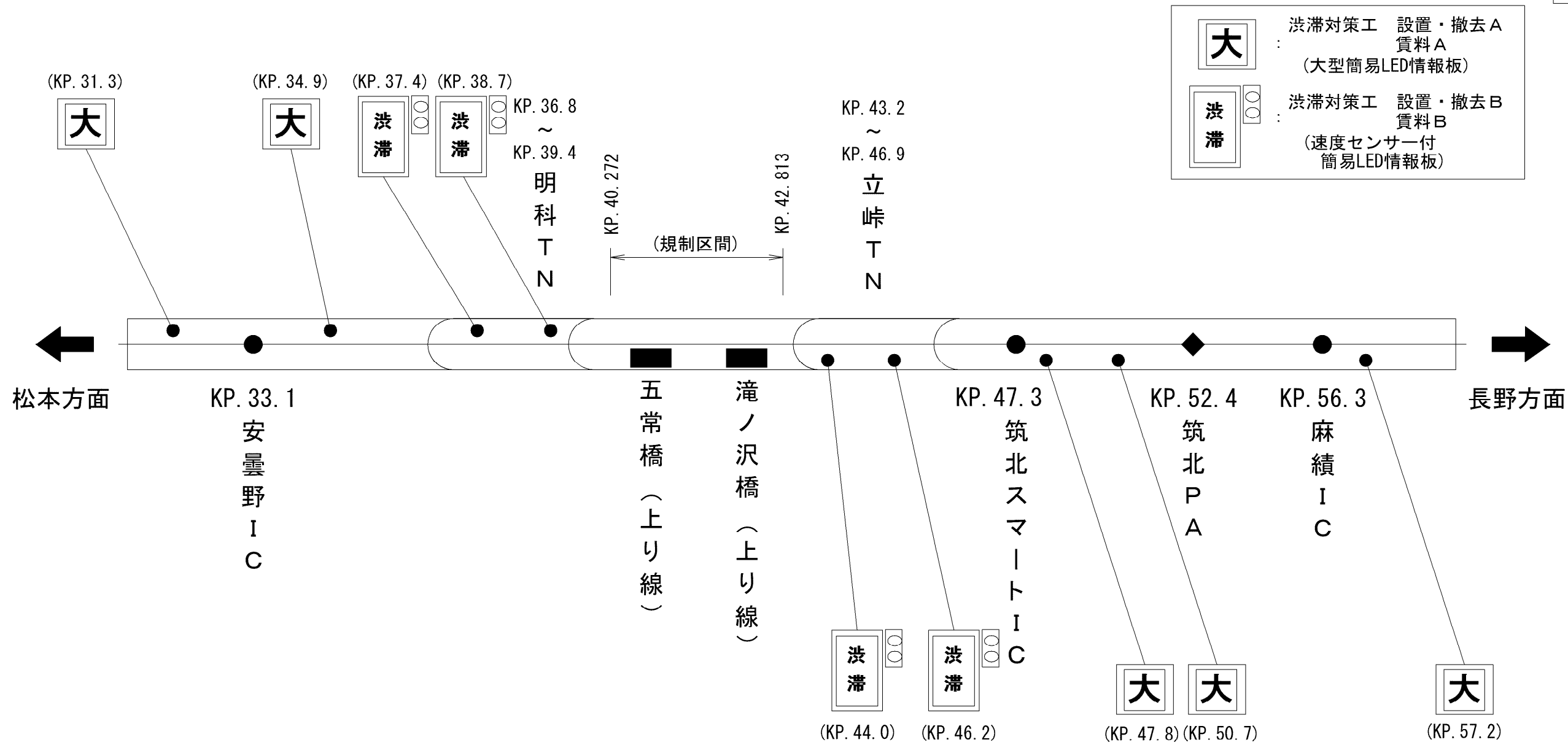


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 配置図(その4)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	102/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線運用(下り線 対面通行規制)



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用仮設非常駐車帯工 A 配置図(その5)(参考図)		
縮 尺	1:2500	図面番号	103/147
設計会社名	株式会社 弘洋第一コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

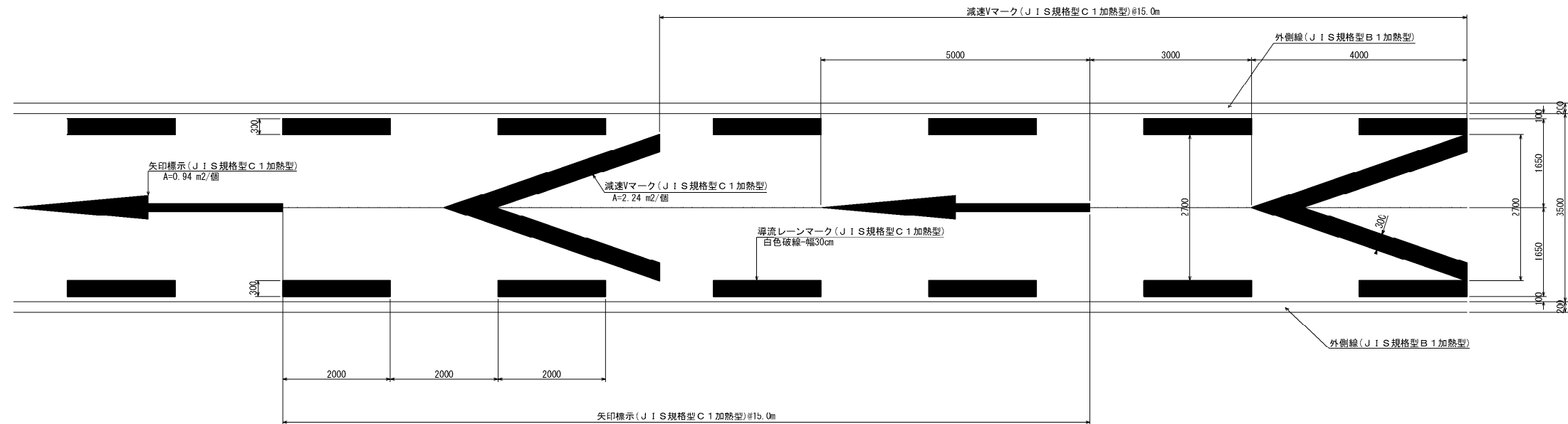


	大型簡易LED情報板	速度センサー付簡易LED情報板
表示文字サイズ	・横4文字以上×縦4段 ・1文字320mm×320mm以上	・4窓(1窓400mm×400mm以上)
表示色	・赤6階調、青6階調、緑6階調以上	・黄色単色
駆動方式	・ソーラー・燃料電池	・電源AC100V
性能	・WEB上での表示切替可能 ・ブローデータによる所要時間提供システムと連動 ・サーバーアクセスによりすべての端末の一括管理可能	・LED表示部4面 ・制御部を組み込んだ一体型自動照度コントロール機能付き ・遠隔制御可能

※設置場所はガードレールの外側とし、交通に支障のない箇所とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	渋滞対策工(参考図)		
縮尺	-	図面番号	104/147
設計会社名	東日本高速道路株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

渡り線区間交通管理施設工詳細図



矢印標示 (JIS規格型C1加熱型) #100.0m

矢印標示 (JIS規格型C1加熱型)
A=0.94 m²/個

車線分離標A (H=800mm)
ポストウイング 接着式 #10m

既設中央破線

既設外側線

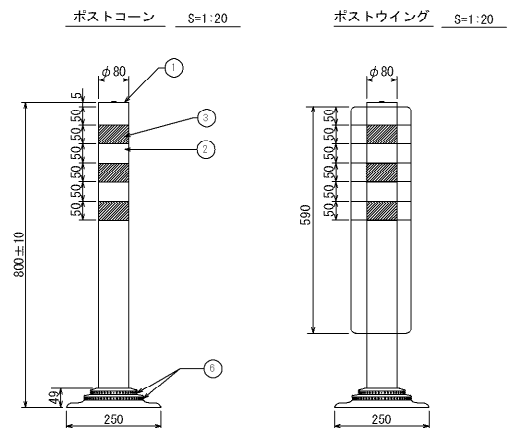
導流レーンマーク (JIS規格型C1加熱型)
白色破線-幅30cm

既設外側線

2500 2500 5000

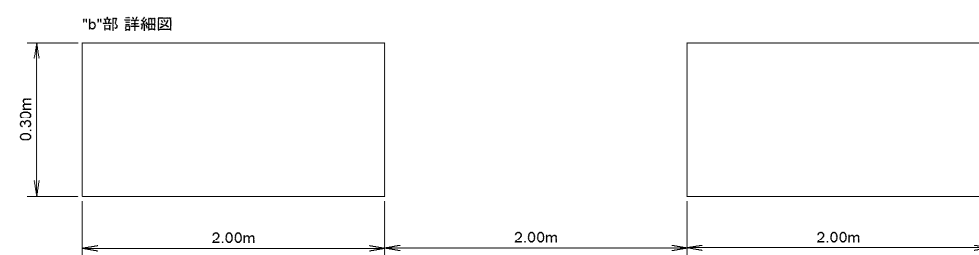
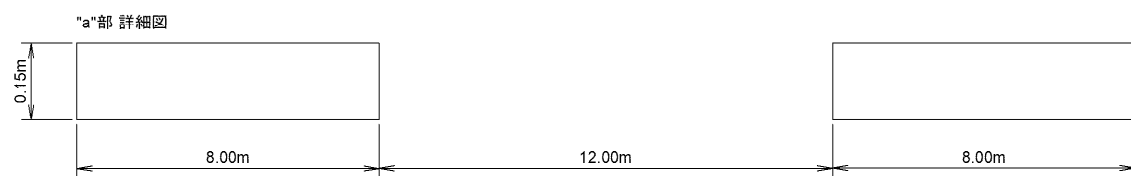
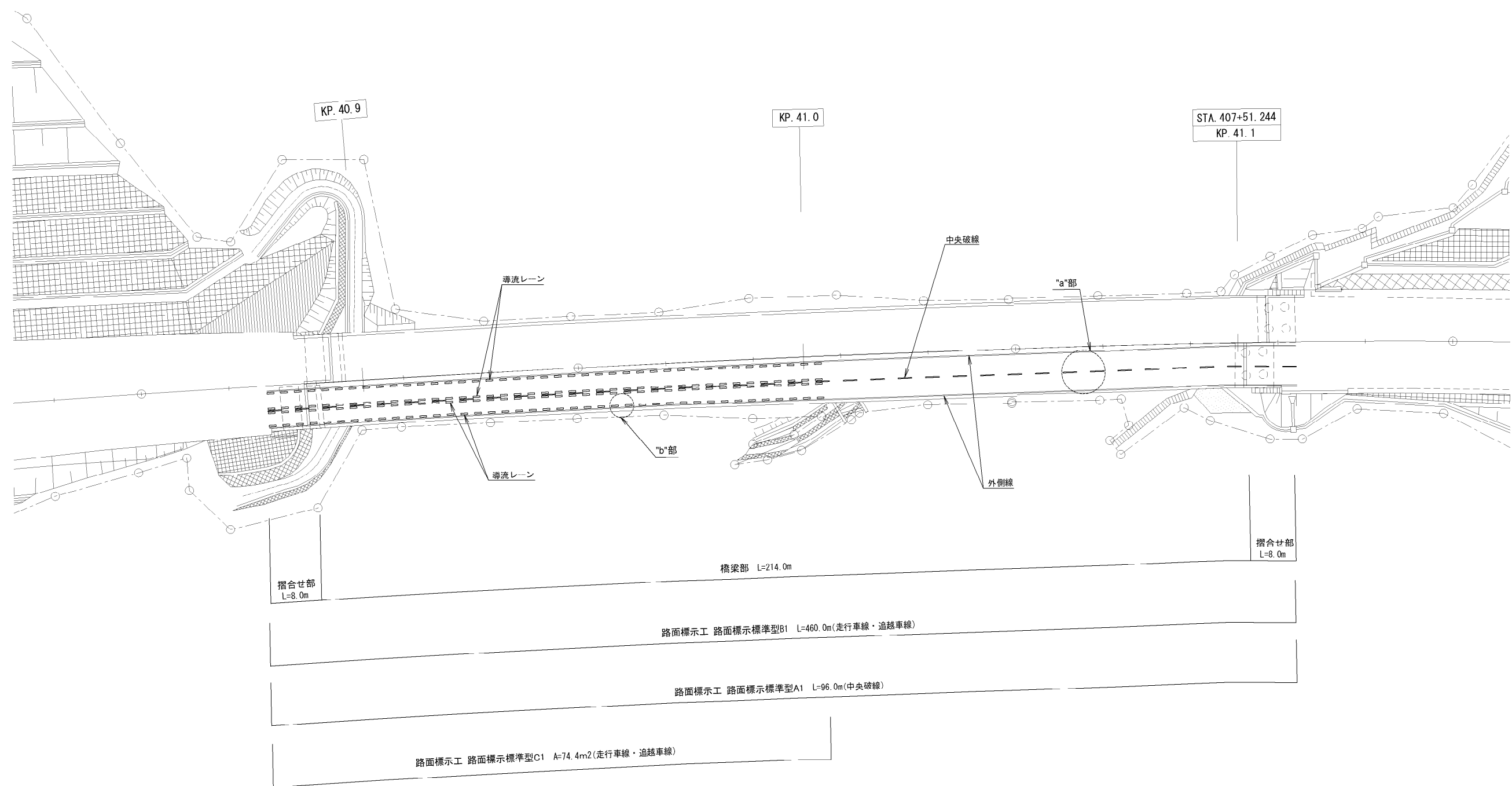
100 1475 2350 100 1475 2350 100

接着式

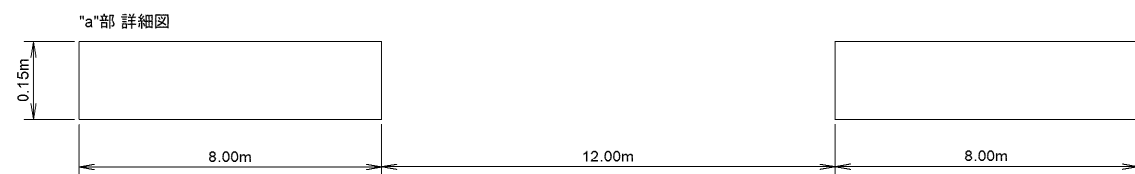
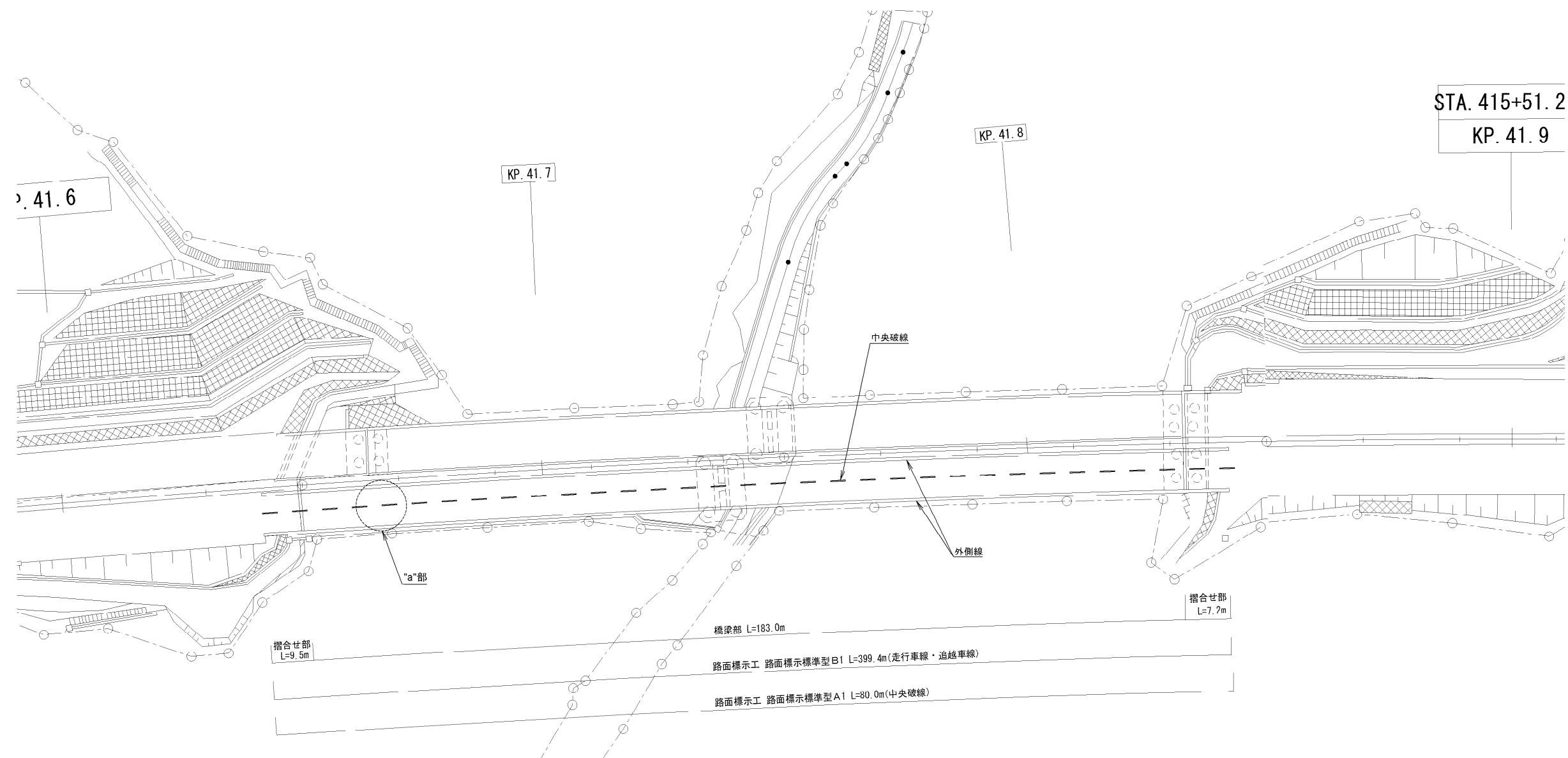


ボール					
品番	品名	数量	材質	備考	
1	キャップ	1	特殊ウレタン樹脂	赤色	
2	本体	1	特殊ウレタン樹脂	赤色	
3	反射材	3	フレキシブルガラス反射シート	白色	
4	ベース部	1	ASA樹脂	赤色	
5	構造ボール	1	特殊ウレタン樹脂	——	
0	反射材	-	ガラスビーズ	白色	

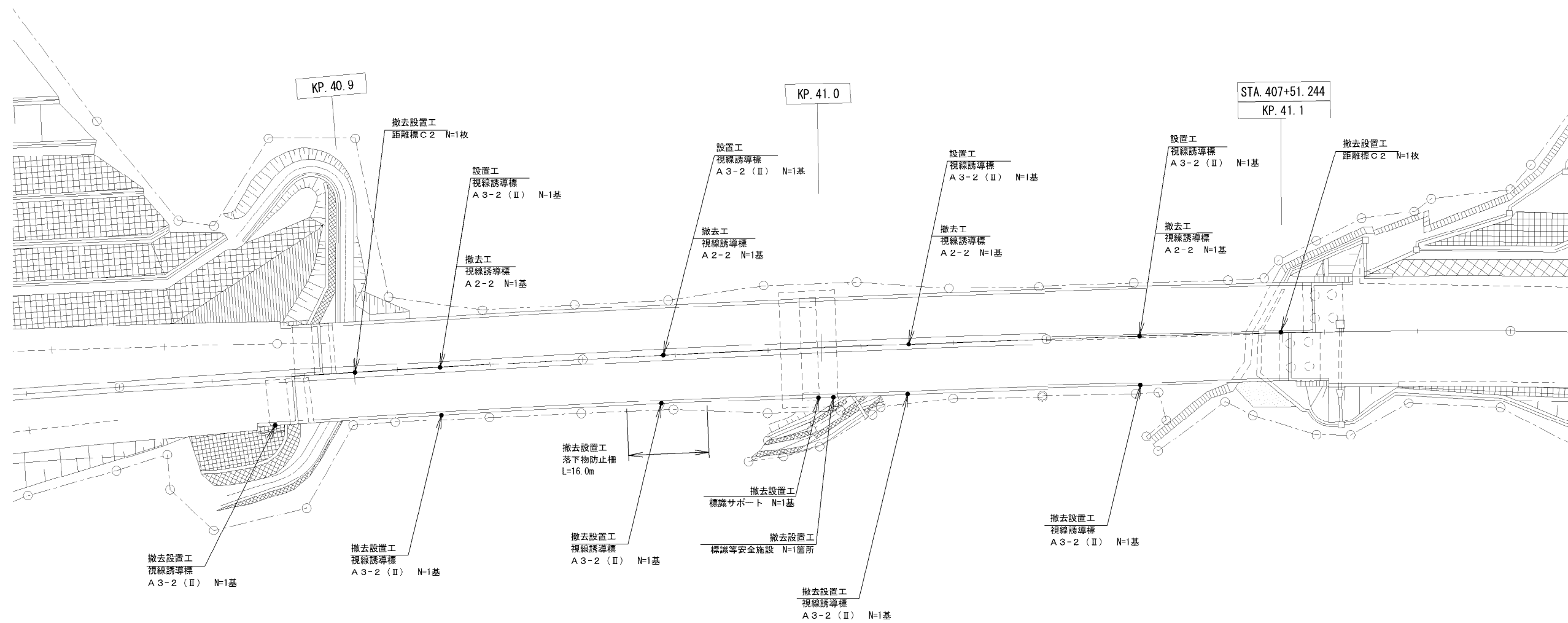
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	交通管理施設工詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	105/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野野工事事務所		



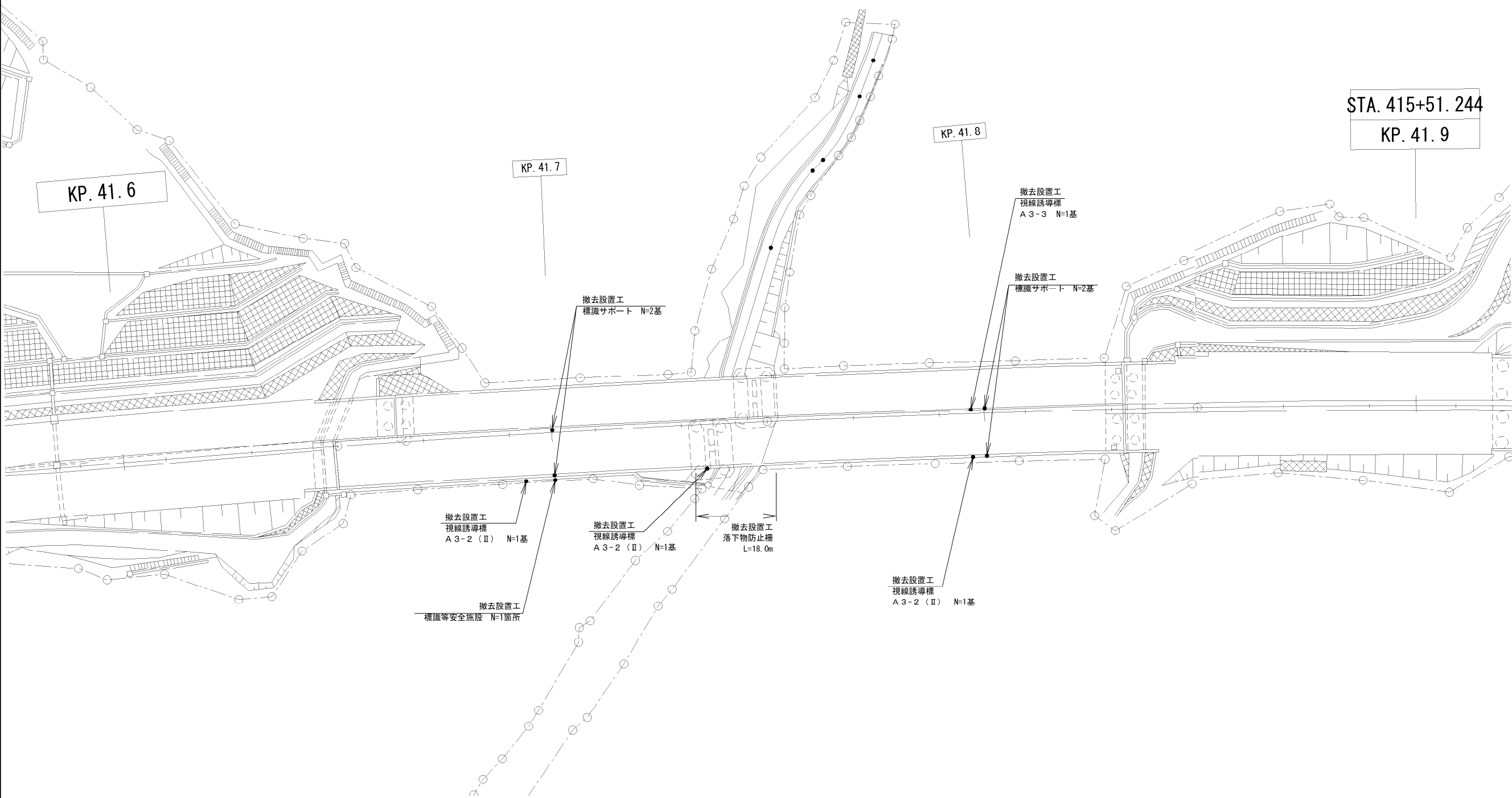
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 路面標示工 詳細図(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	106/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 路面標示工 詳細図(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	107/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



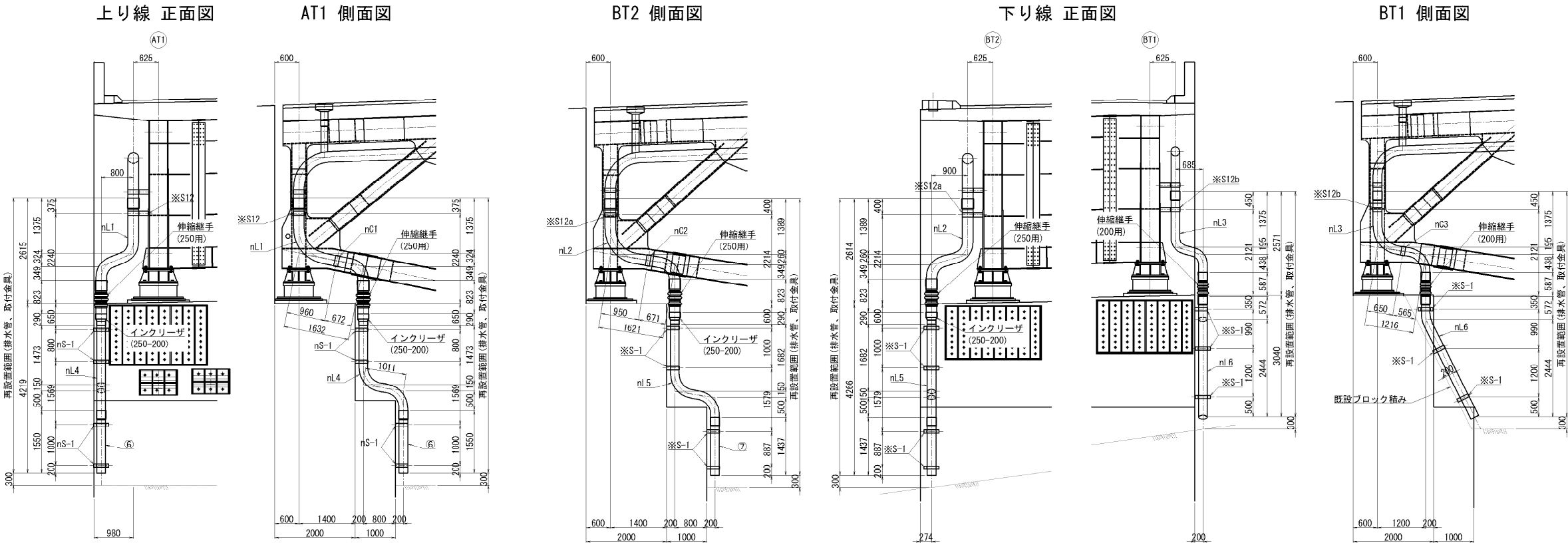
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) 交通安全施設・交通管理施設 詳細図(参考図)		
縮 尺	-	図面番号	108/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	交通安全施設・交通管理施設 詳細図(参考図)		
縮尺	-	図面番号	109/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

五 常 橋 (耐震補強)

【 復旧 (新設) 】



A1橋台(上下線)排水装置数量表

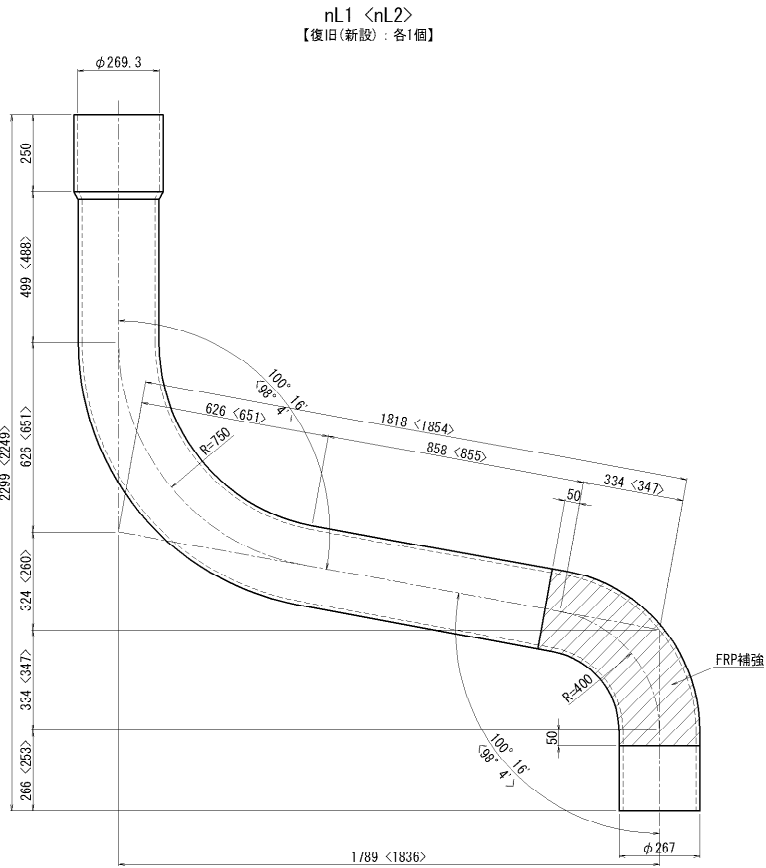
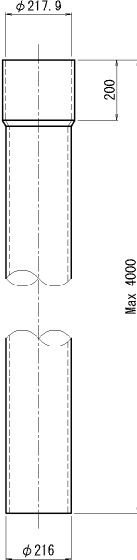
部材名	種 別	記 号	単位	復旧 新設
流水延長	VP250	-	m	6.4
	VP200	-	m	14.3
直 管	VP200	① L=986	本	
		② L=1350	本	
		③ L=1148	本	
		④ L=1115	本	
		⑤ L=1338	本	
		⑥ L=1550	本	1
		⑦ L=1437	本	1
曲 管	VP250	L3-1	個	
		L3-2	個	
		L3-3	個	
		L3-4	個	
		nL1	個	1
		nL2	個	1
		L2-5	個	
		L2-6	個	
	VP200	T1-1	個	
		T1-2	個	
		nL3	個	1
		nL4	個	1
		nL5	個	1
		nL6	個	1
		M1	個	
		-	個	2
受 樹	250用	-	個	1
	200用	-	個	1
	250-200	-	個	2
	VP250用	S12	個	
		S12a	個	
		C1	個	
		nC1	個	1
		nC2	個	1
		S12b	個	
		C2	個	
		nC3	個	1
インクリーザ 取付金具	VP200用	S-1	個	1
		nS-1	個	4
		S-2	個	

排 水 管 S=1:25

曲 管

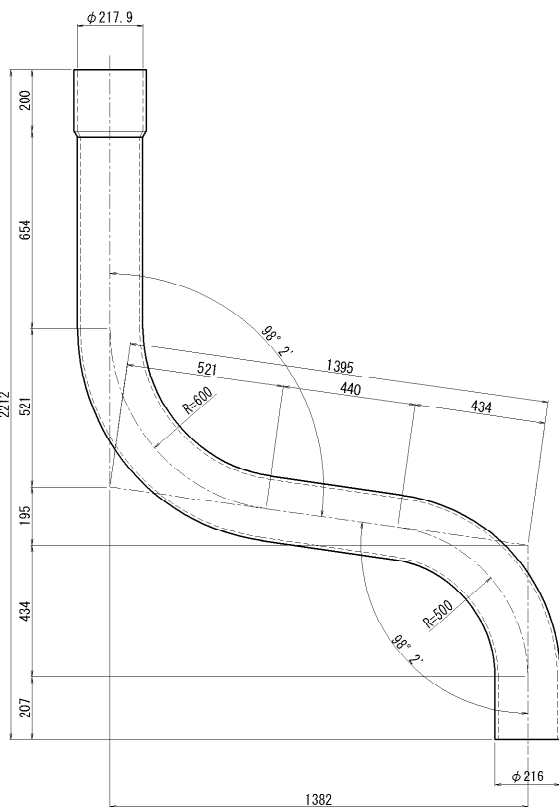
直 管

VP200

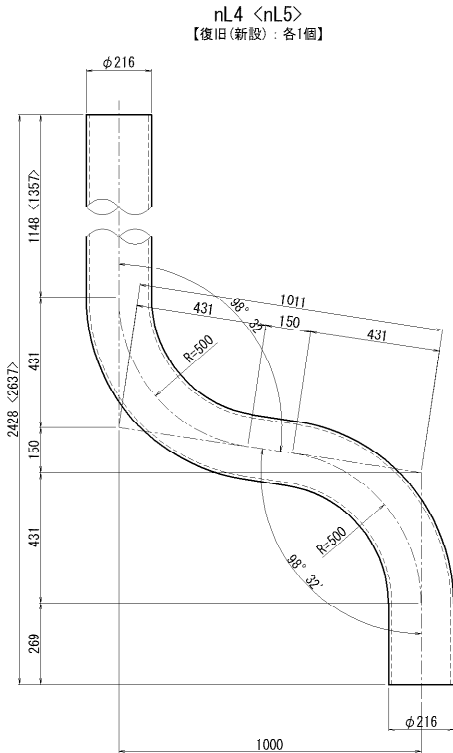


nL1 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP250 × 3472

nL2 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP250 × 3490

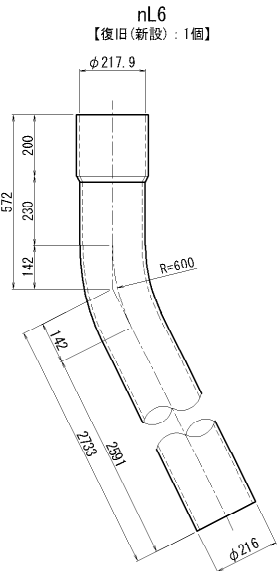


nL3 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP200 × 3075



nL4 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP200 × 2989

nL5 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP200 × 3198

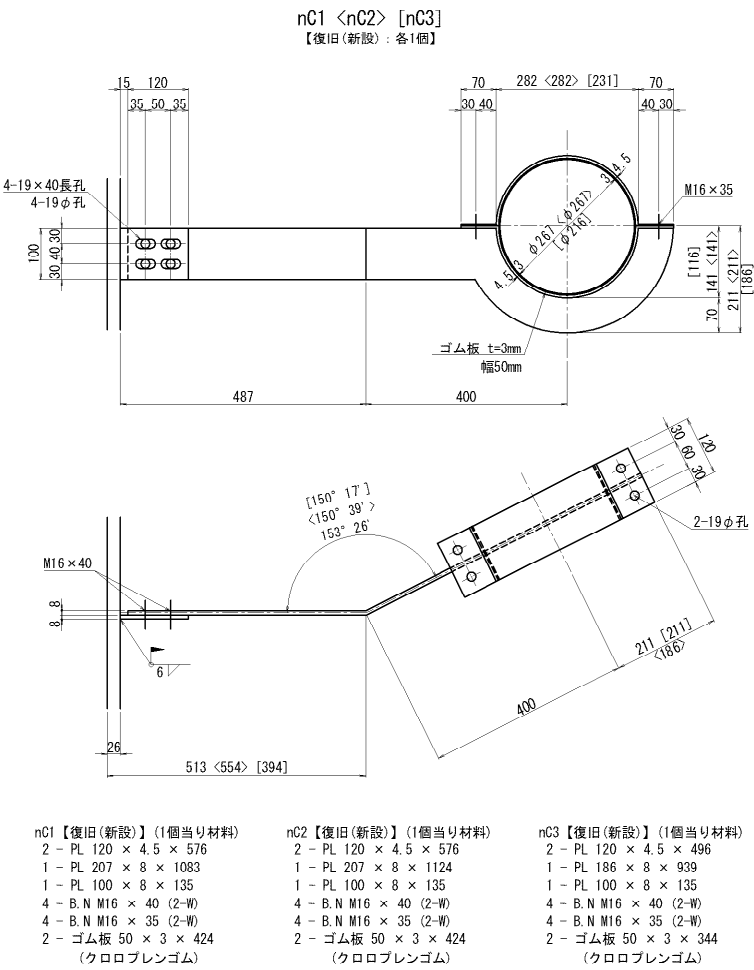


nL6 【復旧(新設)】 (1個当り材料)
1 - VP200 × 3299

- 注記
- 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
 - ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
 - 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。

長 野 目 動 車 道			
五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	五常橋(上下線) A1橋台 排水装置詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	110/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長 野 工 事 事 務 所		

取付金具



【 復旧（新設） 】

正 面 図

S=1:200

上り線

下り線

排 水 管 S=1:25

取付金具 S=1:15

直 管

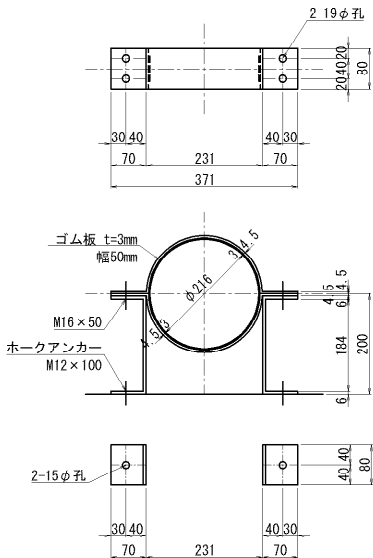
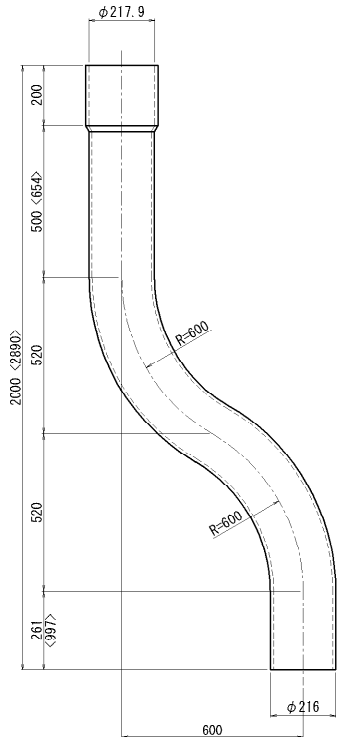
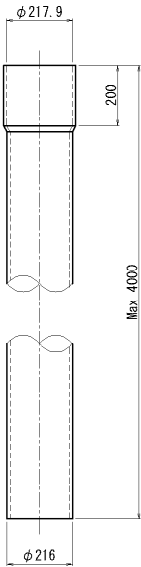
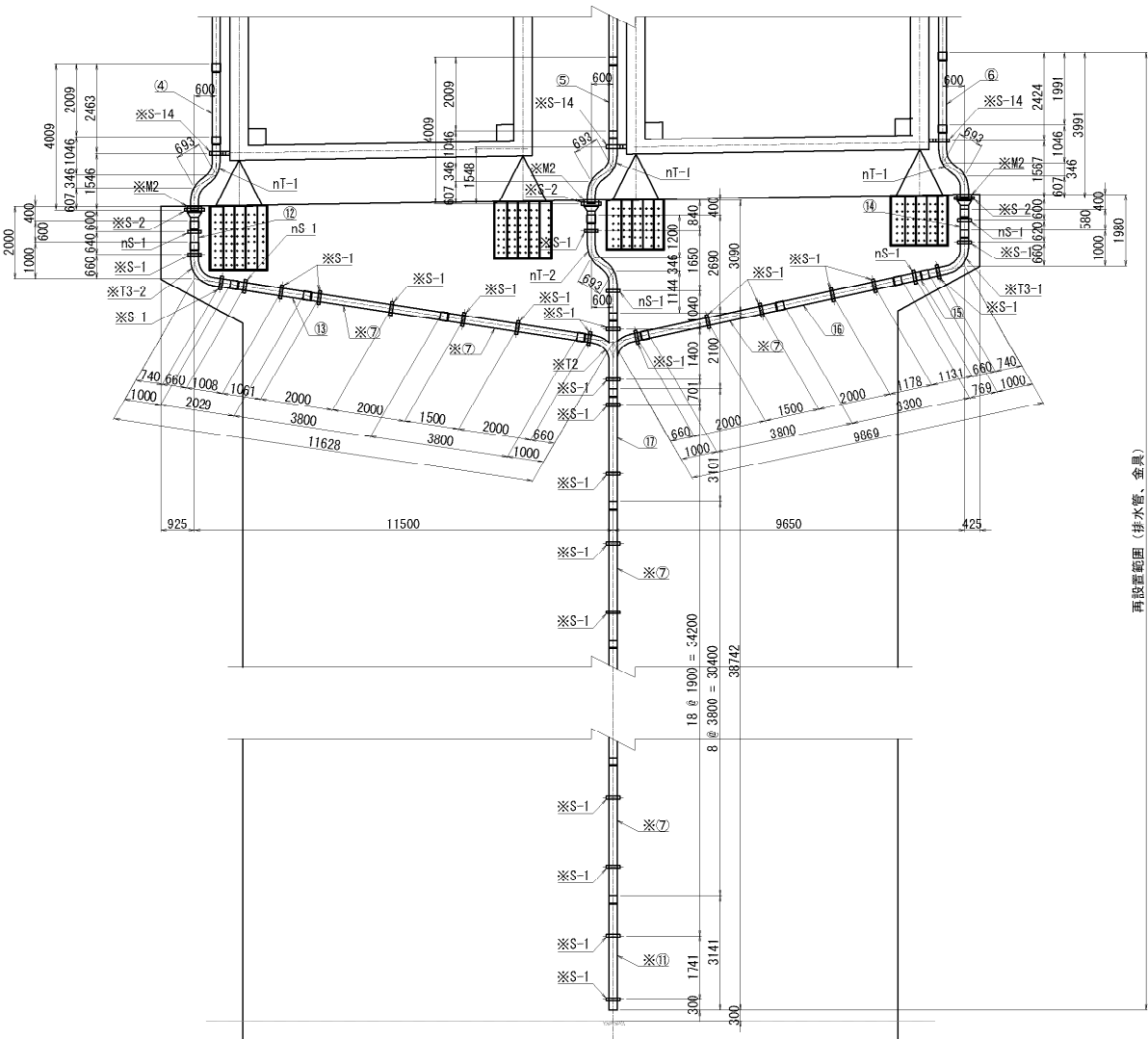
VP200

曲 管

nT-1 <nT-2>
【復旧（新設）：3<1>個】

nS-1

【復旧（新設）：5個】



- nS-1 【復旧（新設）】 (1個当り材料)
- 2 - PL 80 × 4.5 × 496
 - 2 - PL 80 × 6 × 324
 - 4 - B.N M16 × 50 (2-本)
 - 2 - ゴム板 50 × 3 × 344 (クロロプレンゴム)
 - 2 - ホークアンカー M12×100

- nT-1 【復旧（新設）】 (1個当り材料)
- 1 - VP200 × 2218
- nT-2 【復旧（新設）】 (1個当り材料)
- 1 - VP200 × 3107

P1橋脚(上下線)排水装置数量表

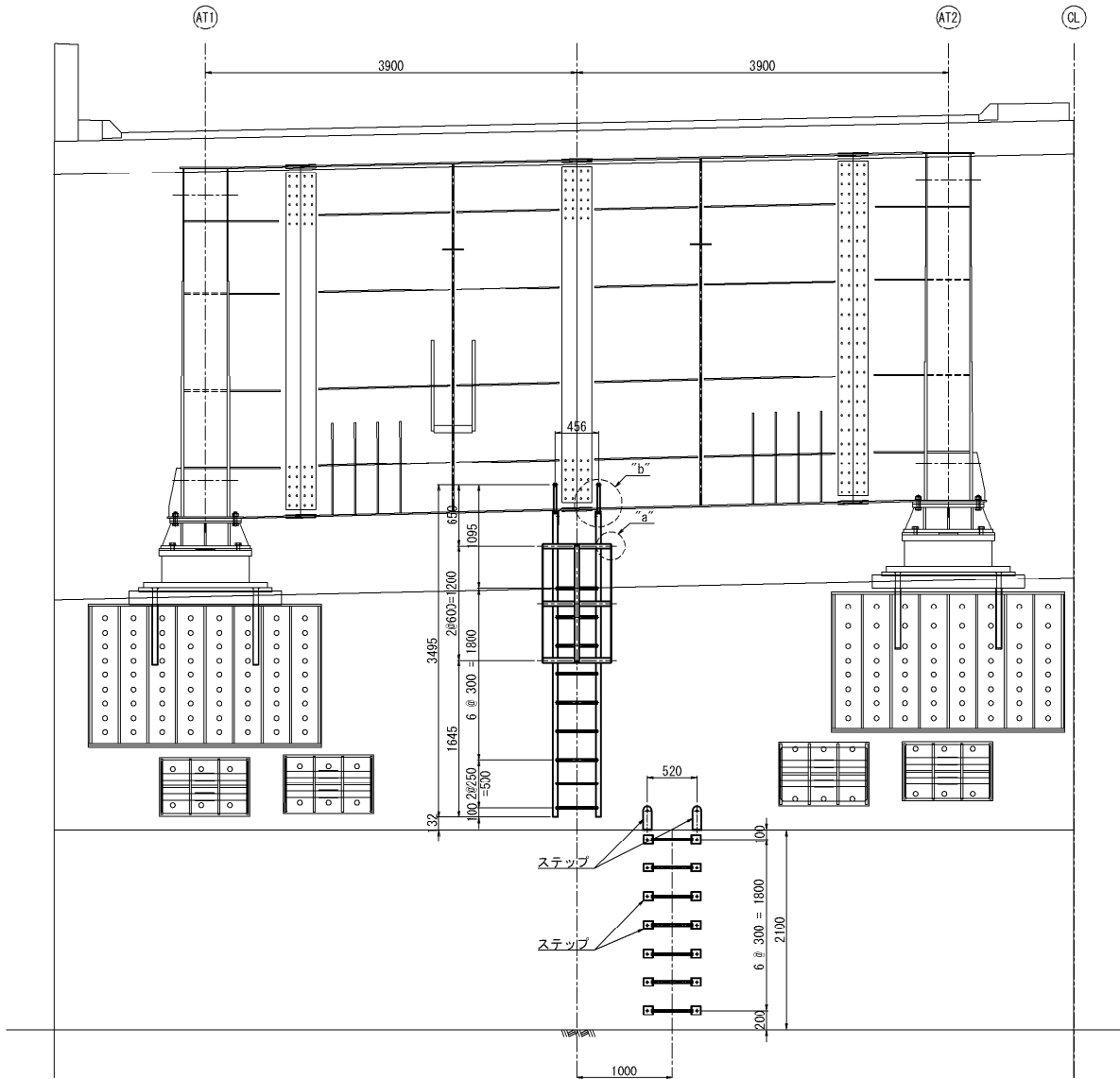
部材名	種 別	記 号	単位	復旧 新設
流水延長	VP200	-	m	25.3
直 管	VP200	① L=4000	本	
		② L=4000	本	
		③ L=4000	本	
		④ L=2209	本	1
		⑤ L=2209	本	1
		⑥ L=2191	本	1
		⑦ L=4000	本	
		⑧ L=1622	本	
		⑨ L=2200	本	
		⑩ L=3655	本	
		⑪ L=3141	本	
		⑫ L=800	本	1
		⑬ L=2229	本	1
		⑭ L=780	本	1
		⑮ L=969	本	1
		⑯ L=3500	本	1
		⑰ L=3301	本	1
曲 管	VP200	T3-1	個	
		T3-2	個	
		nT-1	個	3
		nT-2	個	1
ナーブ管	VP200	T2	個	
受 樹	-	M2	個	
		S-14	個	
		S-1	個	
		S-2	個	
		nS-1	個	5

- 注記
- 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
 - ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 全て緩み止めナットを使用すること。
 - 取付金具部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT77 とする。但し、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線) P1橋脚		
	排水装置詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	112/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

昇降梯子、ステップ設置図

正面図

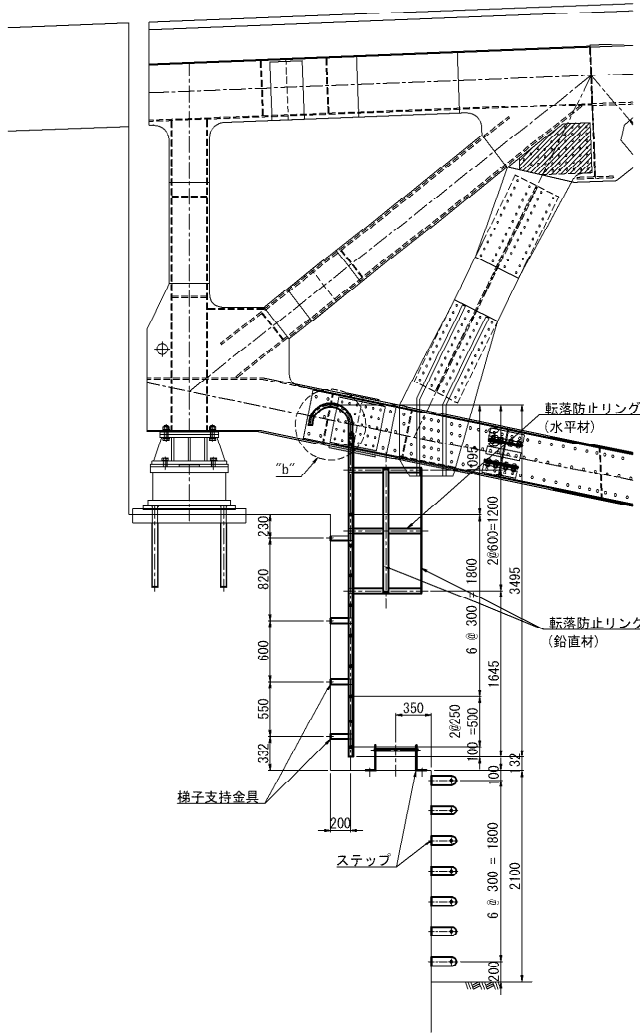


昇降梯子【新設】
2 - L 50 x 50 x 6 x 3195
9 - RB $\phi 22$ x 430
2 - RB $\phi 32$ x 712
2 - FB 50 x 6 x 192
4 - B.N M12 x 35 (2-W)

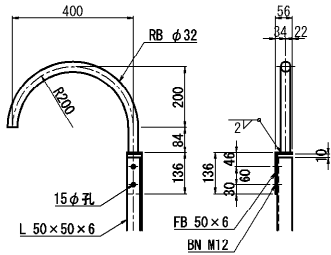
転落防止リング【新設】
3 - FB 50 x 4.5 x 2101
3 - FB 50 x 4.5 x 1230
6 - B.N M16 x 40 (2-W)

梯子支持金具【新設】
8 - FB 90 x 6 x 315
8 - 打込式アンカー M16 x 125

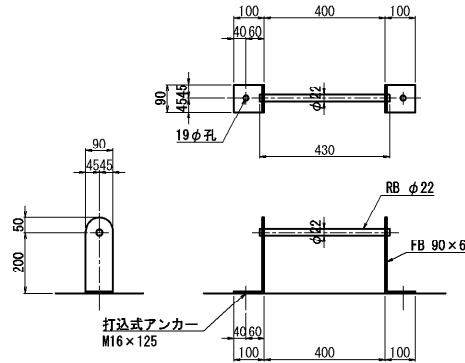
ステップ【新設】
9 - RB $\phi 22$ x 430
18 - FB 90 x 6 x 350
18 - 打込式アンカー M16 x 125



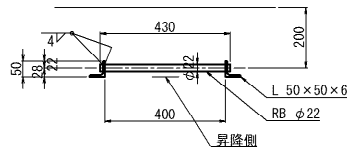
梯子“b”部詳細図 S=1:25



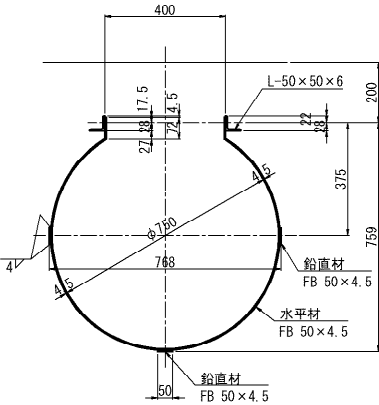
ステップ S=1:25



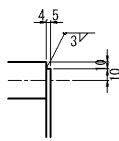
梯子断面図 S=1:25



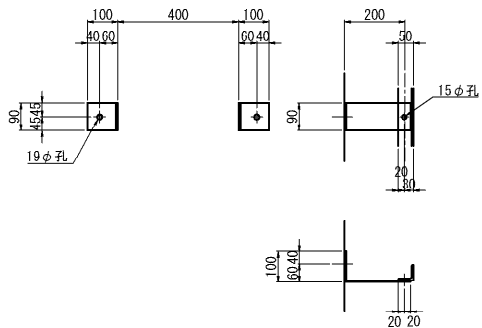
転落防止リング S=1:25



梯子“a”部詳細図 S=1:10



梯子支持金具 S=1:25

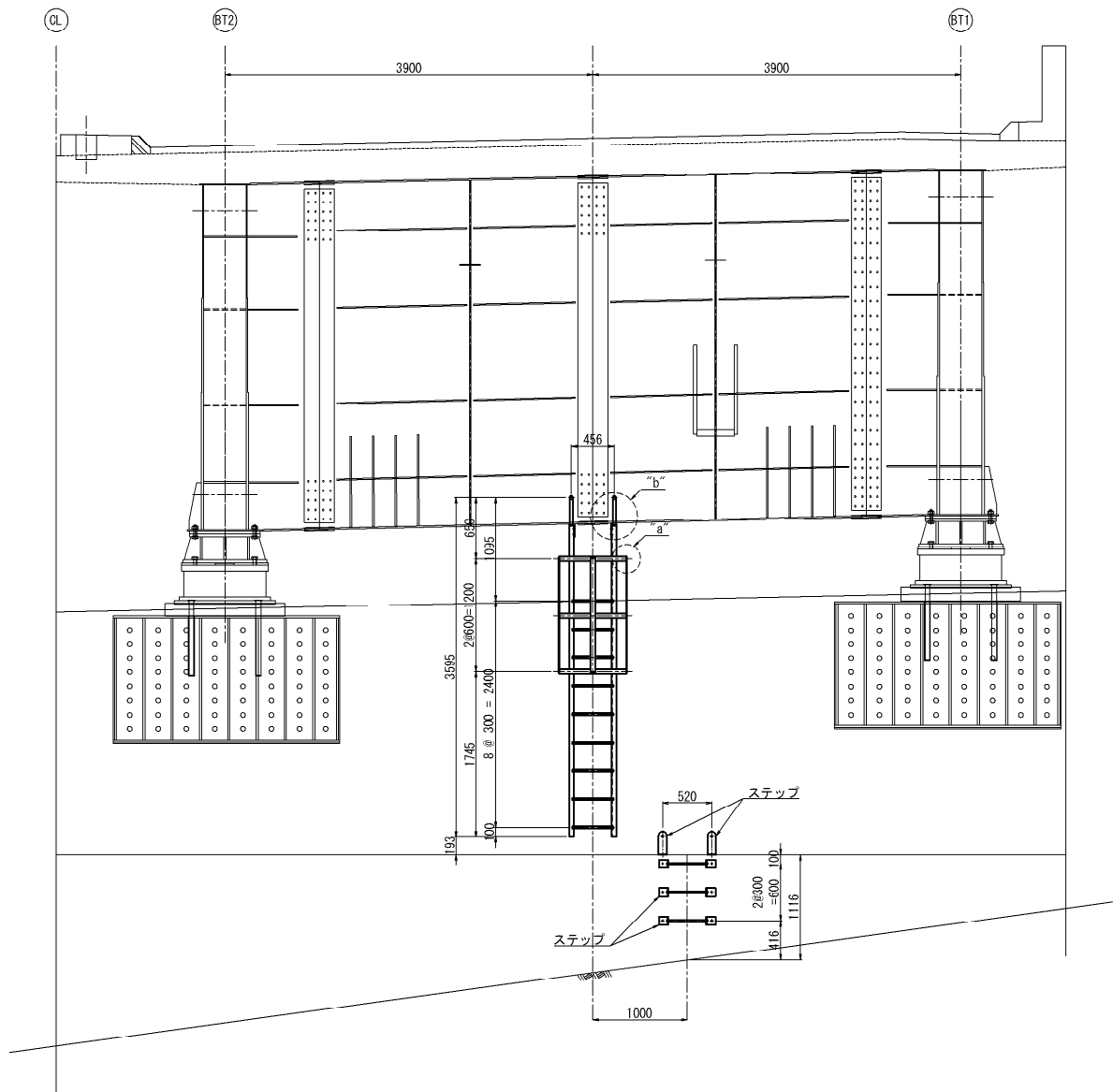


注記
1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. 全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナットおよび 板厚3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、メッキの膜厚を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。
6. 打込式アンカーボルトの埋込長は、60mmを標準とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事 五常橋(上り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)			
図面の種類	図示	図面番号	113/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

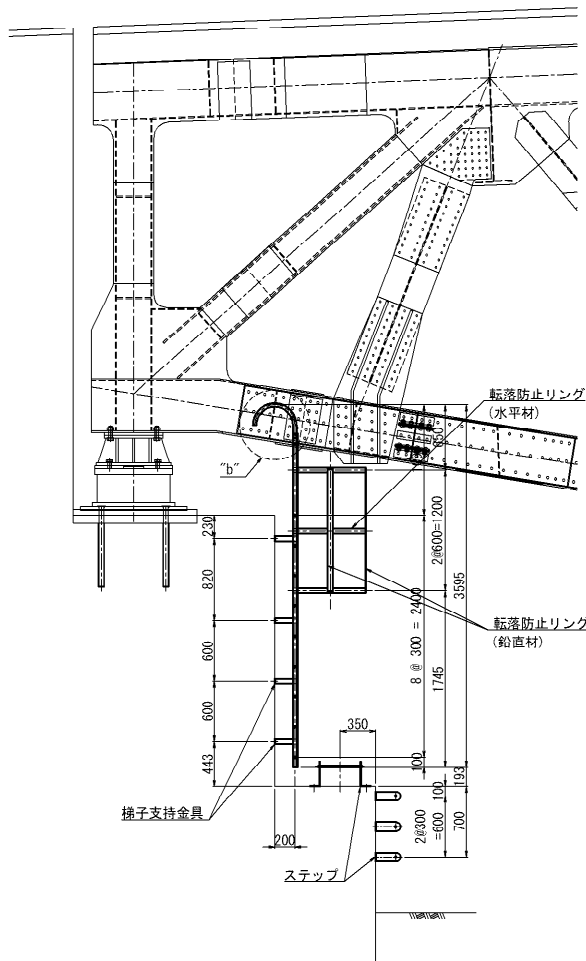
五常橋(下り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図) S=1:75
昇降梯子、ステップ設置図

正面図

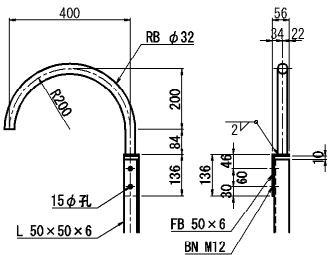


- 昇降梯子【新設】
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 3295
 - 9 - RB $\phi 22$ x 430
 - 2 - RB $\phi 32$ x 712
 - 2 - FB 50 x 6 x 192
 - 4 - B.N M12 x 35 (2-W)
- 転落防止リング【新設】
- 3 - FB 50 x 4.5 x 2101
 - 3 - FB 50 x 4.5 x 1230
 - 6 - B.N M16 x 40 (2-W)
- 梯子支持金具【新設】
- 8 - FB 90 x 6 x 315
 - 8 - 打込式アンカー M16 x 125
- ステップ【新設】
- 5 - RB $\phi 22$ x 430
 - 10 - FB 90 x 6 x 350
 - 10 - 打込式アンカー M16 x 125

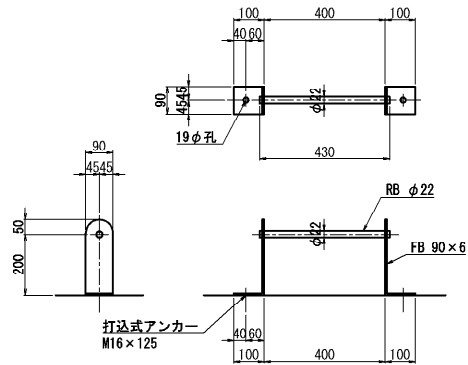
側面図



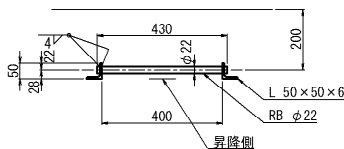
梯子“b”部詳細図 S=1:25



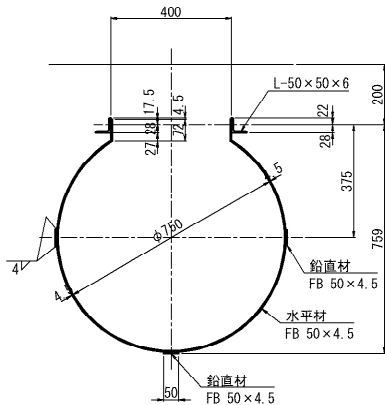
ステップ S=1:25



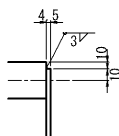
梯子断面図 S=1:25



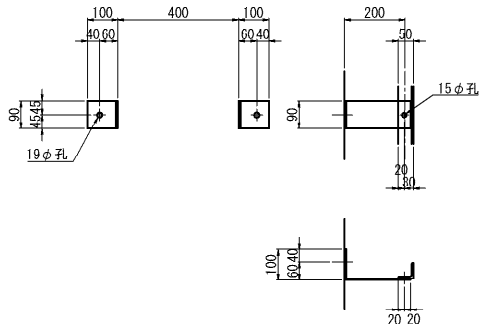
転落防止リング S=1:25



梯子“a”部詳細図 S=1:10



梯子支持金具 S=1:25



- 注記
- 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT77 とする。但し、ボルト・ナットおよび 板厚3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキの膜厚を考慮し、ボルト径+3mm を標準とする。
 - 打込式アンカーボルトの埋込長は、60mmを標準とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
五常橋(下り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)			
図面の種類	図示	図面番号	114/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) A2橋台 検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	115/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
五常橋(下り線) A2橋面 検査路B詳細図(参考図)			
図面の種類			
縮 尺	図 示	図面番号	116/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

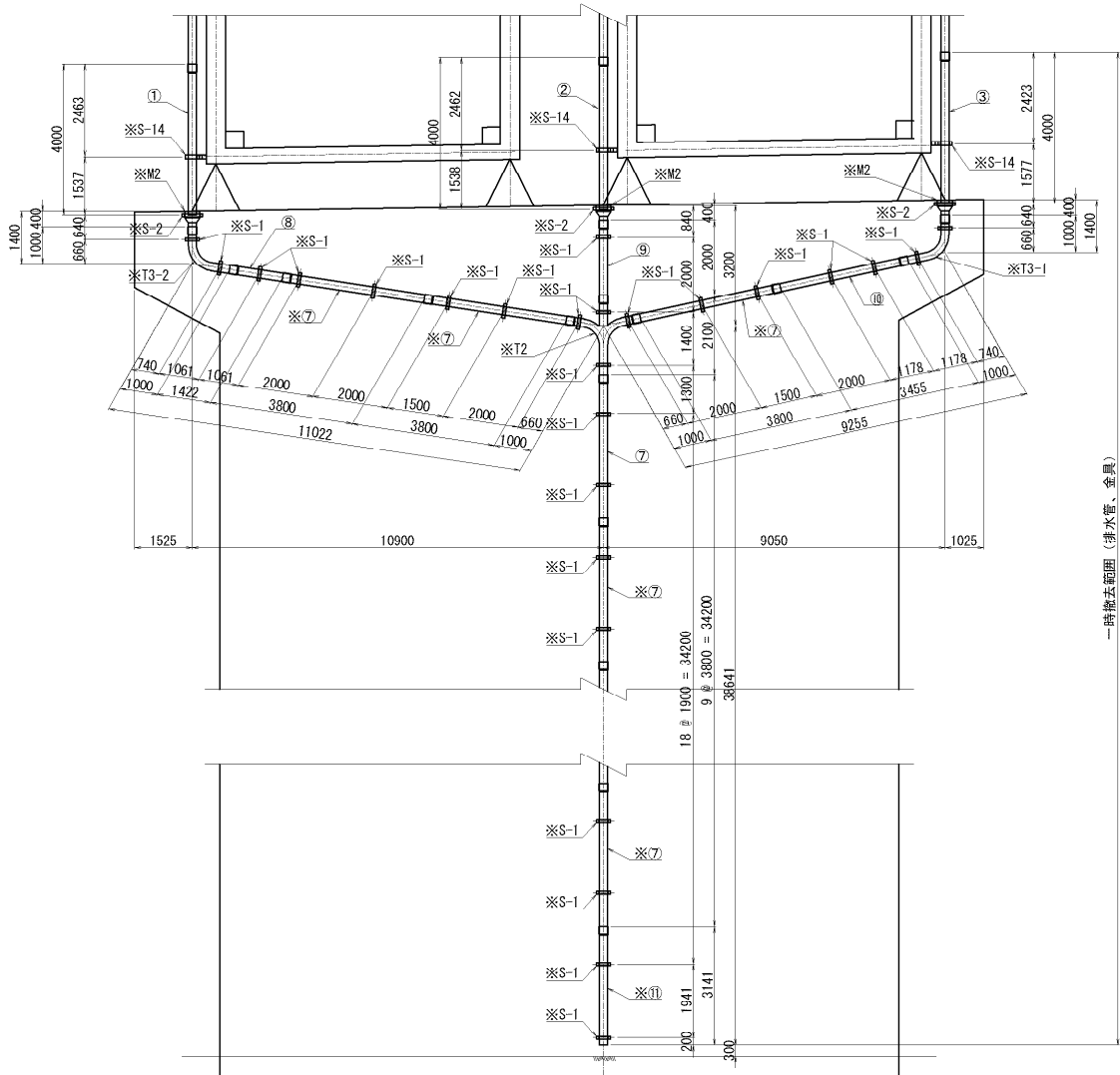
P1橋脚

【既設】

正面図

上り線

下り線

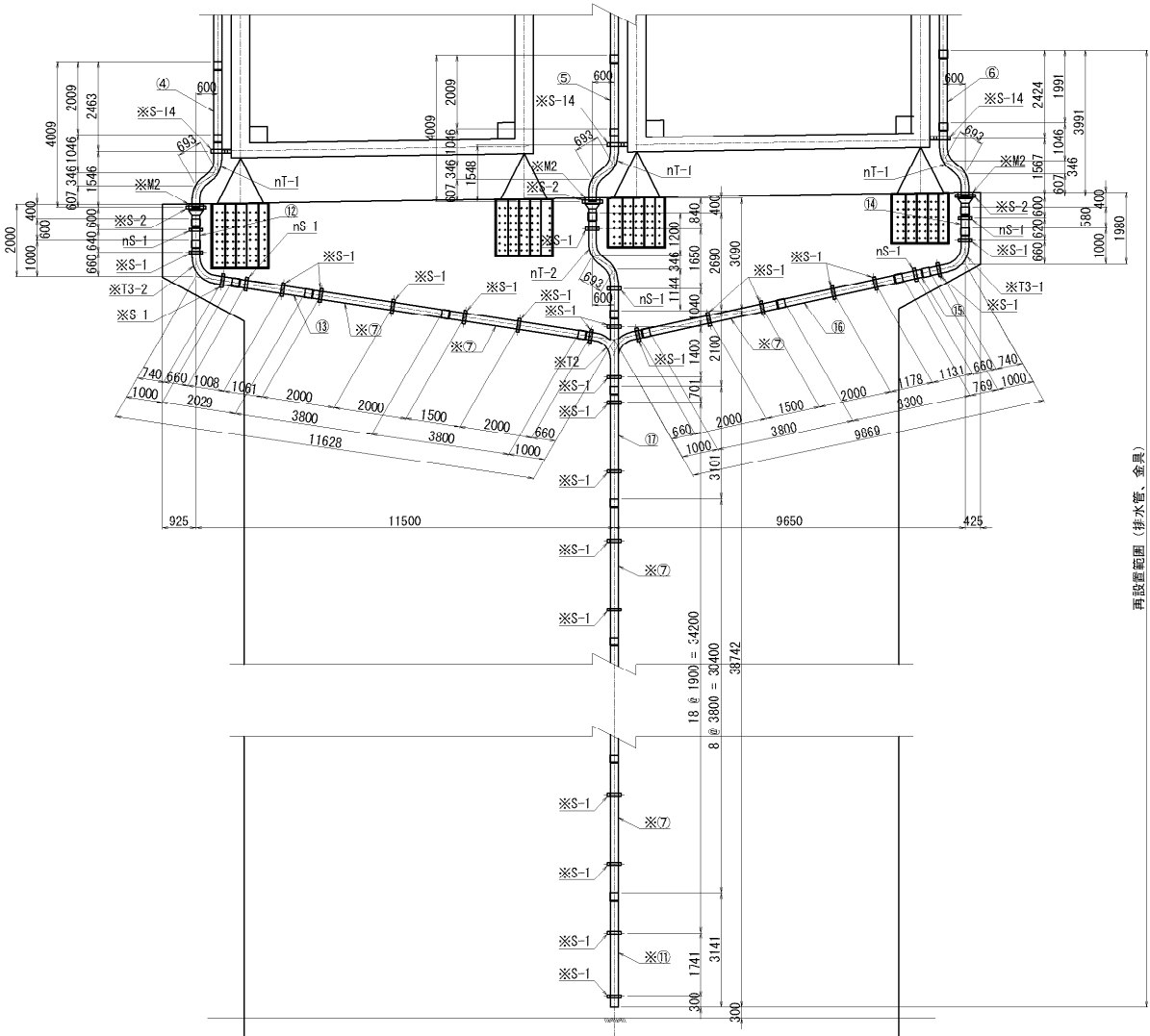


【改修】

正面図

上り線

下り線



P1橋脚(上下線)排水装置数量表

部材名	種別	記号	単位	復旧 再設置
流水延長	VP200	-	m	53.4
直管	VP200	① L=4000	本	
		② L=4000	本	
		③ L=4000	本	
		④ L=2209	本	
		⑤ L=2209	本	
		⑥ L=2191	本	
		⑦ L=4000	本	11
		⑧ L=1622	本	
		⑨ L=2200	本	
		⑩ L=3655	本	
		⑪ L=3141	本	1
		⑫ L=800	本	
		⑬ L=2229	本	
		⑭ L=780	本	
		⑮ L=969	本	
		⑯ L=3500	本	
		⑰ L=3301	本	
曲管	VP200	T3-1	個	1
		T3-2	個	1
		nT-1	個	
		nT-2	個	
ナース管	VP200	T2	個	1
受樹	-	M2	個	3
		S-14	個	3
取付金具	VP200用	S-1	個	38
		S-2	個	3
		nS-1	個	

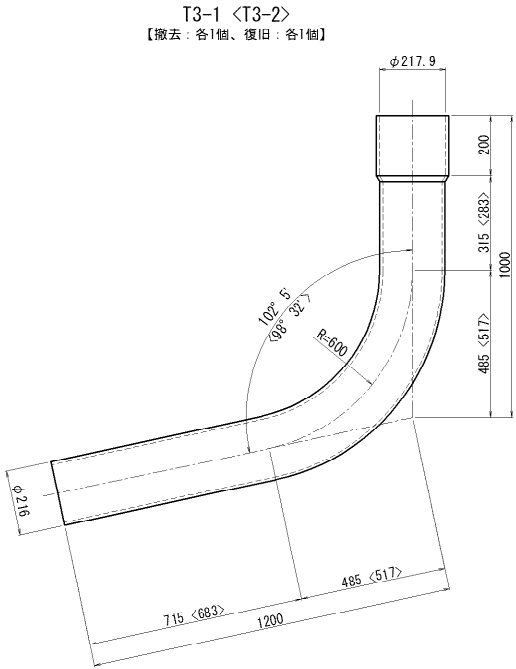
注記
1 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2 ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その1)(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号 118/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

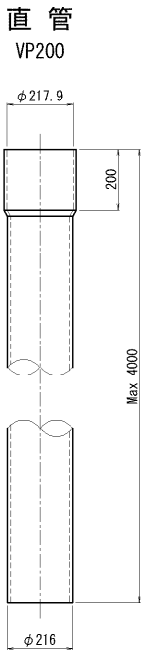
五常橋(上下線) 撤去設置工 排水管 A 詳細図(その2)(参考図)

排水管 S=1:25

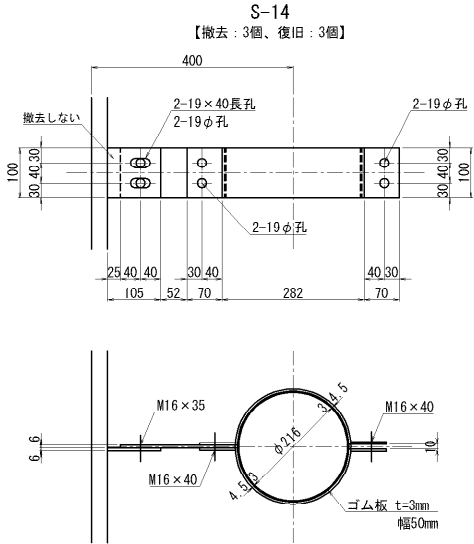
P1橋脚



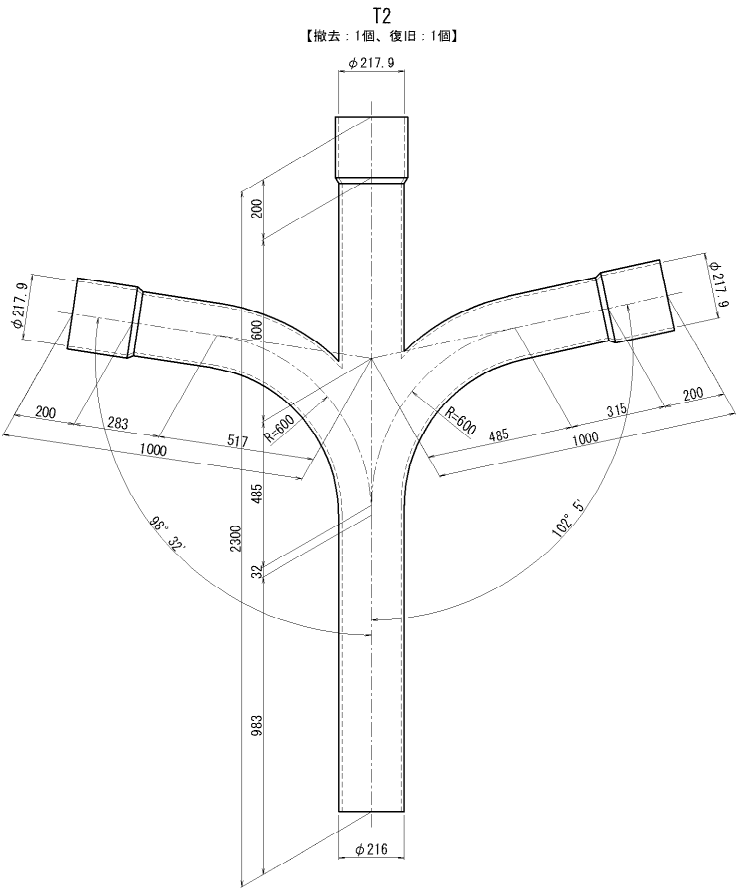
- T3-1 【撤去】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2046
- T3-1 【復旧】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2046
- T3-2 【撤去】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2020
- T3-2 【復旧】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2020



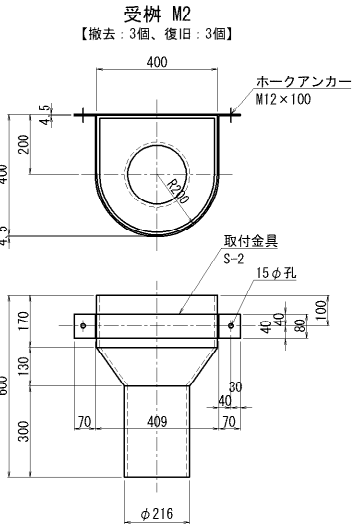
取付金具 S=1:15



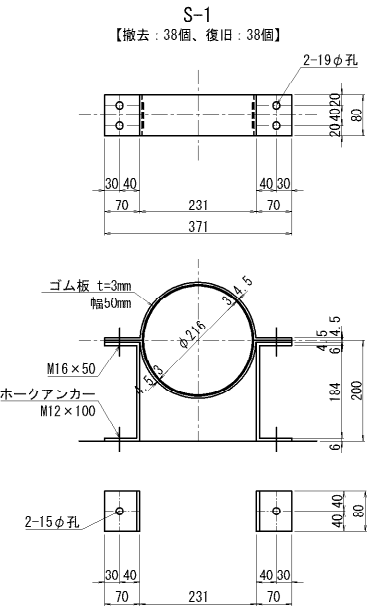
- S-14 【撤去】(1個当り材料)
※2 - PL 100 × 4.5 × 496
※1 - PL 100 × 6 × 202
※4 - B.N M16 × 40 (2-W)
※2 - B.N M16 × 35 (2-W)
※2 - ゴム板 50 × 3 × 344 (クロロプレンゴム)
- S-14 【復旧】(1個当り材料)
※2 - PL 100 × 4.5 × 496
※1 - PL 100 × 6 × 202
※4 - B.N M16 × 40 (2-W)
※2 - B.N M16 × 35 (2-W)
※2 - ゴム板 50 × 3 × 344 (クロロプレンゴム)



- T3-1 【撤去】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2300
※1 - VP200 × 1336
※1 - VP200 × 1331
- T3-2 【復旧】(1個当り材料)
※1 - VP200 × 2300
※1 - VP200 × 1336
※1 - VP200 × 1331



- S-2 【撤去】(1個当り材料)
※1 - PL 80 × 4.5 × 1175
※1 - ゴム板 100 × 3 × 400 (クロロプレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100
- S-2 【復旧】(1個当り材料)
※1 - PL 80 × 4.5 × 1175
※1 - ゴム板 100 × 3 × 400 (クロロプレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100



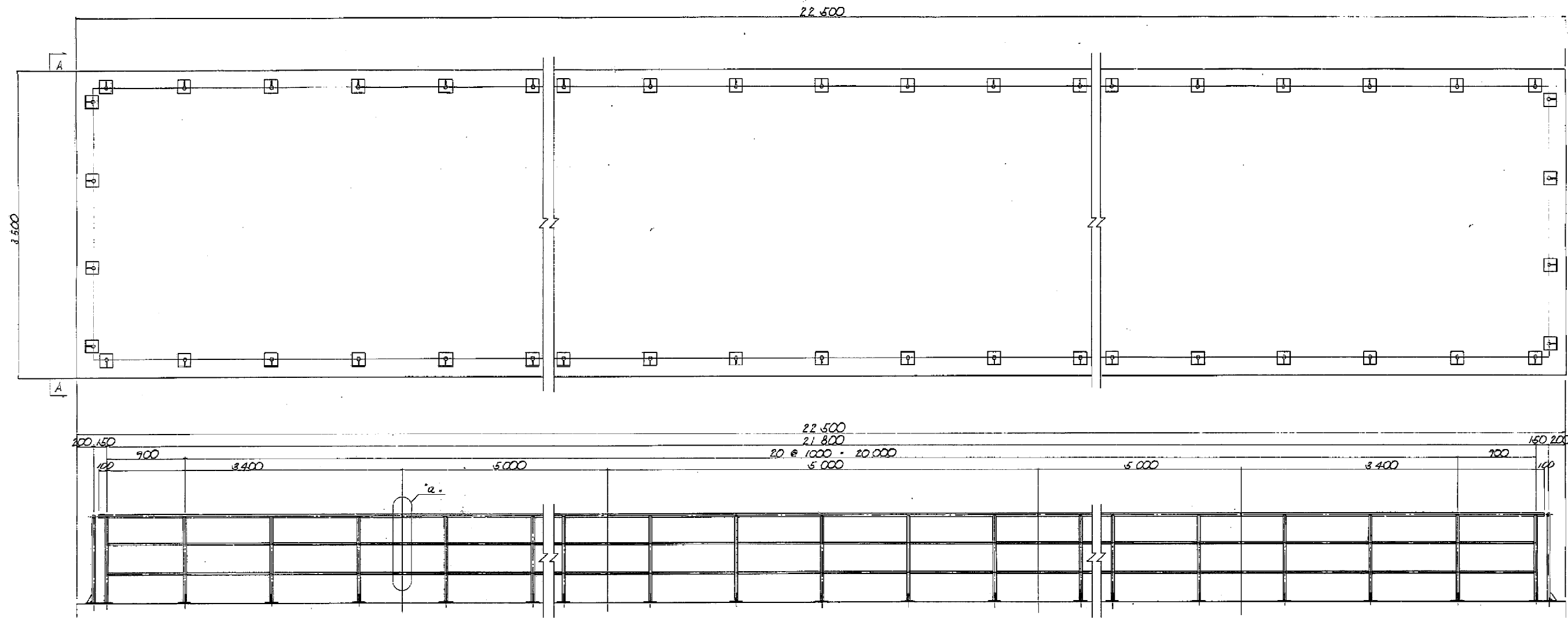
- S-1 【撤去】(1個当り材料)
※2 - PL 80 × 4.5 × 496
※2 - PL 80 × 6 × 324
※4 - B.N M16 × 50 (2-W)
※2 - ゴム板 50 × 3 × 344 (クロロプレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100
- S-1 【復旧】(1個当り材料)
※2 - PL 80 × 4.5 × 496
※2 - PL 80 × 6 × 324
※4 - B.N M16 × 50 (2-W)
※2 - ゴム板 50 × 3 × 344 (クロロプレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100

注記)
1. 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
2. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。

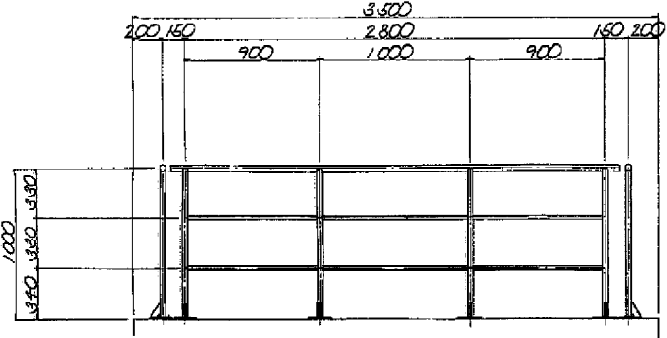
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線)		
	撤去設置工 排水管 A 詳細図(その2)(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	119/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

P1橋脚

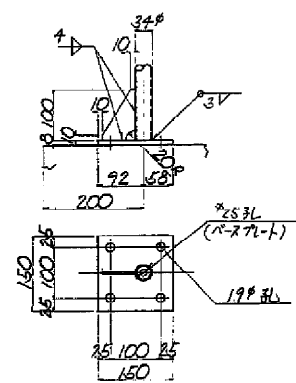
平面図



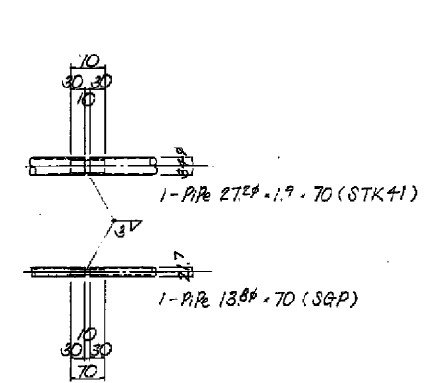
A - A



柱下端詳細図 S=1:15



"a"部詳細図 S=1:15

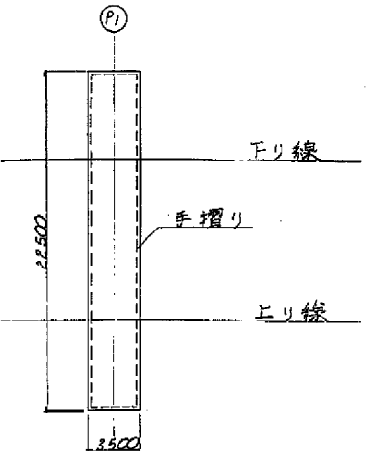


- P1橋脚 検査用手摺り【撤去・再設置】
- 4 - Pipe 34φ×2.3×3495 (STK400)
 - 6 - Pipe 34φ×2.3×4490 (STK400)
 - 46 - Pipe 34φ×2.3×992 (STK400)
 - 8 - Pipe 21.7φ×1.9×874 (STK400)
 - 64 - Pipe 21.7φ×1.9×974 (STK400)
 - 32 - Pipe 21.7φ×1.9×482 (STK400)
 - 46 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 46 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 184 - ホールインアンカー M16 (SUS304)
 - 2 - Pipe 34φ×2.3×3000 (STK400)
 - 8 - Pipe 34φ×2.3×992 (STK400)
 - 8 - Pipe 21.7φ×1.9×874 (STK400)
 - 4 - Pipe 21.7φ×1.9×974 (STK400)
 - 8 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 8 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 32 - ホールインアンカー M16 (SUS304)
- ※ アンカー部のみ新規部材とする。

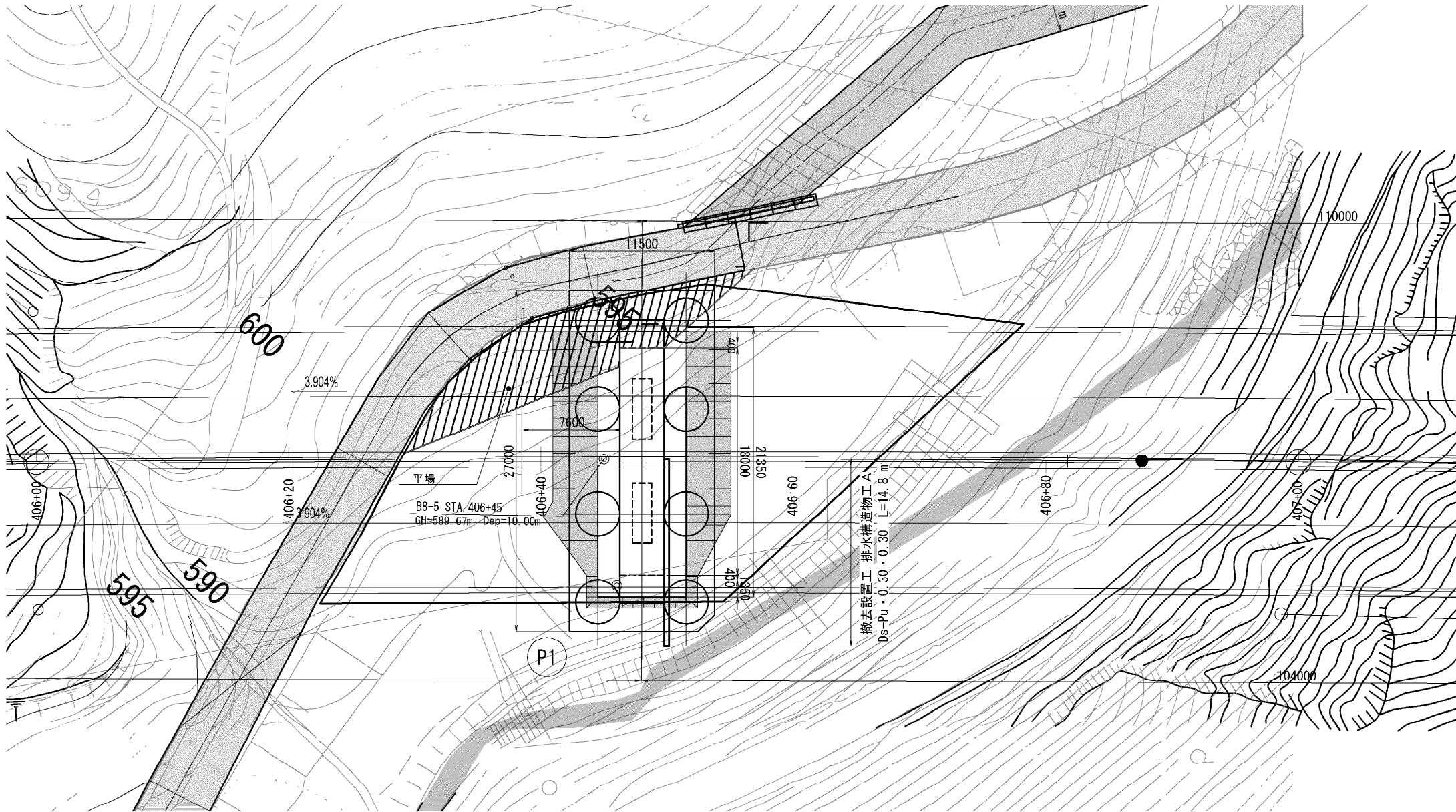
上下線 P1橋脚 撤去数量表

名称	部材名	質量(kg)
手摺り	炭素鋼鋼管	265
	棒鋼	98
合計		363

配置図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線)		
	撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	120/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



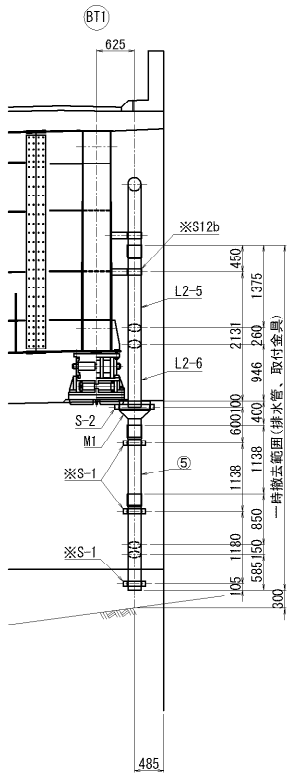
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線)		
	撤去設置工 排水構造物 A 平面図(参考図)		
縮 尺	1:400	図面番号	121/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

五常橋(上下線) 撤去工 排水管A詳細図(その1)(参考図)
A1橋台

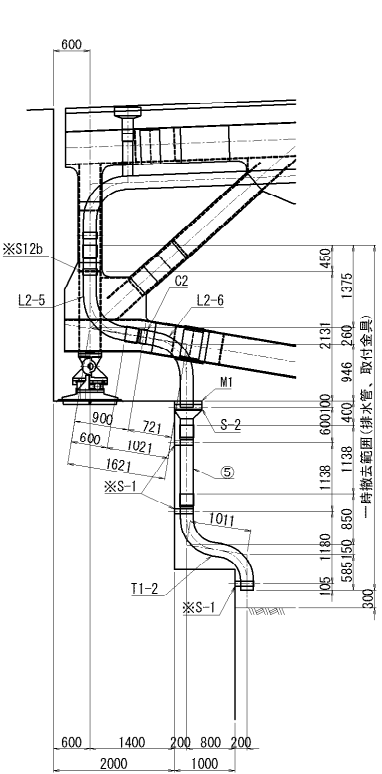
S=1:125

【既設】

下り線 正面図



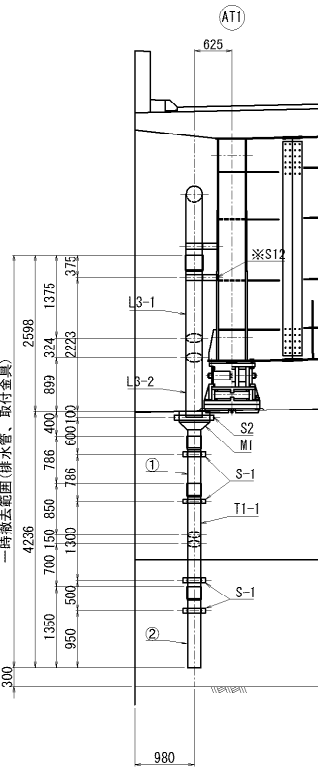
BT1 側面図



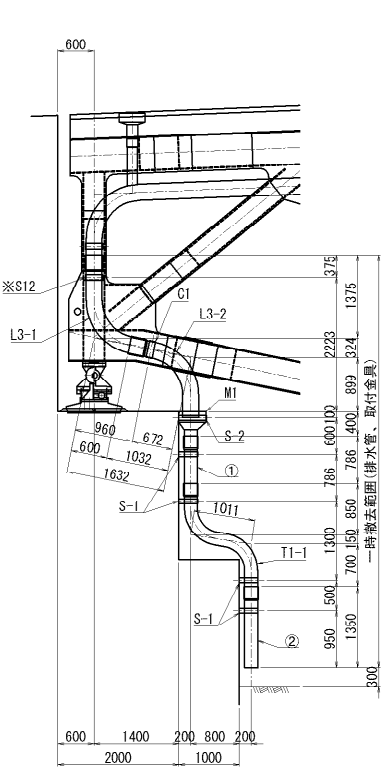
A1橋台(上下線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	撤去
流水延長	VP250	-	m	6.8
	VP200	-	m	14.9
直 管	VP200	① L=986	本	1
		② L=1350	本	1
		③ L=1148	本	1
		④ L=1115	本	1
		⑤ L=1338	本	1
		⑥ L=1550	本	1
		⑦ L=1437	本	1
曲 管	VP250	L3-1	個	1
		L3-2	個	1
		L3-3	個	1
		L3-4	個	1
		nL1	個	
		nL2	個	
		nL3	個	
	VP200	L2-5	個	1
		L2-6	個	1
		T1-1	個	2
		T1-2	個	1
		nL4	個	
		nL5	個	
		nL6	個	
受 樹	-	M1	個	3
伸縮継手	250用	-	個	
200用	-	-	個	
インクリーザ 取付金具	250-200	-	個	
		S12	個	
		S12a	個	
		C1	個	2
		nC1	個	
		nC2	個	
	VP250用	S12b	個	
		C2	個	1
		nC3	個	
		S-1	個	4
受樹用	VP200用	nS-1	個	
		S-2	個	3

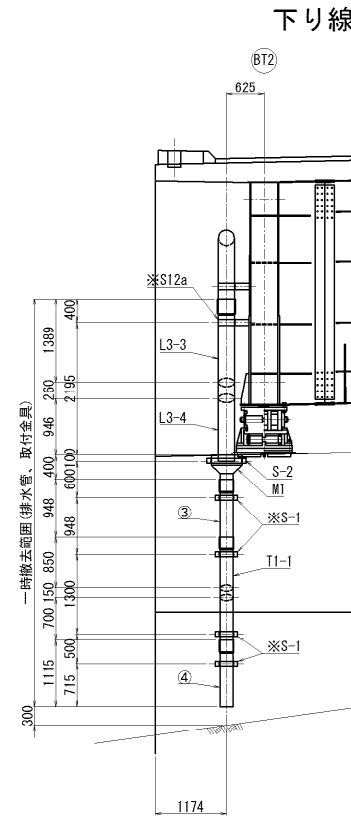
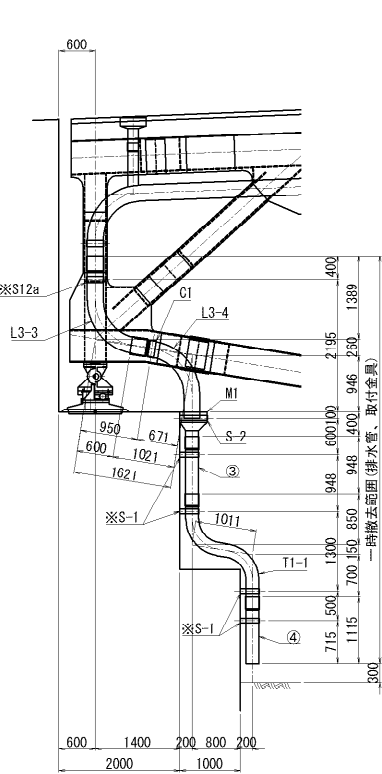
上り線 正面図



AT1 側面図



BT2 側面図

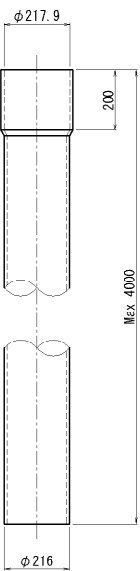


排水管 S=1:25

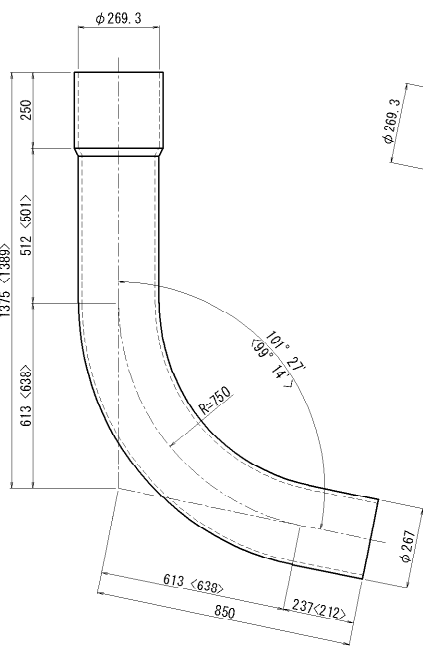
直 管

直 管

VP200



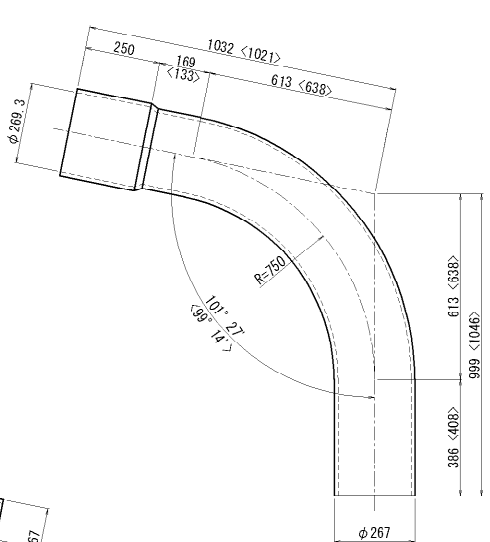
L3-1 <L3-3>
【撤去：各1個】



L3-1 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 2027

L3-3 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 2020

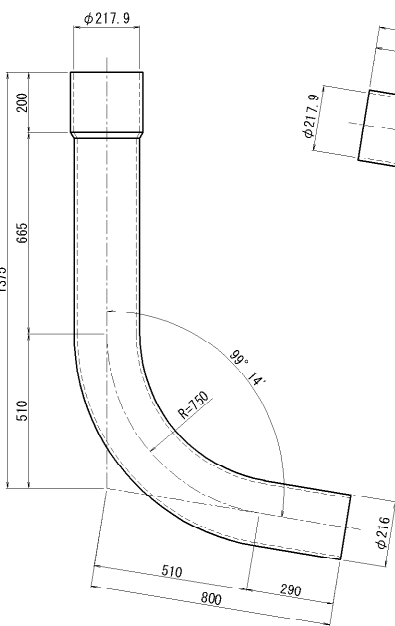
L3-2 <L3-4>
【撤去：各1個】



L3-2 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 1833

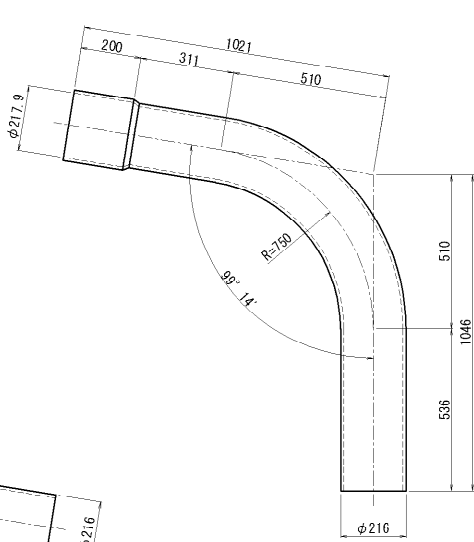
L3-4 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 1848

L2-5
【撤去：1個】



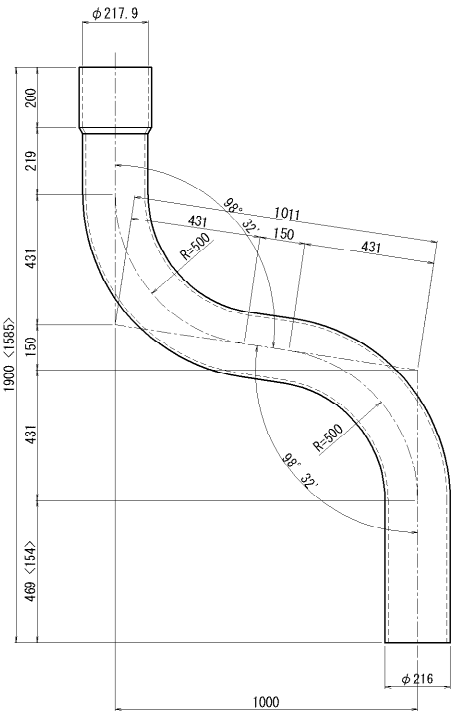
L2-5 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP200 × 2000

L2-6
【撤去：1個】



L2-6 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP200 × 1892

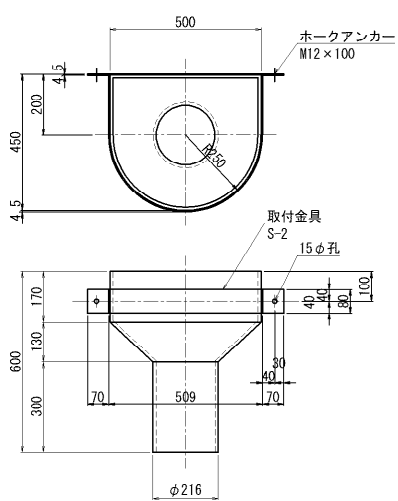
T1-1 <T1-2>
【撤去：2<1>個】



T1-1 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP200 × 2461

T1-2 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP200 × 2146

受樹 M1
【撤去：3個】



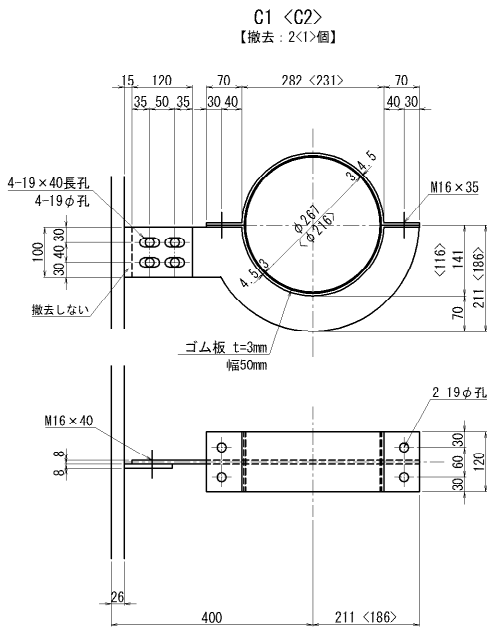
S-2 【撤去】(1個当り材料)
1 - PL 80 × 4.5 × 1332
1 - ゴム板 170 × 3 × 500
(クロロブレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100

注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線)		
	撤去工 排水管A詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	122/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

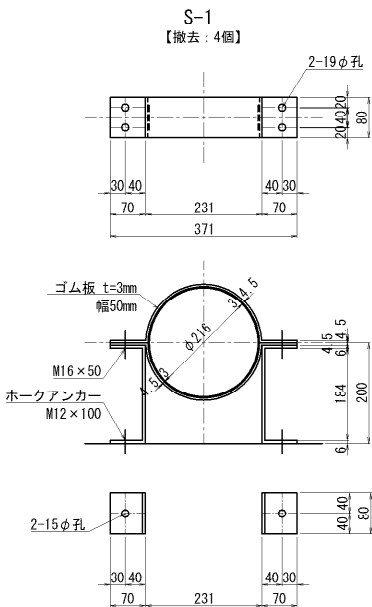
五常橋(上下線) 撤去工 排水管 A 詳細図(その2) (参考図)
A1橋台

取付金具 S=1:15



C1 【撤去】 (1個当り材料)
2 - PL 120 × 4.5 × 576
1 - PL 207 × 8 × 570
4 - B.N M16 × 40 (2-W)
4 - B.N M16 × 35 (2-W)
2 - ゴム板 50 × 3 × 424
(クロロプレンゴム)

C2 【撤去】 (1個当り材料)
2 - PL 120 × 4.5 × 496
1 - PL 181 × 8 × 545
4 - B.N M16 × 40 (2-W)
4 - B.N M16 × 35 (2-W)
2 - ゴム板 50 × 3 × 344
(クロロプレンゴム)



S-1 【撤去】 (1個当り材料)
2 - PL 80 × 4.5 × 496
2 - PL 80 × 6 × 324
4 - B.N M16 × 50 (2-W)
2 - ゴム板 50 × 3 × 344
(クロロプレンゴム)
2 - ホークアンカー M12×100

注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

長 野 自 動 車 道			
五 常 橋 床 版 取 替 工 事			
図面の種類	五常橋(上下線)		
	撤去工 排水管 A 詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	123/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長 野 工 事 事 務 所		

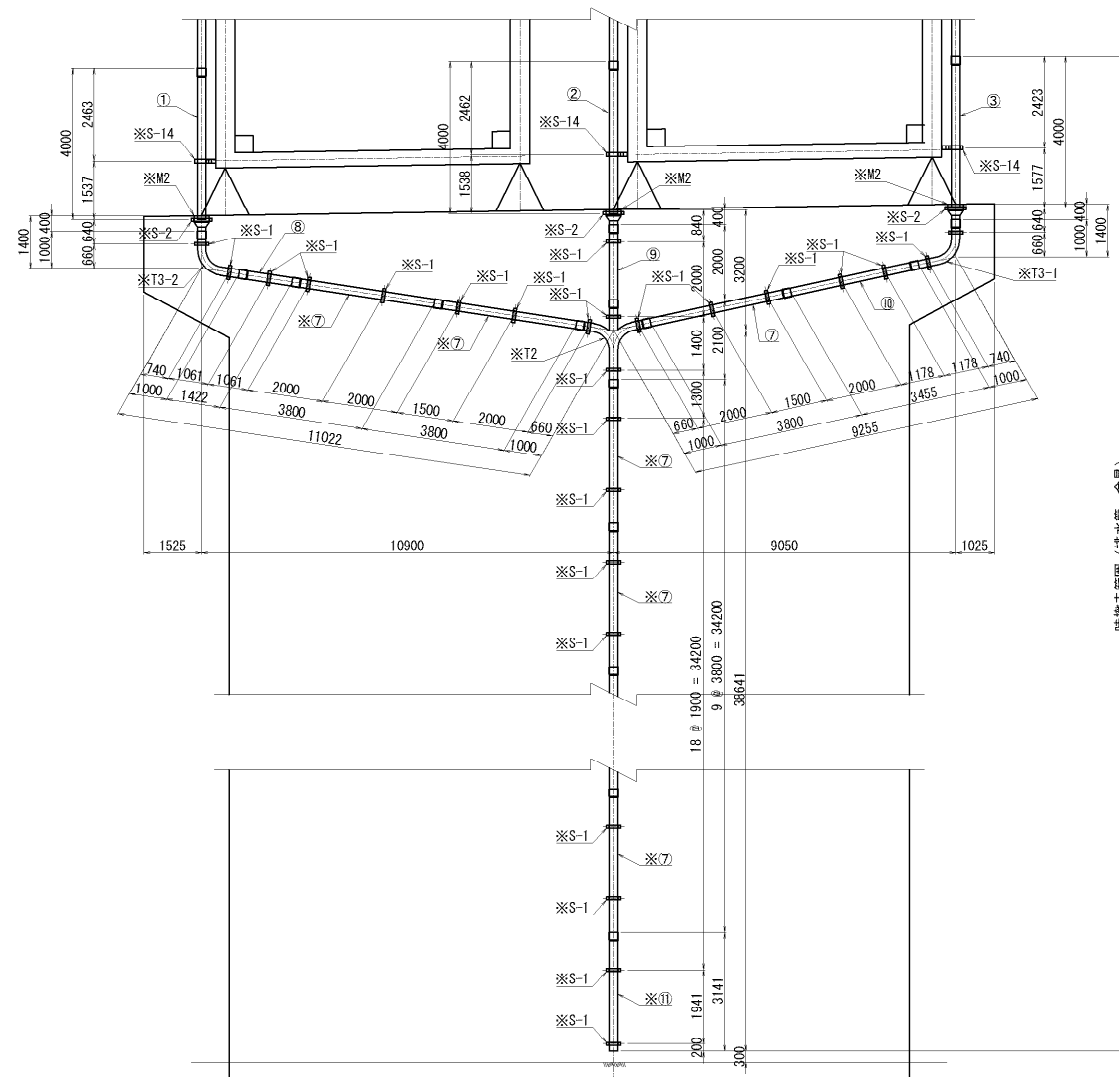
P1橋脚

【 既 設 】

正面図

上り線

下り線



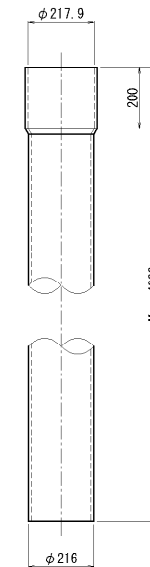
P1橋脚(上下線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	搬入
流水延長	VP200	-	m	22.
直 管	VP200	①	L=4000	本
		②	L=4000	本
		③	L=4000	本
		④	L=2209	本
		⑤	L=2209	本
		⑥	L=2191	本
		⑦	L=4000	本
		⑧	L=1622	本
		⑨	L=2200	本
		⑩	L=3655	本
		⑪	L=3141	本
		⑫	L=800	本
		⑬	L=2229	本
		⑭	L=780	本
		⑮	L=969	本
		⑯	L=3500	本
曲 管	VP200	⑰	L=3301	本
			T3-1	個
			T3-2	個
			n1-1	個
テーズ管	VP200		n1-2	個
			T2	個
受 樹	-	M2	個	
取付金具	VP200用		S-14	個
			S-1	個
			S-2	個
			nS-1	個

排水管 S=1:25

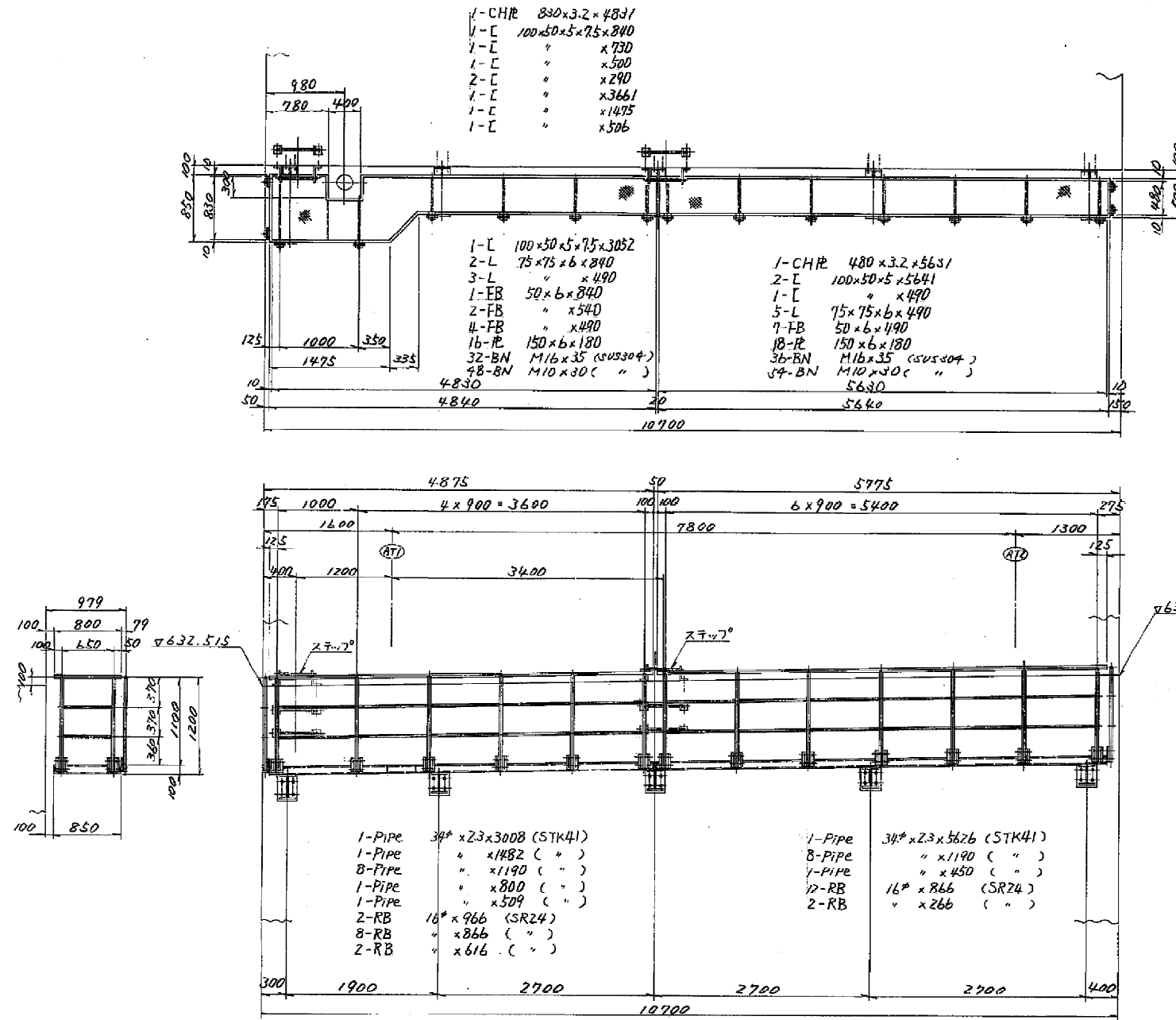
直管

VP200

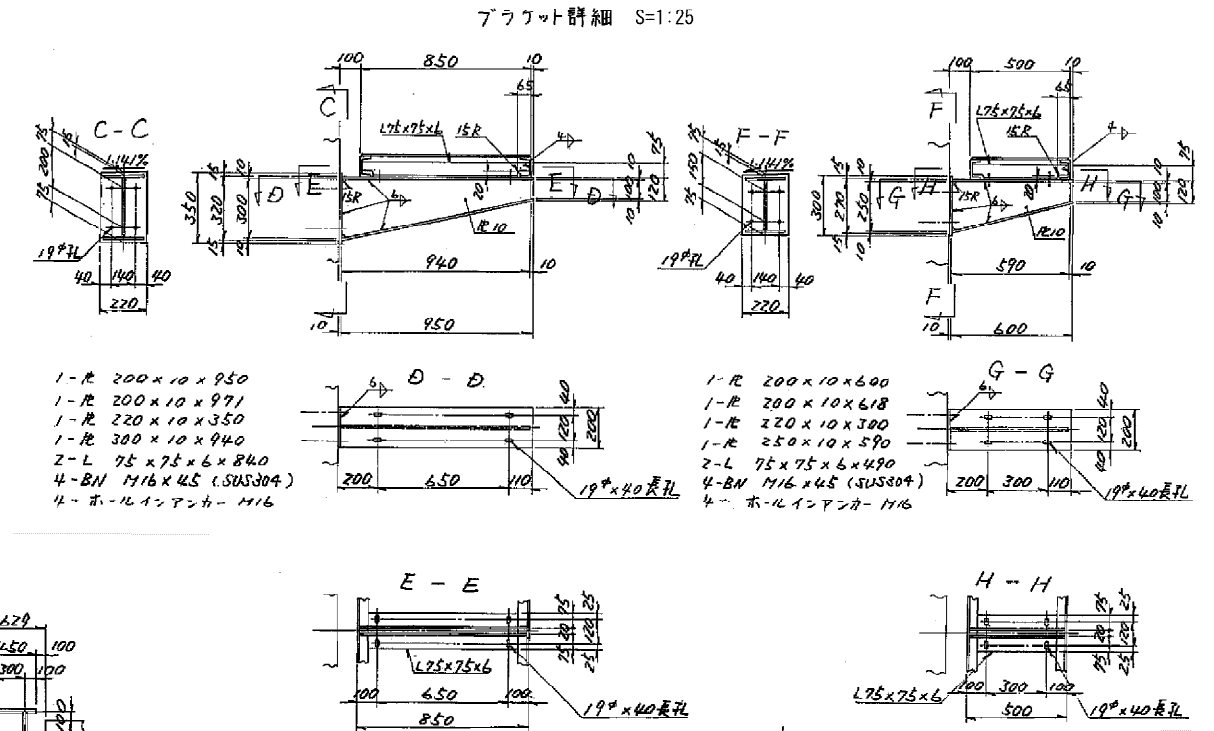
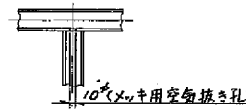


注記
1. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下橋)		
縮 尺	概図	排水管 A 詳細図(その3)	(参考図)
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

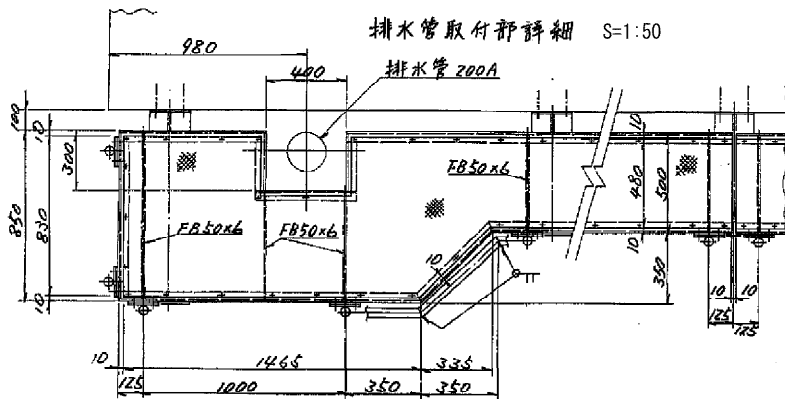


"a"部詳細 S=1:12.5

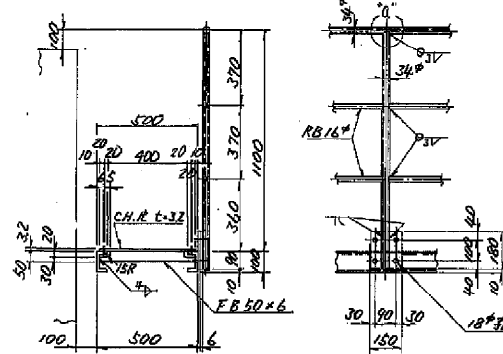


上り線 A1橋台 撤去数量表

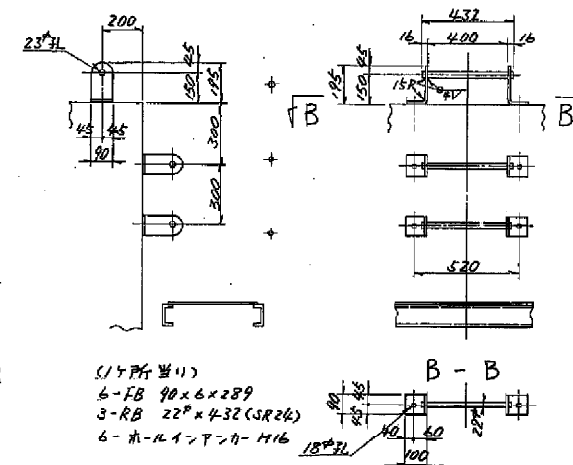
名称	部材名	質量(kg)
手摺り	一般構造用炭素鋼鋼管	55
	棒鋼	33
歩廊	鋼板	66
	形鋼	281
ブラケット	床用鋼板	232
	鋼板	202
ステップ	形鋼	39
	棒鋼	15
合計		931



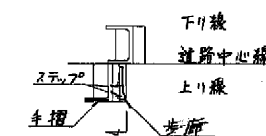
断面図及び手摺詳細 S=1:37.5



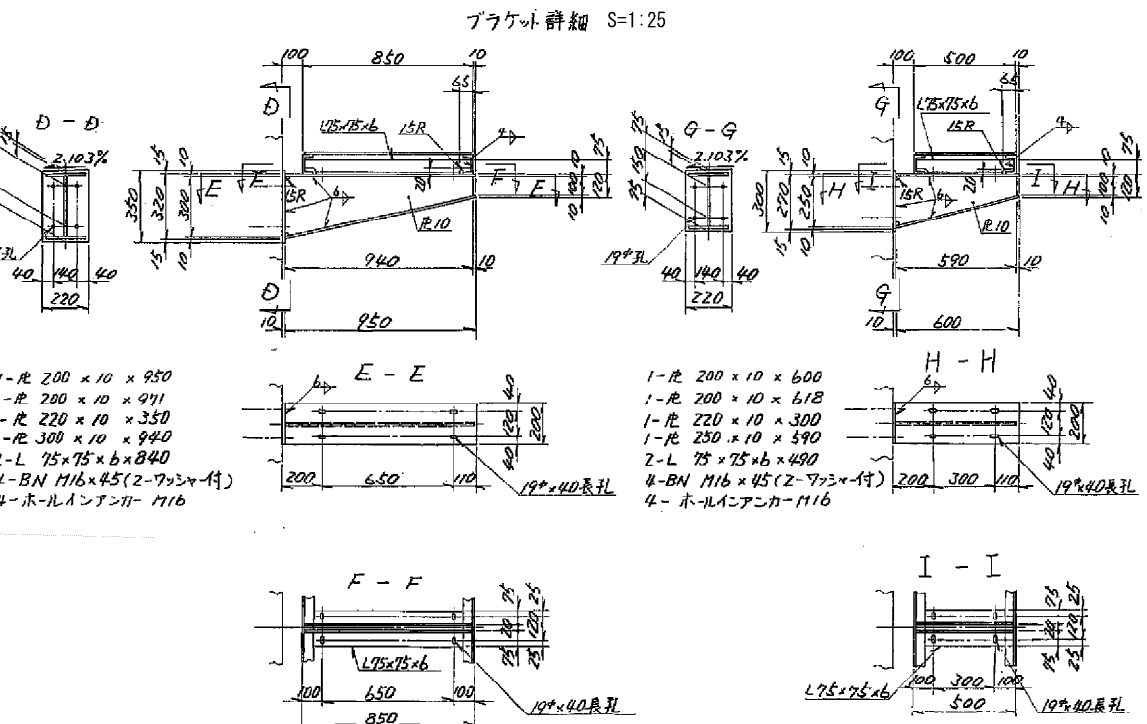
ステップ詳細 S=1:37.5



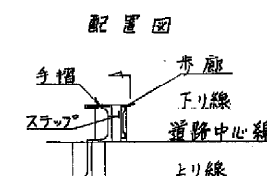
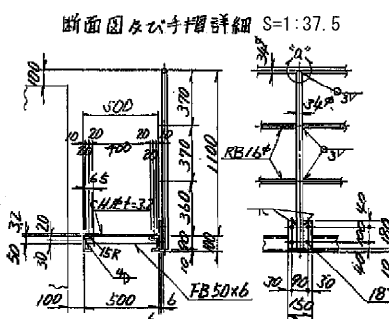
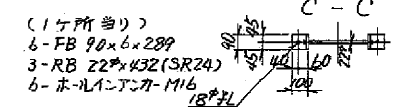
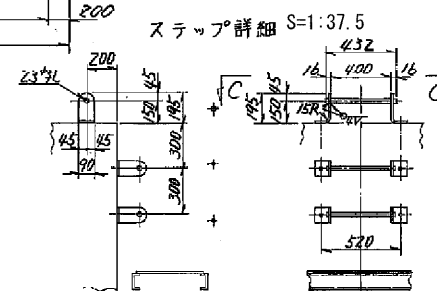
配置図



長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線)	撤去工 検査路B詳細図(参考図)	
縮尺	図示	図面番号	125/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

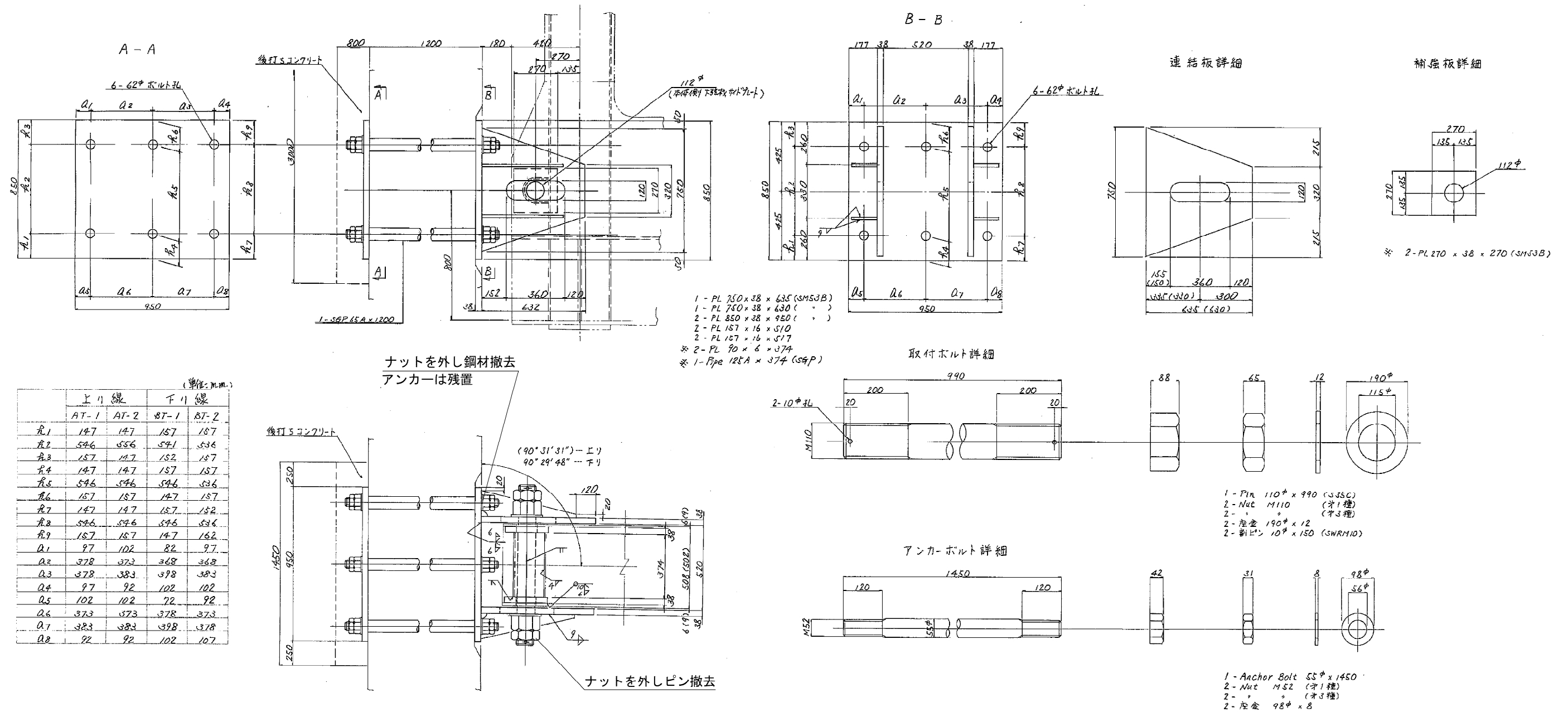


名 称	部材名	質量 (kg)
手摺り	一般構造用炭素鋼簡管	56
	棒 鋼	34
歩 廊	鋼 板	38
	形 鋼	286
	床用鋼板	231
ブラケット	鋼 板	202
	形 鋼	39
ステップ	形 鋼	7
	棒 鋼	4
合 計		897



長 野 自 動 車 道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(下り線)		
	撤去工 検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	126/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台



耐震連結装置撤去(上り線) 2基当り

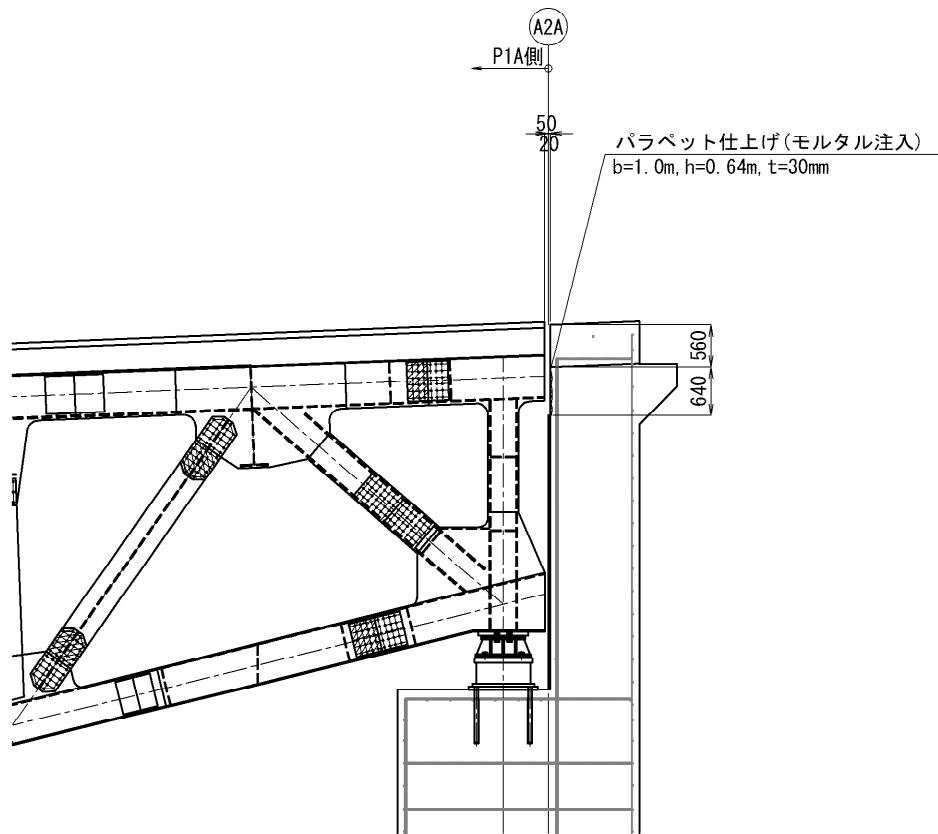
鋼板	kg	1010
ピン、ナット、ワッシャー	kg	212

耐震連結装置撤去(下り線) 2基当り

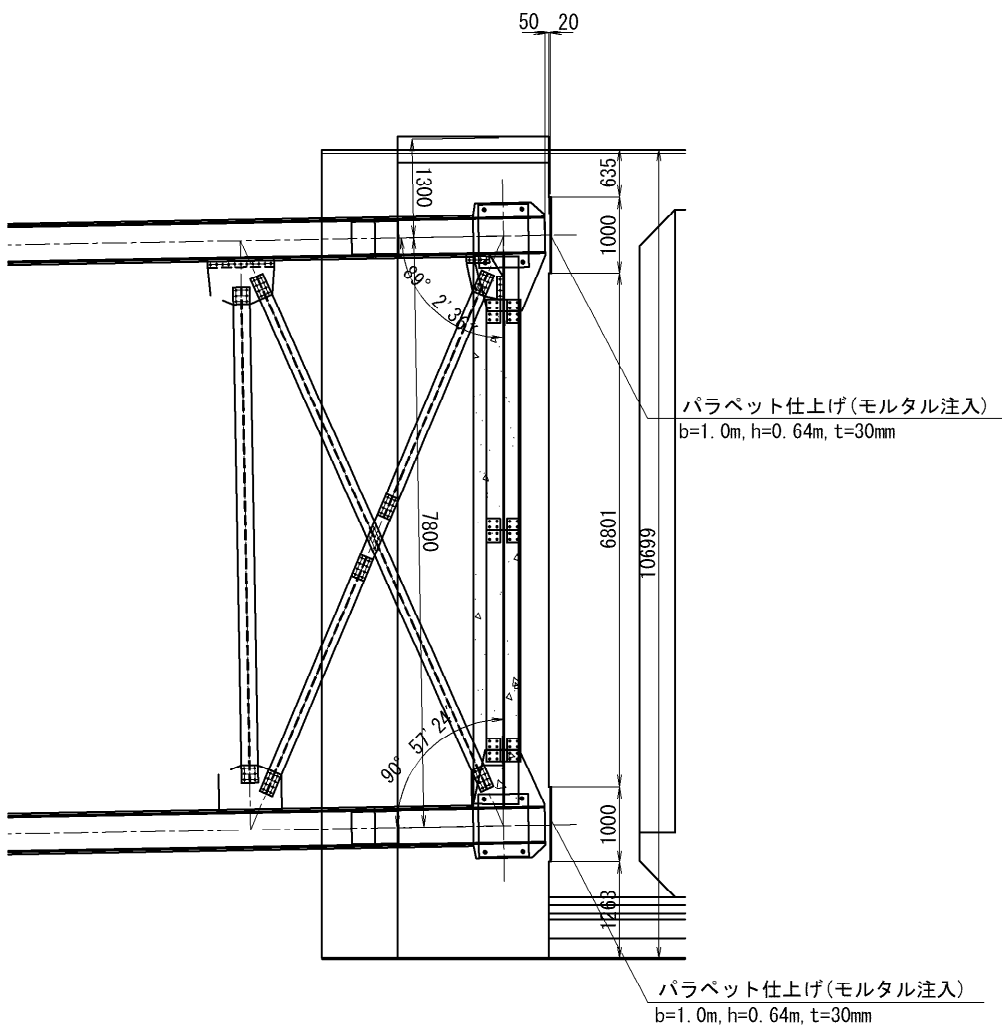
鋼板	kg	1010
ピン、ナット、ワッシャー	kg	212

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上下線) 撤去工 耐震連結装置A詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	127/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

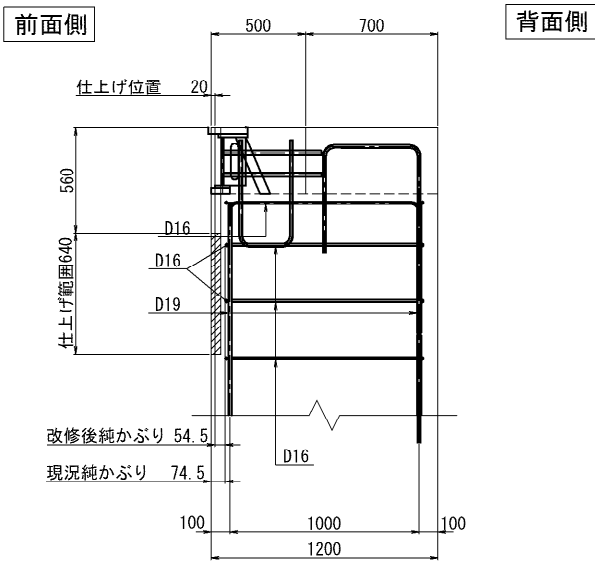
側面図(仕上時)



平面図(仕上時)



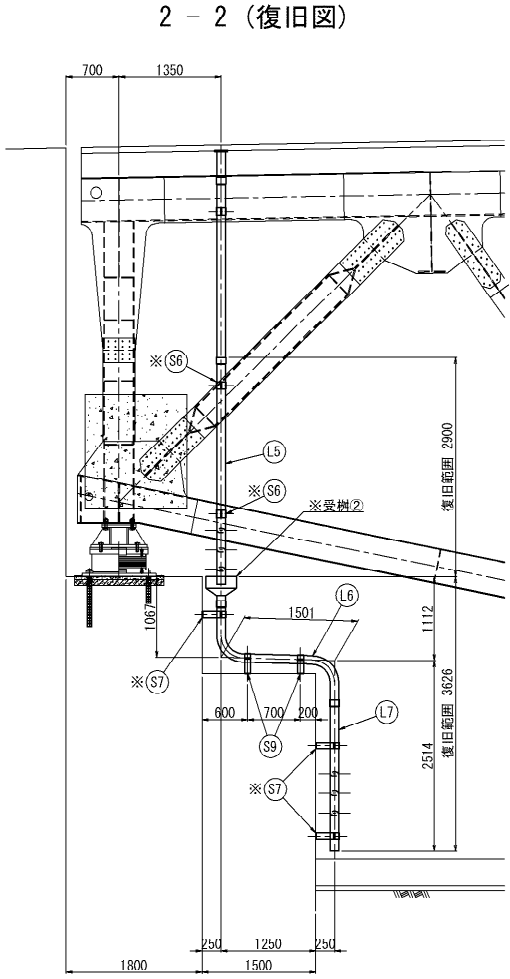
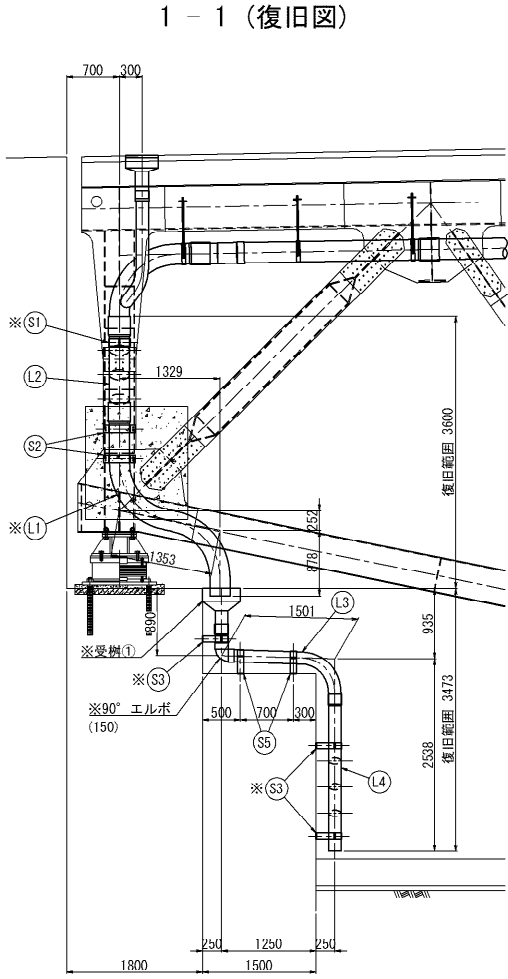
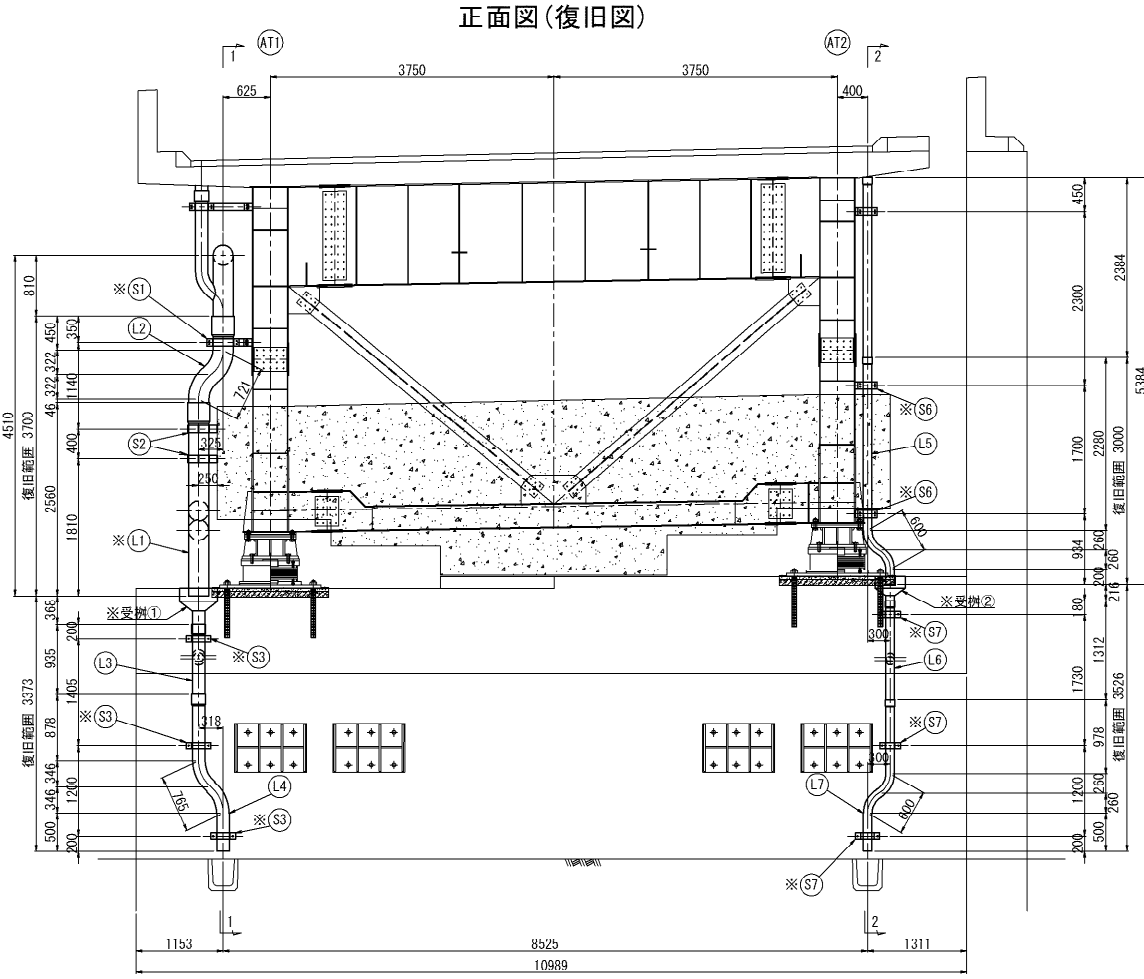
かぶり詳細図 S=1:20
パラペット



注1) 遊間確保のため、ジョイント下端をはつる必要があるため、ジョイントの取替えも必要となる。
注2) はつり量は施工性、復旧性を考慮し50mmとする。
注3) 遊間量は現況50mmを70mmに変更する。(設計値は55mm以上)
注4) 仕上後の鉄筋の純かぶりは40mm以上確保する。(本設計図では54.5mm)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	五常橋(上り線) A2橋台		
	遊間確保工詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	128/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

滝ノ沢橋 (耐震補強)



A1橋台(上り線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	復旧 新設
流水延長	VP250	-	m	1.2
	VP150	-	m	4.6
	VP100	-	m	8.1
直 管	VP250	① L=1790	本	
	VP150	② L=1325	本	
		③ L=2450	本	
	VP100	④ L=3000	本	
		⑤ L=1377	本	
		⑥ L=2452	本	
曲 管	VP250	L1	個	
		L2	個	1
	VP150	L3	個	1
		L4	個	1
	VP100	L5	個	1
		L6	個	1
		L7	個	1
90° エルボ管	150	-	個	
	100	-	個	
受 樹	受樹①	-	個	
	受樹②	-	個	
取付金具	張出しタイプ	S1	個	
		S2	個	2
		S3	個	
		S6	個	
		S7	個	
	支持タイプ	S4	個	
		S5	個	2
		S8	個	
		S9	個	2

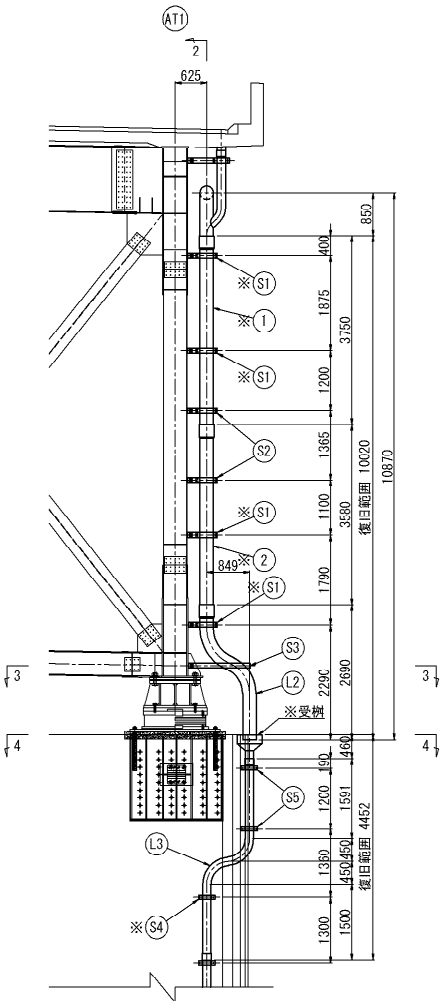
注記
1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
3. 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
4. 特記なき材質は、全てSS400とする。
5. 全て緩み止めナットを使用すること。
6. 取付金具部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚はJIS H8641 HDZ177 とする。但し、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は、HDZT49とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台		
	排水装置詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	129/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

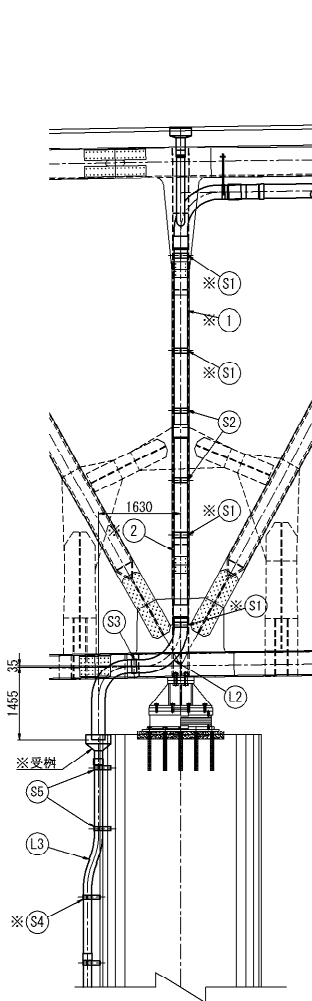
滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 排水装置詳細図(参考図)

S=1:125

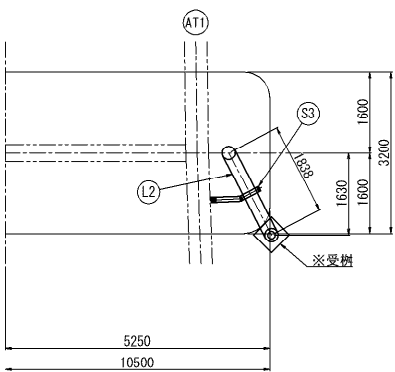
正面図(復旧図)



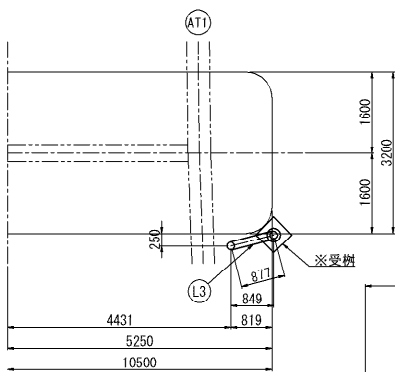
2 - 2 (復旧図)



3 - 3 (復旧図)



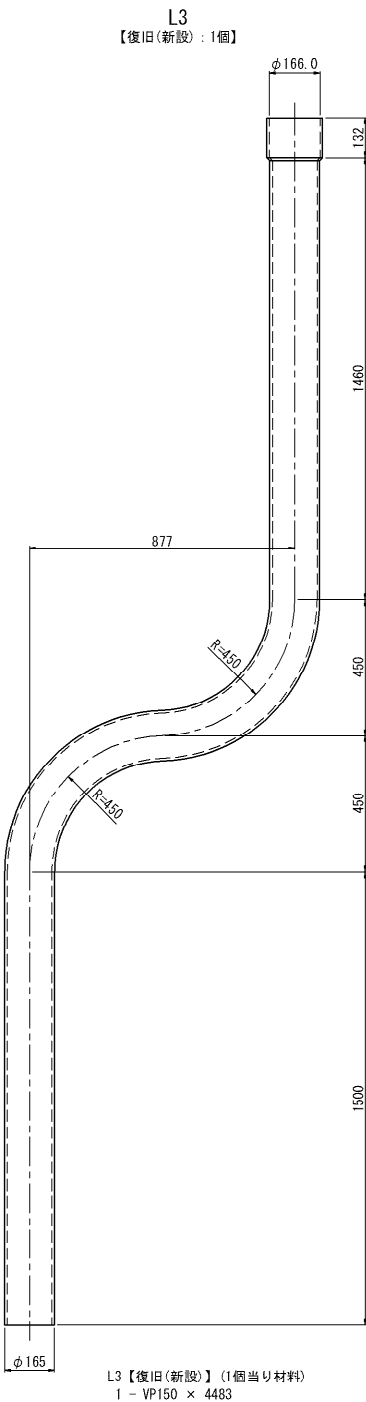
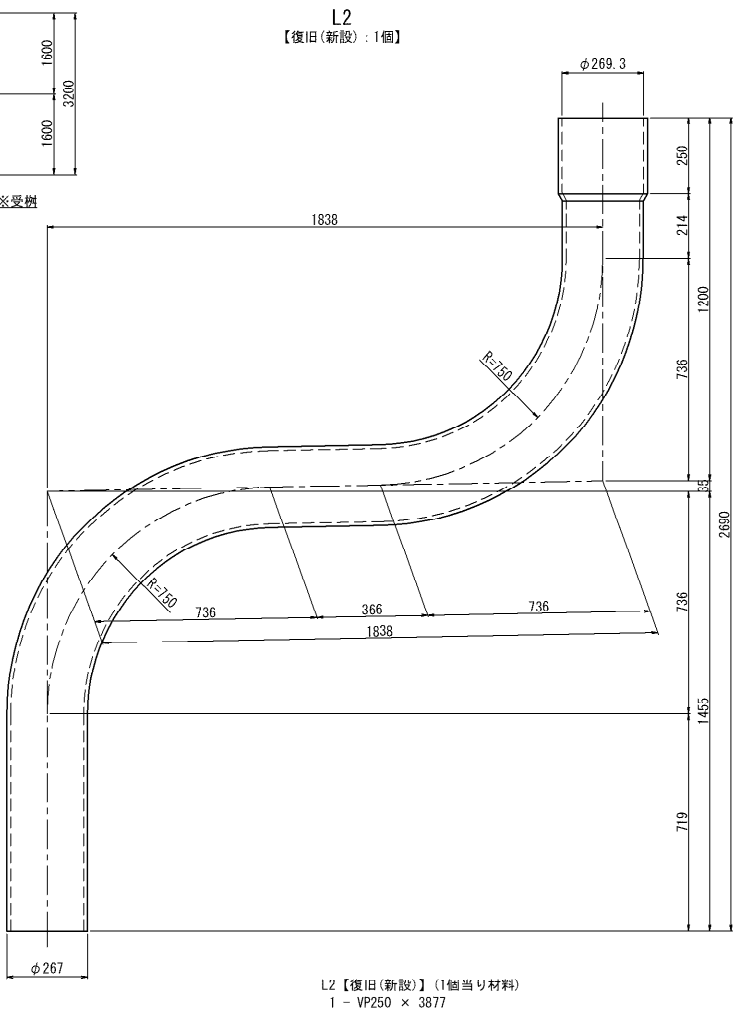
4 - 4 (復旧図)



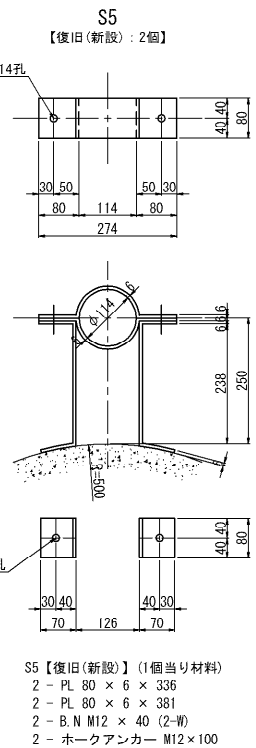
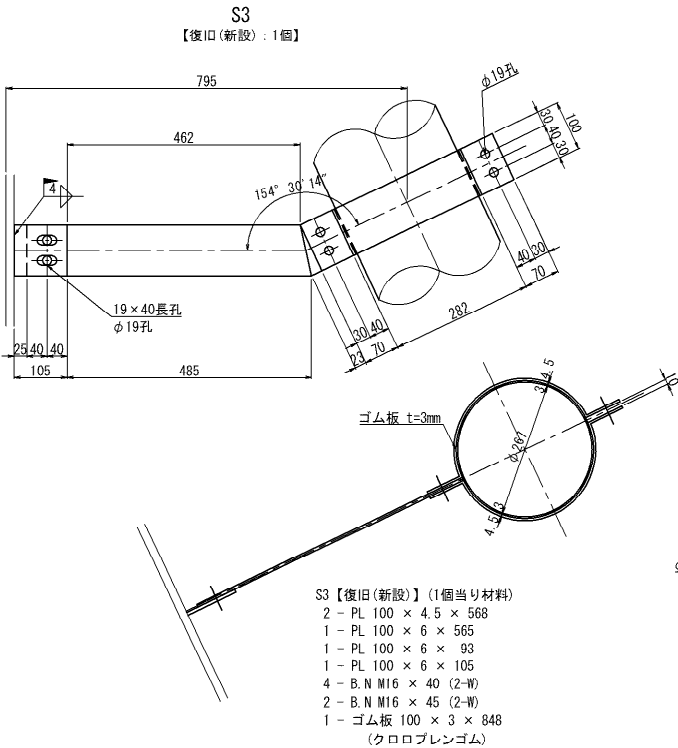
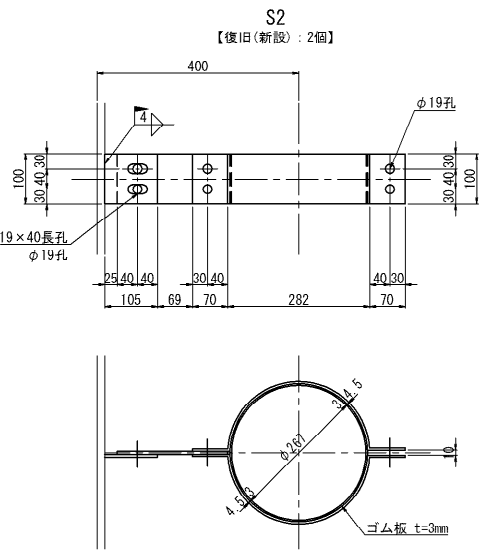
P1橋脚(上り線)排水装置数量表

部材名	種別	記号	単位	復旧	新設
流水延長	VP250	-	m	3.6	
	VP150	-	m	4.4	
直管	VP250	① L=4000	本		
		② L=3830	本		
	VP150	③ L=4000	本		
		④ L=2991	本		
曲管	VP250	L1	個		
		L2	個	1	
	VP150	L3	個	1	
受樹	受樹	-	個		
取付金具	張出しナット	S1	個		
		S2	個	2	
		S3	個	1	
		S4	個		
		S5	個	2	

排水管詳細図 S=1:25



取付金具詳細図 S=1:15



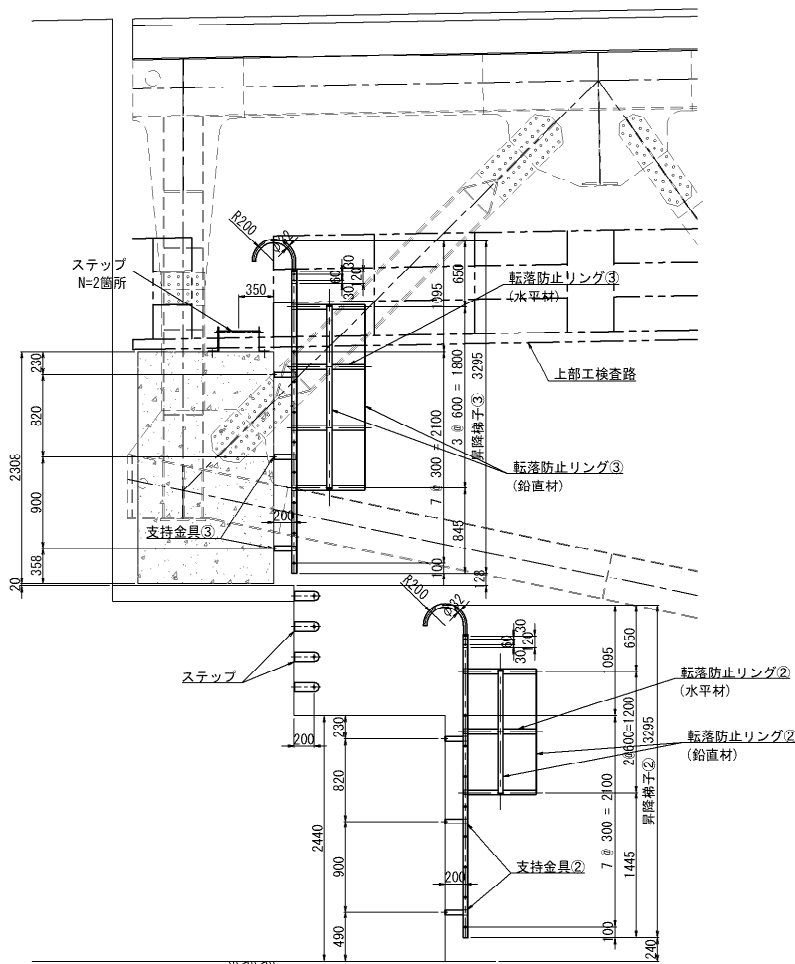
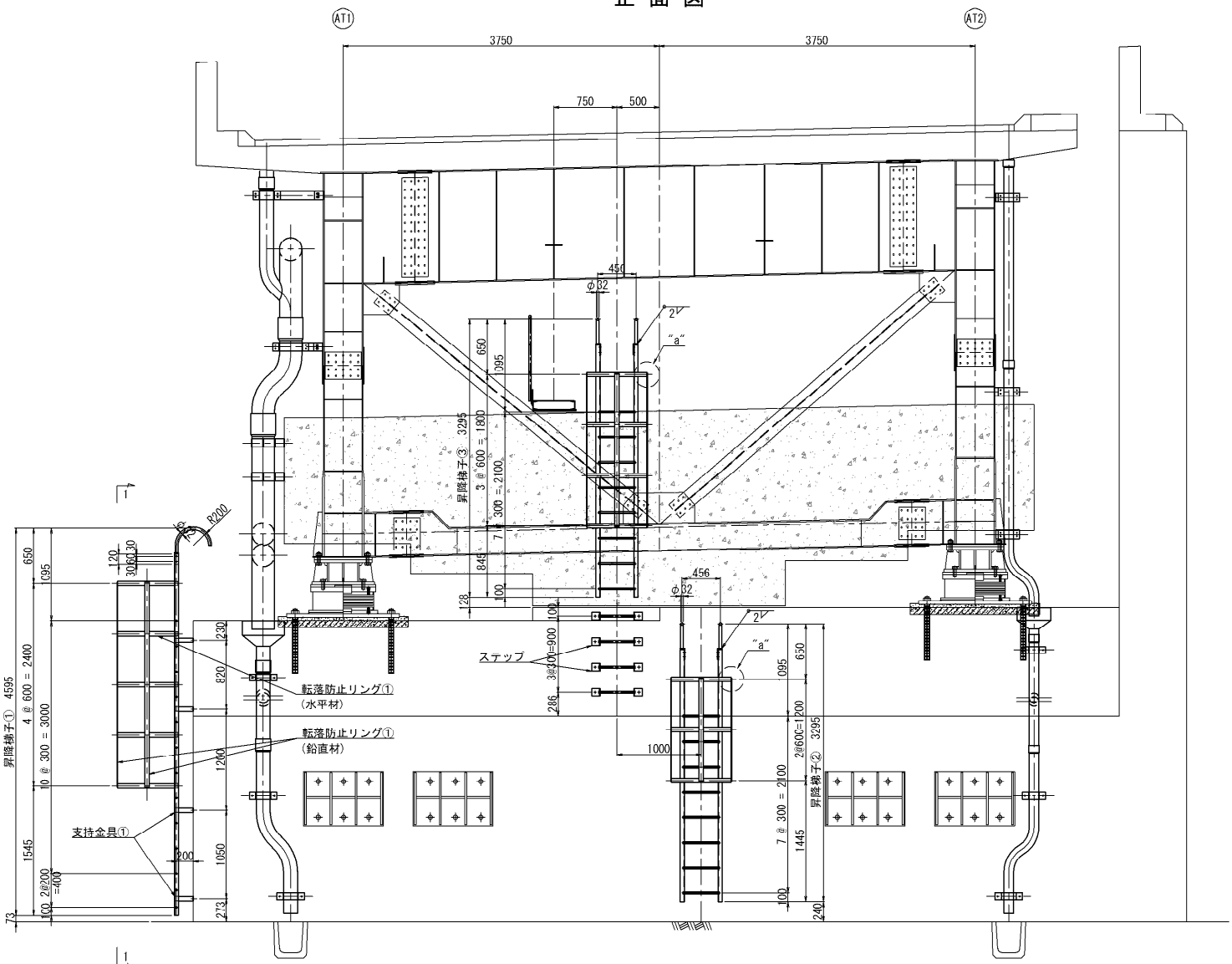
- 注記
- 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
 - ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
 - 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 全て緩み止めナットを使用すること。
 - 取付金具部材は全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚はJIS H8641 HDZ177 とする。但し、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は、HDZ149とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) P1橋脚 排水装置詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	131/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

新設梯子配置図

正面図

側面図

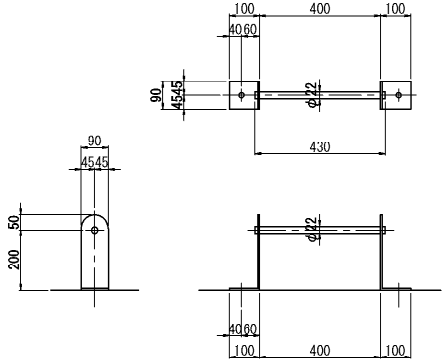
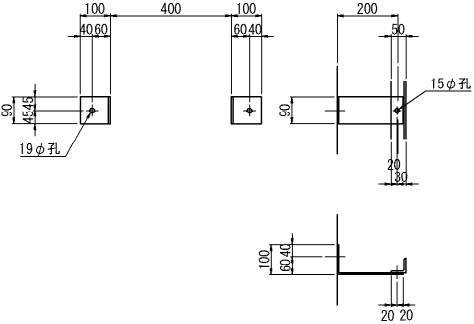
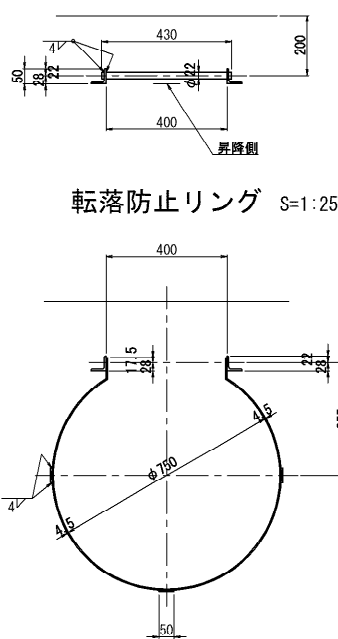
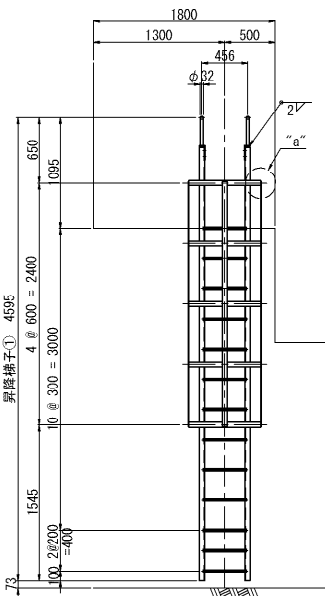


1 - 1

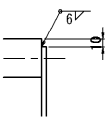
梯子断面図 S=1:25

梯子支持金具 S=1:25

ステップ S=1:25



梯子“a”部詳細図 S=1:10



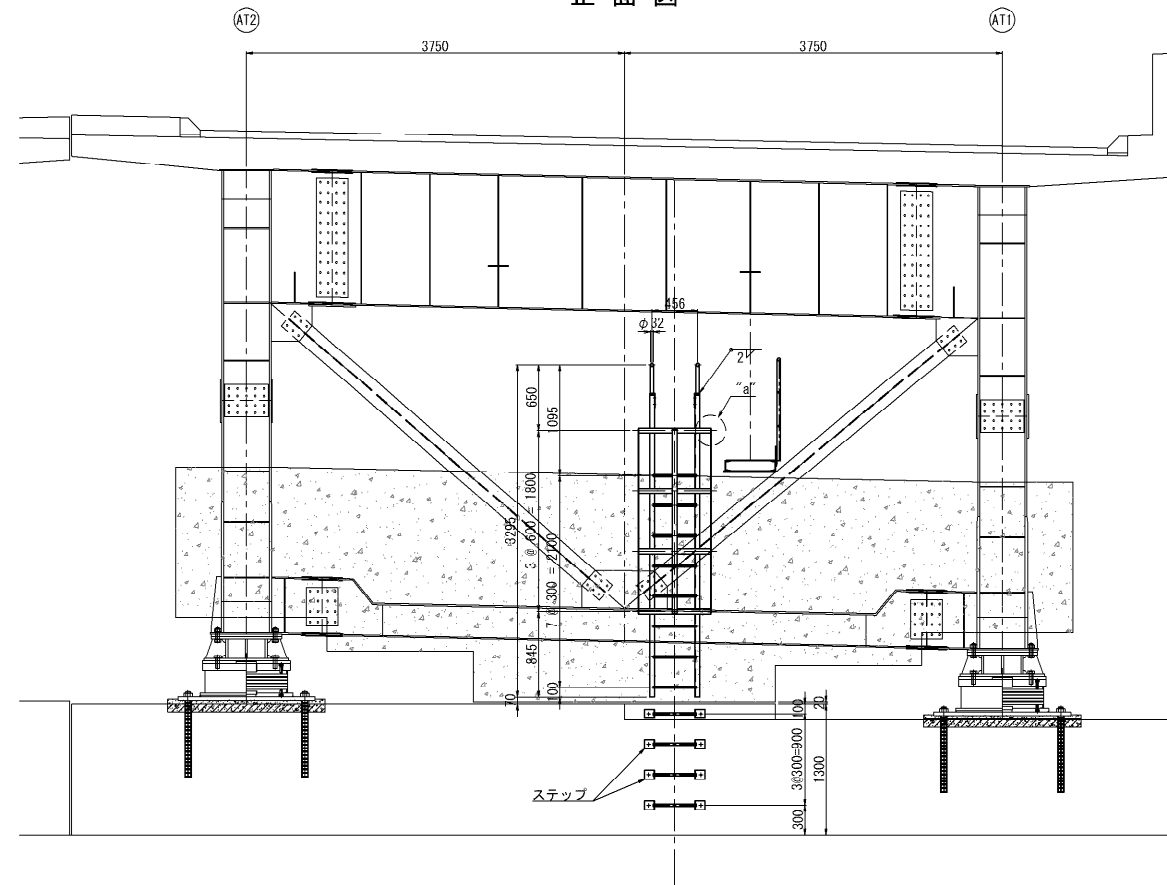
- 昇降梯子①【新設】
2 - L 50 x 50 x 6 x 4295
13 - RB φ22 x 430
2 - RB φ32 x 712
2 - FB 50 x 6 x 192
4 - B.N M12 x 35 (2-W)
転落防止リング①【新設】
5 - FB 50 x 4.5 x 2101
3 - FB 50 x 4.5 x 2430
10 - B.N M16 x 40 (2-W)
梯子支持金具①【新設】
8 - FB 90 x 6 x 315
8 - B.N M12 x 35 (2-W)
8 - 打込式アンカー M16 x 125
- 昇降梯子③【新設】
2 - L 50 x 50 x 6 x 2995
8 - RB φ22 x 430
2 - RB φ32 x 712
2 - FB 50 x 6 x 192
4 - B.N M12 x 35 (2-W)
転落防止リング③【新設】
4 - FB 50 x 4.5 x 2101
3 - FB 50 x 4.5 x 1630
8 - B.N M16 x 40 (2-W)
梯子支持金具③【新設】
6 - FB 90 x 6 x 315
6 - B.N M12 x 35 (2-W)
6 - 打込式アンカー M16 x 125
- 昇降梯子②【新設】
2 - L 50 x 50 x 6 x 2995
8 - RB φ22 x 430
2 - RB φ32 x 712
2 - FB 50 x 6 x 192
4 - B.N M12 x 35 (2-W)
転落防止リング②【新設】
3 - FB 50 x 4.5 x 2101
3 - FB 50 x 4.5 x 1230
6 - B.N M16 x 40 (2-W)
梯子支持金具②【新設】
6 - FB 90 x 6 x 315
6 - B.N M12 x 35 (2-W)
6 - 打込式アンカー M16 x 125
- ステップ【新設】
4 - RB φ22 x 430
8 - FB 90 x 6 x 350
8 - 打込式アンカー M16 x 125

注記
1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. 全て緩み止めナットを使用すること。
4. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZ777 とする。但し、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の部材は、HDZ749とする。
5. ボルト孔は、メッキの膜厚を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
6. 打込式アンカーボルトの埋込長は、60mmを標準とする。

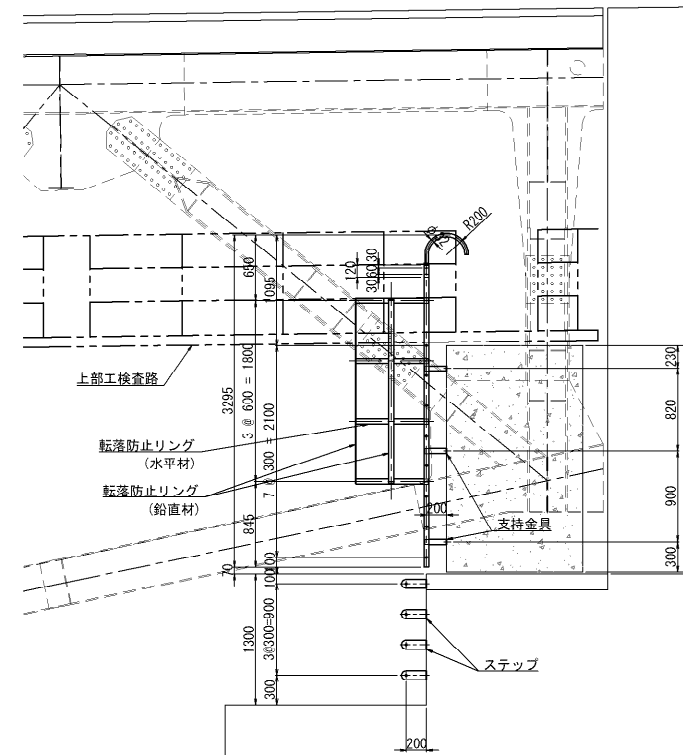
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A1橋台 検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	132/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

新設梯子配置図

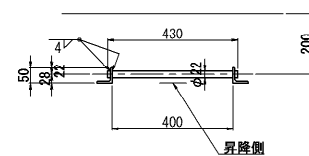
正面図



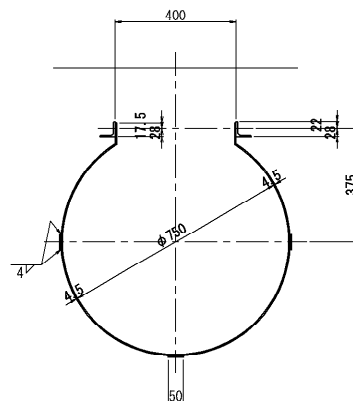
側面図



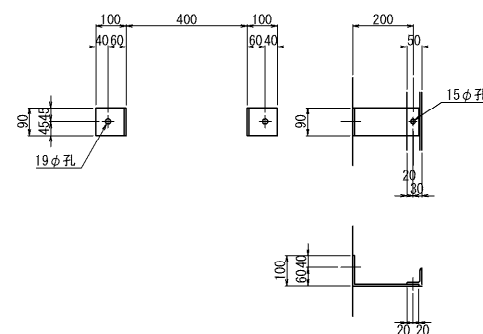
梯子断面图 S=1:25



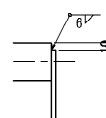
転落防止リング S=1:25



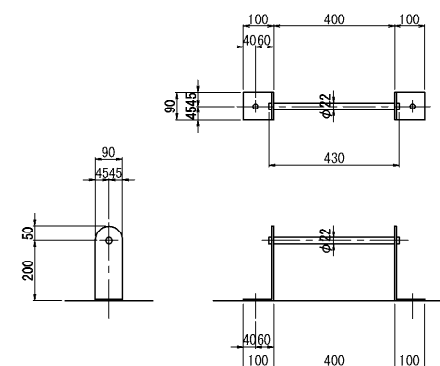
梯子支持金具 S=1:25



梯子"a"部詳細図 S=1:10



ステップ S=1:25



昇降梯子【新設】
2 - L 50 x 50 x 6 x 2995
8 - RB $\phi 22$ x 430
2 - RB $\phi 32$ x 712
2 - FB 50 x 6 x 192
4 - B.N M12 x 35 (2-W)

転落防止リング【新設】
4 - FB 50 x 4.5 x 2101
3 - FB 50 x 4.5 x 1830
8 - B.N M16 x 40 (2-W)

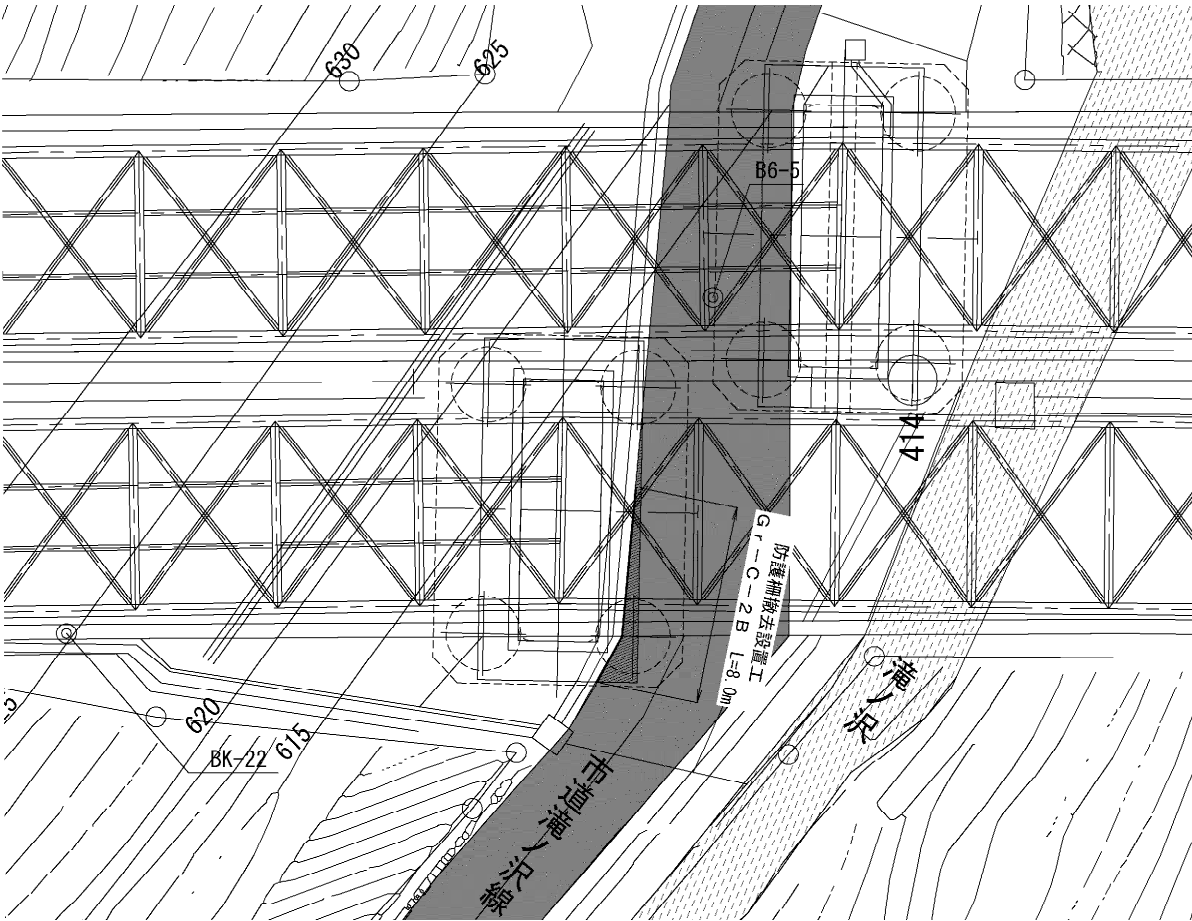
梯子支持金具【新設】
6 - FB 90 x 6 x 315
6 - B.N M12 x 35 (2-W)
6 - 打込式アンカー M16 x 125

ステップ【新設】
4 - RB $\phi 22 \times 430$
8 - FB $90 \times 6 \times 350$
8 - 打込式アンカー M16 $\times 125$

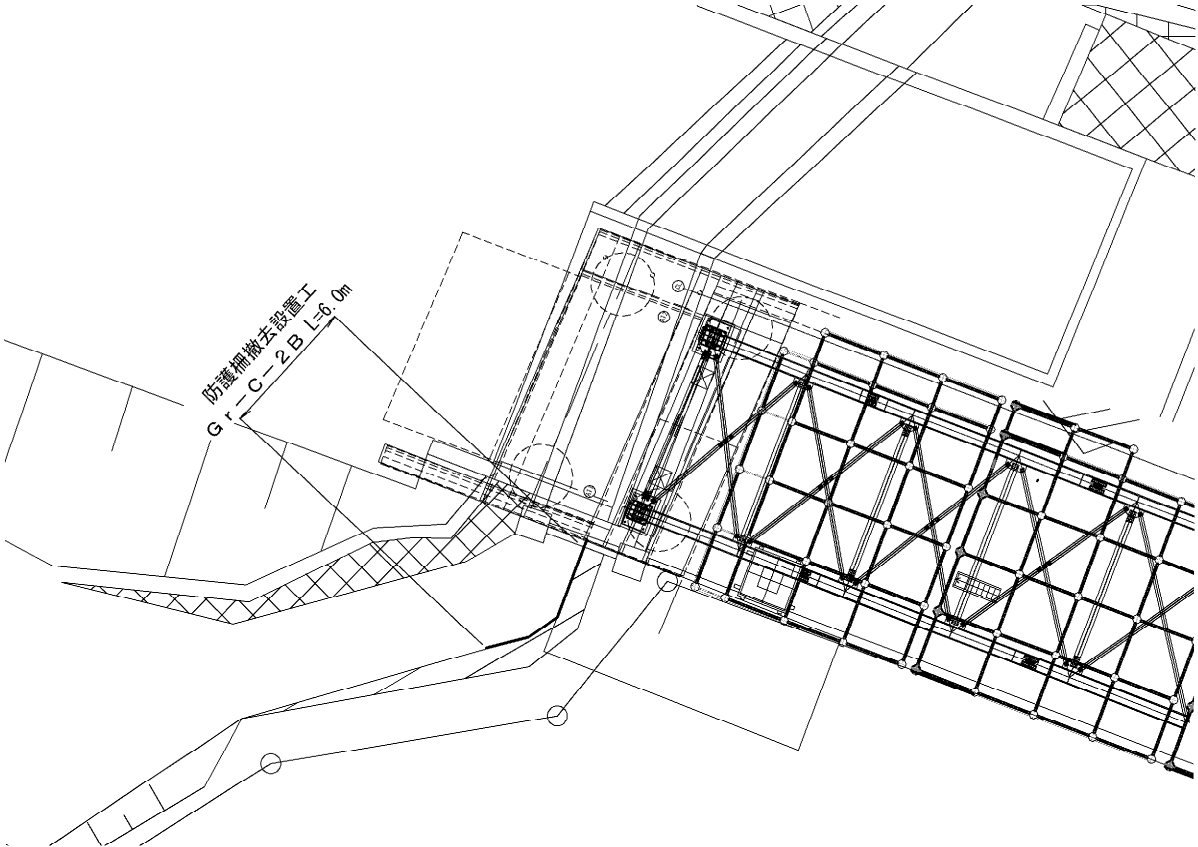
筆記
 1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. 全て緩み止めナットを使用すること。
 4. 部材は、全て圧縮溶接メッキとする。圧縮の厚膜は、JIS H8641 HDT777 とする。但し、ボルト・ナットおよび板厚 3.2mm未満の部材は、HDT947とする。
 5. ボルトは、メッキの厚膜を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 6. 打込式アンカーボルトの埋込長は、60mmを標準とする。

長野自動車道			
五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り)A2橋台		
	検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	133/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

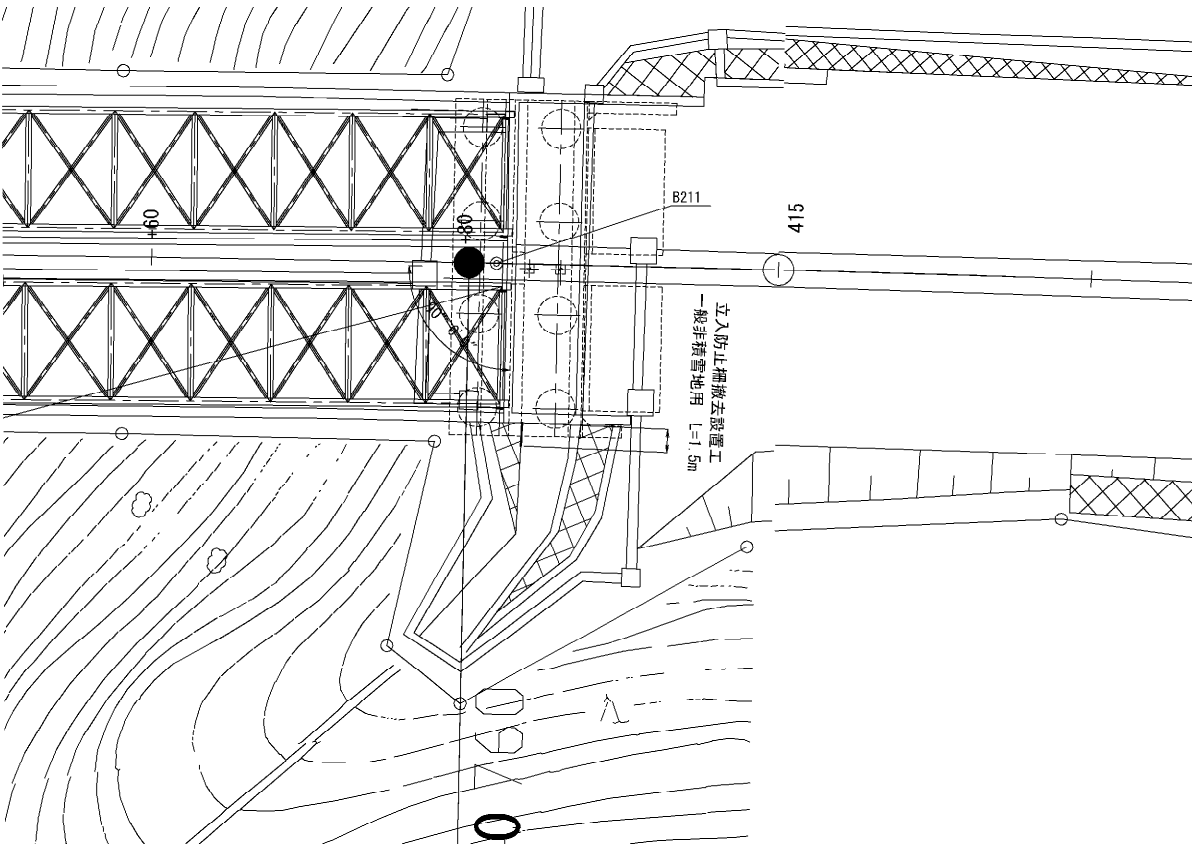
平面図 P 1 橋脚 S=1:300



平面図 A 1 橋台



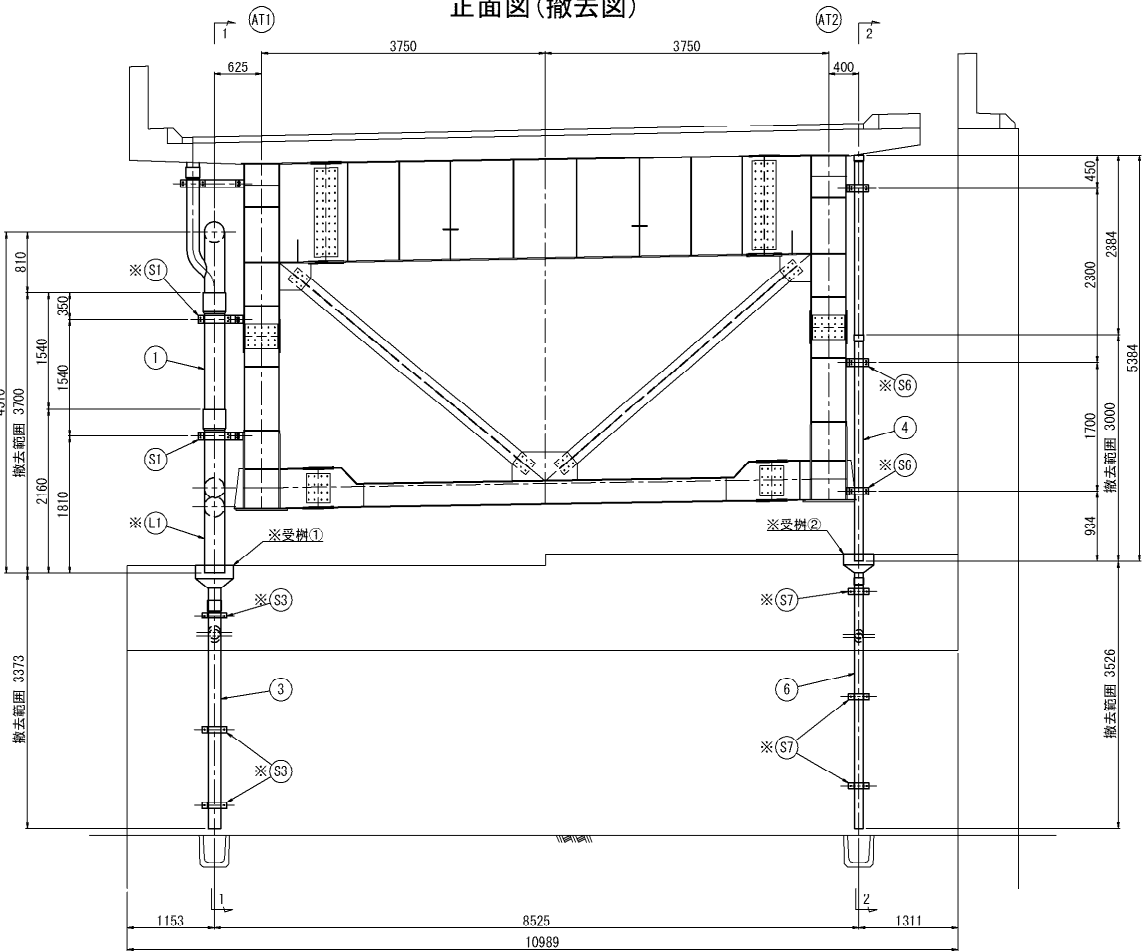
平面図 A 2 橋台



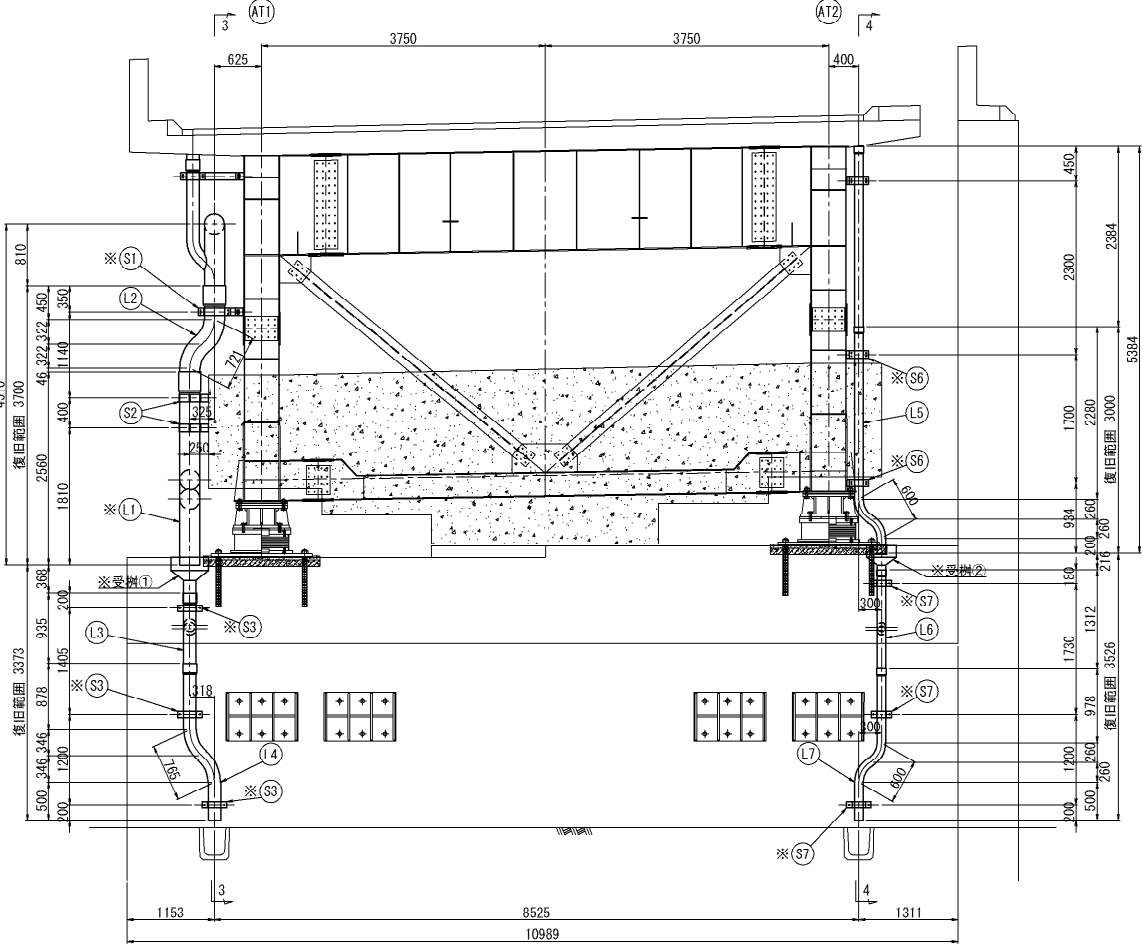
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 防護柵撤去設置工・ 立入防止柵撤去設置工 平面図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	134/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その1)(参考図) S=1:100
A1橋台

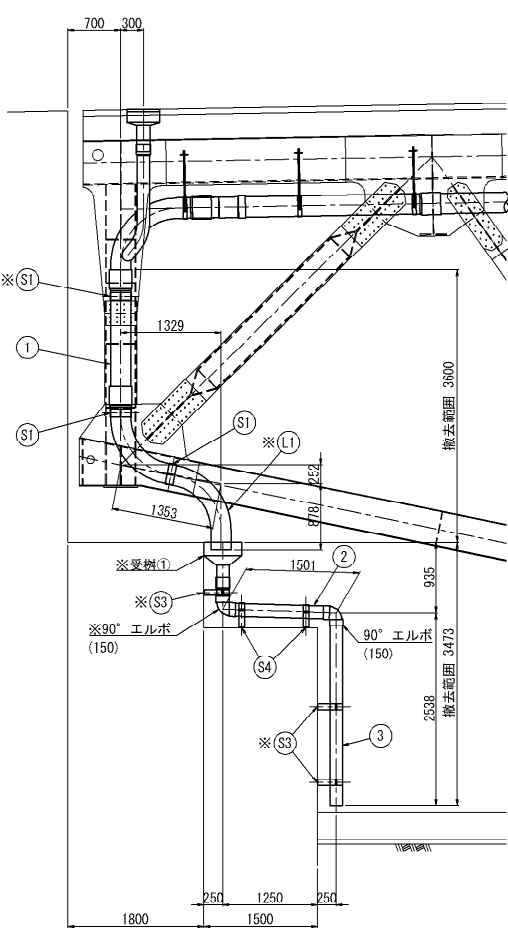
正面図(撤去図)



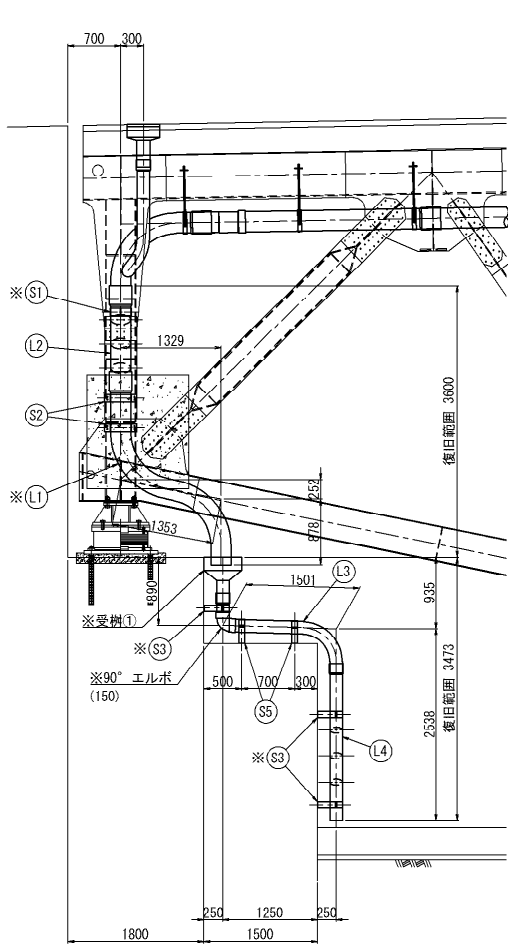
正面図(復旧図)



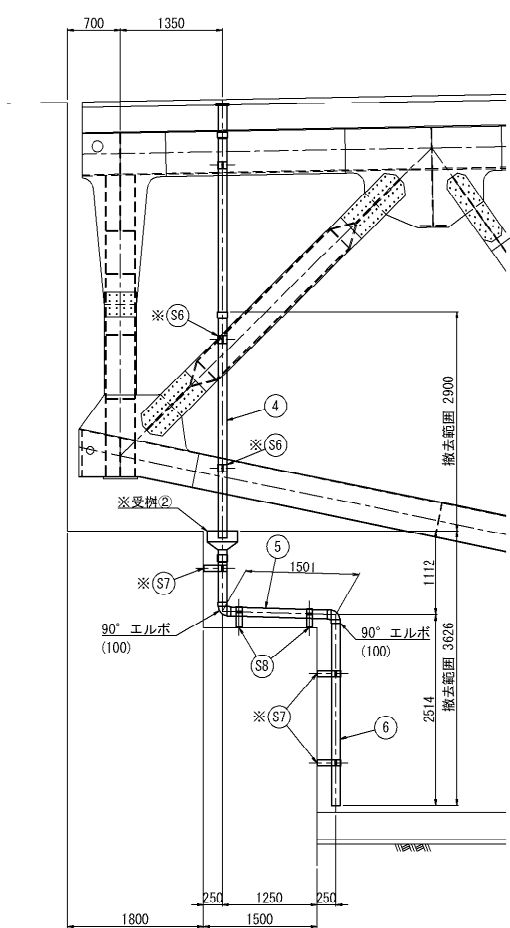
1 - 1 (撤去図)



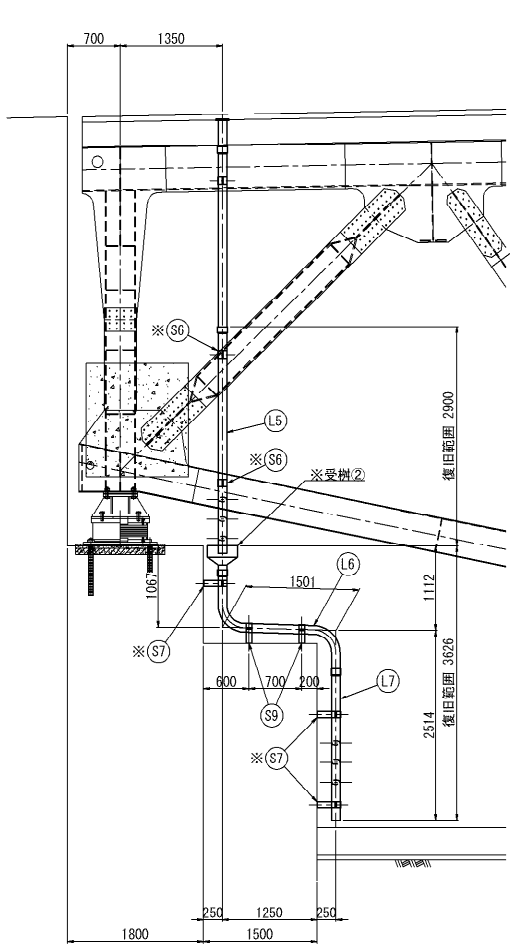
3 - 3 (復旧図)



2 - 2 (撤去図)



4 - 4 (復旧図)



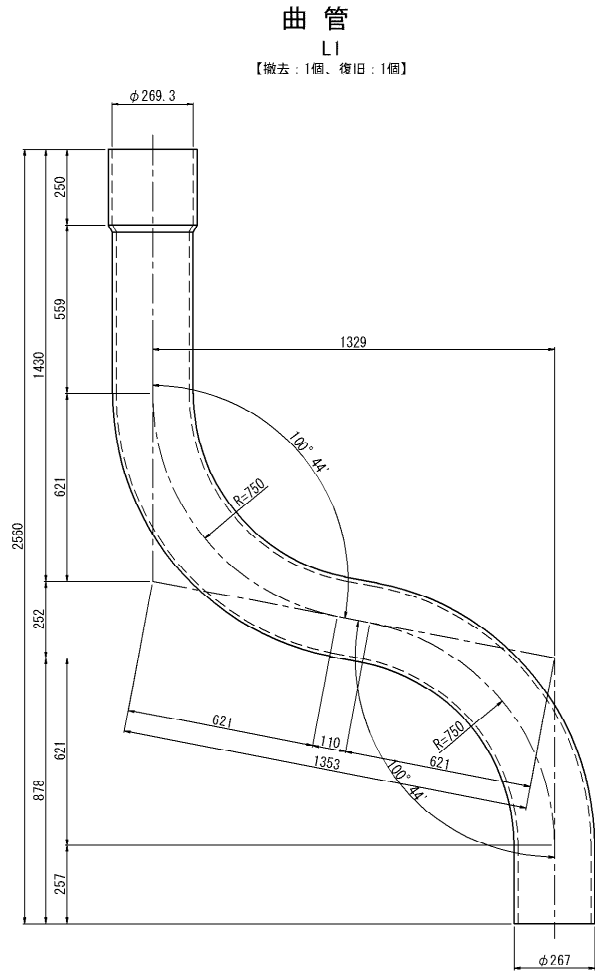
A1橋台(上り線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	復旧 再設置
流水延長	VP250	-	m	3.0
	VP150	-	m	
	VP100	-	m	
直 管	VP250	① L=1790	本	
	VP150	② L=1325	本	
		③ L=2450	本	
	VP100	④ L=3000	本	
		⑤ L=1377	本	
		⑥ L=2452	本	
曲 管	VP250	L1	個	1
		L2	個	
	VP150	L3	個	
		L4	個	
	VP100	L5	個	
		L6	個	
90° エルボ	150	-	個	1
	100	-	個	
受 樹	受樹①	-	個	1
	受樹②	-	個	1
取付金具	VP250用	S1	個	1
		S2	個	
	VP150用	S3	個	3
		S4	個	
		S5	個	
	VP100用	S6	個	2
		S7	個	3
		S8	個	
		S9	個	

注記
1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2. 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
3. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
4. 特記なき材質は、全てSS400とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 排水管A詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	135/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

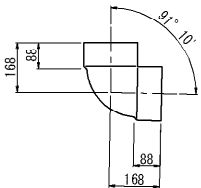
排水管詳細図 S=1:25



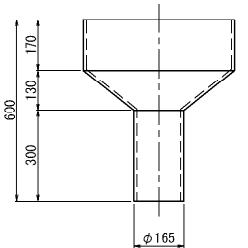
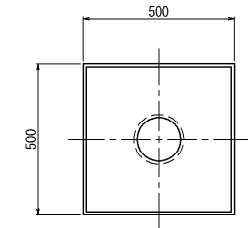
L1 【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 3251

L1 【復旧】(1個当り材料)
1 - VP250 × 3251

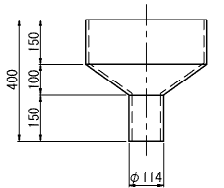
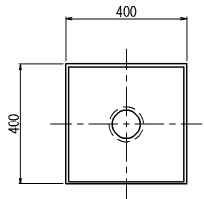
90° エルボ(150)
【撤去：2個、復旧：1個】



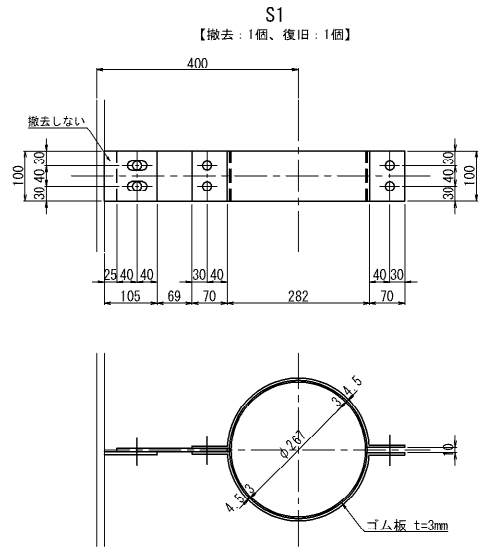
受樹①
【撤去：1個、復旧：1個】



受樹②
【撤去：1個、復旧：1個】



取付金具詳細図 S=1:15

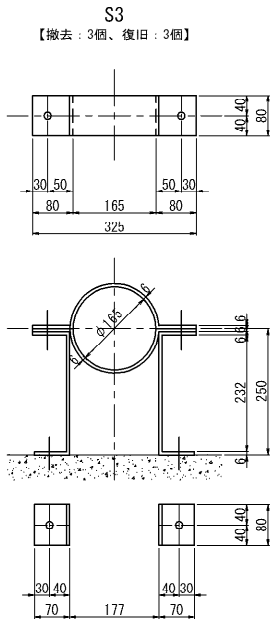


S1 【撤去】(1個当り材料)

※2 - PL 100 × 4.5 × 568
※1 - PL 100 × 6 × 219
※4 - B.N M16 × 40 (2-W)
※2 - B.N M16 × 45 (2-W)
※1 - ゴム板 100 × 3 × 848
(クロロブレンゴム)

S1 【復旧】(1個当り材料)

※2 - PL 100 × 4.5 × 568
※1 - PL 100 × 6 × 219
※4 - B.N M16 × 40 (2-W)
※2 - B.N M16 × 45 (2-W)
※1 - ゴム板 100 × 3 × 848
(クロロブレンゴム)

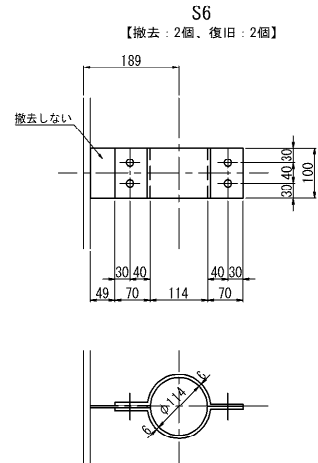


S3 【撤去】(1個当り材料)

※2 - PL 80 × 6 × 417
※2 - PL 80 × 6 × 372
※2 - B.N M12 × 40 (2-W)
2 - ホークアンカー M12×100

S3 【復旧】(1個当り材料)

※2 - PL 80 × 6 × 417
※2 - PL 80 × 6 × 372
※2 - B.N M12 × 40 (2-W)
2 - ホークアンカー M12×100

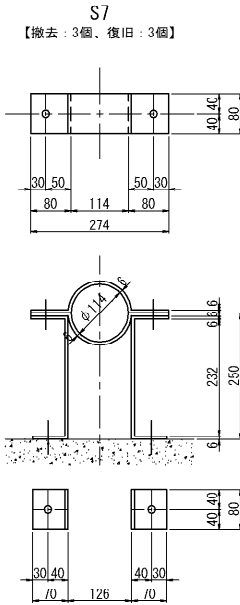


S6 【撤去】(1個当り材料)

※2 - PL 100 × 6 × 313
※4 - B.N M12 × 40 (2-W)

S6 【復旧】(1個当り材料)

※2 - PL 100 × 6 × 313
※4 - B.N M12 × 40 (2-W)



S7 【撤去】(1個当り材料)

※2 - PL 80 × 6 × 336
※2 - PL 80 × 6 × 372
※2 - B.N M12 × 40 (2-W)
2 - ホークアンカー M12×100

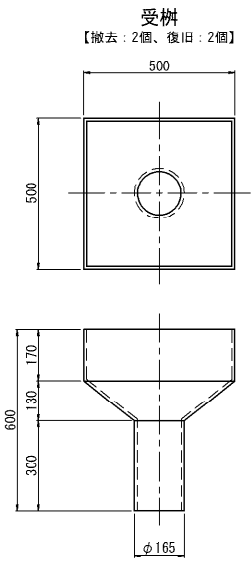
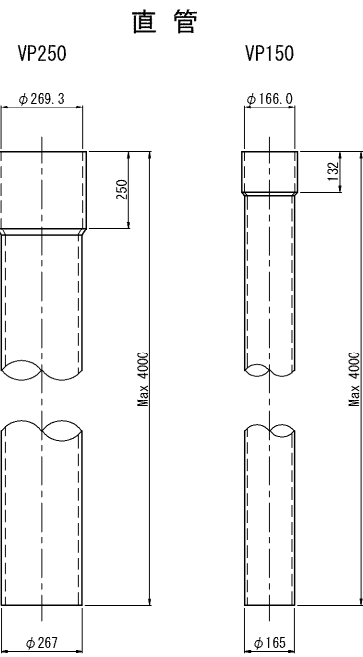
S7 【復旧】(1個当り材料)

※2 - PL 80 × 6 × 336
※2 - PL 80 × 6 × 372
※2 - B.N M12 × 40 (2-W)
2 - ホークアンカー M12×100

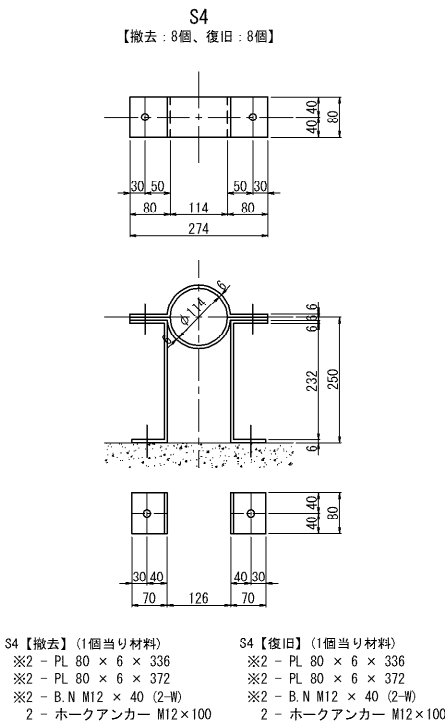
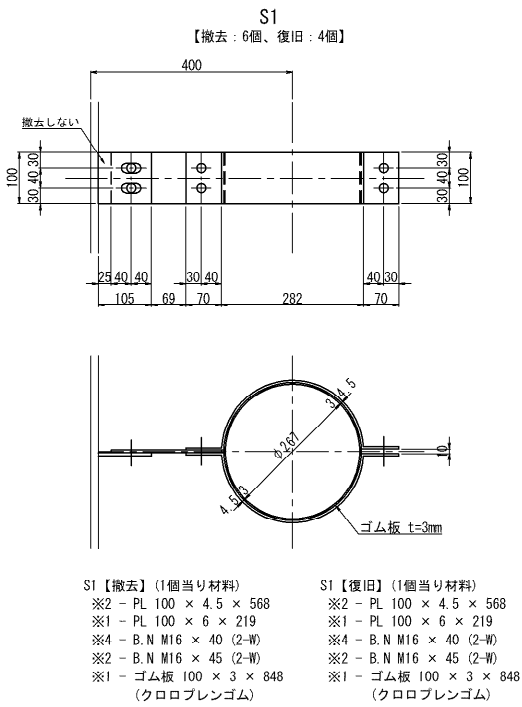
注記
1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
2. 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。
3. 特記なき材質は、全てSS400とする。
4. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	撤去設置工 排水管A詳細図(その2)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	136/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

排水管詳細図 S=1:25



取付金具詳細図 S=1:15



注記

1. 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。

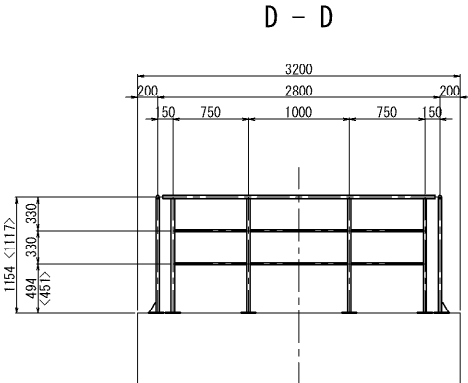
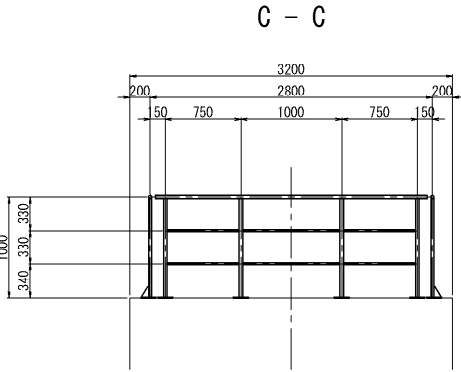
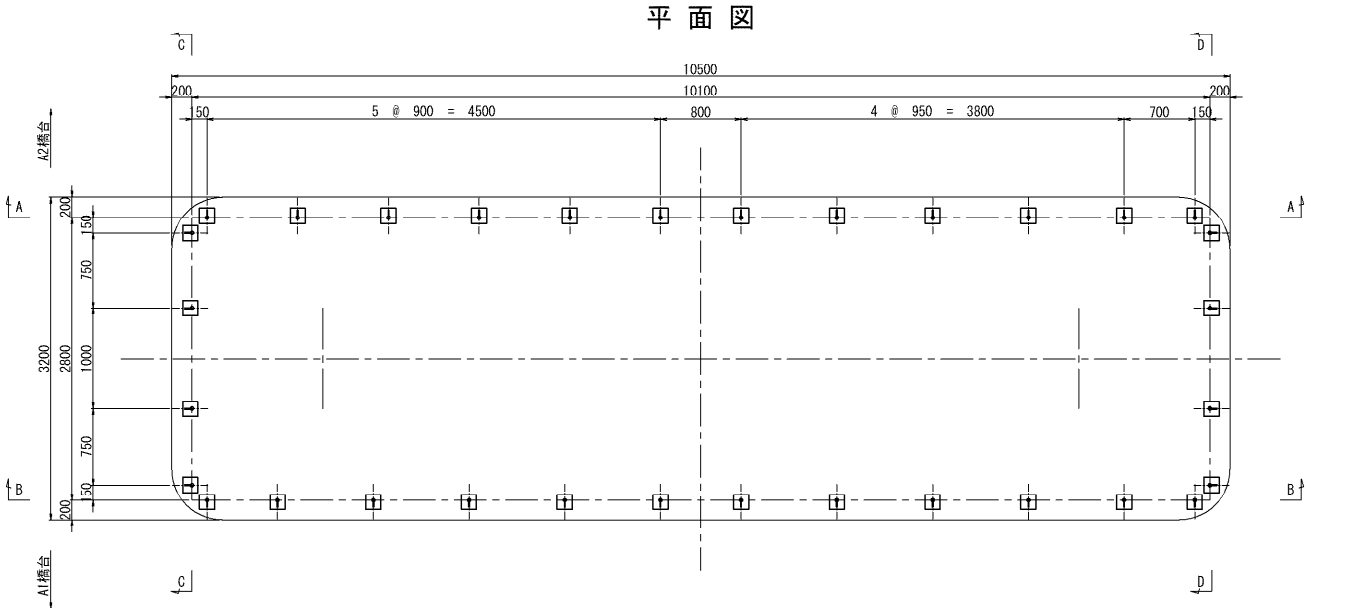
2. 材料加工の前に、補強後の現地計測を行い部材寸法を決定すること。

3. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。

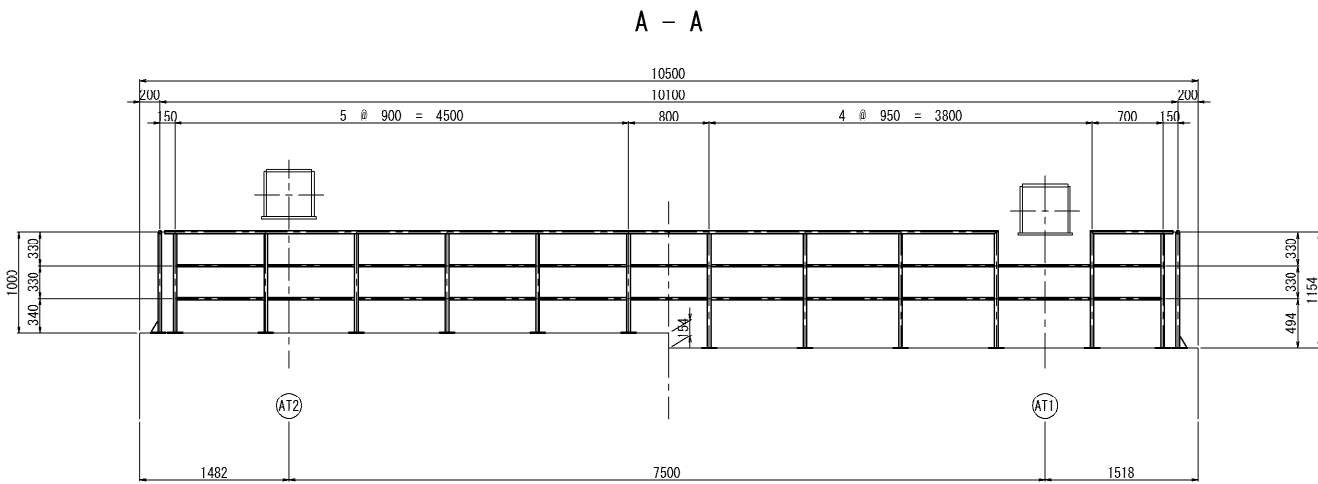
4. 特記なき材質は、全てSS400とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	撤去設置工 排水管A詳細図(その4) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	138/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

P1橋脚 検査用手摺り撤去・再設置図

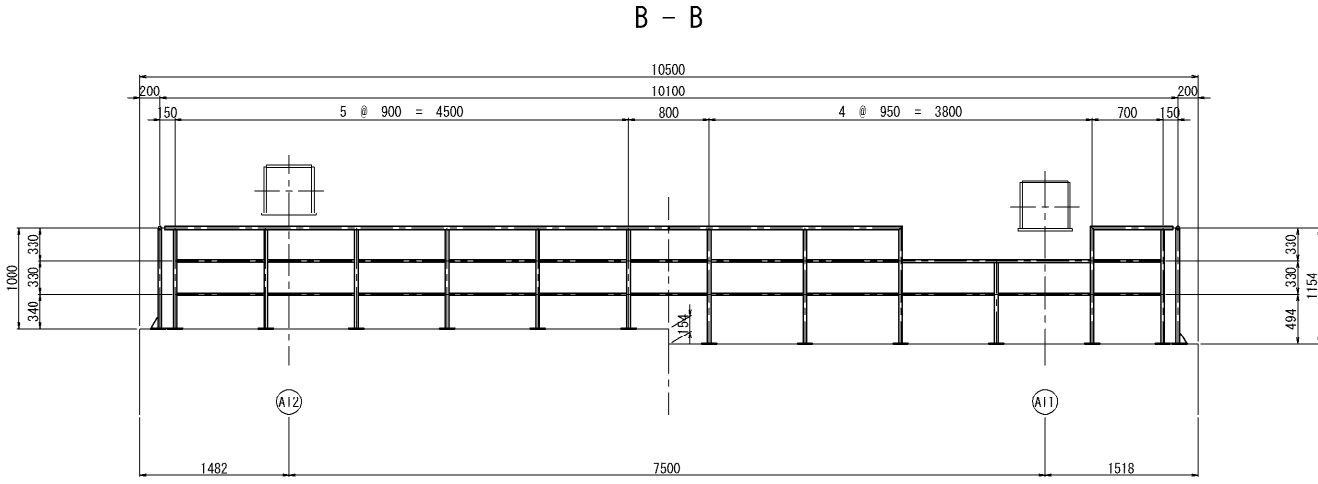
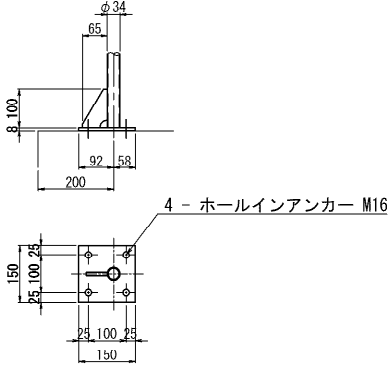


- 検査用手摺り【撤去・再設置】
- 1 - Pipe 34φ×2.3×2694 (STK400)
 - 4 - Pipe 34φ×2.3×992 (STK400)
 - 4 - Pipe 21.7φ×1.9×724 (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×974 (STK400)
 - 4 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 4 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 16 - ホールインアンカー M16
 - 2 - PL 34φ×3.2
- 検査用手摺り【撤去・再設置】
- 1 - Pipe 34φ×2.3×2694 (STK400)
 - 4 - Pipe 34φ×2.3×1146<1109> (STK400)
 - 4 - Pipe 21.7φ×1.9×724 (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×974 (STK400)
 - 4 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 4 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 16 - ホールインアンカー M16
 - 2 - PL 34φ×3.2



- 検査用手摺り【撤去・再設置】
- 1 - Pipe 34φ×2.3×4992 (STK400)
 - 6 - Pipe 34φ×2.3×992 (STK400)
 - 10 - Pipe 21.7φ×1.9×874 (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×382 (STK400)
 - 1 - Pipe 34φ×2.3×3269 (STK400)
 - 1 - Pipe 34φ×2.3×950 (STK400)
 - 1 - Pipe 34φ×2.3×817 (STK400)
 - 6 - Pipe 34φ×2.3×1146<1109> (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×382 (STK400)
 - 7 - Pipe 21.7φ×1.9×914 (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×674 (STK400)
 - 12 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 12 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 48 - ホールインアンカー M16
 - 2 - PL 34φ×3.2

ベースプレート詳細図 S=1:20

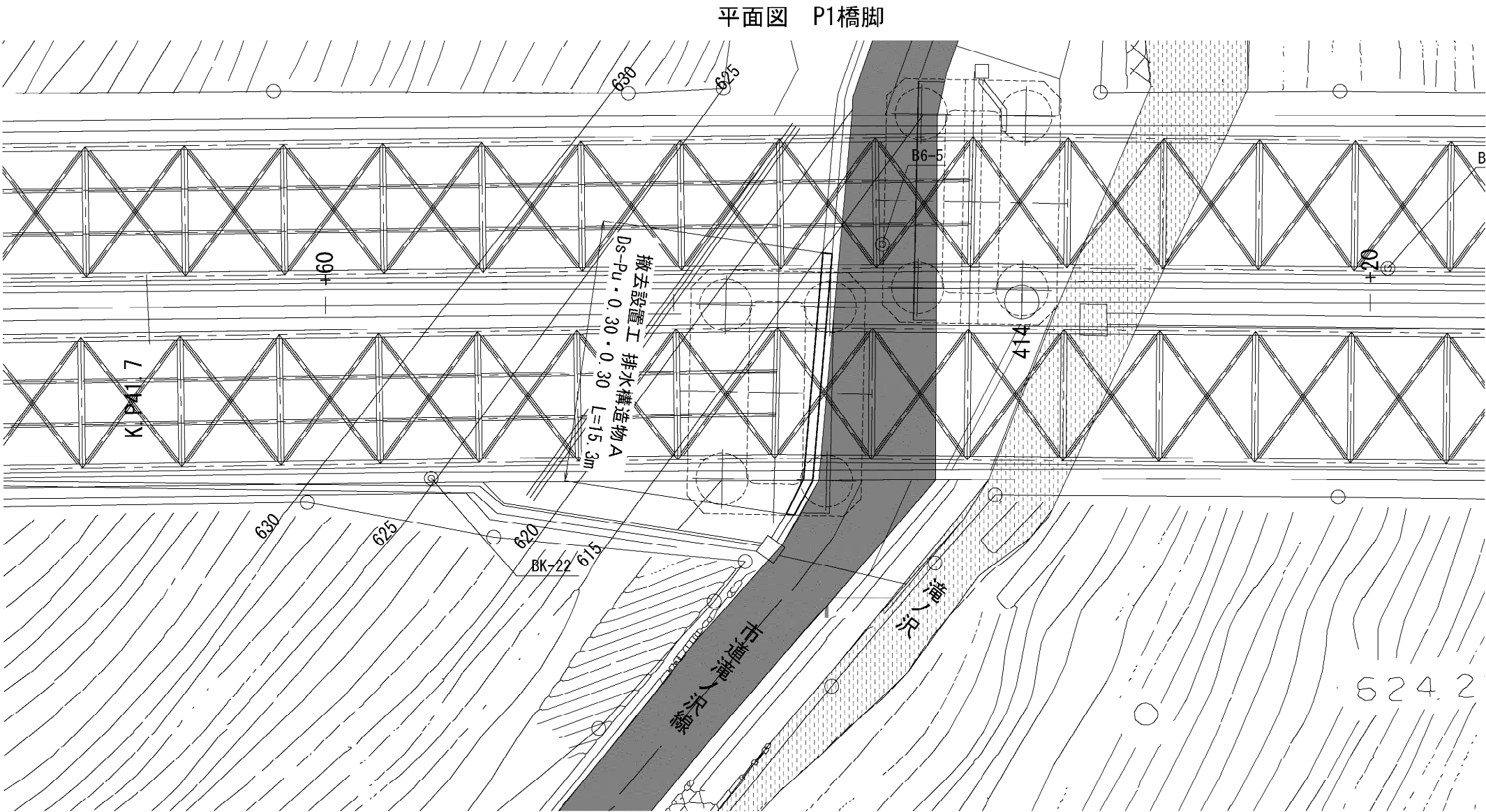


- 検査用手摺り【撤去・再設置】
- 1 - Pipe 34φ×2.3×4992 (STK400)
 - 6 - Pipe 34φ×2.3×992 (STK400)
 - 10 - Pipe 21.7φ×1.9×874 (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×382 (STK400)
 - 1 - Pipe 34φ×2.3×3269 (STK400)
 - 1 - Pipe 34φ×2.3×1750 (STK400)
 - 4 - Pipe 34φ×2.3×1146<1109> (STK400)
 - 2 - Pipe 34φ×2.3×816<779> (STK400)
 - 2 - Pipe 21.7φ×1.9×382 (STK400)
 - 7 - Pipe 21.7φ×1.9×924 (STK400)
 - 1 - Pipe 21.7φ×1.9×674 (STK400)
 - 12 - PL 150×8×150 (SS400)
 - 12 - PL 65×8×100 (SS400)
 - 48 - ホールインアンカー M16
 - 2 - PL 34φ×3.2

注記

- 製作および施工に際しては、現地寸法を確認のうえで行うこと。
- 撤去した部材は全て再利用する。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	撤去設置工 検査路B詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	139/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

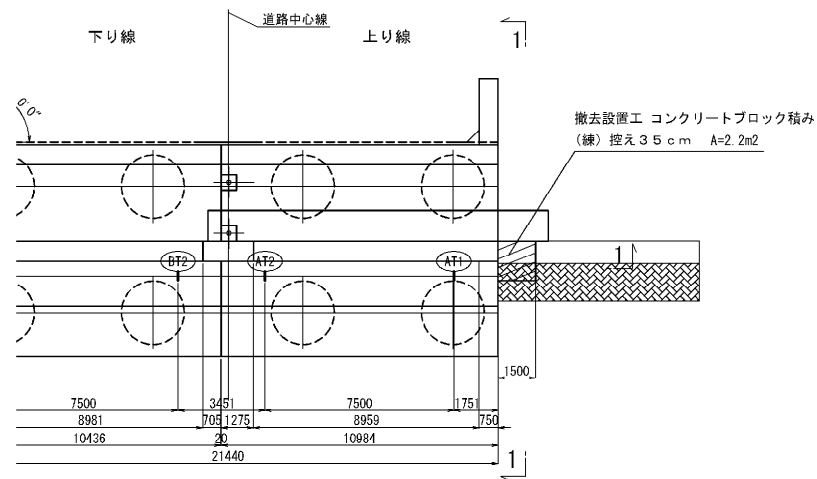


長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	撤去設置工 排水構造物 A 平面図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	140/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 コンクリートブロック積み(練) 控え35cm 詳細図(参考図)
A2橋台

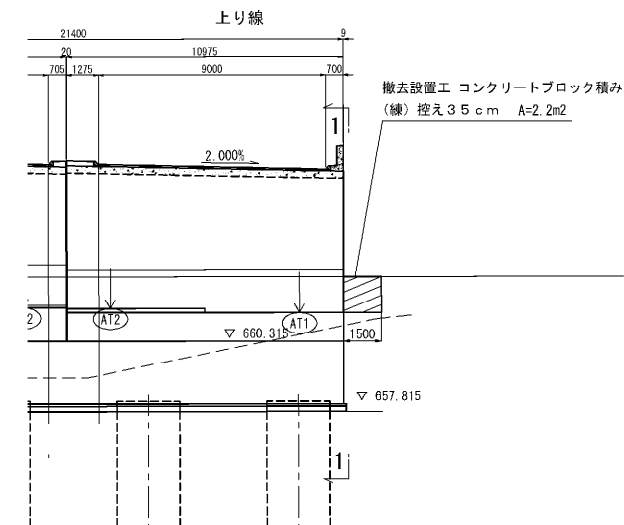
平面図

S=1:300



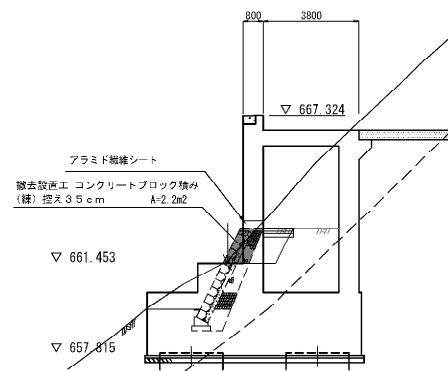
正面図

S=1:300

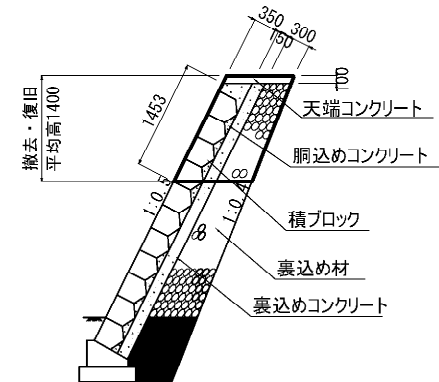


1-1 断面図

S=1:300



コンクリートブロック積み詳細図 S=1:100

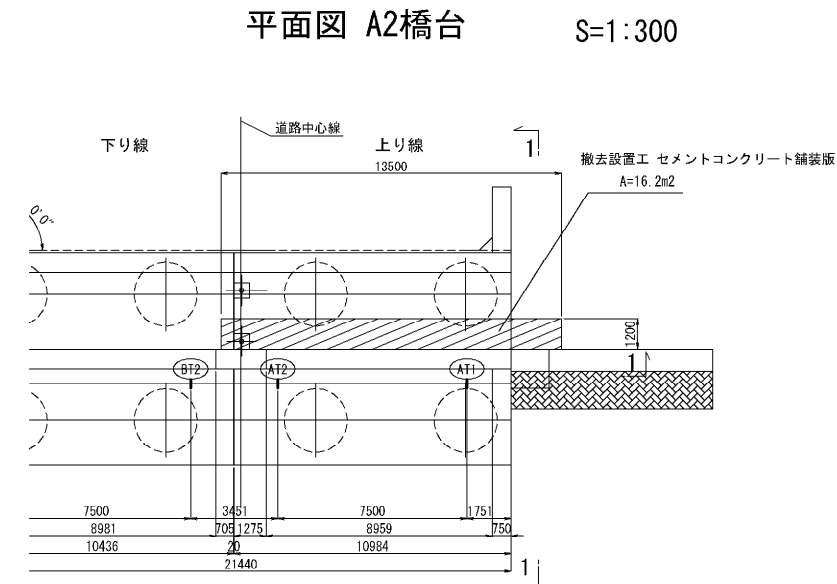
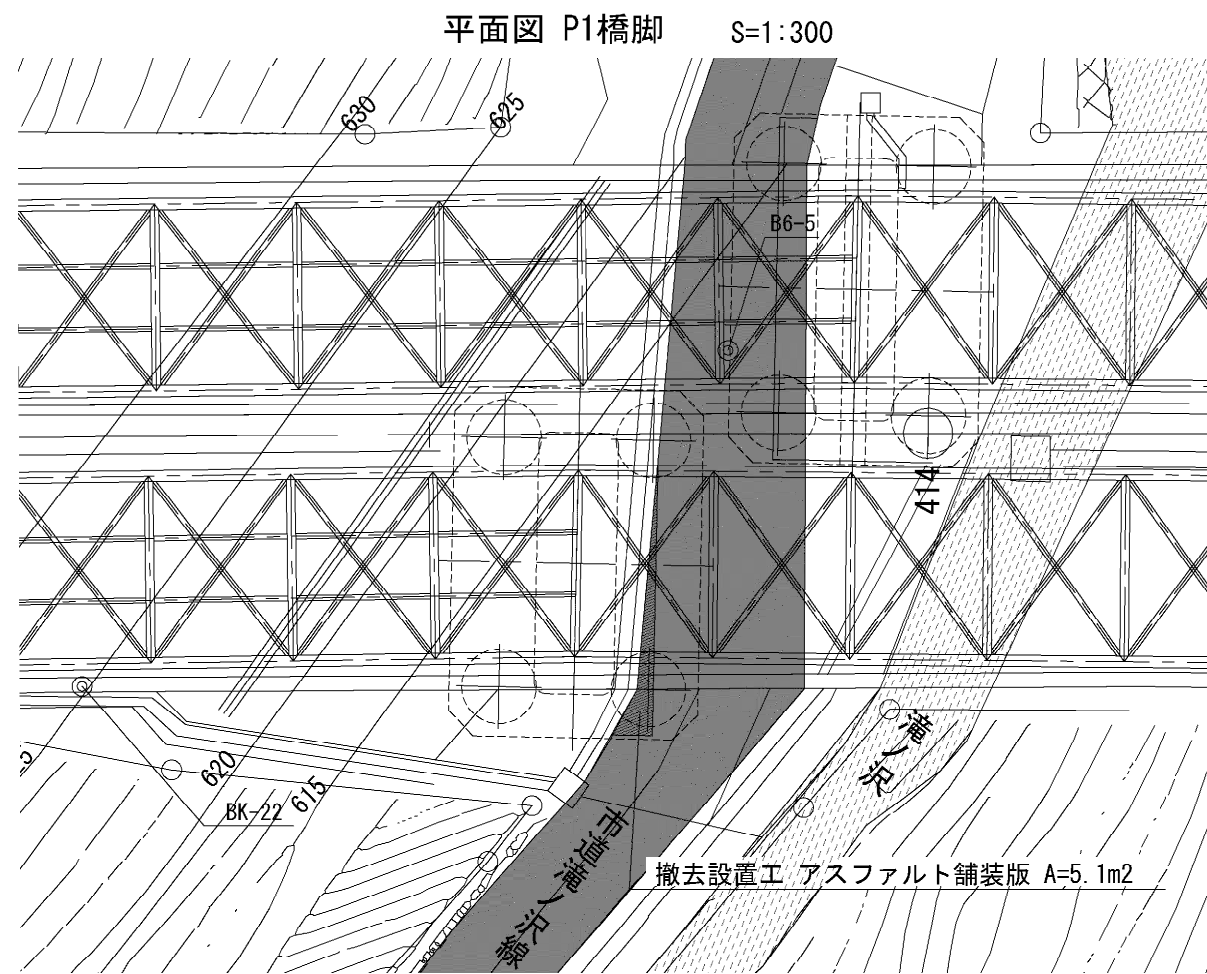


ブロック積み材料表(1m当り)

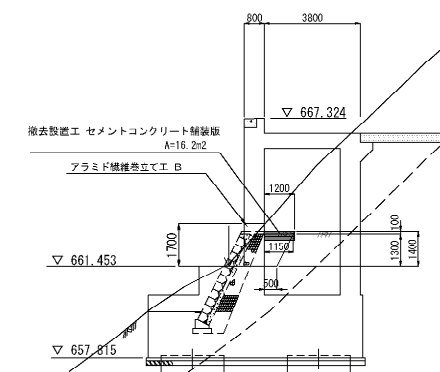
項目	材料区分	単位	数量
天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上	m3	0.089
胴込めコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上	m3	0.320
積ブロック		m2	1.453
裏込め材	RC40	m3	0.537
裏込めコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上	m3	0.218

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 コンクリートブロック積み(練) 控え35cm 詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	141/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

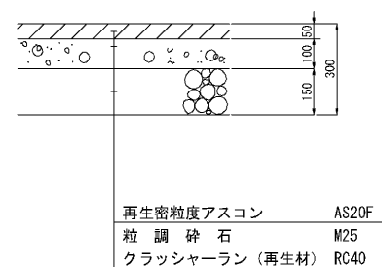
滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 アスファルト舗装版・セメントコンクリート舗装版詳細図(参考図)



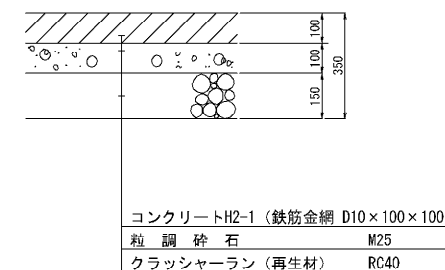
1-1 断面図 A2橋台 S=1:300



撤去設置工 アスファルト舗装版 舗装構成 S=1:25



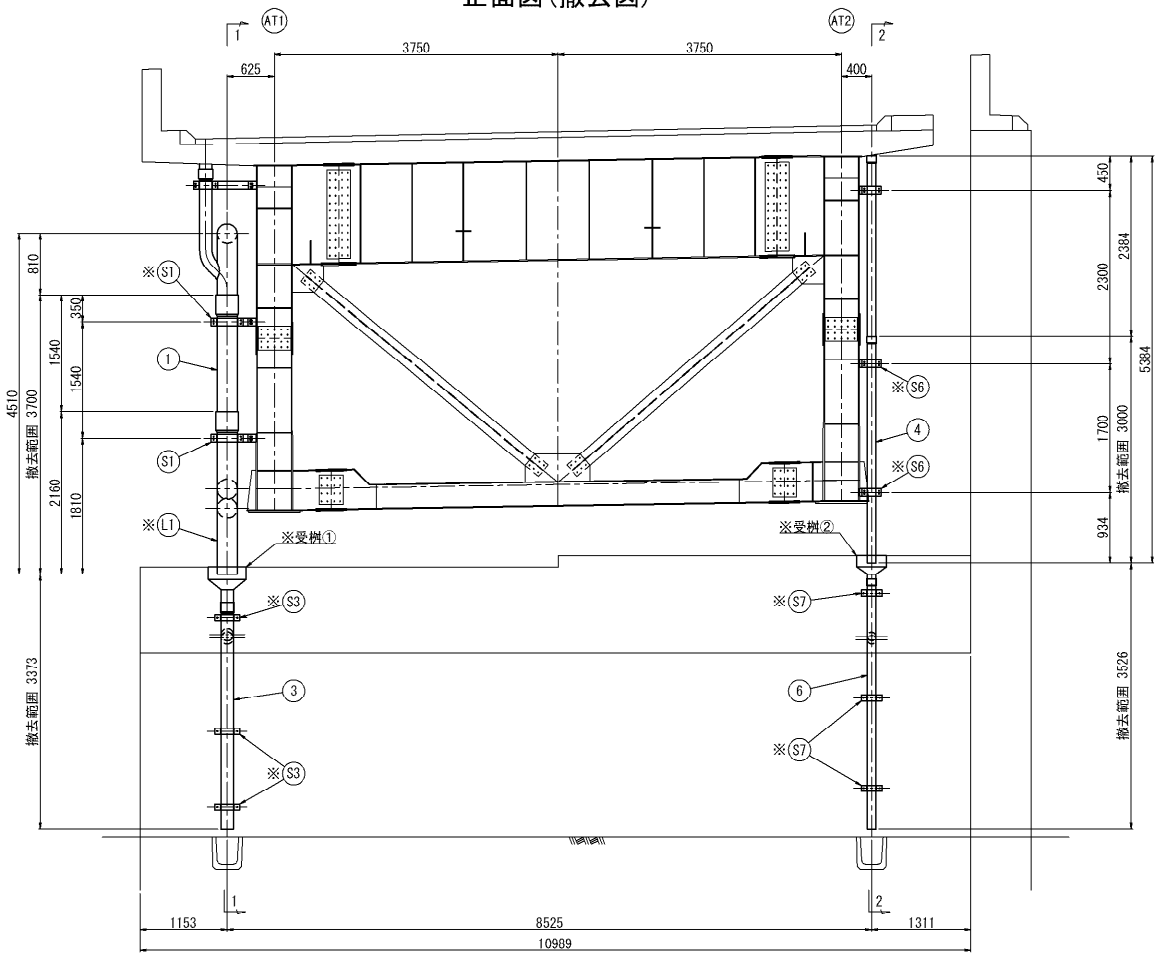
撤去設置工 セメントコンクリート舗装版 舗装構成 S=1:25



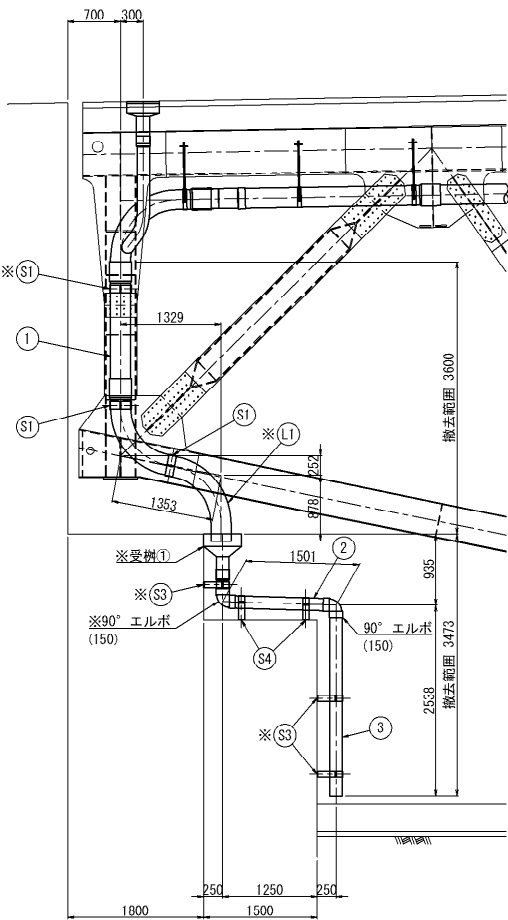
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去設置工 アスファルト舗装版・ セメントコンクリート舗装版詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	142/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台

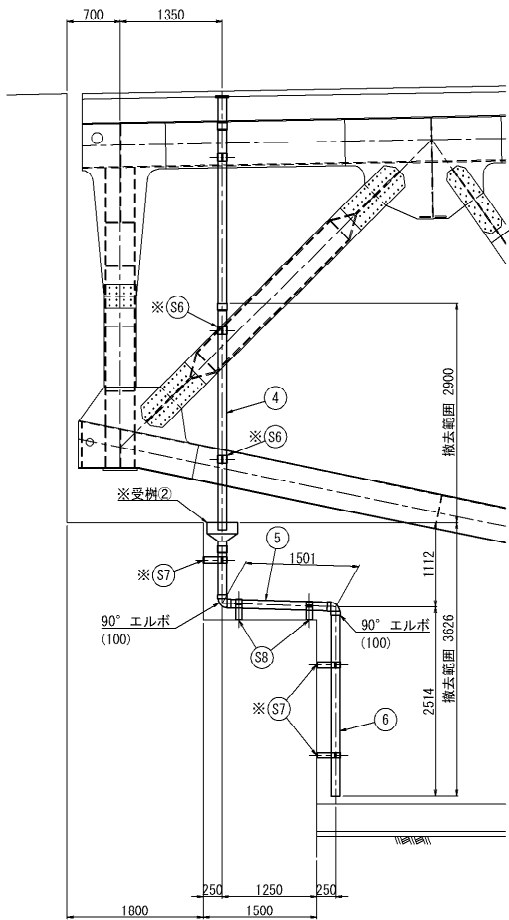
正面図(撤去図)



1 - 1 (撤去図)



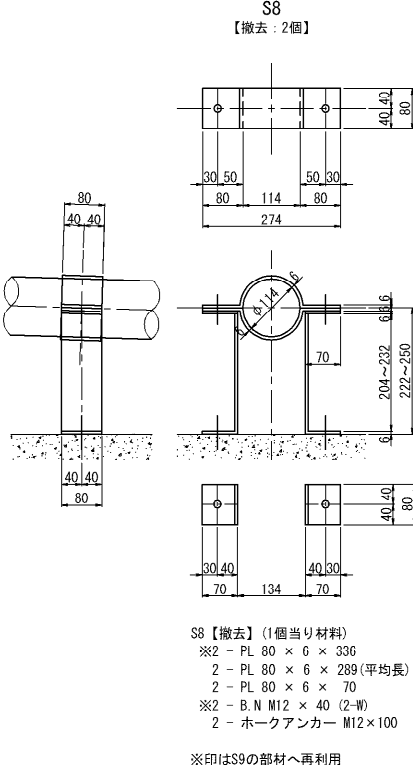
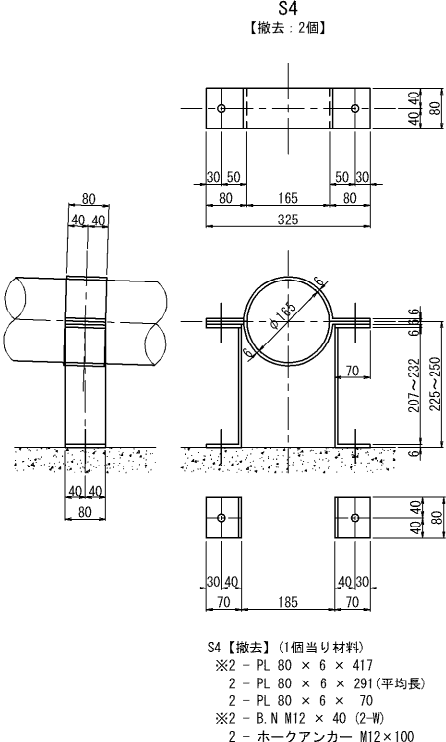
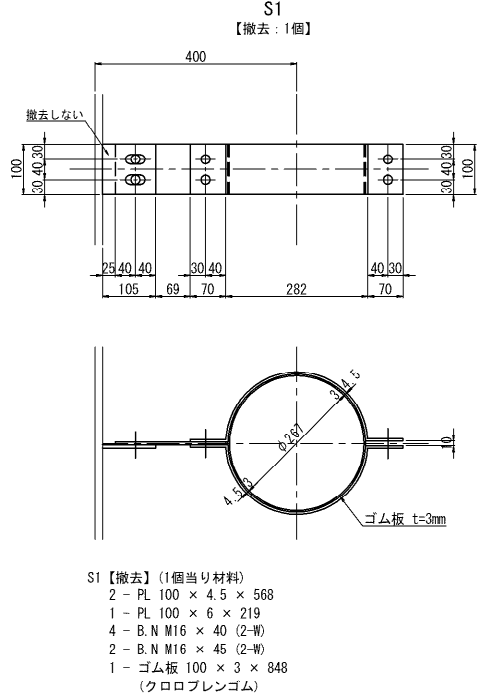
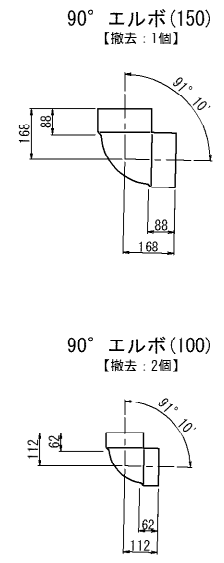
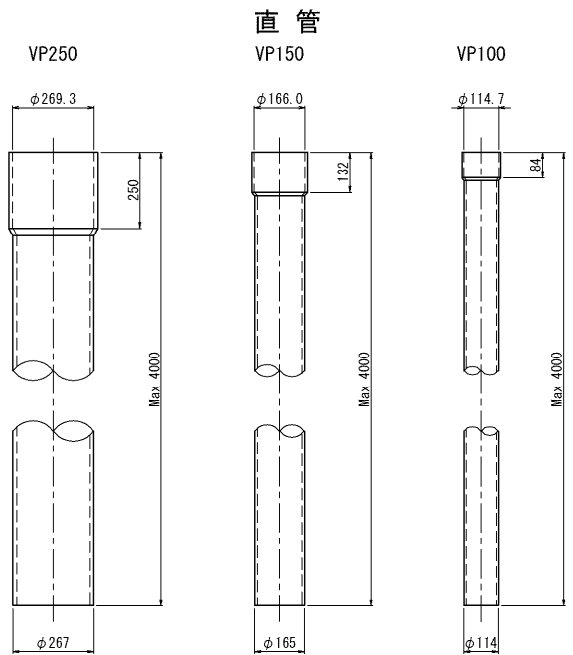
2 - 2 (撤去図)



A1橋台(上り線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	撤去
流水延長	VP250	-	m	1.5
	VP150	-	m	4.0
	VP100	-	m	6.8
直 管	VP250	① L=1790	本	1
	VP150	② L=1325	本	1
		③ L=2450	本	1
	VP100	④ L=3000	本	1
		⑤ L=1377	本	1
		⑥ L=2452	本	1
曲 管	VP250	L1	個	
		L2	個	
	VP150	L3	個	
		L4	個	
	VP100	L5	個	
		L6	個	
		L7	個	
90° エルボ	150	-	個	1
	100	-	個	2
受 樹	受樹①	-	個	
	受樹②	-	個	
取付金具	張出しタイ	S1	個	2
		S2	個	
		S3	個	
		S6	個	
		S7	個	
	支持タイ	S4	個	2
		S5	個	
		S8	個	2
		S9	個	

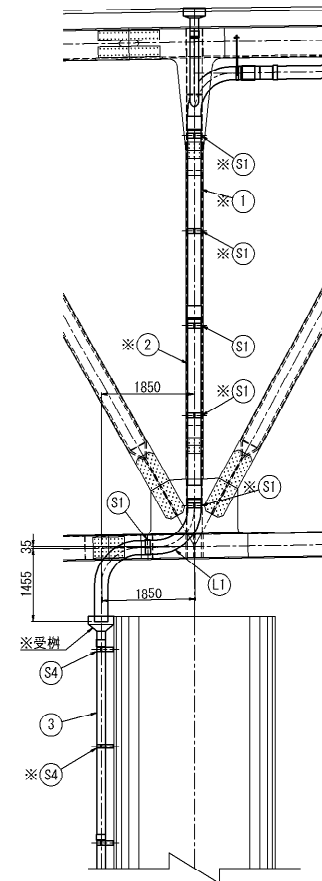
排水管詳細図 S=1:25



注記
1. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 排水管A詳細図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	143/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

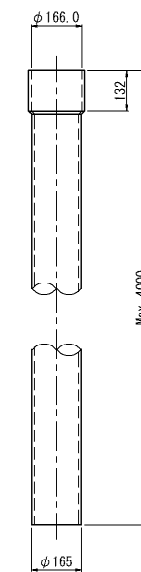
排水管詳細図 S=1:25



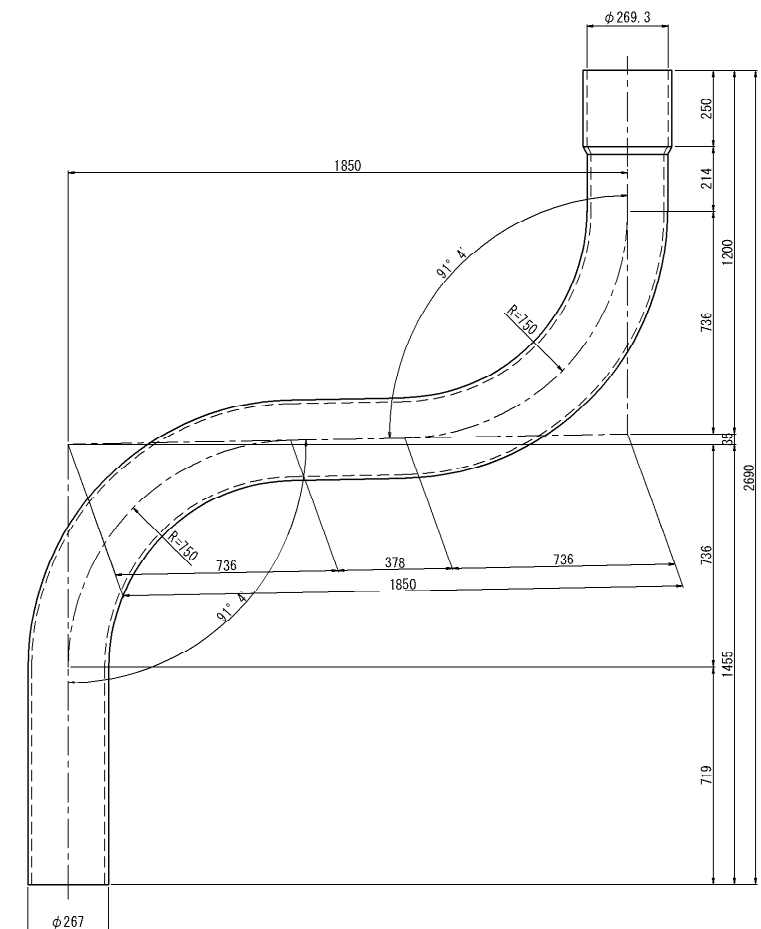
P1橋脚(上り線)排水装置数量表

部材名	種 別	記 号	単位	撤去
流水延長	VP250	-	m	3.0
	VP150	-	m	3.0
直 管	VP250	① L=4000	本	
		② L=3830	本	
	VP150	③ L=4000	本	
		④ L=2991	本	
曲 管	VP250	L1	個	
		L2	個	
	VP150	L3	個	
受 樹	受樹	-	個	
取付金具	張出シタイプ	S1	個	
		S2	個	
		S3	個	
		S4	個	
		S5	個	

直管
VP150

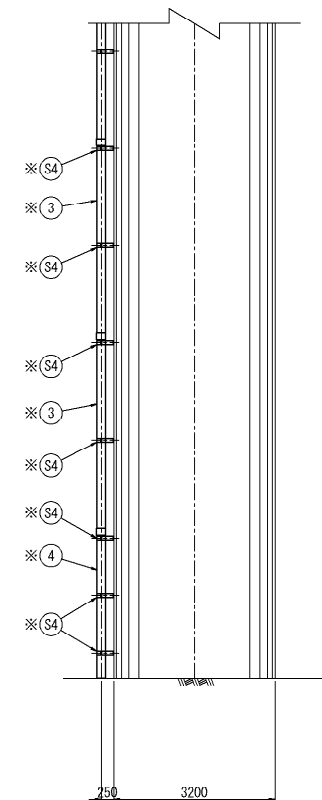


曲 管
L1
【機軸】（1個）

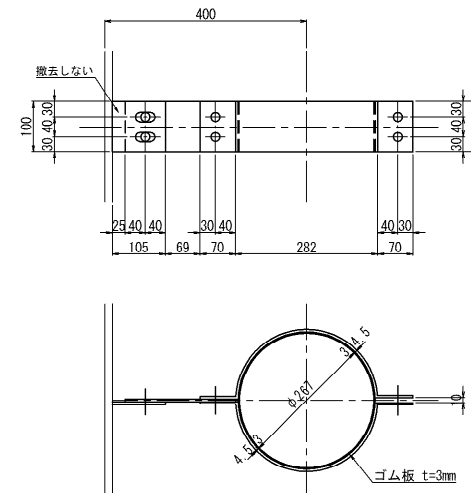


L1【撤去】(1個当り材料)
1 - VP250 × 3889

取付金具詳細図 S=1:15

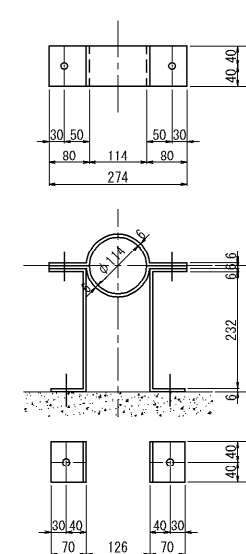


S1
【撤去：2個】



S1【撤去】(1個当り材料)
 2 - PL 100 × 4.5 × 568
 1 - PL 100 × 6 × 219
 4 - B.N M16 × 40 (2-W)
 2 - B.N M16 × 45 (2-W)
 1 - ゴム板 100 × 3 × 848
 (クロロブレンゴム)

S4
【撤去：1個】



S4【撤去】(1個当り材料)
2 - PL 80 × 6 × 336
2 - PL 80 × 6 × 372
2 - B.N M12 × 40 (2-W)
2 - ホークアンカー M12×100

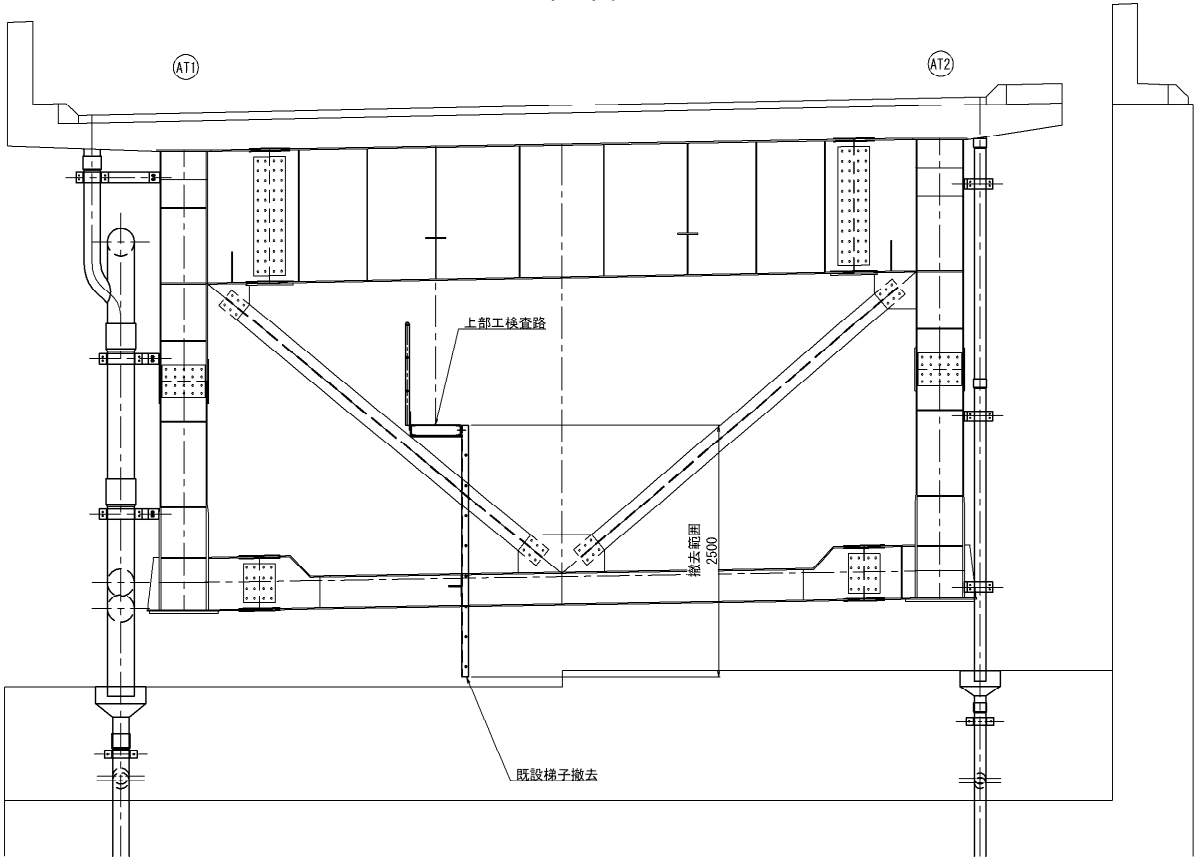
注記

1. ※の付いた部材は、再利用する部材を示す。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。

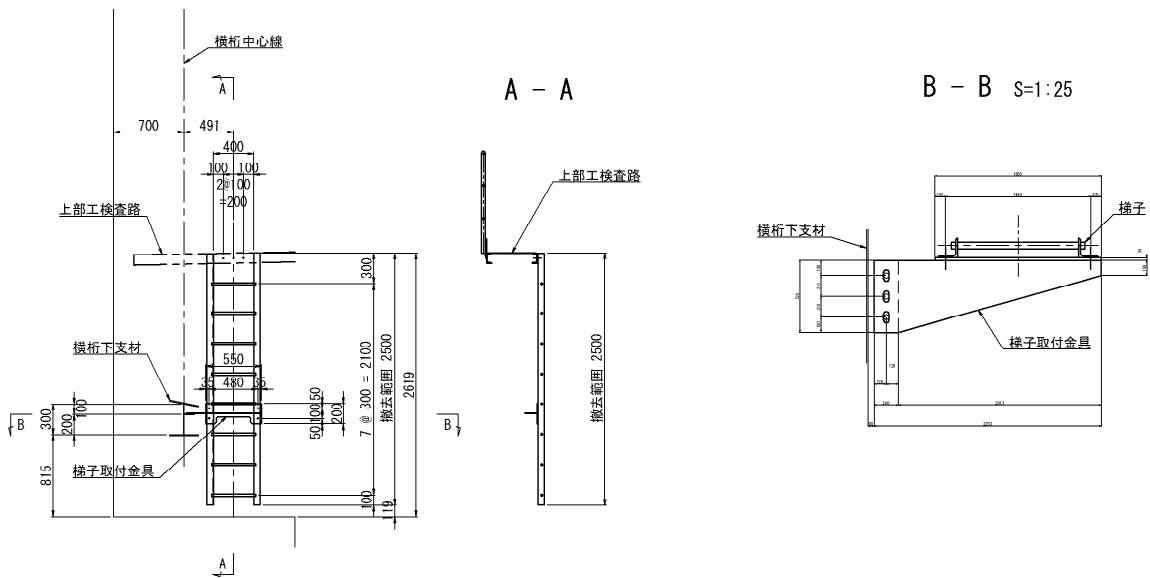
長野自動車道 五常橋仮設代替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 排水管A詳細図(その2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	144/147
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

A1橋台

正面図



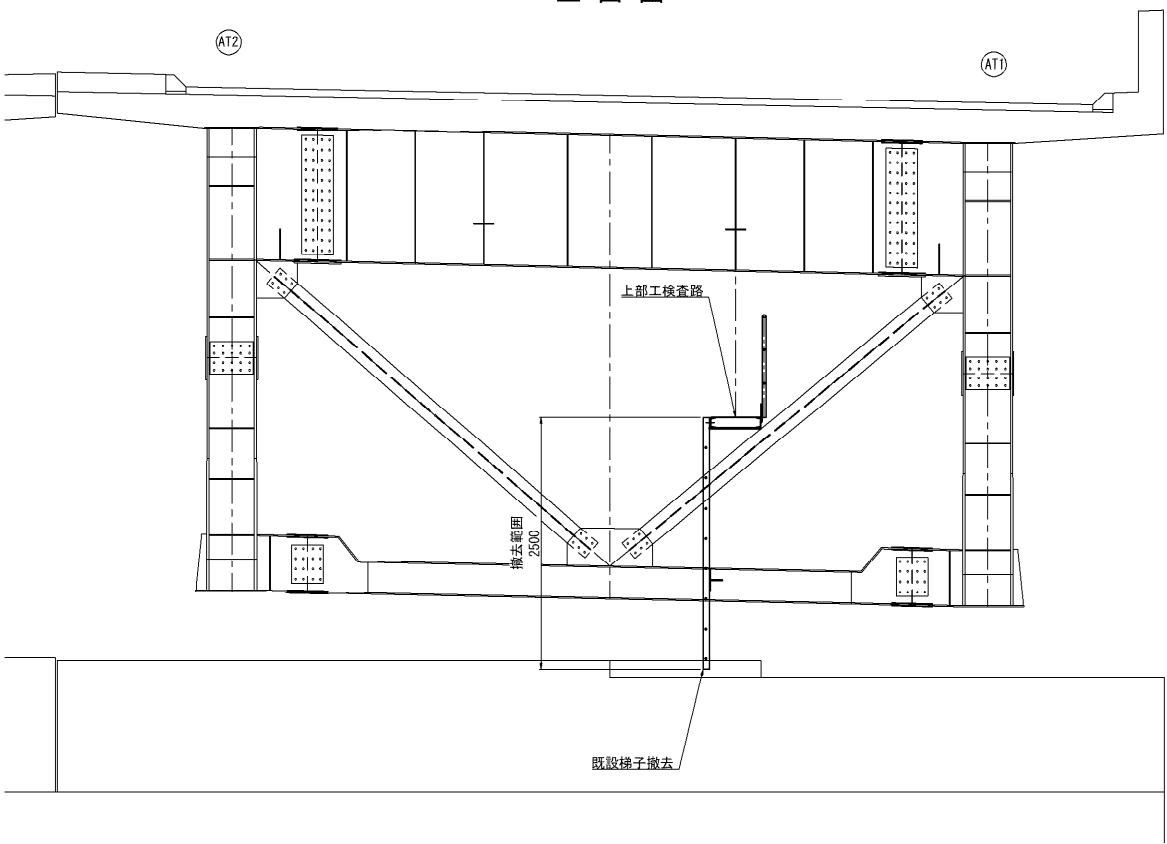
既設梯子撤去図



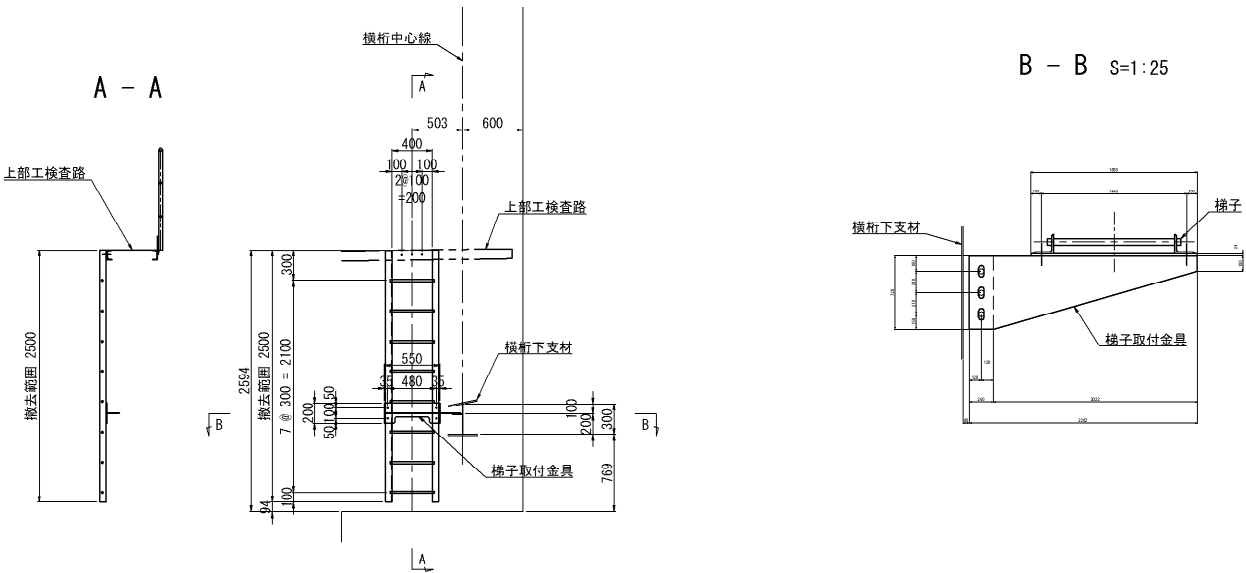
- 【撤去数量】
- 梯子
- 1 - L 65×65×6×2496
 - 1 - L 65×65×6×2504
 - 8 - RB φ22×440
 - 1 - PL 100×8×552
 - 7 - B.N M16×40 (2-W)
- 梯子取付金具
- 1 - PL 200×8×550
 - 1 - PL 240×8×751
 - 3 - B.N M16×40 (2-W)

A2橋台

正面図



既設梯子撤去図



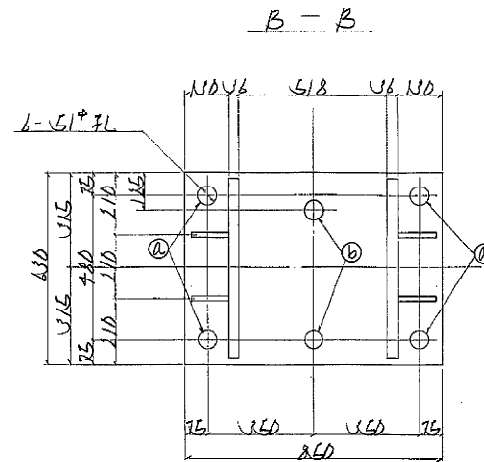
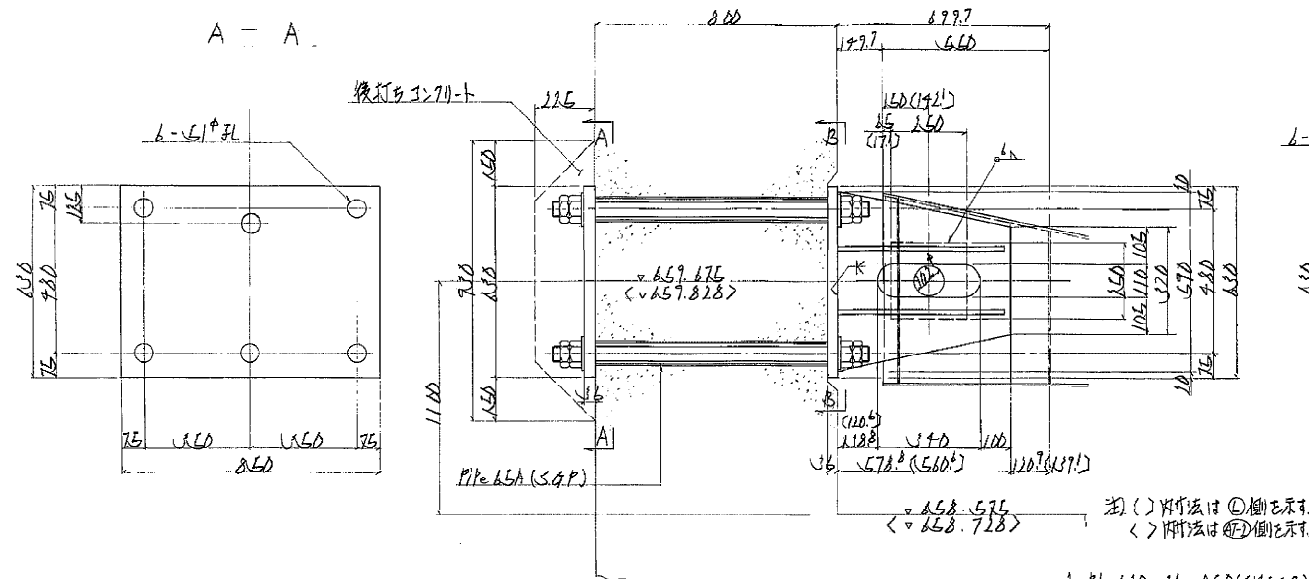
- 【撤去数量】
- 梯子
- 1 - L 65×65×6×2496
 - 1 - L 65×65×6×2504
 - 8 - RB φ22×440
 - 1 - PL 100×8×552
 - 7 - B.N M16×40 (2-W)
- 梯子取付金具
- 1 - PL 200×8×550
 - 1 - PL 240×8×754
 - 3 - B.N M16×40 (2-W)

注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線)		
	撤去工 検査路B詳細図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	145/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	長野工事事務所		

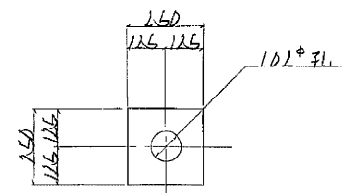
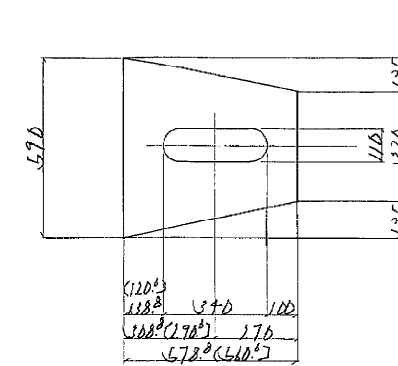
滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 耐震連結装置A詳細図(参考図)

A1橋台



連結板詳細 縮尺1:10

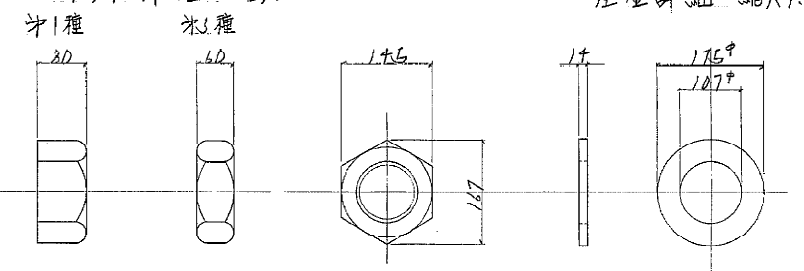
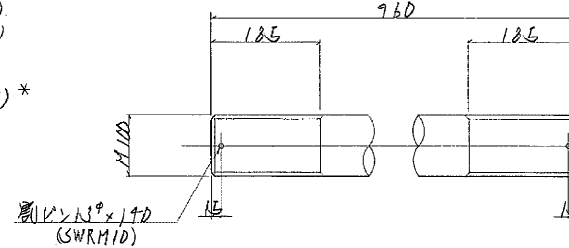
補強板詳細 縮尺1:10



ピン詳細 縮尺1:5

ナット詳細 縮尺1:5

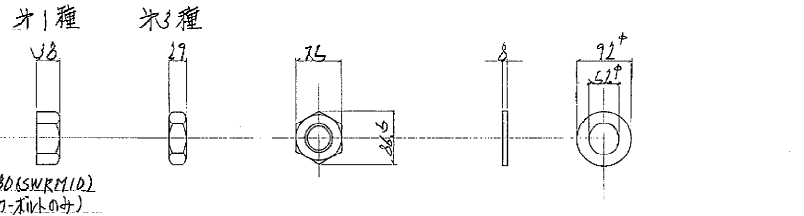
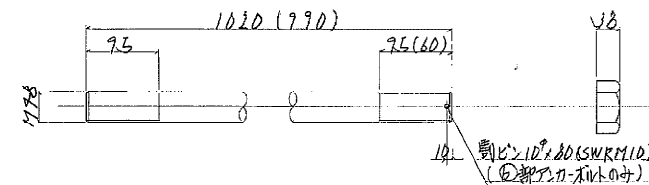
座金詳細 縮尺1:5



アンカーボルト詳細 縮尺1:5

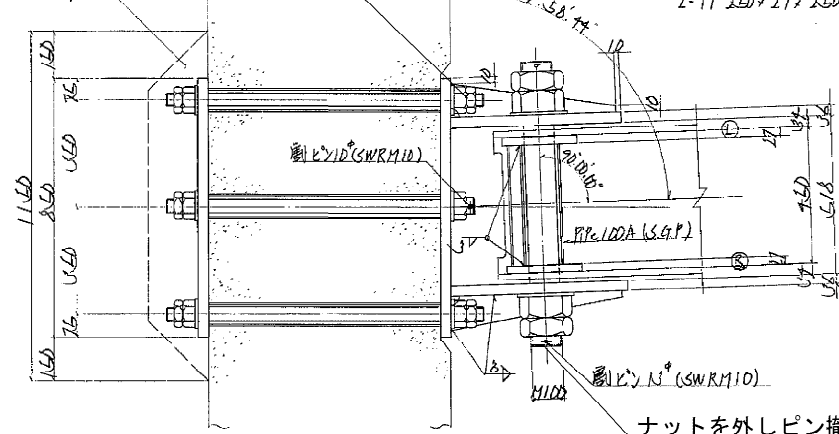
ナット詳細 縮尺1:5

座金詳細 縮尺1:5



ナットを外し鋼材撤去
アンカーは残置

後打コンクリート



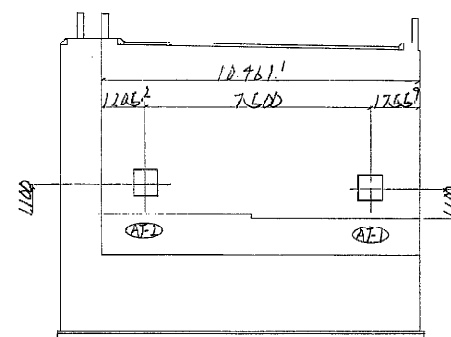
ナットを外しピン撤去

6-鋼板 65A (S.G.P.) 施工外
1-アンカーボルト 48φ (S45C) *

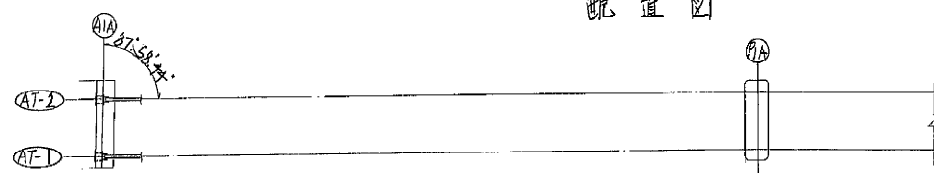
1-ピン 100φ (S35C)
2-ナット M100 (ネジ1種)
2-ナット M100 (ネジ2種)
2-ワッシャー 125φ (ネジ1種)
2-ワッシャー 125φ (ネジ2種)
2-ピン 100φ (S35C)

4-アンカーボルト 48φ (S45C)
2-アンカーボルト 48φ (S45C)
10-ナット M100 (ネジ1種)
12-ナット M100 (ネジ2種)
12-ワッシャー 125φ (ネジ1種)
2-ピン 100φ (S35C)

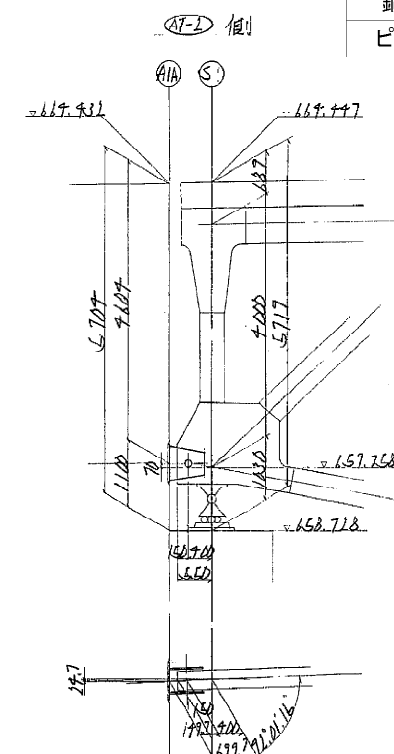
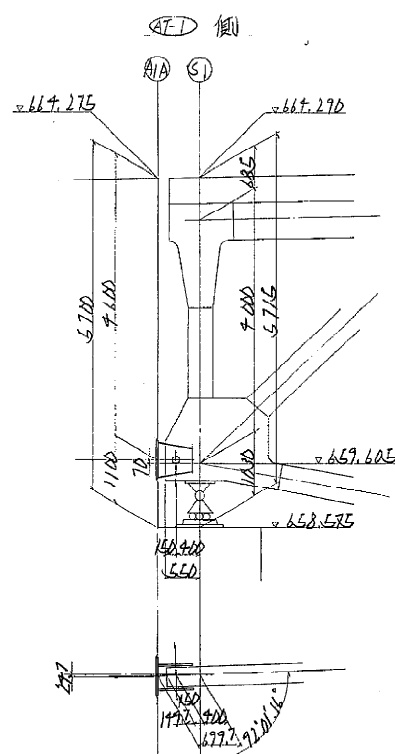
取付位置図



配置図



耐震連結装置取付位置図 縮尺1:50



耐震連結装置撤去

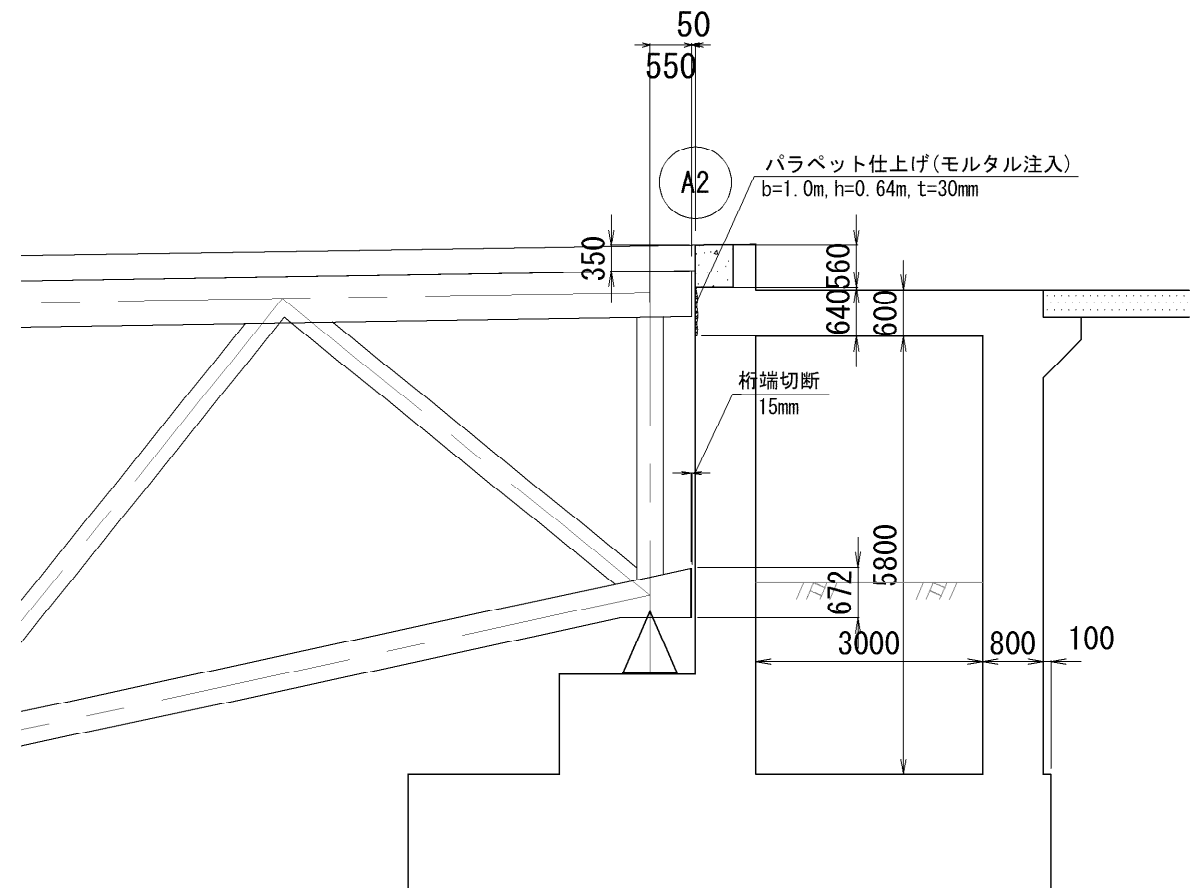
2基当り

鋼板	kg	789
ピン、ナット、ワッシャー	kg	174

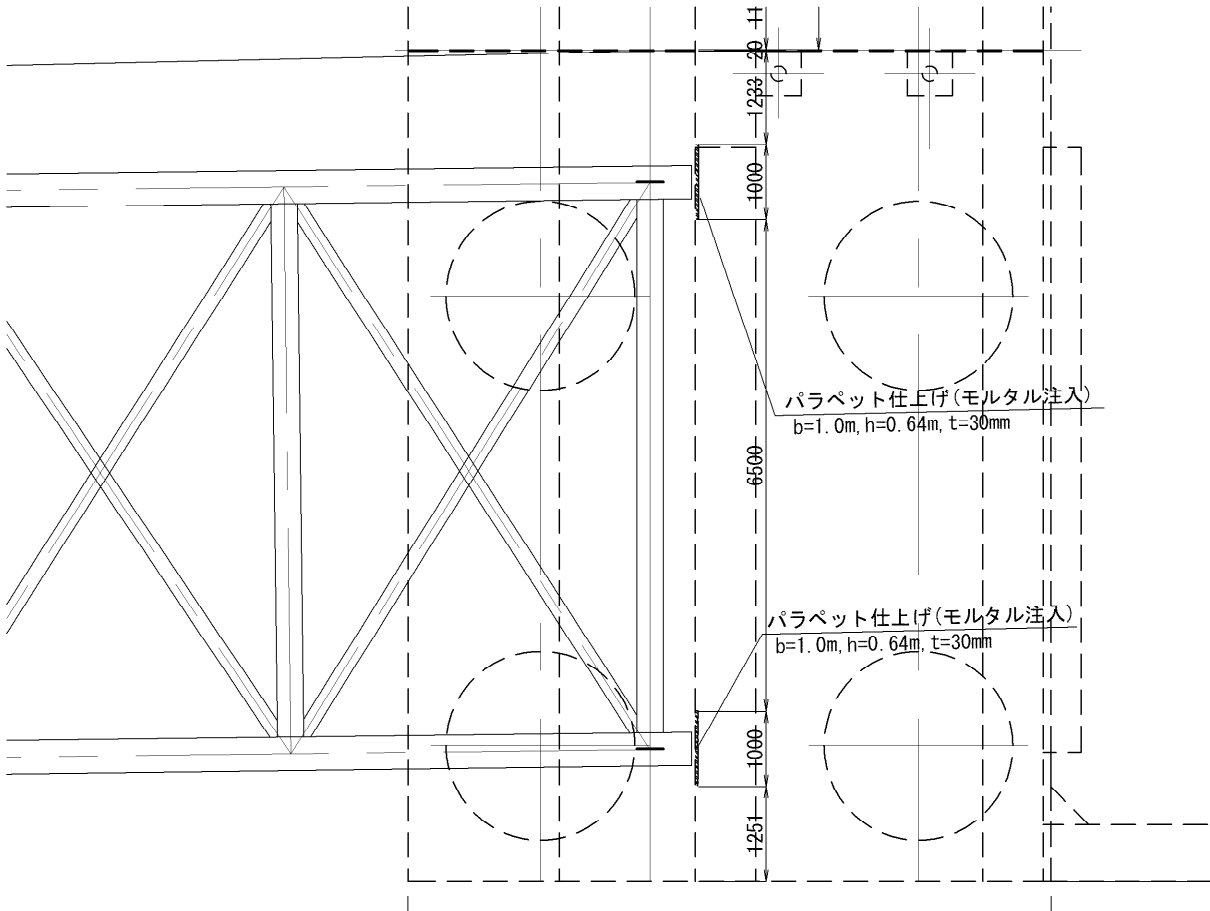
長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) 撤去工 耐震連結装置A詳細図(参考図)	図面番号	146/147
縮尺	-	設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		

滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 遊間確保工詳細図(参考図)

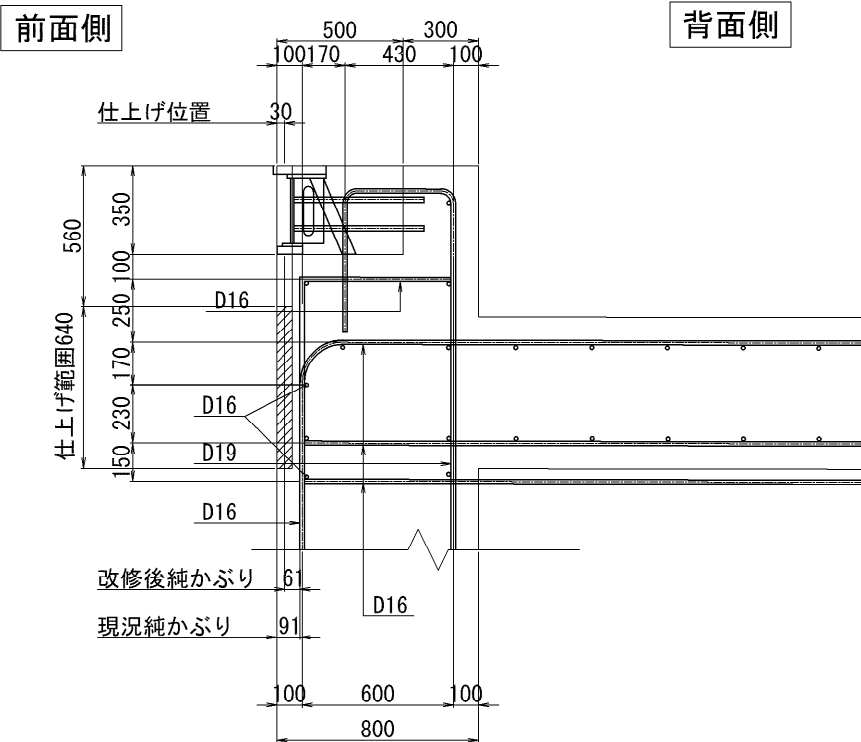
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100

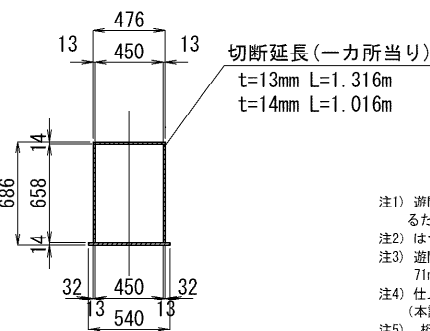
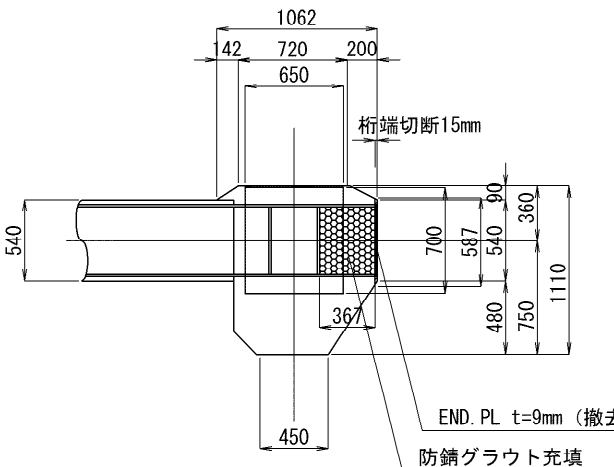


かぶり詳細図 S=1:30



切断位置詳細図 S=1:25

平面図 断面図



数量表		
項目	単位	数量
モルタル注入	m3	0.051
桁端切断 (t=13mm)	m	2.6
桁端切断 (t=14mm)	m	2.0
防錆グラウト	m3	0.217

- 注1) 遊間確保のため、ジョイント下端をはずす必要があるため、ジョイントの取替えも必要となる。
注2) はつり量は施工性、復旧性を考慮し60mmとした。
注3) 遊間量は現況50mmを80mmに変更する。(設計値は71mm以上)
注4) 仕上後の鉄筋の純かぶりは40mm以上確保する。(本設計図では61mm)
注5) 桁端切断範囲は15mmとした。(設計値は12mm以上)

長野自動車道 五常橋床版取替工事			
図面の種類	滝ノ沢橋(上り線) A2橋台 遊間確保工詳細図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	147/147
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	長野工事事務所		